

# 神 学 研 究 科

神学専攻

組織神学専攻

## 1. 神学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

前期課程には、修士に加えてカトリック教会の教授資格（STL）を与える組織神学コース、聖書研究の方法論を身につける聖書神学コース（M.Bibを授与）、宣教や司牧の実践について学ぶキリスト教教育コース（M.Divを授与）、および教会での奉仕の現場にたずさわる人々を養成する宣教実務者コースを設けるが、いずれも神学全般についての知識と理解を重視する。また研究者養成を主目的とする後期課程（条件を満たせばカトリック教会の学位STDを授与）においては、研究のみでなく教育訓練を課程に組み込む。

カトリック司祭・修道者とカトリック学校での宗教科教員の養成、及び自己のキリスト教信仰を客観的・批判的に省察することにより、教会に貢献できる人材養成を主目的とする。

## 2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 神学専攻

#### 【博士前期課程】

カトリック神学の伝統に基づいて、キリスト教に関する専門科目を包括的に開講します。すなわち、教義神学（キリスト論・秘跡論・基礎神学・マリア論・恩恵論・キリスト教諸教派間対話）、歴史神学（ギリシア教父学・東方キリスト教学・日本キリスト教史・教理史）、倫理神学（基礎倫理・いのちの倫理・性の倫理・社会倫理）、教会法、典礼学、霊性神学、旧約・新約聖書学、ギリシア語・ヒブル語などの古典語、および教育やパストラルケア、キリスト教文学、キリスト教と他宗教とのかかわりなどの実践神学科目です。

学生は、自分の関心・必要性に応じて、それぞれの授業科目を履修し、それによって神学に関する専門性を深めていきます。そのために、組織神学コース、聖書神学コース、キリスト教教育コース、そして宣教実務者コースが提供されています。

### 組織神学専攻

#### 【博士後期課程】

履修要件は、研究指導と教育訓練からなっています。

研究指導は、指導教員のもとで博士論文を作成することとそして、学会等における口頭・論文による研究発表を通して行われます。

教育訓練は、研究指導者ないし研究科委員長が適当と認める研究科教員の講義・演習科目における講義実習や演習指導実習を通して行われます。

## 3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

### 神学専攻

#### 【博士前期課程】

本課程に2年（4学期）以上在学して所定の選択科目（30単位）を履修し、かつ研究指導を受けた上で修士論文を提出し、学科と論文に関する最終試験に合格した学生に、修士（神学）の学位が授与されます。

上記に加えて、組織神学コース、聖書神学コース、キリスト教教育コース、また宣教実務者コースのいずれかに属し、それぞれの要件を満たせば、修士（神学）に加えて、各コースの学位を取得することができます。

組織神学コースでは、神学部の組織神学系を修了、もしくはそれと同等の要件を満たした上で、規定の教義神学科目（16単位以上）と選択科目（14単位以上）および「研究指導」を履修し、論文審査と総合試験に合格すれば、

修士（神学）の学位に加えて、全世界のカトリック教会に共通な教会法上の学位 STB (*Sacrae Theologiae Baccalaureatus*) を取得することができます。さらに規定の選択必修科目（18 単位以上）を履修し、論文審査および総合試験に合格すれば、STL (*Sacrae Theologiae Licentiatatus*) の学位が取得可能です。

聖書神学コースでは、規定の聖書神学科目（18 単位以上）と選択科目（12 単位以上）および「研究指導」を履修し、論文審査と総合試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Bib (Master of Biblical Studies) の学位の取得が可能です。

キリスト教教育コースでは、規定の実践神学科目（18 単位以上）と選択科目（12 単位以上）、および「研究指導」を履修し、論文審査と総合試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Div (Master of Divinity) の学位が取得できます。

宣教実務者コースは、指導教員の指導のもとで各人のニーズに応じた履修計画をたて、所定の 30 単位以上を履修します（成績優秀な者には早期修了制度が適用されます）。研究科において適当と認められるときは、特定の課題に関する研究成果の審査をもって、修士論文の審査に変えることができます。

## 組織神学専攻

### 【博士後期課程】

本課程に 3 年（6 学期）以上在学し、所定の研究指導を受けた上で博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格すれば、博士（神学）の学位を取得することができます。また必要要件を満たしている場合には、STD (*Sacrae Theologiae Doctor*) の学位を取得することができます。

なお博士論文の作成は、適切な時期に実施される博士論文執筆資格試験に合格した後、承認されます。

## 神学専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶選択科目	30		
└自専攻科目			
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される
修士論文			必要な研究指導を受け, 修士論文の審査および最終試験に合格すること （「修士論文」は修了予定年次に履修登録すること）

#### 【14～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶選択科目	30		
└自専攻科目			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受け, 修士論文の審査および最終試験に合格すること （「修士論文」は修了予定年次に履修登録すること）

#### 【修士論文審査基準】

当該分野・領域における研究課題に自立的に取り組むことによって, カトリック教会と世界の課題解決のために相応しい方法論と論述を遂行する能力が認められること。

- 1) 問題設定：問題意識が明確で, 課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解：先行研究を適切に理解・検討・吟味していること。
- 3) 研究方法：研究目的に対して, 研究計画・研究方法・分析・展開・統合が適切であること。
- 4) 論文構成：論文構成が的確で, 論理展開に整合性・一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ：当該分野・領域において, 学術的・教会的・社会的な意義が適切に認められること。
- 6) 形式面：以下の形式面が整っていること。
  - ①序論, 本論（章・節）, 結論にわたって, 構成が適切であり, 目次によって全体の論旨・展開が概観できること。
  - ②文章が明快で, 論旨が明晰判明に理解可能であること。
  - ③引用の方法・内容が適切で, 引用文献表が簡潔に整えられていること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;教義学&gt;</b>			
キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)			2
教会論特講			2
入信の秘跡			2
聖餐の秘跡			2
ゆるしと叙階の秘跡			2
結婚の秘跡			2
基礎神学Ⅰ			2
基礎神学Ⅱ			2
恩恵論			2
マリア論			2
エキュメニズムⅠ			2
エキュメニズムⅡ			2
<b>&lt;教会史&gt;</b>			
日本キリスト教史			2
教父学(旧:教父たちの思想特講)			2
東方キリスト教学			2
教理史Ⅰ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
教理史Ⅱ			2
<b>&lt;組織神学:演習&gt;</b>			
現代カトリック教義学Ⅰ			2
現代カトリック教義学Ⅱ			2
キリスト教ラテン語原典研究			2
<b>&lt;キリスト教教育:演習&gt;</b>			
キリスト教教育ゼミナールⅠ			2
キリスト教教育ゼミナールⅡ			2
キリスト教教育ゼミナールⅢ			2
キリスト教教育ゼミナールⅣ			2
<b>&lt;人間学&gt;</b>			
キリスト教教育Ⅰ			2
キリスト教教育Ⅱ			2
キリスト教文学特講Ⅰ			2
キリスト教文学特講Ⅱ			2
宗教倫理思想Ⅰ			2
宗教倫理思想Ⅱ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
社会正義論			2
平和学特講			2
キリスト教音楽美学研究Ⅰ			2
キリスト教音楽美学研究Ⅱ			2
<b>&lt;聖書神学：演習&gt;</b>			
聖書神学研究ゼミナールⅠ(古代イスラエル史)			2
聖書神学研究ゼミナールⅡ(旧約聖書原典批判)			2
聖書神学研究ゼミナールⅢ			2
聖書神学研究ゼミナールⅣ			2
<b>&lt;聖書釈義&gt;</b>			
モーセ五書特講			2
詩編と知恵特講			2
預言者特講			2
パウロ特講			2
新約文献特講			2
<b>&lt;倫理神学&gt;</b>			
倫理神学特講Ⅰ(良心と自然法)			2
倫理神学特講Ⅱ(いのちと性)			2
倫理神学特講Ⅲ(聖書と霊性)			2
倫理神学特講Ⅳ(徳と人格)			2
社会倫理特講			2
Conscience, Catholicism and Politics ※2016年度のみ開講			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;教会法&gt;</b>			
教会法Ⅰ(秘跡法の入門と実践)			2
教会法Ⅱ(教会生活における法規と運用)			2
ゆるしの秘跡の司牧			2
<b>&lt;典礼&gt;</b>			
宣教学特講Ⅰ			2
宣教学特講Ⅱ			2
典礼神学Ⅰ			2
典礼神学Ⅱ			2
典礼神学特講Ⅰ(実践基礎論)			2
典礼神学特講Ⅱ(原典研究)			2
典礼と霊性Ⅰ			2
典礼と霊性Ⅱ			2
<b>&lt;霊性&gt;</b>			
現代の霊性Ⅰ(祈りの現代的意義)			2
現代の霊性Ⅱ (キリスト教的霊性の現代的展開)			2
現代司牧の諸問題Ⅰ(現代的カテキズム)			2
現代司牧の諸問題Ⅱ (日本におけるカトリック教会司牧とその使命)			2
パストラル・ケア特講			2

### 3. 履修上の注意

- 入学後指定の期日までに、「指導教員登録票」および「コース登録票」を研究科事務室に提出する。
- 基本的には、選択科目を30単位以上履修し、必要な「研究指導」を受け、修士論文の審査および最終試験に合格すれば、修士(神学)の学位を取得することができる。  
上記以外に、組織神学コース、キリスト教教育コース(旧「キリスト教倫理・文化コース」「実践神学コース」)、聖書神学コース、宣教学実務者コースのいずれかに属し、それぞれの要件を満たせば、上記の修士(神学)の学位に加えて、各コースの学位を取得することができる。  
コースに所属するか否かに関わらず、履修すべき基礎的科目はそれぞれの学歴によって異なるため、あらかじめ研究科委員長の指導を受け、所属を志望するコースと指導教員を決めておくこと。  
なお、「研究指導」を在学中毎学期受けること。2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。また、「修士論文」は修了予定年次に履修登録すること。
- ローマ数字(Ⅰ, Ⅱ, …)が付与された科目：括弧( )による副題の記載のあるものは、それぞれ単独で履修することができる。副題が記載されていないⅠおよびⅡの科目は、両方の履修が前提として授業が組み立てられている。  
科目名に「特講」とある科目は、それに対応する学部ないし大学院開講科目の履修を前提として授業が進められる。
- 担当教員の許可を得れば、神学研究科博士前期課程の学生も後期課程の開講科目を履修し、これを前期課程修了要件の単位として加算することができる。また、指導教員と相談の上、論文指導の便宜のために重複履修した科目を修了単位として数えることができる。博士後期課程開講科目については、p.54以降の博士後期課程の頁を参照のこと。

## 【組織神学コース】

組織神学コースに所属するためには、神学部の組織神学系を修了、もしくはそれと同等の要件を満たしていなければならない。そのうえで、規定の教義神学科目（16単位以上）と選択科目（14単位以上〔聖書神学4単位と実践神学〈倫理神学・教会法・典礼・霊性〉6単位を含む〕）、および「研究指導」を履修し、最終試験と論文審査に合格すれば、修士（神学）の学位が取得できる。全世界のカトリック教会において共通な、教会法上の学位 STB (*Sacrae Theologiae Baccalaureatus*)、および STL (*Sacrae Theologiae Licentiatu*s) の学位取得を目指す者は、教皇庁神学部長に相談すること。

教義神学選択必修(16)	キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)(2) または キリスト論特講(2)	聖餐の秘跡(2)
	教会論特講(2)	ゆるしと叙階の秘跡(2)
	入信の秘跡(2)	結婚の秘跡(2)
	基礎神学 I / II (4)	現代カトリック教義学 I / II (4)
	恩恵論(2)	
	マリア論(2)	
選択(14) 【但し、聖書神学(4)、倫理神学・教会法・典礼・霊性より(6)を含む】	教父学(2) または 教父たちの思想特講(2)	日本キリスト教史(2)
	エキュメニズム I / II (4)	ギリシア教父学(2) 東方キリスト教学(2)
	キリスト教ラテン語原典研究(2)	教理史 I / II (4)

## 【キリスト教教育コース】

キリスト教教育コース（旧「キリスト教倫理・文化コース」・「実践神学コース」）に所属する者は、必修科目「キリスト教教育ゼミナール I～IV」を8単位、選択必修科目を10単位以上、自由選択科目を12単位以上履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Div (Master of Divinity) の学位が取得できる。自由選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

演習 必修(8)	キリスト教教育ゼミナール I～IV(8)	
人間学 選択必修(10)	キリスト教教育 I (2) キリスト教教育 II (2) キリスト教文学特講 I (2) キリスト教文学特講 II (2) 宗教倫理思想 I (2) 宗教倫理思想 II (2)	社会正義論(2) 平和学特講(2) キリスト教音楽美学研究 I (2) キリスト教音楽美学研究 II (2)
自由選択(12)		

## 【聖書神学コース】

聖書神学コースに所属する者は、必修科目「聖書神学研究ゼミナールⅠ～Ⅳ」（重複履修不可）を8単位、聖書釈義選択必修科目を10単位（2回まで同一科目の重複履修を認める）、自由選択科目を12単位以上履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Bib（Master of Biblical Studies）の学位が取得できる。自由選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

演習 必修 (8) ※重複履修は認めない	聖書神学研究ゼミナールⅠ（古代イスラエル史）(2) 聖書神学研究ゼミナールⅡ（旧約聖書原典批判）(2) 聖書神学研究ゼミナールⅢ(2) 聖書神学研究ゼミナールⅣ(2)
聖書釈義 選択必修 (10) ※2回まで同一科目の重複履修を認める	モーセ五書特講(2) 詩編と知恵特講(2) 預言者特講(2) パウロ特講(2) 新約文献特講(2)
自由選択(12)	

## 【宣教実務者コース】

宣教実務者コースの出願資格および修了要件は、以下のとおりである。

【出願資格】以下の条項のいずれかに該当すること。

- ① カトリック教会における教会法上の学位（STB, STL, STD）を有する者。
- ② キリスト教会において、司祭・牧師として正式に選任された聖職者。
- ③ 上智大学神学部「宣教実務系」を修了した者。

【修了要件】

- ① 本コースに属する学生は、指導教員のもとで各人のニーズに応じた履修計画を立て、博士前期課程の開講科目から1年間で30単位以上を履修する。
- ② 在学期間は、通常2年以上であるが、優れた業績を上げた者は、1年間の在学で足りるものとする。その場合、修士論文は課さないが、その代わりに指導教員のもとで、各自の「課題研究報告書」を作成し提出する。
- ③ 本コース修了者が上智大学神学研究科後期課程に進学を希望する場合は、修了要件②は適用されず在学期間は2年以上とし、さらに修士論文を完成させなければならない。



## 【11年～13次生】

※在學生は修了まで入学年度の要件とする

### 1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
▶選択科目	30		
└─┬─自専攻科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受け，修士論文の審査および最終試験に合格すること （「修士論文」は修了予定年次に履修登録すること）

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;教義学&gt;</b>			
キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)			2
教会論特講			2
入信の秘跡			2
聖餐の秘跡			2
ゆるしと叙階の秘跡			2
結婚の秘跡			2
基礎神学Ⅰ			2
基礎神学Ⅱ			2
恩恵論			2
マリア論			2
エキュメニズムⅠ			2
エキュメニズムⅡ			2
<b>&lt;教会史&gt;</b>			
日本キリスト教史			2
教父学(旧「教父たちの思想特講」)			2
東方キリスト教学			2
教理史Ⅰ			2
教理史Ⅱ			2
<b>&lt;組織神学：演習&gt;</b>			
現代カトリック教義学Ⅰ			2
現代カトリック教義学Ⅱ			2
キリスト教ラテン語原典研究			2
<b>&lt;倫理神学&gt;</b>			
倫理神学特講Ⅰ(良心と自然法)			2
倫理神学特講Ⅱ(いのちと性)			2
倫理神学特講Ⅲ(聖書と霊性)			2
倫理神学特講Ⅳ(徳と人格)			2
社会倫理特講			2
平和学特講			2
Conscience, Catholicism and Politics ※2016年度のみ開講			2
<b>&lt;教会法&gt;</b>			
教会法Ⅰ(秘跡法の入門と実践)			2
教会法Ⅱ(教会生活における法規と運用)			2
ゆるしの秘跡の司牧			2
<b>&lt;典 礼&gt;</b>			
宣教学特講Ⅰ			2
宣教学特講Ⅱ			2
典礼神学Ⅰ			2
典礼神学Ⅱ			2
典礼神学特講Ⅰ(実践基礎論)			2
典礼神学特講Ⅱ(原典研究)			2
典礼と霊性Ⅰ			2
典礼と霊性Ⅱ			2
<b>&lt;霊 性&gt;</b>			
現代の霊性Ⅰ(祈りの現代的意義)			2
現代の霊性Ⅱ(キリスト教的霊性の現代的展開)			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
現代司牧の諸問題Ⅰ(現代的カテキズム)			2
現代司牧の諸問題Ⅱ (日本におけるカトリック教会司牧とその使命)			2
<b>&lt;人間学&gt;</b>			
パストラル・ケア特講			2
キリスト教教育Ⅰ(旧「キリスト教教育」)			2
キリスト教教育Ⅱ (旧「人間教育とキリスト教演習」)			2
キリスト教文学特講Ⅰ (旧「キリスト教文学特講」)			2
宗教倫理思想Ⅰ(旧「宗教思想史」)			2
宗教倫理思想Ⅱ(旧「現代ユダヤ教思想」)			2
キリスト教音楽美学研究Ⅰ			2
キリスト教音楽美学研究Ⅱ			2
<b>&lt;演 習&gt;</b>			
キリスト教教育ゼミナールⅠ (旧「人間教育とキリスト教特講」)			2
キリスト教教育ゼミナールⅡ (旧「宗教思想史演習」)			2
キリスト教教育ゼミナールⅢ (旧「現代ユダヤ教思想演習」)			2
キリスト教教育ゼミナールⅣ (旧「平和学演習」)			2
キリスト教文学特講Ⅱ (旧「キリスト教文学演習」)			2
社会正義論(旧「社会倫理演習」)			2
<b>&lt;聖書釈義&gt;</b>			
「モーセ五書特講」 (旧「モーセ五書特講Ⅰ(釈義)」)			2
詩編と知恵特講 (旧「詩編と知恵特講Ⅰ(釈義)」)			2
預言者特講 (旧「預言者特講Ⅰ(預言者の使信)」)			2
パウロ特講 (旧「パウロ特講Ⅰ(伝記的・歴史的考察)」)			2
新約文献特講 (旧「新約文献特講Ⅰ(新約釈義の諸方法)」)			2
<b>&lt;聖書神学：演習&gt;</b>			
聖書神学研究ゼミナールⅠ(古代イスラエル史) (旧「旧約聖書演習Ⅰ(古代イスラエル史)」)			2
聖書神学研究ゼミナールⅡ(旧約聖書原典批判) (旧「旧約聖書演習Ⅱ(旧約聖書原典批判)」)			2
聖書神学研究ゼミナールⅢ (旧「新約聖書演習Ⅰ(共観福音書の釈義演習)」)			2
聖書神学研究ゼミナールⅣ (旧「新約聖書演習Ⅱ(ヨハネ文書の釈義演習)」)			2

### 3. 履修上の注意

- 1) 入学後指定の期日までに、「指導教員登録票」および「コース登録票」を研究科事務室に提出する。
- 2) 基本的には、選択科目を 30 単位以上履修し、必要な「研究指導」を受け、修士論文の審査および最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位を取得することができる。

上記以外に、組織神学コース、キリスト教教育コース（旧「キリスト教倫理・文化コース」「実践神学コース」）、聖書神学コース、宣教実務者コースのいずれかに属し、それぞれの要件を満たせば、上記の修士（神学）の学位に加えて、各コースの学位を取得することができる。

コースに所属するか否かに関わらず、履修すべき基礎的科目はそれぞれの学歴によって異なるため、あらかじめ研究科委員長の指導を受け、所属を志望するコースと指導教員を決めておくこと。

なお、「研究指導」を在学中毎学期受けること。2017 年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。また、「修士論文」は修了予定年次に履修登録すること。

- 3) ローマ数字（Ⅰ，Ⅱ，…）が付与された科目：括弧（ ）による副題の記載のあるものは、それぞれ単独で履修することができる。副題が記載されていないⅠおよびⅡの科目は、両方の履修が前提として授業が組み立てられている。

科目名に「特講」とある科目は、それに対応する学部ないし大学院開講科目の履修を前提として授業が進められる。

- 4) 担当教員の許可を得れば、神学研究科博士前期課程の学生も後期課程の開講科目を履修し、これを前期課程修了要件の単位として加算することができる。また、指導教員と相談の上、論文指導の便宜のために重複履修した科目を修了単位として数えることができる。博士後期課程開講科目については、p. 54 以降の博士後期課程の頁を参照のこと。

#### 【組織神学コース】

組織神学コースに所属するためには、神学部の組織神学副専攻または神学系の修了、もしくはそれと同等の要件を満たしていなければならない。規定の教義神学科目を 16 単位（必修 12 単位+選択必修 4 単位）以上、選択科目を 14 単位（聖書神学 4 単位と実践神学 6 単位を含む）以上履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、全世界のカトリック教会に共通な教会法上の学位 STB (*Sacrae Theologiae Baccalaureatus*) が取得できる。さらに、規定の選択必修科目を 18 単位以上履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、STL (*Sacrae Theologiae Licentiatu*) が取得できる。選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

教義神学必修(12)	キリスト論特講 (キリスト論と三位一体論) (2) または キリスト論特講(2)	聖餐の秘跡(2)
	教会論特講(2)	ゆるしと叙階の秘跡(2)
	入信の秘跡(2)	結婚の秘跡(2)
教義神学選択必修(4)	基礎神学Ⅰ／Ⅱ(4)	神学総論Ⅰ／Ⅱ(4)
	恩恵論(2)	現代カトリック教義学Ⅰ／Ⅱ(4)
	マリア論(2)	
選択(14) 【但し、聖書神学(4) 実践神学(6)を含む】	教父学(2)または 教父たちの思想特講(2)	日本キリスト教史(2)
	エキュメニズムⅠ／Ⅱ(4)	ギリシア教父学(2)・東方キリスト教学(2)
	キリスト教ラテン語原典研究(2)	教理史Ⅰ／Ⅱ(4)

STL 取得のためには神学総論を含めさらに 18 単位

【キリスト教倫理・文化コース】

キリスト教倫理・文化コース（旧実践神学コース）に所属する者は、規定の選択必修科目を 16 単位以上、自由選択科目を 14 単位以上履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Div（Master of Divinity）の学位が取得できる。自由選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

キリスト教倫理・文化 選択必修(16)	生命倫理(2)	ゆるしの秘跡の司牧(2)
	性の倫理特講(2)	典礼神学Ⅰ／Ⅱ(4)
	社会倫理特講(2) 平和学特講(2)	宣教学特講Ⅰ(2) 宣教学特講Ⅱ(2) または、説教学(2)
	教会法Ⅰ(秘跡法の入門と実践)(2) 教会法Ⅱ(教会生活における法規と運用)(2)	現代司牧の諸問題Ⅰ(現代のカテキズム)(2) 現代司牧の諸問題Ⅱ(日本におけるカトリック教会司牧とその使命)(2)
	現代の霊性Ⅰ(祈りの現代的意義)(2) 現代の霊性Ⅱ(キリスト教的霊性の現代的展開)(2)	パストラル・ケア特講(2)
	キリスト教音楽美学研究Ⅰ(2) キリスト教音楽美学研究Ⅱ(2)	倫理神学特講Ⅰ(良心と自然法)(2) 倫理神学特講Ⅱ(いのちと性)(2) 倫理神学特講Ⅲ(聖書と霊性)(2) 倫理神学特講Ⅳ(徳と人格)(2)
		典礼神学特講Ⅰ(実践基礎論)(2) 典礼神学特講Ⅱ(原典研究)(2)
自由選択(14)		

【聖書神学コース】

聖書神学コースに所属する者は、規定の聖書神学選択必修科目を 16 単位以上、自由選択科目を 14 単位以上履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Bib（Master of Biblical Studies）の学位が取得できる。自由選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

聖書神学選択必修(16)	モーセ五書特講(2) または モーセ五書特講Ⅰ(釈義)(2) モーセ五書特講Ⅱ(入門と神学)(2)	パウロ特講(2) または パウロ特講Ⅰ(伝記的・歴史的考察)(2) パウロ特講Ⅱ(釈義的・神学的考察)(2)
	詩編と知恵特講(2) または 詩編と知恵特講Ⅰ(釈義)(2) 詩編と知恵特講Ⅱ(入門と神学)(2)	新約文献特講(2) または 新約文献特講Ⅰ(新約釈義の諸方法)(2) 新約文献特講Ⅱ(新約諸文書の入門と神学)(2)
	預言者特講(2) または 預言者特講Ⅰ(預言者の使信)(2) 預言者特講Ⅱ(預言者と現代)(2)	聖書ギリシア語原典研究Ⅰ(物語文学の講読)(2) 聖書ギリシア語原典研究Ⅱ(書簡文学の講読)(2) 聖書ヒブル語原典研究Ⅰ(物語テキストの講読)(2) 聖書ヒブル語原典研究Ⅱ(韻文テキストの講読)(2)
	聖書神学研究ゼミナールⅠ (古代イスラエル史)(2) または 旧約聖書演習Ⅰ(古代イスラエル史)(2) 聖書神学研究ゼミナールⅡ (旧約聖書原典批判)(2) または 旧約聖書演習Ⅱ(旧約聖書原典批判)(2)	聖書神学研究ゼミナールⅢ(2) または 新約聖書演習Ⅰ(共観福音書の釈義演習)(2) 聖書神学研究ゼミナールⅣ(2) または 新約聖書演習Ⅱ(ヨハネ文書の釈義演習)(2)
自由選択(14)		

## 【10年次生以前】

※在學生は修了まで入学年度の要件とする。

## 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
・必修科目	6		
└論文研究	6		
・選択科目	24		
└自専攻科目			
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および最終試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文」を履修登録すること)

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;教義学&gt;</b>			
キリスト論特講(キリスト論と三位一体論)			2
教会論特講			2
入信の秘跡			2
聖餐の秘跡			2
ゆるしと叙階の秘跡			2
結婚の秘跡			2
基礎神学Ⅰ			2
基礎神学Ⅱ			2
恩恵論			2
マリア論			2
エキュメニズムⅠ			2
エキュメニズムⅡ			2
<b>&lt;教会史&gt;</b>			
日本キリスト教史			2
教父学(旧「教父たちの思想特講」)			2
東方キリスト教			2
教理史Ⅰ			2
教理史Ⅱ			2
<b>&lt;組織神学：演習&gt;</b>			
現代カトリック教義学Ⅰ			2
現代カトリック教義学Ⅱ			2
キリスト教ラテン語原典研究			2
<b>&lt;倫理神学&gt;</b>			
倫理神学特講Ⅰ(良心と自然法)			2
倫理神学特講Ⅱ(いのちと性)			2
倫理神学特講Ⅲ(聖書と霊性)			2
倫理神学特講Ⅳ(徳と人格)			2
Conscience, Catholicism and Politics ※2016年度のみ開講			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
社会倫理特講			2
平和学特講			2
<b>&lt;教会法&gt;</b>			
教会法Ⅰ(秘跡法の入門と実践)			2
教会法Ⅱ(教会生活における法規と運用)			2
ゆるしの秘跡の司牧			2
<b>&lt;典 礼&gt;</b>			
宣教学特講Ⅰ			2
宣教学特講Ⅱ			2
典礼神学Ⅰ			2
典礼神学Ⅱ			2
典礼神学特講Ⅰ(実践基礎論)			2
典礼神学特講Ⅱ(原典研究)			2
典礼と霊性Ⅰ			2
典礼と霊性Ⅱ			2
<b>&lt;霊 性&gt;</b>			
現代の霊性Ⅰ(祈りの現代的意義)			2
現代の霊性Ⅱ(キリスト教的霊性の現代的展開)			2
現代司牧の諸問題Ⅰ(現代的カテキズム)			2
現代司牧の諸問題Ⅱ (日本におけるカトリック教会司牧とその使命)			2
<b>&lt;人間学&gt;</b>			
パストラル・ケア特講			2
キリスト教教育Ⅰ (旧「キリスト教教育」)			2
キリスト教教育Ⅱ (旧「人間教育とキリスト教演習」)			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
キリスト教文学特講Ⅰ (旧「キリスト教文学特講」)			2
宗教倫理思想Ⅰ (旧「宗教思想史」)			2
宗教倫理思想Ⅱ (旧「現代ユダヤ教思想」)			2
社会正義論 (旧「社会倫理演習」)			2
キリスト教音楽美学研究Ⅰ			2
キリスト教音楽美学研究Ⅱ			2
<b>&lt;キリスト教倫理・文化：演習&gt;</b>			
キリスト教教育ゼミナールⅠ (旧「人間教育とキリスト教特講」)			2
キリスト教教育ゼミナールⅡ (旧「宗教思想史演習」)			2
キリスト教教育ゼミナールⅢ (旧「現代ユダヤ教思想演習」)			2
キリスト教教育ゼミナールⅣ (旧「平和学演習」)			2
キリスト教文学特講Ⅱ (旧「キリスト教文学演習」)			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;聖書釈義&gt;</b>			
「モーセ五書特講」 (旧「モーセ五書特講Ⅰ（釈義）」)			2
詩編と知恵特講 (旧「詩編と知恵特講Ⅰ（釈義）」)			2
預言者特講 (旧「預言者特講Ⅰ（預言者の使信）」)			2
パウロ特講 (旧「パウロ特講Ⅰ（伝記的・歴史的考察）」)			2
新約文献特講 (旧「新約文献特講Ⅰ（新約釈義の諸方法）」)			2
<b>&lt;聖書神学：演習&gt;</b>			
聖書神学研究ゼミナールⅠ（古代イスラエル史） (旧「旧約聖書演習Ⅰ（古代イスラエル史）」)			2
聖書神学研究ゼミナールⅡ（旧約聖書原典批判） (旧「旧約聖書演習Ⅱ（旧約聖書原典批判）」)			2
聖書神学研究ゼミナールⅢ (旧「新約聖書演習Ⅰ（共観福音書の釈義演習）」)			2
聖書神学研究ゼミナールⅣ (旧「新約聖書演習Ⅱ（ヨハネ文書の釈義演習）」)			2
<b>&lt;論文研究&gt;</b>			
論文研究	6		

### 3. 履修上の注意

1) 基本的には、選択科目を24単位以上と「論文研究」(6単位)を履修し、修士論文の審査および最終試験に合格すれば、修士(神学)の学位が取得できる。

また、組織神学コース、キリスト教倫理・文化コース(旧実践神学コース)、聖書神学コースのいずれかに所属し、それぞれの要件を満たせば、修士(神学)の学位に加えて、各コースの学位が取得できる。

コースに所属するか否かに関わらず、履修すべき基礎的科目はそれぞれの学歴によって異なるため、あらかじめ研究科委員長の指導を受け、所属を志望するコースと指導教員を決めておくこと。

なお、「論文研究」は2年次に履修登録し、「修士論文」は修了予定年次に履修登録すること。

2) ローマ数字(I, II, …)が付与された科目：括弧( )による副題の記載のあるものは、それぞれを単独で履修することができる。副題が記載されていないIおよびIIの科目は、両方の履修が前提として授業が組み立てられている。

科目名に「特講」とある科目は、それに対応する学部ないし大学院開講科目の履修を前提として授業が進められる。

3) 担当教員の許可を得れば、神学研究科博士前期課程の学生も後期課程の開講科目を履修し、これを前期課程修了要件の単位として加算することができる。また、指導教員と相談の上、論文指導の便宜のために重複履修した科目を修了単位として数えることができる。博士後期課程開講科目については、p.54以降の博士後期課程の頁を参照のこと。

## 【組織神学コース】

組織神学コースに所属するためには、神学部の組織神学副専攻の修了もしくはそれと同等の要件を満たしていなければならない。規定の教義神学科目を16単位（必修12単位＋選択必修4単位）以上、選択科目を14単位（聖書神学4単位と実践神学6単位を含む）以上、および「論文研究」（6単位）を履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、全世界のカトリック教会に共通な教会法上の学位STB (*Sacrae Theologiae Baccalaureatus*) が取得できる。さらに、規定の選択必修科目を18単位以上履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、STL (*Sacrae Theologiae Licentiatus*) が取得できる。選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

教義神学必修(12)	キリスト論特講（キリスト論と三位一体論）(2) または キリスト論特講(2)	聖餐の秘跡(2)
	教会論特講(2)	ゆるしと叙階の秘跡(2)
	入信の秘跡(2)	結婚の秘跡(2)
教義神学選択必修(4)	基礎神学Ⅰ／Ⅱ(4)	神学総論Ⅰ／Ⅱ(4)
	恩恵論(2)	現代カトリック教義学Ⅰ／Ⅱ(4)
	マリア論(2)	
選択(14) 【但し、聖書神学(4) 実践神学(6)を含む】	教父学(2) または、 教父たちの思想特講(2)	日本キリスト教史特講(2)
	エキュメニズムⅠ／Ⅱ(4)	ギリシア教父学(2) 東方キリスト教学(2)
	キリスト教ラテン語原典研究(2)	教理史Ⅰ／Ⅱ(4)
論文研究(6)		

## 【キリスト教倫理・文化コース】

キリスト教倫理・文化コース（旧実践神学コース）に所属する者は、規定の選択必修科目を16単位以上、自由選択科目を8単位以上、および「論文研究」（6単位）を履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Div (Master of Divinity) の学位が取得できる。自由選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

キリスト教倫理・文化選択必修(16)	生命倫理(2)	ゆるしの秘跡の司牧(2)
	性の倫理特講(2)	典礼神学Ⅰ／Ⅱ(4)
	社会倫理特講(2) 平和学特講(2)	宣教学特講Ⅰ(2) 宣教学特講Ⅱ(2) または 説教学(2)
	教会法Ⅰ(秘跡法の入門と実践)(2) 教会法Ⅱ(教会生活における法規と運用)(2)	現代司牧の諸問題Ⅰ(現代のカテキズム)(2) 現代司牧の諸問題Ⅱ(日本におけるカトリック教会司牧とその使命)(2)
	現代の霊性Ⅰ(祈りと現代的意義)(2) 現代の霊性Ⅱ(キリスト教的霊性の現代的展開)(2) 典礼と霊性Ⅰ／Ⅱ(4)	パストラル・ケア特講(2)
	キリスト教音楽美学研究Ⅰ／Ⅱ(4)	倫理神学特講Ⅰ(良心と自然法)(2) 倫理神学特講Ⅱ(いのちと性)(2) 倫理神学特講Ⅲ(聖書と霊性)(2) 倫理神学特講Ⅳ(徳と人格)(2)
		典礼神学特講Ⅰ(実践基礎論)(2) 典礼神学特講Ⅱ(原典研究)(2)
	自由選択(8)	
論文研究(6)		

## 【聖書神学コース】

聖書神学コースに所属する者は、規定の聖書神学選択必修科目を 16 単位以上、自由選択科目を 8 単位以上、および「論文研究」（6 単位）を履修し、論文審査と最終試験に合格すれば、修士（神学）の学位に加えて、M. Bib (Master of Biblical Studies) の学位が取得できる。自由選択科目は、神学研究科の他のコースのものを履修してもよい。

聖書神学選択必修(16)	モーセ五書特講 (2) または モーセ五書特講 I (釈義) (2) モーセ五書特講 II (入門と神学) (2)	パウロ特講 (2) または パウロ特講 I (伝記的・歴史的考察) (2) パウロ特講 II (釈義的・神学的考察) (2)
	詩編と知恵特講 (2) または 詩編と知恵特講 I (釈義) (2) 詩編と知恵特講 II (入門と神学) (2)	新約文献特講 (2) または 新約文献特講 I (新約釈義の諸方法) (2) 新約文献特講 II (新約諸文書の入門と神学) (2)
	預言者特講 (2) または 預言者特講 I (預言者の使信) (2) 預言者特講 II (預言者と現代) (2)	聖書ギリシア語原典研究 I (物語文学の講読) (2) 聖書ギリシア語原典研究 II (書簡文学の講読) (2)
	聖書ヒブル語原典研究 I (物語テキストの講読) (2) 聖書ヒブル語原典研究 II (韻文テキストの講読) (2)	聖書神学研究ゼミナール III (2) または 新約聖書演習 I (共観福音書の釈義演習) (2) 聖書神学研究ゼミナール IV または 新約聖書演習 II (ヨハネ文書の釈義演習) (2)
聖書神学研究ゼミナール I (古代イスラエル史) (2) または 旧約聖書演習 I (古代イスラエル史) (2) 聖書神学研究ゼミナール II (旧約聖書原典批判) (2) または 旧約聖書演習 II (旧約聖書原典批判) (2)		
自由選択 (8)		
論文研究 (6)		



## 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	備考
MTH7041	春	聖餐の秘跡	THE704	2	具 正 謨	隔年開講
MTH7051	春	ゆるしと叙階の秘跡	THE705	2	(他)山 岡 三 治	隔年開講
MTH7061	春	結婚の秘跡	THE706	2	*菅 原 裕 二	隔年開講, 集中講義
MTH7081	春	基礎神学Ⅱ	THE708	2	川 中 仁	隔年開講
MTH7101	春	マリア論	THE710	2	光 延 一 郎	隔年開講
MTH7161	春	東方キリスト教学	THE716	2	*中 西 裕 一	
MTH7241	春	倫理神学特講Ⅰ(良心と自然法)	THE724	2	竹 内 修 一	隔年開講
MTH7321	春	ゆるしの秘跡の司牧	THE732	2	*菅 原 裕 二	隔年開講, 集中講義
MTH7371	春	典礼神学特講Ⅱ(原典研究)	THE737	2	*石 井 祥 裕	隔年開講
MTH7391	春	現代の霊性Ⅱ (キリスト教的霊性の現代的展開)	THE739	2	*小 暮 康 久	隔年開講, 集中講義
MTH7421	春	現代司牧の諸問題Ⅱ (日本におけるカトリック教会司牧とその使命)	THE742	2	*阿 部 仲麻呂	隔年開講
MTH7441	春	パストラル・ケア特講	THE744	2	(他)武 田 なほみ	隔年開講, 死生学専攻「生涯発達論研究Ⅱ」と合併科目
MTH7502	春	キリスト教教育ゼミナールⅣ	THE750	2	小 山 英 之	隔年開講, 旧「平和学演習」
MTH7542	春	キリスト教教育ゼミナールⅢ	THE754	2	HAIDAR Juan	隔年開講 旧「現代ユダヤ教思想演習」
MTH7562	春	モーセ五書特講	THE756	2	佐久間 勤	隔年開講, 旧「モーセ五書特講Ⅰ(釈義)」
MTH7732	春	聖書神学研究ゼミナールⅣ	THE773	2	山 中 大 樹	隔年開講, 旧「新約聖書演習Ⅱ (ヨハネ文書の釈義演習)」
MTH7751	春	キリスト教音楽美学研究Ⅰ	THE775	2	森 裕 子	
MTH7755	春	宣教学特講Ⅰ	THE779	2	原 敬 子	
MTH7011	春	キリスト論特講 (キリスト論と三位一体論)	THE701	2	川 中 仁	
MTH7021	秋	教会論特講	THE702	2	川 中 仁	
MTH7111	秋	エキュメニズムⅠ	THE711	2	(他)山 岡 三 治	隔年開講 死生学専攻「実践宗教学研究Ⅰ」と合併科目
MTH7131	秋	日本キリスト教史	THE713	2	(他)川 村 信 三	隔年開講
MTH7231	秋	キリスト教ラテン語原典研究	THE723	2	*平 林 冬 樹	
MTH7271	秋	倫理神学特講Ⅳ(徳と人格)	THE727	2	竹 内 修 一	隔年開講
MTH7341	秋	典礼神学Ⅰ	THE734	2	具 正 謨	隔年開講
MTH7432	秋	キリスト教文学特講Ⅰ	THE743	2	片 山 はるひ	隔年開講 旧「キリスト教文学特講」
MTH7453	秋	キリスト教教育Ⅱ	THE746	2	瀬 本 正 之	隔年開講 旧「人間教育とキリスト教演習」
MTH7492	秋	社会正義論	THE749	2	(他)AUGUSTINE Sali	隔年開講, 旧「社会倫理演習」
MTH7602	秋	預言者特講	THE760	2	月 本 昭 男	隔年開講 旧「預言者特講Ⅰ(預言者の使信)」
MTH7622	秋	パウロ特講	THE762	2	*朴 憲 郁	旧「パウロ特講Ⅰ(伝記的・歴史的考察)」
MTH7642	秋	宗教倫理思想Ⅰ	THE764	2	(他)高 山 貞 美	隔年開講, 旧「宗教思想史」 死生学専攻「宗教学研究」と合併科目
MTH7712	秋	聖書神学研究ゼミナールⅡ (旧約聖書原典批判)	THE771	2	佐久間 勤	隔年開講 旧「旧約聖書演習Ⅱ(旧約聖書原典批判)」

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MTTH7752	秋	キリスト教音楽美学研究Ⅱ	THE776	2	森 裕 子	
MTTH7754	秋	典礼と霊性Ⅱ	THE778	2	FIRMANSYAH Antonius	隔年開講
MTTH7756	秋	宣教学特講Ⅱ	THE780	2	原 敬 子	
MTTH7757	秋	教父学	THE781	2	*手塚 奈々子	旧「教父たちの思想特講」
MTTH9010	秋	修士論文	THE899	0	神学専攻各指導教員	M2対象
MTTH7031	休講	入信の秘跡	THE703	2		隔年開講
MTTH7071	休講	基礎神学Ⅰ	THE707	2		隔年開講
MTTH7091	休講	恩恵論	THE709	2		隔年開講
MTTH7121	休講	エキュメニズムⅡ	THE712	2		隔年開講
MTTH7171	休講	教理史Ⅰ	THE717	2		隔年開講
MTTH7181	休講	教理史Ⅱ	THE718	2		隔年開講
MTTH7211	休講	現代カトリック教義学Ⅰ	THE721	2		隔年開講
MTTH7221	休講	現代カトリック教義学Ⅱ	THE722	2		隔年開講
MTTH7251	休講	倫理神学特講Ⅱ（いのちと性）	THE725	2		隔年開講
MTTH7261	休講	倫理神学特講Ⅲ（聖書と霊性）	THE726	2		隔年開講
MTTH7281	休講	社会倫理特講	THE728	2		隔年開講
MTTH7291	休講	平和学特講	THE729	2		隔年開講
MTTH7301	休講	教会法Ⅰ（秘跡法の入門と実践）	THE730	2		隔年開講，集中講義
MTTH7311	休講	教会法Ⅱ （教会生活における法規と運用）	THE731	2		隔年開講，集中講義
MTTH7351	休講	典礼神学Ⅱ	THE735	2		隔年開講
MTTH7361	休講	典礼神学特講Ⅰ（実践基礎論）	THE736	2		隔年開講
MTTH7381	休講	現代の霊性Ⅰ（祈りの現代的意義）	THE738	2		隔年開講，集中講義
MTTH7452	休講	キリスト教教育Ⅰ	THE745	2		隔年開講，旧「キリスト教教育」
MTTH7472	休講	宗教倫理思想Ⅱ	THE747	2		隔年開講，旧「現代ユダヤ教思想」
MTTH7482	休講	キリスト教教育ゼミナールⅠ	THE748	2		隔年開講 旧「人間教育とキリスト教特講」
MTTH7522	休講	キリスト教文学特講Ⅱ	THE752	2		隔年開講，旧「キリスト教文学演習」
MTTH7532	休講	キリスト教教育ゼミナールⅡ	THE753	2		隔年開講，旧「宗教思想史演習」
MTTH7582	休講	詩編と知恵特講	THE758	2		隔年開講，旧「詩編と知恵特講Ⅰ（釈義）」
MTTH7632	休講	新約文献特講	THE763	2		隔年開講 旧「新約文献特講Ⅰ（新約釈義の諸方法）」
MTTH7702	休講	聖書神学研究ゼミナールⅠ （古代イスラエル史）	THE770	2		隔年開講 旧「旧約聖書演習Ⅰ（古代イスラエル史）」
MTTH7722	休講	聖書神学研究ゼミナールⅢ	THE772	2		隔年開講 旧「新約聖書演習Ⅰ（共観福音書の釈義演習）」
MTTH7741	休講	現代司牧の諸問題Ⅰ （現代的カテキズム）	THE774	2		隔年開講
MTTH7753	休講	典礼と霊性Ⅰ	THE777	2		隔年開講

## 5. 研究指導一覧表

2011年次生以降対象科目であることに注意すること。

ナンバリング	担当教員名	備考
THE888	佐久間 勤	
	光 延 一 郎	休講（秋）
	瀬 本 正 之	
	片 山 はるひ	
	竹 内 修 一	
	具 正 謨	
	HAIDAR Juan	
	川 中 仁	
	小 山 英 之	
	森 裕 子	

【17年次生以降】

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
▶選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【11～16年次生】

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
▶選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【10年次生以前】

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
▶選択科目			
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

自立した研究者として, 当該分野・領域における独創的研究をとおして, カトリックの教会と世界に貢献できる能力が認められること。

- 1) 問題設定：問題意識が明確で, 課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解：先行研究を適切に理解・検討・吟味していること。
- 3) 研究方法：研究目的に対して, 研究計画・研究方法・分析・展開・統合が適切であること。
- 4) 論文構成：論文構成が的確で, 論理展開に整合性・一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ：当該分野・領域において, 学術的・教会的・社会的な意義が適切に認められること。
- 6) 独創性：全体を通して, 学術的独創性が認められること。
- 7) 形式面：以下の形式面が整っていること。
  - ①序論, 本論（章・節）, 結論にわたって, 構成が適切であり, 目次によって全体の論旨・展開が概観できること。
  - ②文章が明快で, 論旨が明晰判明に理解可能であること。
  - ③引用の方法・内容が適切で, 引用文献表が簡潔に整えられていること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;組織神学研究&gt;</b>			
組織神学研究 I			2
組織神学研究 II			2
組織神学研究 III			2
組織神学研究 IV			2
<b>&lt;聖書学研究&gt;</b>			
旧約聖書研究 I			2
旧約聖書研究 II			2
新約聖書研究 I			2
新約聖書研究 II			2
<b>&lt;実践神学研究&gt;</b>			
倫理神学研究 I			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
倫理神学研究 II			2
実践神学研究 I			2
実践神学研究 II			2
霊性神学研究 I			2
霊性神学研究 II			2
<b>&lt;キリスト教文化研究&gt;</b>			
教会史研究 I			2
教会史研究 II			2
キリスト教思想研究 I			2
キリスト教思想研究 II			2
キリスト教人間学研究 I			2
キリスト教人間学研究 II			2

## 3. 履修上の注意

- 入学後一ヶ月以内に、学位（博士）論文のテーマと研究指導者を研究科事務室にて登録する。
- 修了要件は、(a)研究指導および(b)教育訓練からなる。また、博士論文の執筆条件として、(c)博士論文執筆資格試験（コンプリヘンシヴ）の合格が前提となる。
  - 研究指導は、上記開講科目および前期課程開講科目の受講、博士論文作成の指導を受けることによって行われる。さらに、学会での研究発表（学会誌等論文掲載を含む）が義務づけられる。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
  - 教育訓練は、研究科教員の講義・演習科目において授業指導を行うことによって充当される。その際、同訓練は、研究指導者ないし研究科委員長が適当と認める方法によって行われる。
  - 博士論文執筆資格試験は、適当な時期に公開口述試験の形で行われる。同試験は、①組織神学全般に関する総合的な試問、および②博士論文のテーマに関わる研究分野の専門的知識を問う試問からなる。そのために、①には「選択書籍表」、②には「論文の計画素案（proposal）」の事前提出が求められる。本試験に合格した時点で、学位（博士）論文のテーマがリザーブされ、博士論文の執筆が承認される。  
なお、上記の①もしくは②の公開口述試験に二度不合格となった場合は、上智大学大学院学則第29条(3)によって中途退学となる。
- 博士課程修了、満期退学等には、上記の修了要件を満たす必要がある。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
DTTH7210	春	組織神学研究Ⅰ	THE921	2	光延 一郎	
DTTH7230	休講	組織神学研究Ⅲ	THE923	2		
DTTH7250	春	旧約聖書研究Ⅰ	THE925	2	月本 昭男	
DTTH7270	春	新約聖書研究Ⅰ	THE927	2	川中 仁	
DTTH7290	春	倫理神学研究Ⅰ	THE929	2	竹内 修一	
DTTH7310	春	実践神学研究Ⅰ	THE931	2	具 正謨	
DTTH7330	春	霊性神学研究Ⅰ	THE933	2	山岡 三治	
DTTH7350	春	教会史研究Ⅰ	THE935	2	川村 信三	
DTTH7370	春	キリスト教思想研究Ⅰ	THE937	2	HAIDAR Juan	
DTTH7390	春	キリスト教人間学研究Ⅰ	THE939	2	片山 はるひ	
DTTH7220	休講	組織神学研究Ⅱ	THE922	2		
DTTH7240	休講	組織神学研究Ⅳ	THE924	2		
DTTH7260	秋	旧約聖書研究Ⅱ	THE926	2	佐久間 勤	
DTTH7280	秋	新約聖書研究Ⅱ	THE928	2	川中 仁	
DTTH7300	秋	倫理神学研究Ⅱ	THE930	2	竹内 修一	
DTTH7320	秋	実践神学研究Ⅱ	THE932	2	具 正謨	
DTTH7340	秋	霊性神学研究Ⅱ	THE934	2	山岡 三治	
DTTH7360	秋	教会史研究Ⅱ	THE936	2	川村 信三	
DTTH7380	秋	キリスト教思想研究Ⅱ	THE938	2	HAIDAR Juan	
DTTH7400	秋	キリスト教人間学研究Ⅱ	THE940	2	片山 はるひ	

※ 曜日および時限については受講生と相談の上、決定する。

#### 5. 研究指導一覧表

2011年次生以降対象科目であることに注意すること。

ナンバリング	担当教員名	備考
THE988	佐久間 勤	
	光延 一郎	休講(秋)
	瀬本 正之	
	片山 はるひ	
	竹内 修一	
	具 正謨	
	HAIDAR Juan	
	川中 仁	
	小山 英之	
	森 裕子	

# 哲学研究科

## 1. 哲学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

古代から中世を経て現代へ至る西洋哲学の伝統を研究する。また芸術・文化・宗教のあり方を根本から考え、現代社会が直面する多様な倫理的問題に対して、原理的な仕方掘り下げる。

前期課程では、原典テキストの読解を中心に思想史研究の基本を学ぶ。後期課程は主として専門研究者の育成を目標とする。

## 2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 哲学専攻

#### 【博士前期課程】

本課程は、哲学専修コースおよび現代思想コースの2つのコースを設置しています。哲学専修コースでは、古代から中世を経て近代へ至る西洋哲学の長い歴史をふまえて、科学、芸術、文化、宗教のあり方を根本から考えるとともに、哲学の文献研究の基礎を学びます。現代思想コースでは、現代的な視座から哲学の根本問題を考察し、環境、生命、医療など現代社会が直面する多様な倫理的問題をとりあげます。

#### 【博士後期課程】

本課程では、高度な専門的研究者の養成、すなわち、大学や短大などでの哲学教育の担当者のみならず、国際的な場においても活躍できるような哲学研究者の養成をめざします。

## 3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

### 哲学専攻

#### 【博士前期課程】

本課程では、所定の科目を履修し、指導教員のもとで、修士論文のテーマを決め、研究指導により特別な指導を受け、論文の審査に合格した学生に修士（哲学）の学位を授与します。

#### 【博士後期課程】

本課程では、以下の要件を満たしたうえで、博士論文が正式に受理され、審査に合格した学生に博士（哲学）の学位を授与します。

1. 本課程において、研究指導教員に1年間以上にわたり研究指導を受けたのちに研究企画書を研究科委員会に提出し、博士論文提出に関しあらかじめ研究科委員会の承認を得ていること。
2. 研究発表：上智大学哲学会での研究発表・全国規模の専門学会での複数の研究発表。
3. 刊行論文：3点以上の刊行論文。



1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【14～15年次生 哲学専修コース（Aコース）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学総合演習 A	2		
└ 哲学総合演習 B	2		
▶ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから10単位を選ぶ
▶ 選択科目	16		
└ 自専攻科目			
└ 委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【14～15年次生 現代思想コース（Bコース）】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学総合演習 A	2		
└ 哲学総合演習 B	2		
▶ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから4単位 研究科目群のなかから6単位を選ぶ
▶ 選択科目	16		
└ 自専攻科目			
└ 委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

- 1) 問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で, 妥当な問題を設定していること。
- 2) 研究方法：文献研究の場合, 原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
- 3) 論文構成：論文全体の構成, 論旨の展開が明確で, 説得力がある文章で書かれていること。
- 4) 研究の位置づけ：研究史に鑑み, 自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
- 5) 独創性：哲学研究への何らかの積極的な貢献を果たす意義を持っていること。
- 6) 論文の形式：論文としての十分な紙幅, 註や参考文献の適切な指示がなされていること。
- 7) 研究の倫理：資料の改竄, 剽窃, 盗作などが一切ないこと。
- 8) 指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。

## 2. 授業科目の編成・単位

### 哲学専修コース（Aコース）・現代思想コース（Bコース）

科目名	単位数				
	必修	Aコース		Bコース	
		選必	選択	選必	選択
<b>&lt;文献研究科目群&gt;</b>					
古代哲学文献研究 I A		2		2	
古代哲学文献研究 II		2		2	
中世哲学文献研究 I A		2		2	
中世哲学文献研究 I B		2		2	
中世哲学文献研究 III		2		2	
近代哲学文献研究 I A		2		2	
近代哲学文献研究 I B		2		2	
近代哲学文献研究 II A		2		2	
近代哲学文献研究 III		2		2	
近代哲学文献研究 IV B		2		2	

科目名	単位数				
	必修	Aコース		Bコース	
		選必	選択	選必	選択
<b>&lt;研究科目群&gt;</b>					
現代哲学研究 I A			2	2	
現代哲学研究 I B			2	2	
現代倫理学研究 II A			2	2	
現代倫理学研究 II B			2	2	
美学芸術学研究 I			2	2	
美学芸術学研究 II			2	2	
日本思想研究			2	2	
東洋思想研究			2	2	
宗教思想研究			2		2
哲学総合演習 A ※注 1	2				
哲学総合演習 B ※注 1	2				

哲学専修コース（Aコース）の選択必修は  
<文献研究科目群>より10単位

現代思想コース（Bコース）の選択必修は  
<文献研究科目群>より4単位

<研究科目群>より6単位

それ以上の単位は選択科目として扱う

※注 1：哲学総合演習（4単位）は2015年度よりA（春学期2単位）、B（秋学期2単位）に分割された。

## 3. 履修上の注意

- 1) 前期課程において必要な履修単位は30単位とする。
- 2) 「研究指導(必修)」を、在学中毎学期受けること。
- 3) 前期課程の学生は入学後一年以内に、修士論文のテーマと希望する指導教員名を専攻主任に申しなければならぬ。委員会はそれを考慮して指導教員を指定する。
- 4) 前期課程において学生の研究上必要と認められるときは、協定他大学および本学の他の研究科の開講科目を履修させ、これを委員会が計8単位まで必要単位として認定する。
- 5) 哲学総合演習 AB（合計4単位）は前期課程1年次生用の必修である。それ以外に2年次以降、継続して履修を希望する場合は、選択科目として扱う。

#### 4. 開講科目一覧表

文学研究科哲学専攻（p. 75）の開講科目一覧を参照すること。

なお、文学研究科哲学専攻の設置に伴い、科目名が変更となっているものの対応については、以下の表による。対応する科目は同一科目とみなす。

2015年度以前の開講科目	2016年度以降の開講科目
古代哲学文献研究ⅠA	古代哲学文献研究Ⅰ
中世哲学文献研究ⅠA	中世哲学文献研究Ⅰ
中世哲学文献研究ⅠB	中世哲学文献研究Ⅱ
近代哲学文献研究ⅠA	近代哲学文献研究Ⅰ
近代哲学文献研究ⅠB	近代哲学文献研究Ⅱ
近代哲学文献研究ⅡA	近代哲学文献研究Ⅲ
近代哲学文献研究Ⅲ	近代哲学文献研究Ⅳ
近代哲学文献研究ⅣB	近代哲学文献研究Ⅴ
現代哲学研究ⅠA	現代哲学研究Ⅰ
現代哲学研究ⅠB	現代哲学研究Ⅱ
現代倫理学研究ⅡA	現代倫理学研究Ⅰ
現代倫理学研究ⅡB	現代倫理学研究Ⅱ

#### 5. 研究指導一覧表

文学研究科哲学専攻（p. 75）の研究指導一覧を参照すること。

## 哲学専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【15年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	20		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学特殊研究A	2		
└ 哲学特殊研究B	2		
▶ 選択科目	16		
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

#### 【12～14年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	20		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学特殊研究	4		
▶ 選択科目	16		
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

#### 【博士論文審査基準】

- 1) 問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で, 妥当な問題を設定していること。
- 2) 研究方法：文献研究の場合, 原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
- 3) 論文構成：論文全体の構成, 論旨の展開が明確で, 説得力がある文章で書かれていること。
- 4) 研究の位置づけ：研究史に鑑み, 自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
- 5) 独創性：従来の研究にない独自の貢献を付け加える意義を持っていること。
- 6) 論文の形式：論文としての十分な紙幅, 註や参考文献の適切な指示がなされていること。
- 7) 研究の倫理：資料の改竄, 剽窃, 盗作などが一切ないこと。
- 8) 指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。
- 9) 学会発表：論文を書くにあたって, それを構成する部分が, 複数の専門学会での口頭発表, 投稿論文などによる研究成果をふまえていること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
古代哲学文献研究 I A			2
古代哲学文献研究 II			2
中世哲学文献研究 I A			2
中世哲学文献研究 I B			2
中世哲学文献研究 II A			2
近代哲学文献研究 I A			2
近代哲学文献研究 I B			2
近代哲学文献研究 II A			2
近代哲学文献研究 III			2
近代哲学文献研究 IV B			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
現代哲学研究 I A			2
現代哲学研究 I B			2
現代倫理学研究 II A			2
現代倫理学研究 II B			2
美学芸術学研究 I			2
美学芸術学研究 II			2
日本思想研究			2
東洋思想研究			2
哲学特殊研究 A ※注1	2		
哲学特殊研究 B ※注1	2		

※注1：2015年度より A（春学期2単位） B（秋学期2単位）に分割された。

## 3. 履修上の注意

- 1) 後期課程において必要な履修単位数は20単位とする。
- 2) 「研究指導（必修）」を、在学中毎学期受けること。
- 3) 後期課程の学生は入学当初に、研究テーマと希望する指導教員名を専攻主任に申告しなければならない。委員会はそれを考慮して指導教員を指定する。
- 4) 後期課程の学生は毎学期指導教員の授業に出席し、その指示に従って研究し、研究状況を指導教員に報告し、その成果を毎年発表しなくてはならない。
- 5) 後期課程に入学した学生で、前期課程必修科目の「哲学総合演習」を未履修者は、指導教員と専攻主任の許可を受けた上で、この科目4単位を後期課程の選択科目として履修し、必要単位数に充当することができる。
- 6) 後期課程において学生は研究の必要上、協定他大学および本学の他の研究科の授業を履修することはできるが、それによって必要単位数に充当することはできない。
- 7) 12年次生以降の学生は「哲学特殊研究」4単位必修。15年次生の学生は「哲学特殊研究A」2単位「哲学特殊研究B」2単位の合計4単位必修。それ以外に2年次以降、継続して履修を希望する場合は、この両科目とも選択科目として扱う。

#### 4. 開講科目一覧表

文学研究科哲学専攻（p. 78）の開講科目一覧を参照すること。

なお、文学研究科哲学専攻の設置に伴い、科目名が変更となっているものの対応については、以下の表による。対応する科目は同一科目とみなす。

2015 年度以前の開講科目	2016 年度以降の開講科目
古代哲学文献研究 I A	哲学特殊研究・古代 I
古代哲学文献研究 II	哲学特殊研究・古代 II
中世哲学文献研究 I A	哲学特殊研究・中世 I
中世哲学文献研究 I B	哲学特殊研究・中世 II
中世哲学文献研究 II A	哲学特殊研究・中世 III
近代哲学文献研究 I A (旧) 近世哲学文献研究 I A	哲学特殊研究・近代 I
近代哲学文献研究 I B (旧) 近世哲学文献研究 I B	哲学特殊研究・近代 II
近代哲学文献研究 II A	哲学特殊研究・近代 III
近代哲学文献研究 III (旧) 近世哲学文献研究 III A	哲学特殊研究・近代 IV
近代哲学文献研究 IV B	哲学特殊研究・近代 V
現代哲学研究 I A (旧) 現代哲学文献研究 II A	哲学特殊研究・現代 I
現代哲学研究 I B (旧) 現代哲学文献研究 II B	哲学特殊研究・現代 II
現代倫理学研究 II A (旧) 倫理学特殊問題 III	哲学特殊研究・現代倫理学 I
現代倫理学研究 II B (旧) 倫理学特殊問題 IV	哲学特殊研究・現代倫理学 II
美学芸術学研究 I (旧) 美学芸術学 I	哲学特殊研究・美学芸術学 I
美学芸術学研究 II (旧) 美学芸術学 II	哲学特殊研究・美学芸術学 II
日本思想研究 (旧) 日本思想文献研究	哲学特殊研究・日本思想
東洋思想研究 (旧) 東洋思想文献研究	哲学特殊研究・東洋思想

#### 5. 研究指導一覧表

文学研究科哲学専攻（p. 78）の研究指導一覧を参照すること。

# 文学研究科

哲学専攻

史学専攻

国文学専攻

英米文学専攻

ドイツ文学専攻

フランス文学専攻

新聞学専攻

文化交渉学専攻

## 1. 文学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

幅広い教養と柔軟な思考力を持ち、世界と未来に開かれた新しい知を創造する力を伸ばすために、文化の総体の探究、現代社会との連結、語学能力の重視に重点を置いた実践教育を行い、社会、文化の発展に貢献しうる人材を養成する。

前期課程では、研究者の養成を目指すとともに、高度な専門知識によって職業的能力を向上させる。後期課程では、国際的な水準で広く活躍し、将来、各々の分野で研究・教育に携わる人材の育成を期する。

## 2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 哲学専攻

#### 【博士前期課程】

本課程は、哲学専修コースおよび現代思想コースの2つのコースを設置しています。哲学専修コースでは、古代から中世を経て近代へ至る西洋哲学の長い歴史をふまえて、科学、芸術、文化、宗教のあり方を根本から考えるとともに、哲学の文献研究の基礎を学びます。現代思想コースでは、現代的な視座から哲学の根本問題を考察し、環境、生命、医療など現代社会が直面する多様な倫理的問題をとりあげます。

#### 【博士後期課程】

本課程では、高度な専門的研究者の養成、すなわち、大学や短大などでの哲学教育の担当者のみならず、国際的な場においても活躍できるような哲学研究者の養成をめざします。

### 史学専攻

#### 【博士前期課程】

歴史学の領域で幅広くかつ深い知識を究め、鋭い分析・批判能力を培うため、「特研」科目を設置しています。また、優れた修士論文を作成するため、「演習」、「修士論文演習」を開講しています。

指導教員の承認を得た上で、他専攻の科目を一定の条件のもとで履修することができます。

上記のほか、指導教員の承認を得たうえで、協定を結んだ他大学大学院の科目を一定の条件のもとで履修することができます。

#### 【博士後期課程】

優れた博士論文を作成するため、「博士論文演習」科目を開講しています。

### 国文学専攻

日本文化研究の中核を担うために、古典学を教育・研究の根幹に置き、日本語・日本文学を細分化して考究するのではなく、古典文学・近代文学、国語学、漢文学の三分野を有機的に関連させて総合的に迫及することを重視し、そのための教員組織・カリキュラムを編成し、きめこまかな指導をおこないます。

#### 【博士前期課程】

古典文学・近代文学においては、上代・中古・中世・近世・近代と各時代別のカリキュラム編成をおこない、国語学、漢文学には分野ごとに複数の講座を設け、緊密な教育体制をとり、世界から見た日本文学の講座も開講して国際的な視点を導入しています。



**【博士後期課程】**

個別的な指導をするだけでなく、古典文学・近代文学、国語学、漢文学のより高度で専門的な研究能力の育成をめざしたカリキュラムを編成しています。

**英米文学専攻**

英米文学と英語学の領域で広く、かつ深い知識を得るとともに、分析能力と批評能力を身につけ、さらにそれを論文として発表するための技術を養います。

**【博士前期課程】**

本課程1年次生は、特別講義・演習を履修しますが、その際、「文学研究法Ⅰ」（日本語）と「文学研究法Ⅱ」（英語）を必ず履修し、基礎力を養います。また、アドヴァイザーによる研究指導のもと、専門分野の研究を深めていきます。

2年次生は、特別講義・演習を履修するとともに、修士論文メンターとなる指導教員による研究指導を受け、修士論文を提出します。

**【博士後期課程】**

本課程の学生は、指導教授による研究指導を受けるとともに、3年間で指導教授を含む3人の教員によるリーディング・コースを履修し、修了論文に向けて幅広く研究をおこないます。

**ドイツ文学専攻**

本専攻は「教育研究上の目的及び人材養成の目的」にもとづき、ドイツ語圏文学をヨーロッパの歴史的、文化的文脈の中で研究することをめざして、以下のカリキュラム・ポリシーを定めています。

**【博士前期課程】**

1. 研究の基礎となるドイツ語文献の読解力を向上させること。
2. 文学のみならず、文学と芸術、思想との関わりについて研究すること。
3. 修士論文作成に必要な論文作成の基本に習熟すること。

**【博士後期課程】**

1. 修士論文作成によって身に付けた研究方法をもとに、高度な専門研究をおこなうこと。
2. 文学および文学研究の歴史性への認識を深めるために、研究史を研究すること。
3. 博士論文作成に向けて、原典・参考文献の分析的読解、論文作成の要諦などを教授すること。

**フランス文学専攻**

本専攻は「教育研究上の目的・人材養成の目的」に則り、フランスおよびフランス語圏の文学・芸術の研究に関して、方法論を深化させ、多様な興味・関心を育みうるような教育をめざして、次のようなカリキュラム・ポリシーを定めます。

**【博士前期課程】**

1. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関して、研究方法の習得・深化に役立つ専門的教育をおこなうこと。
2. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関して、多様な興味・関心を喚起しうる専門的教育をおこなうこと。
3. 高度なフランス語運用能力を養成するための実践的な語学的訓練をおこなうこと。
4. 修士論文作成のために、テーマの掘り下げ、プランの策定、論述の整備など、きめ細かい指導をおこなうこと。

### 【博士後期課程】

1. 博士論文作成のために、テーマの掘り下げ、プランの策定、論述の整備など、きめ細かい指導をおこなうこと。
2. 研究者としての国際的な活動に道を開くための手助けをすること。

## 新聞学専攻

### 【博士前期課程】

1. マス・コミュニケーション理論、ジャーナリズム論、メディア分析を中心に据えたカリキュラムを設置し、その上で、今日の問題状況に柔軟に対応して研究を進めるために演習を配置しています。
2. 2年次は修士論文を完成させるために、指導教員の指導のもと、各自の研究を推進させる体制を整えています。また、大学院の社会学分野単位相互交換制度により国公私立24大学(26大学院研究科)の科目を履修することができます。

### 【博士後期課程】

1. 国際的な水準で広く活躍し、将采、この分野で研究・教育に携わる人材の育成を目標としています。研究活動においては学問的方法論、専門知識の水準を向上させると同時に、研究者として自己のテーマ領域を打ち立てられるように指導します。
2. 学位申請の論文については、入学後1年を経て論文提出資格を得る試験に合格した者が執筆を許可されます。在学期間内に課程を修了することができるように指導します。

## 文化交渉学専攻

本専攻は「教育研究上の目的及び人材養成の目的」にもとづき、さまざまな文化同士の交渉過程を跡づけるとともに、新たな文化が生み出される契機を詳しく研究することを目指して、次のようなカリキュラム・ポリシーを定めています。

### 【博士前期課程】

1. 異文化研究の手続き、文化交渉学の基本理念などを検討すること。
2. 文化交渉学の重要な分野として、翻訳文化、文学と芸術の関わりを研究すること。
3. 修士論文作成をめざして、研究、論文作成の基本に習熟すること

### 【博士後期課程】

1. 前期課程で積み上げた基礎知識をもとに、さらに高度な研究をおこなうこと。
  2. 文化創造の基盤となる資料の取り扱いに習熟することをめざすこと。
- 博士論文作成に向けて、資料の読解、テーマの深化、論文作成の要諦などを教授すること。

### 3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

#### 哲学専攻

##### 【博士前期課程】

本課程では、所定の科目を履修し、指導教員のもとで、修士論文のテーマを決め、研究指導により特別な指導を受け、論文の審査に合格した学生に修士（哲学）の学位を授与します。

##### 【博士後期課程】

本課程では、以下の要件を満たしたうえで、博士論文が正式に受理され、審査に合格した学生に博士（哲学）の学位を授与します。

- 1.本課程において、研究指導教員に1年間以上にわたり研究指導を受けたのちに研究企画書を研究科委員会に提出し、博士論文提出に関しあらかじめ研究科委員会の承認を得ていること。
- 2.研究発表：上智大学哲学会での研究発表・全国規模の専門学会での複数の研究発表。
- 3.刊行論文：3点以上の刊行論文。

#### 史学専攻

##### 【博士前期課程】

本課程に2年（4学期）以上在籍して所定の単位を修得し、かつ研究指導を受けたうえで、修士論文を提出して、その審査に合格した者に、修士（史学）の学位を授与します。

##### 【博士後期課程】

本課程に3年（6学期）以上在籍して所定の研究指導を受けたうえで、博士の学位請求論文を提出して、その審査に合格した者に、博士（史学）の学位を授与します。

#### 国文学専攻

本専攻は、古典文学・近代文学、国語学、漢文学に対する高度な知識と研究能力また教育実践能力をもち、広く社会、世界に貢献しうる人材を育成することを目的としています。

##### 【博士前期課程】

演習・講義を通じて基礎的研究能力を修得し、「国文学専攻研究計画書」にもとづく研究に取り組み、専門的な研究能力を修得した人材に修士（文学）の学位を授与します。

##### 【博士後期課程】

国文学の伝統を継承し発展させる意欲をもち、研究者として自立した研究活動をおこなうのに必要な能力を身につけた人材に博士（文学）の学位を授与します。

#### 英米文学専攻

##### 【博士前期課程】

英米文学・英語学の分野で大学院レベルの研究をおこなうのに必要な知識および研究方法を修得するため、特別講義・演習を履修して広く学ぶとともに、指導教員の研究指導を受けて専門分野を深めます。本課程に2年以上在学してできるだけ広い分野から計30単位を修得し、指導教員による指導のもと、修士論文を提出してその審査に合格した学生に、修士（文学）の学位を授与します。

### 【博士後期課程】

博士前期課程で研究したことをもとに、本課程でさらに研鑽を積んで専門分野での研究の質を高めるとともに、毎年度リーディング・コースを履修することで、専門分野以外についても広い知見を獲得します。具体的には、本課程に3年以上在学して計12単位を修得し、指導教員の研究指導のもとに修了論文を提出し、一定のレベルに達している場合に、学位申請論文を提出する資格が与えられます。その後に博士論文を提出し、審査に合格した学生に博士(文学)の学位が授与されます。

## ドイツ文学専攻

本専攻のカリキュラムにもとづき、十分な研鑽を積んだ上で、その成果を論文としてまとめ、以下のことを満たす学生に学位を授与します。

### 【博士前期課程】

1. 修士論文において、先行研究の十分な理解、適切なテーマが設定されていること。
2. 必要な原典・資料の精確な読解と精緻な分析がおこなわれていること。
3. 綿密かつ分かりやすい論文の構成、論旨の展開の仕方を修得していること。

### 【博士後期課程】

1. 博士論文において、先行研究を歴史的に精査・分析した上で、テーマ設定がおこなわれていること。
2. 原典・資料の精確な読解と精緻な分析がなされていること。
3. 今後の研究の出発点として、テーマを本質的に掘り下げ、幅広い視野のもとで考察できること。

## フランス文学専攻

本専攻のカリキュラムを十分に消化し、優れた論文を作成しえた学生に学位を授与するものとして、次のディプロマ・ポリシーを定めています。

### 【博士前期課程】

1. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関する高水準の専門的研究が遂行されていること。
2. 専門的な研究を遂行しうる高度なフランス語運用能力をそなえていること。
3. フランスおよびフランス語圏の文化・芸術に関する深い教養をそなえていること。
4. さまざまな分野で職業人として活躍しうる能力・適性をそなえていること。

### 【博士後期課程】

1. フランスおよびフランス語圏の文学・芸術に関して、国際的な水準で通用しうる高度な専門的研究が遂行されていること。
2. 国際的な学的交流を可能にする高度なフランス語運用能力をそなえていること。
3. フランスおよびフランス語圏文化について深い見識をそなえていること。
4. 専門的な知識やフランス語運用能力を教育の現場に生かすことのできる能力・適性をそなえていること。

## 新聞学専攻

本専攻は、以下の条件を満たす学生に学位を授与します。

### 【博士前期課程】

1. マス・コミュニケーションとジャーナリズム研究のため、幅広く専攻分野を学び、問題領域への関心を深め、洗練された自己の問題関心を有すること。
2. より高いレベルのジャーナリズム・プロフェッションとして高いメディア意識を持ち、社会に貢献できること。

### 【博士後期課程】

1. 研究領域における学問的方法論および高度な専門知識をもち、ジャーナリズム論、メディア論、メディア法、情報社会論などを中心に自己のテーマ領域を確立していること。
2. 国際的な視野に立った討論や分析を行う能力を持ち、国内外の学会で最先端の研究成果を発表していること。

## 文化交渉学専攻

本専攻のカリキュラムを十分に消化し、そのうえで優れた論文を作成し、以下の条件を満たす学生に学位を授与します。

### 【博士前期課程】

1. 修士論文の作成にあたって、先行研究の理解、適切なテーマを設定していること。
2. テーマ設定に基づき、必要な資料の読解、分析に習熟していること。
3. 明快な論文の作成をめざして、論文の構成、緻密な分析、論旨の整備ができること。

### 【博士後期課程】

1. 博士論文において、先行研究の緻密な分析に基づくテーマを設定していること。
2. 十分な準備作業をおこない、斬新かつ明快な論文を作成していること。
3. 修了後、海外でさらに研究を深めるために、幅広い考察をおこなうこと。

## 哲学専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降 哲学専修コース (Aコース)】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学総合演習 A	2		
└ 哲学総合演習 B	2		
▶ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから10単位を選ぶ
▶ 選択科目	16		
└ 自専攻科目			
└ 委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

#### 【17年次生以降 現代思想コース (Bコース)】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学総合演習 A	2		
└ 哲学総合演習 B	2		
▶ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから4単位 研究科目群のなかから6単位を選ぶ
▶ 選択科目	16		
└ 自専攻科目			
└ 委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導 (必修)			単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

## 【16年次生以降 哲学専修コース（Aコース）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学総合演習 A	2		
└ 哲学総合演習 B	2		
▶ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから10単位を選ぶ
▶ 選択科目	16		
└ 自専攻科目			
└ 委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および口述試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

## 【16年次生以降 現代思想コース（Bコース）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学総合演習 A	2		
└ 哲学総合演習 B	2		
▶ 選択必修科目	10		文献研究科目群のなかから4単位 研究科目群のなかから6単位を選ぶ
▶ 選択科目	16		
└ 自専攻科目			
└ 委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および口述試験に合格すること （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

## 【修士論文審査基準】

- 1) 問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で，妥当な問題を設定していること。
- 2) 研究方法：文献研究の場合，原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
- 3) 論文構成：論文全体の構成，論旨の展開が明確で，説得力がある文章で書かれていること。
- 4) 研究の位置づけ：研究史に鑑み，自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
- 5) 独創性：哲学研究への何らかの積極的な貢献を果たす意義を持っていること。
- 6) 論文の形式：論文としての十分な紙幅，註や参考文献の適切な指示がなされていること。
- 7) 研究の倫理：資料の改竄，剽窃，盗作などが一切ないこと。
- 8) 指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。

## 2. 授業科目の編成・単位

### 哲学専修コース（Aコース）・現代思想コース（Bコース）

科目名	単位数				
	必修	Aコース		Bコース	
		選必	選択	選必	選択
<b>&lt;文献研究科目群&gt;</b>					
古代哲学文献研究Ⅰ		2		2	
古代哲学文献研究Ⅱ		2		2	
中世哲学文献研究Ⅰ		2		2	
中世哲学文献研究Ⅱ		2		2	
中世哲学文献研究Ⅲ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅰ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅱ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅲ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅳ		2		2	
近代哲学文献研究Ⅴ		2		2	

科目名	単位数				
	必修	Aコース		Bコース	
		選必	選択	選必	選択
<b>&lt;研究科目群&gt;</b>					
現代哲学研究Ⅰ			2	2	
現代哲学研究Ⅱ			2	2	
現代倫理学研究Ⅰ			2	2	
現代倫理学研究Ⅱ			2	2	
美学芸術学研究Ⅰ			2	2	
美学芸術学研究Ⅱ			2	2	
日本思想研究			2	2	
東洋思想研究			2	2	
宗教思想研究			2		2
哲学総合演習A ※注1	2				
哲学総合演習B ※注1	2				

哲学専修コース（Aコース）の選択必修は

<文献研究科目群>より10単位

現代思想コース（Bコース）の選択必修は

<文献研究科目群>より4単位

<研究科目群>より6単位

それ以上の単位は選択科目として扱う

※注1：哲学総合演習（4単位）は2015年度よりA（春学期2単位）、B（秋学期2単位）に分割された。

## 3. 履修上の注意

- 1) 前期課程において必要な履修単位は30単位とする。
- 2) 「研究指導(必修)」を、毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 前期課程の学生は入学後一年以内に、修士論文のテーマと希望する指導教員名を専攻主任に申しなければならぬ。専攻会議はそれを考慮して指導教員を指定する。
- 4) 前期課程において学生の研究上必要と認められるときは、協定他大学および本学の他の研究科・専攻の開講科目を履修させ、これを委員会が計8単位まで必要単位として認定する。
- 5) 哲学総合演習 AB（合計4単位）は前期課程1年次生用の必修である。それ以外に2年次以降、継続して履修を希望する場合は、選択科目として扱う。



## 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MPPH1331	春	哲学総合演習A	PHL501	2	荻野弘之	
MPPH7010	春	古代哲学文献研究Ⅰ	PHL711	2	荻野弘之	(旧) 古代哲学文献研究ⅠA
MPPH7210	春	中世哲学文献研究Ⅰ	PHL721	2	佐藤直子	(旧) 中世哲学文献研究ⅠA
MPPH7230	春	中世哲学文献研究Ⅲ	PHL723	2	長町裕司	
MPPH7310	春	近代哲学文献研究Ⅰ	PHL731	2	鈴木伸国	(旧) 近代哲学文献研究ⅠA
MPPH7410	春	現代哲学研究Ⅰ	PHL741	2	長町裕司	(旧) 現代哲学研究ⅠA
MPPH7510	春	現代倫理学研究Ⅰ	PHL751	2	寺田俊郎	(旧) 現代倫理学研究ⅡA
MPPH1332	秋	哲学総合演習B	PHL502	2	鈴木伸国	
MPPH7020	秋	古代哲学文献研究Ⅱ	PHL712	2	荻野弘之	
MPPH7220	秋	中世哲学文献研究Ⅱ	PHL722	2	佐藤直子	(旧) 中世哲学文献研究ⅠB
MPPH7320	秋	近代哲学文献研究Ⅱ	PHL732	2	鈴木伸国	(旧) 近代哲学文献研究ⅠB
MPPH7330	秋	近代哲学文献研究Ⅲ	PHL733	2	*馬場朗	(旧) 近代哲学文献研究ⅡA
MPPH7340	秋	近代哲学文献研究Ⅳ	PHL734	2	長町裕司	(旧) 近代哲学文献研究Ⅲ
MPPH7350	秋	近代哲学文献研究Ⅴ	PHL735	2	寺田俊郎	(旧) 近代哲学文献研究ⅣB
MPPH7420	秋	現代哲学研究Ⅱ	PHL742	2	長町裕司	(旧) 現代哲学研究ⅠB
MPPH7520	秋	現代倫理学研究Ⅱ	PHL752	2	寺田俊郎	(旧) 現代倫理学研究ⅡB
MPPH7570	秋	宗教思想研究	PHL757	2	島菌進	隔年開講
MPPH7560	秋	東洋思想研究	PHL756	2	*板橋勇仁	隔年開講
MPPH7530	秋	美学芸術学研究Ⅰ	PHL753	2	*高橋陽一郎	隔年開講
MPPH9340	秋	修士論文	PHL899	0	哲学専攻各指導教員	
MPPH7540	休講	美学芸術学研究Ⅱ	PHL754	2		隔年開講
MPPH7550	休講	日本思想研究	PHL755	2		隔年開講

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PHL888	荻野弘之	
	長町裕司	
	佐藤直子	
	寺田俊郎	
	鈴木伸国	

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	20		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学特殊研究 A	2		
└ 哲学特殊研究 B	2		
▶ 選択科目	16		
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【16年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	20		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 哲学特殊研究 A	2		
└ 哲学特殊研究 B	2		
▶ 選択科目	16		
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【博士論文審査基準】

- 1) 問題設定：哲学の体系的・歴史的研究のいずれかの点で, 妥当な問題を設定していること。
- 2) 研究方法：文献研究の場合, 原典の参照や二次文献の検討が適切になされていること。
- 3) 論文構成：論文全体の構成, 論旨の展開が明確で, 説得力がある文章で書かれていること。
- 4) 研究の位置づけ：研究史に鑑み, 自分の研究がどういった位置にあるか明確であること。
- 5) 独創性：従来の研究にない独自の貢献を付け加える意義を持っていること。
- 6) 論文の形式：論文としての十分な紙幅, 註や参考文献の適切な指示がなされていること。
- 7) 研究の倫理：資料の改竄, 剽窃, 盗作などが一切ないこと。
- 8) 指導：指導教員との十分な個人指導を経た成果であること。
- 9) 学会発表：論文を書くにあたって, それを構成する部分が, 複数の専門学会での口頭発表, 投稿論文などによる研究成果をふまえていること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
哲学特殊研究・古代Ⅰ			2
哲学特殊研究・古代Ⅱ			2
哲学特殊研究・中世Ⅰ			2
哲学特殊研究・中世Ⅱ			2
哲学特殊研究・中世Ⅲ			2
哲学特殊研究・近代Ⅰ			2
哲学特殊研究・近代Ⅱ			2
哲学特殊研究・近代Ⅲ			2
哲学特殊研究・近代Ⅳ			2
哲学特殊研究・近代Ⅴ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
哲学特殊研究・現代Ⅰ			2
哲学特殊研究・現代Ⅱ			2
哲学特殊研究・現代倫理学Ⅰ			2
哲学特殊研究・現代倫理学Ⅱ			2
哲学特殊研究・美学芸術学Ⅰ			2
哲学特殊研究・美学芸術学Ⅱ			2
哲学特殊研究・日本思想			2
哲学特殊研究・東洋思想			2
哲学特殊研究A ※注1	2		
哲学特殊研究B ※注1	2		

※注1：2015年度よりA（春学期2単位）B（秋学期2単位）に分割された。

## 3. 履修上の注意

- 1) 後期課程において必要な履修単位数は20単位とする。
- 2) 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 後期課程の学生は入学当初に、研究テーマと希望する指導教員名を専攻主任に申告しなければならない。委員会はそのを考慮して指導教員を指定する。
- 4) 後期課程の学生は毎週指導教員の授業に出席し、その指示に従って研究し、研究状況を指導教員に報告し、その成果を毎年発表しなくてはならない。
- 5) 後期課程に入学した学生で、前期課程必修科目の「哲学総合演習」を未履修者は、指導教員と専攻主任の許可を受けた上で、この科目4単位を後期課程の選択科目として履修し、必要単位数に充当することができる。
- 6) 後期課程において学生は研究の必要上、協定他大学および本学の他の研究科・専攻の授業を履修することはできるが、それによって必要単位数に充当することはできない。
- 7) 哲学特殊研究A・B（合計4単位）は後期課程1年次生用の必修である。それ以外に2年次以降、継続して履修を希望する場合は、この両科目とも選択科目として扱う。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
DPPH3021	春	哲学特殊研究A	PHL901	2	寺田俊郎	
DPPH3111	春	哲学特殊研究・古代Ⅰ	PHL911	2	荻野弘之	(旧) 古代哲学文献研究ⅠA
DPPH3221	春	哲学特殊研究・中世Ⅰ	PHL921	2	佐藤直子	(旧) 中世哲学文献研究ⅠA
DPPH3223	春	哲学特殊研究・中世Ⅲ	PHL923	2	長町裕司	(旧) 中世哲学文献研究Ⅲ
DPPH3231	春	哲学特殊研究・近代Ⅰ	PHL931	2	鈴木伸国	(旧) 近代哲学文献研究ⅠA
DPPH3241	春	哲学特殊研究・現代Ⅰ	PHL941	2	長町裕司	(旧) 現代哲学文献研究ⅡA
DPPH3251	春	哲学特殊研究・現代倫理学Ⅰ	PHL951	2	寺田俊郎	(旧) 現代倫理学研究ⅡA
DPPH3022	秋	哲学特殊研究B	PHL902	2	佐藤直子	
DPPH3112	秋	哲学特殊研究・古代Ⅱ	PHL912	2	荻野弘之	(旧) 古代哲学文献研究Ⅱ
DPPH3222	秋	哲学特殊研究・中世Ⅱ	PHL922	2	佐藤直子	(旧) 中世哲学文献研究ⅠB
DPPH3232	秋	哲学特殊研究・近代Ⅱ	PHL932	2	鈴木伸国	(旧) 近代哲学文献研究ⅠB
DPPH3233	秋	哲学特殊研究・近代Ⅲ	PHL933	2	*馬場朗	(旧) 近代哲学文献研究ⅡA
DPPH3234	秋	哲学特殊研究・近代Ⅳ	PHL934	2	長町裕司	(旧) 近代哲学文献研究Ⅲ
DPPH3235	秋	哲学特殊研究・近代Ⅴ	PHL935	2	寺田俊郎	(旧) 近代哲学文献研究ⅣB
DPPH3242	秋	哲学特殊研究・現代Ⅱ	PHL942	2	長町裕司	(旧) 現代哲学文献研究ⅡB
DPPH3252	秋	哲学特殊研究・現代倫理学Ⅱ	PHL952	2	寺田俊郎	(旧) 現代倫理学研究ⅡB
DPPH3253	秋	哲学特殊研究・美学芸術学Ⅰ	PHL953	2	*高橋陽一郎	隔年開講(旧) 美学芸術学研究Ⅰ
DPPH3256	秋	哲学特殊研究・東洋思想	PHL956	2	*板橋勇仁	隔年開講(旧) 東洋思想研究
DPPH3254	休講	哲学特殊研究・美学芸術学Ⅱ	PHL954	2		隔年開講(旧) 美学芸術学研究Ⅱ
DPPH3255	休講	哲学特殊研究・日本思想	PHL955	2		隔年開講(旧) 日本思想研究

#### 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PHL988	荻野弘之	
	長町裕司	
	佐藤直子	
	寺田俊郎	
	鈴木伸国	

## 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

### 【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択必修科目	4		4単位を超えて修得した場合, その超過分は選択科目の単位数に算入される
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

### 【11～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択必修科目	4		4単位を超えて修得した場合, その超過分は選択科目の単位数に算入される
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

### 【修士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で, テーマ設定が適切であり, 歴史研究の知識の向上に寄与していること。
- 2) 先行研究が十分に検討・吟味されており, 出典記載や引用が適切になされていること。
- 3) 史・資料に基づいた実証研究であること。
- 4) 論文構成が的確で, 論理展開に整合性と一貫性があること。
- 5) 論文の言語表現が的確であり, 目次・註・付録(図表・史料・参考文献表など)に関する体裁が整っていること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;日本史学特殊研究&gt;</b>			
古代演習Ⅰ			2
古代演習Ⅱ			2
古代特研			2
中世演習Ⅰ			2
中世演習Ⅱ			2
中世特研			2
近世演習Ⅰ			2
近世演習Ⅱ			2
近世特研			2
近・現代演習Ⅰ			2
近・現代演習Ⅱ			2
近・現代特研			2
史料学研究			4
<b>&lt;東洋史学特殊研究&gt;</b>			
古代・中世演習Ⅰ			2
古代・中世演習Ⅱ			2
古代・中世特研			2
近世演習Ⅰ			2
近世演習Ⅱ			2
近世特研			2
近・現代演習Ⅰ			2
近・現代演習Ⅱ			2
近・現代特研			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;西洋史学特殊研究&gt;</b>			
古代演習Ⅰ			2
古代演習Ⅱ			2
古代特研			2
中世演習Ⅰ			2
中世演習Ⅱ			2
中世特研			2
近世演習Ⅰ			2
近世演習Ⅱ			2
近世特研			2
近・現代演習Ⅰ			2
近・現代演習Ⅱ			2
近・現代特研			2
(他) 聖書神学研究ゼミナールⅠ (古代イスラエル史) ※注			2
<b>&lt;修士論文演習&gt;</b>			
修士論文演習Ⅰ a		2	
修士論文演習Ⅰ b		2	
修士論文演習Ⅱ a		2	
修士論文演習Ⅱ b		2	

※注 神学研究科開講科目 (詳細はp. 51参照)

## 3. 履修上の注意

- 1) 史学専攻の学生は、専任教員1名を指導教員として定め、所定の科目を履修するとともに、指導教員と密接に連絡し、学位論文や研究報告の作成を行うことが望ましい。
- 2) 博士前期課程に入学した者は、「修士論文演習」4単位を選択必修とする。
- 3) 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。

## 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHHT6240	春	修士論文演習Ⅰa	HST501	2	北條勝貴 中澤克昭 中川亜希	
MHHT6260	春	修士論文演習Ⅱa	HST601	2	川村信三 笹川裕史 坂野正則 井上茂子	
MHHT7060	春	<日本史学>近世特研	HST706	2	川村信三	
MHHT7080	休講	<日本史学>近・現代特研	HST708	2		
MHHT7170	春	<西洋史学>古代特研	HST717	2	中川亜希	
MHHT7190	休講	<西洋史学>中世特研	HST719	2		
MHHT7210	春	<西洋史学>近世特研	HST721	2	坂野正則	
MHHT7240	春	<日本史学>古代演習Ⅰ	HST724	2	北條勝貴	
MHHT7260	春	<日本史学>中世演習Ⅰ	HST726	2	中澤克昭	
MHHT7280	春	<日本史学>近世演習Ⅰ	HST728	2	川村信三	
MHHT7300	休講	<日本史学>近・現代演習Ⅰ	HST730	2		
MHHT7320	休講	<東洋史学>古代・中世演習Ⅰ	HST732	2		
MHHT7340	春	<東洋史学>近世演習Ⅰ	HST734	2	山内弘一	
MHHT7360	春	<東洋史学>近・現代演習Ⅰ	HST736	2	笹川裕史	
MHHT7380	春	<西洋史学>古代演習Ⅰ	HST738	2	中川亜希	
MHHT7400	春	<西洋史学>中世演習Ⅰ	HST740	2	*児嶋由枝	
MHHT7420	春	<西洋史学>近世演習Ⅰ	HST742	2	坂野正則	
MHHT7440	春	<西洋史学>近・現代演習Ⅰ	HST744	2	井上茂子	
MHHT7090	集中	史料学研究	HST709	4	中澤克昭	春学期集中
MHHT6250	秋	修士論文演習Ⅰb	HST502	2	北條勝貴 中澤克昭 中川亜希	
MHHT6270	秋	修士論文演習Ⅱb	HST602	2	川村信三 笹川裕史 坂野正則 井上茂子	
MHHT7020	秋	<日本史学>古代特研	HST702	2	北條勝貴	
MHHT7040	秋	<日本史学>中世特研	HST704	2	中澤克昭	
MHHT7110	休講	<東洋史学>古代・中世特研	HST711	2		
MHHT7130	秋	<東洋史学>近世特研	HST713	2	山内弘一	
MHHT7150	秋	<東洋史学>近・現代特研	HST715	2	笹川裕史	
MHHT7230	秋	<西洋史学>近・現代特研	HST723	2	井上茂子	
MHHT7250	秋	<日本史学>古代演習Ⅱ	HST725	2	北條勝貴	
MHHT7270	秋	<日本史学>中世演習Ⅱ	HST727	2	中澤克昭	
MHHT7290	秋	<日本史学>近世演習Ⅱ	HST729	2	川村信三	
MHHT7310	休講	<日本史学>近・現代演習Ⅱ	HST731	2		
MHHT7330	休講	<東洋史学>古代・中世演習Ⅱ	HST733	2		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHHT7350	休講	<東洋史学>近世演習Ⅱ	HST735	2		
MHHT7370	秋	<東洋史学>近・現代演習Ⅱ	HST737	2	笹川裕史	
MHHT7390	秋	<西洋史学>古代演習Ⅱ	HST739	2	中川亜希	
MHHT7410	秋	<西洋史学>中世演習Ⅱ	HST741	2	*児嶋由枝	
MHHT7430	秋	<西洋史学>近世演習Ⅱ	HST743	2	坂野正則	
MHHT7450	秋	<西洋史学>近・現代演習Ⅱ	HST745	2	井上茂子	
MHHT9280	秋	修士論文	HST899	0	史学専攻各指導教員	M2 対象
MTTH7702	休講	(他) 聖書神学研究ゼミナールⅠ (古代イスラエル史)	THE770	2		(他) 神学研究科神学専攻, 隔年 ※注

※注 神学研究科開講科目 (詳細はp. 51参照)

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
HST888	中澤克昭	
	井上茂子	
	川村信三	
	長田彰文	休講(春・秋)
	北條勝貴	
	坂野正則	
	笹川裕史	
	中川亜希	



## 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

### 【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること
授業科目			
・必修科目	12		
└博士論文演習 I・II	12		6学期（6回）で合計12単位分履修すること
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			

### 【11～16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること
授業科目			
・必修科目	12		
└博士論文演習 I・II	12		6学期（6回）で合計12単位分履修すること
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			

### 【09年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること
・必修科目	12		
└博士論文演習	12		3年間（合計で12単位分）履修すること *注1
博士論文			

### 【博士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で, テーマ設定が適切であり, 対象分野に関する新しい史実の発見, ないしは既知の史実に対する新しい解釈の提示をしていること。
- 2) 先行研究が網羅的に検討・吟味されており, 出典記載や引用が適切になされていること。
- 3) 史・資料に基づいた実証研究であること。
- 4) 論文構成が的確で, 論理展開に整合性と一貫性があること。
- 5) 論文の言語表現が的確であり, 目次・注・付録（図表・史料・参考文献表など）に関する体裁が整っていること。
- 6) 当該分野における独創的かつ先端的な研究であり, 執筆者が自立の研究者として研究を遂行する能力があることを証明する研究であること。

なお, 博士論文の提出については, 「博士の学位授与に関する史学専攻内規」を参照すること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
博士論文演習Ⅰ *注1	2		
博士論文演習Ⅱ *注1	2		

\*注1：2011年度より「博士論文演習」は「博士論文演習Ⅰ」・「博士論文演習Ⅱ」に分割された。

## 3. 履修上の注意

- 1) 史学専攻の学生は、専任教員1名を指導教員として定め、所定の科目を履修するとともに、指導教員と密接に連絡し、学位論文や研究報告の作成を行うことが望ましい。
- 2) 博士後期課程に入学した者は、指導教員の開講する「博士論文演習」（2011年度より半期化されたため、「博士論文演習Ⅰ」「博士論文演習Ⅱ」となった）を合計で12単位修得する必要がある（ただし、大学の交換留学制度で指定された外国の大学にて勉学する場合は、その限りではない）。なお、博士論文の提出に関しては、「博士の学位授与に関する史学専攻内規」を参照されたい。
- 3) 2011年度以降に博士後期課程に入学した者は、「研究指導」を在学中每学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 4) 博士後期課程に入学した者は、指導教員の開講する「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」（博士前期課程開講科目一覧表を参照のこと）を履修することが望ましい。なお、これは後期課程の修了要件とはならない。

## 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
DHHT3021	休講	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	山内弘一	
DHHT3031	春	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	*大澤正昭	
DHHT3041	休講	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	長田彰文	
DHHT3081	春	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	川村信三	
DHHT3091	春	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	井上茂子	★英語及びドイツ語による授業
DHHT3101	春	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	笹川裕史	
DHHT3231	春	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	中澤克昭	
DHHT3201	春	博士論文演習Ⅰ	HST901	2	北條勝貴	
DHHT3022	休講	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	山内弘一	
DHHT3032	秋	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	*大澤正昭	
DHHT3042	休講	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	長田彰文	
DHHT3082	秋	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	川村信三	
DHHT3092	秋	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	井上茂子	★英語及びドイツ語による授業
DHHT3102	秋	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	笹川裕史	
DHHT3232	秋	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	中澤克昭	
DHHT3202	秋	博士論文演習Ⅱ	HST902	2	北條勝貴	

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
HST988	井上茂子	
	川村信三	
	長田彰文	休講（春・秋）
	笹川裕史	
	中澤克昭	
	北條勝貴	

## 国文学専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶ 選択科目	30		
└ 自専攻科目			
└ 自研究科他専攻科目			
└ 委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

#### 【14~16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶ 選択科目	30		
└ 自専攻科目			
└ 自研究科他専攻科目			
└ 委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導 (必修)			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

#### 【修士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識に基づき, 統一されたテーマを有し, 統一された形式で書き下ろされたもの。刊行された書物, 抜刷の集合は認めない。
- 2) 先行研究を的確に踏まえた上で, 出典記載・引用が適切になされていること。
- 3) 独創的知見を有する研究であること。
- 4) 論理展開に整合性を有し, 言語表現が適切であること。
- 5) 全国レベルの学会で発表された研究論文, または発表しうる水準の論文の内容を含んでいること。
- 6) 四百字詰め原稿用紙 200 枚以上に相当する分量を有すること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
古典文学特殊講義・演習ⅠA			2
古典文学特殊講義・演習ⅠB			2
古典文学特殊講義・演習ⅡA			2
古典文学特殊講義・演習ⅡB			2
古典文学特殊講義・演習ⅢA			2
古典文学特殊講義・演習ⅢB			2
古典文学特殊講義・演習ⅣA			2
古典文学特殊講義・演習ⅣB			2
近代文学特殊講義・演習ⅠA			2
近代文学特殊講義・演習ⅠB			2
近代文学特殊講義・演習ⅡA			2
近代文学特殊講義・演習ⅡB			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
国語学特殊講義・演習ⅠA			2
国語学特殊講義・演習ⅠB			2
国語学特殊講義・演習ⅡA			2
国語学特殊講義・演習ⅡB			2
国語学特殊講義・演習ⅢA			2
国語学特殊講義・演習ⅢB			2
漢文学特殊講義・演習ⅠA			2
漢文学特殊講義・演習ⅠB			2
漢文学特殊講義・演習ⅡA			2
漢文学特殊講義・演習ⅡB			2
(他) Comparative Literature (注)			4
(他) Comparative Literature 1			2
(他) Comparative Literature 2			2

(注) 「Comparative Literature」は2016年度まで開講。2017年度より「Comparative Literature 1」・「Comparative Literature 2」に分割された。2017年度以降に履修する場合はこちらの科目を履修すること。

## 3. 履修上の注意

- 1) 国文学専攻に所属する学生は、「大学院国文学専攻履修上の注意」に従って履修すること。
- 2) 「大学院国文学専攻院生の指導について」に従って、各自専任教員一名を指導教員、一名を副指導教員として定め、その指導のもとに所定の科目を履修し、かつ論文を作成すること。
- 3) 毎年度4月に専攻の定める「研究計画書」を、2月に「研究報告書」を提出すること。
- 4) 博士後期課程科目「特殊研究」を履修登録して受講することができるが、修了要件の単位としては認定されない。
- 5) 修士論文提出予定者は専攻の定める「提出予定書」及び「題目届」を提出すること。
- 6) 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHJL7010	春	古典文学特殊講義・演習ⅠA	JLI701	2	瀬間正之	
MHJL7030	春	古典文学特殊講義・演習ⅡA	JLI703	2	本廣陽子	後期課程「古典文学特殊研究ⅡA」と合併
MHJL7050	春	古典文学特殊講義・演習ⅢA	JLI705	2	西澤美仁	
MHJL7070	春	古典文学特殊講義・演習ⅣA	JLI707	2	*木越治	後期課程「古典文学特殊研究ⅣA」と合併
MHJL7090	春	近代文学特殊講義・演習ⅠA	JLI709	2	(他)小林幸夫	後期課程「近代文学特殊研究ⅠA」と合併
MHJL7110	春	近代文学特殊講義・演習ⅡA	JLI711	2	*林廣親	後期課程「近代文学特殊研究ⅡA」と合併
MHJL7130	春	国語学特殊講義・演習ⅠA	JLI713	2	豊島正之	
MHJL7150	春	国語学特殊講義・演習ⅡA	JLI715	2	服部隆	後期課程「国語学特殊研究ⅡA」と合併
MHJL7190	春	漢文学特殊講義・演習ⅠA	JLI719	2	長尾直茂	
MHJL7210	春	漢文学特殊講義・演習ⅡA	JLI721	2	福井辰彦	後期課程「漢文学特殊研究ⅡA」と合併
MZJS5180	春	COMPARATIVE LITERATURE1	JST718	2	(他)河野至恩	(他)グローバル社会専攻
MHJL7020	秋	古典文学特殊講義・演習ⅠB	JLI702	2	瀬間正之	
MHJL7040	秋	古典文学特殊講義・演習ⅡB	JLI704	2	本廣陽子	後期課程「古典文学特殊研究ⅡB」と合併
MHJL7060	秋	古典文学特殊講義・演習ⅢB	JLI706	2	西澤美仁	
MHJL7080	秋	古典文学特殊講義・演習ⅣB	JLI708	2	*木越治	後期課程「古典文学特殊研究ⅣB」と合併
MHJL7100	秋	近代文学特殊講義・演習ⅠB	JLI710	2	(他)小林幸夫	後期課程「近代文学特殊研究ⅠB」と合併
MHJL7120	秋	近代文学特殊講義・演習ⅡB	JLI712	2	*有光隆司	後期課程「近代文学特殊研究ⅡB」と合併
MHJL7140	秋	国語学特殊講義・演習ⅠB	JLI714	2	豊島正之	
MHJL7160	秋	国語学特殊講義・演習ⅡB	JLI716	2	服部隆	後期課程「国語学特殊研究ⅡB」と合併
MHJL7200	秋	漢文学特殊講義・演習ⅠB	JLI720	2	長尾直茂	
MHJL7220	秋	漢文学特殊講義・演習ⅡB	JLI722	2	福井辰彦	後期課程「漢文学特殊研究ⅡB」と合併
MHJL9240	秋	修士論文	JLI899	0	国文学専攻各指導教員	M2対象
MZJS5190	秋	COMPARATIVE LITERATURE2	JST719	2	(他)河野至恩	(他)グローバル社会専攻
MHJL7170	休講	国語学特殊講義・演習ⅢA	JLI717	2		
MHJL7180	休講	国語学特殊講義・演習ⅢB	JLI718	2		

#### 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
JLI888	西澤美仁	
	長尾直茂	
	本廣陽子	
	瀬間正之	
	服部隆	
	豊島正之	
	福井辰彦	

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
授業科目			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【12～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
授業科目			
・選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【博士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識に基づき, 統一されたテーマを有し, 統一された形式で書き下ろされたもの。刊行された書物, 抜刷の集合は認めない。
- 2) 先行研究を的確に踏まえた上で, 出典記載・引用が適切になされていること。
- 3) 独創的知見を有する研究であること。
- 4) 論理展開に整合性を有し, 言語表現が適切であること。
- 5) 全国レベルの学会で発表された研究論文を, 2本以上含んでいること。
- 6) 四百字詰め原稿用紙 300 枚以上に相当する分量を有すること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
古典文学特殊研究 I A			2
古典文学特殊研究 I B			2
古典文学特殊研究 II A			2
古典文学特殊研究 II B			2
古典文学特殊研究 III A			2
古典文学特殊研究 III B			2
古典文学特殊研究 IV A			2
古典文学特殊研究 IV B			2
近代文学特殊研究 I A			2
近代文学特殊研究 I B			2
近代文学特殊研究 II A			2
近代文学特殊研究 II B			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
国語学特殊研究 I A			2
国語学特殊研究 I B			2
国語学特殊研究 II A			2
国語学特殊研究 II B			2
国語学特殊研究 III A			2
国語学特殊研究 III B			2
漢文学特殊研究 I A			2
漢文学特殊研究 I B			2
漢文学特殊研究 II A			2
漢文学特殊研究 II B			2

### 3. 履修上の注意

- 1) 国文学専攻に所属する学生は、「大学院国文学専攻履修上の注意」に従って履修すること。
- 2) 「大学院国文学専攻院生の指導について」に従って、各自専任教員一名を指導教員、一名を副指導教員として定め、その指導のもとに所定の科目を履修し、かつ論文を作成すること。
- 3) 毎年度4月に専攻の定める「研究計画書」を、2月に「研究報告書」を提出すること。
- 4) 指導教員及び副指導教員の科目を、毎年必ず受講することが望ましい。
- 5) 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 6) 博士論文審査願提出以前に2本以上の研究論文を学術誌に発表すること。
- 7) 博士論文を作成し、提出したい者は、「国文学専攻博士学位授与に関する内規」に従って、所定の手続きをとること。

### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
DHJL7010	春	古典文学特殊研究ⅠA	JLI901	2	瀬間正之	
DHJL7030	春	古典文学特殊研究ⅡA	JLI903	2	本廣陽子	前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅡA」と合併
DHJL7220	春	古典文学特殊研究ⅢA	JLI922	2	西澤美仁	
DHJL7060	春	古典文学特殊研究ⅣA	JLI906	2	*木越治	前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅣA」と合併
DHJL7240	春	近代文学特殊研究ⅠA	JLI924	2	(他)小林幸夫	前期課程「近代文学特殊講義・演習ⅠA」と合併
DHJL7090	春	近代文学特殊研究ⅡA	JLI909	2	*林廣親	前期課程「近代文学特殊講義・演習ⅡA」と合併
DHJL7210	春	国語学特殊研究ⅠA	JLI921	2	豊島正之	
DHJL7120	春	国語学特殊研究ⅡA	JLI912	2	服部隆	前期課程「国語学特殊講義・演習ⅡA」と合併
DHJL7260	春	漢文学特殊研究ⅠA	JLI926	2	長尾直茂	
DHJL7170	春	漢文学特殊研究ⅡA	JLI917	2	福井辰彦	前期課程「漢文学特殊講義・演習ⅡA」と合併
DHJL7020	秋	古典文学特殊研究ⅠB	JLI902	2	瀬間正之	
DHJL7040	秋	古典文学特殊研究ⅡB	JLI904	2	本廣陽子	前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅡB」と合併
DHJL7230	秋	古典文学特殊研究ⅢB	JLI923	2	西澤美仁	
DHJL7070	秋	古典文学特殊研究ⅣB	JLI907	2	*木越治	前期課程「古典文学特殊講義・演習ⅣB」と合併
DHJL7250	秋	近代文学特殊研究ⅠB	JLI925	2	(他)小林幸夫	前期課程「近代文学特殊講義・演習ⅠB」と合併
DHJL7100	秋	近代文学特殊研究ⅡB	JLI910	2	*有光隆司	前期課程「近代文学特殊講義・演習ⅡB」と合併
DHJL7200	秋	国語学特殊研究ⅠB	JLI920	2	豊島正之	
DHJL7130	秋	国語学特殊研究ⅡB	JLI913	2	服部隆	前期課程「国語学特殊講義・演習ⅡB」と合併
DHJL7270	秋	漢文学特殊研究ⅠB	JLI927	2	長尾直茂	
DHJL7180	秋	漢文学特殊研究ⅡB	JLI918	2	福井辰彦	前期課程「漢文学特殊講義・演習ⅡB」と合併
DHJL7140	休講	国語学特殊研究ⅢA	JLI914	2		
DHJL7150	休講	国語学特殊研究ⅢB	JLI915	2		

### 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
JLI988	西澤美仁	
	長尾直茂	
	瀬間正之	
	服部隆	
	豊島正之	



1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降 Aコース (後期課程進学)】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└文学研究法Ⅰ	2		
└文学研究法Ⅱ	2		
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験 に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士 論文登録をすること)

【17年次生以降 Bコース (前期課程完結)】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30 または 38		
授業科目			
▶必修科目	4		
└文学研究法Ⅰ	2		
└文学研究法Ⅱ	2		
▶選択科目	26 または 34		修士論文を執筆する者は26単位 修士論文を執筆しない者は34単位を習得し, リサーチ・ペ ーパーを提出すること
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文 またはリサーチ・ペーパー			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に 合格すること (修士論文またはリサーチ・ペーパーを提出する学期の 履修登録期間に必ず修士論文, リサーチ・ペーパーの登 録をすること)

【15～16年次生 Aコース（後期課程進学）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
‣必修科目	4		
└文学研究法Ⅰ	2		
└文学研究法Ⅱ	2		
‣選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【15～16年次生 Bコース（前期課程完結）】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30 または 38		
授業科目			
‣必修科目	4		
└文学研究法Ⅰ	2		
└文学研究法Ⅱ	2		
‣選択科目	26 または 34		修士論文を執筆する者は26単位 修士論文を執筆しない者は34単位を習得し，リサーチ・ペーパーを提出すること
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし，国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文 またはリサーチ・ペーパー			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文またはリサーチ・ペーパーを提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文，リサーチ・ペーパーの登録をすること)

### 【修士論文審査基準】

- 1) テーマ設定が明確であること。
- 2) 研究対象分野における過去の研究史を理解し、これを踏まえたうえで発見された研究課題であること。
- 3) 独自の知見を提示する研究であること。
- 4) 論文構成が的確で、論理展開が明確であること。
- 5) 言語表現が的確であり、形式と体裁に関する規定が守られていること。

### 【リサーチ・ペーパー審査基準】

- 1) テーマ設定が明確であること。
- 2) 研究対象分野における過去の研究史について一定の理解を示していること。
- 3) 構成が的確で、論理展開が明確であること。
- 4) 言語表現が的確であり、形式と体裁に関する規定が守られていること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
文学研究法Ⅰ *	2		
文学研究法Ⅱ *	2		
英文学特講・演習A1			2
英文学特講・演習A2			2
英文学特講・演習B1			2
英文学特講・演習B2			2
英文学特講・演習C1			2
英文学特講・演習C2			2
英文学特講・演習D1			2
英文学特講・演習D2			2
英文学特講・演習E1			2
英文学特講・演習E2			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
アメリカ文学特講・演習A1			2
アメリカ文学特講・演習A2			2
アメリカ文学特講・演習B1			2
アメリカ文学特講・演習B2			2
アメリカ文学特講・演習C1			2
アメリカ文学特講・演習C2			2
英語学英語教育特講・演習A1			2
英語学英語教育特講・演習A2			2
英語学英語教育特講・演習B1			2
英語学英語教育特講・演習B2			2
文化研究特講・演習A1			2
文化研究特講・演習A2			2
アメリカ文化研究特講・演習A1 (2016年度まで開講)			2
イギリス文化研究特講・演習A2 (2016年度まで開講)			2

\* M1対象

## 3. 履修上の注意

- 1) 英米文学専攻に所属する学生は、「大学院英米文学専攻履修上の注意」に従って履修すること。
- 2) 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 「文学研究法Ⅰ（必修）」、「文学研究法Ⅱ（必修）」を一年次に履修すること。
- 4) Bコース（前期課程完結）の学生の必要単位数は、修士論文を執筆する場合、30単位。修士論文を執筆しない場合は38単位を修得のうえ、リサーチ・ペーパーを提出する。詳細は専攻の規定に従うこと。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※*：非常勤教員	備考
MHEL1001	春	文学研究法 I	ELI501	2	西 能 史	
MHEL7211	春	英文学特講・演習B 1	ELI703	2	新 井 潤 美	
MHEL7221	春	英文学特講・演習C 1	ELI705	2	舟 川 一 彦	
MHEL7251	春	アメリカ文学特講・演習A 1	ELI711	2	増 井 志津代	
MHEL7261	春	アメリカ文学特講・演習B 1	ELI713	2	大 塚 寿 郎	
MHEL7271	春	アメリカ文学特講・演習C 1	ELI715	2	飯 野 友 幸	
MHEL7281	春	英語学英语教育特講・演習A 1	ELI717	2	池 田 真	★
MHEL7291	春	英語学英语教育特講・演習B 1	ELI719	2	*織 田 哲 司	
MHEL7301	春	文化研究特講・演習A 1	ELI721	2	*DALE Joshua	★
MHEL1002	秋	文学研究法 II	ELI502	2	*DALE Joshua	★
MHEL7202	秋	英文学特講・演習A 2	ELI702	2	西 能 史	
MHEL7222	秋	英文学特講・演習C 2	ELI706	2	舟 川 一 彦	
MHEL7232	秋	英文学特講・演習D 2	ELI708	2	永 富 友 海	
MHEL7242	秋	英文学特講・演習E 2	ELI710	2	CHEETHAM Dominic	
MHEL7252	秋	アメリカ文学特講・演習A 2	ELI712	2	増 井 志津代	
MHEL7262	秋	アメリカ文学特講・演習B 2	ELI714	2	*高 尾 直 知	
MHEL7272	秋	アメリカ文学特講・演習C 2	ELI716	2	飯 野 友 幸	
MHEL7282	秋	英語学英语教育特講・演習A 2	ELI718	2	池 田 真	★
MHEL7292	秋	英語学英语教育特講・演習B 2	ELI720	2	*織 田 哲 司	
MHEL9120	秋	修士論文	ELI899	0	英米文学専攻 各指導教員	M2対象
MHEL9130	秋	リサーチ・ペーパー	ELI898	0	英米文学専攻 各指導教員	M2対象 (Bコース選択者のみ)
MHEL7201	休講	英文学特講・演習A 1	ELI701	2		
MHEL7212	休講	英文学特講・演習B 2	ELI704	2		
MHEL7231	休講	英文学特講・演習D 1	ELI707	2		
MHEL7241	休講	英文学特講・演習E 1	ELI709	2		★
MHEL7302	休講	文化研究特講・演習A 2	ELI722	2		

#### 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ELI888	舟 川 一 彦	
	飯 野 友 幸	
	大 塚 寿 郎	
	増 井 志津代	
	永 富 友 海	
	池 田 真	
	西 能 史	
	新 井 潤 美	
	松 本 朗	休講 (春・秋)

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		
授業科目			
・必修科目	12		
↳リーディング・コース	12		3年間で合計12単位
・選択科目			
研究指導 (必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 修了論文あるいは博士予備論文 博士論文の審査および試験に合格すること

【11~15年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		
授業科目			
・必修科目	12		
↳リーディング・コース	12		3年間で合計12単位
・選択科目			
研究指導 (必修)			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 修了論文あるいは博士予備論文 博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

- 1) テーマ設定が明確であること。
- 2) 研究対象分野における過去の研究史を理解し, これを踏まえた上で発見された研究課題であること。
- 3) 顕著な独創性を持った知見を提示し, これにより学界に何らかの貢献をなすものであること。
- 4) 論文構成が的確で, 論理展開が明確であること。
- 5) 言語表現が的確であり, 形式と体裁に関する規定が守られていること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選択	選択
リーディング・コース1 A	2		
リーディング・コース1 B	2		
リーディング・コース2 A	2		
リーディング・コース2 B	2		
リーディング・コース3 A	2		
リーディング・コース3 B	2		
リーディング・コース4 A	2		
リーディング・コース4 B	2		
リーディング・コース5 A	2		
リーディング・コース5 B	2		
リーディング・コース6 A	2		
リーディング・コース6 B	2		
リーディング・コース7 A	2		
リーディング・コース7 B	2		
リーディング・コース8 A	2		
リーディング・コース8 B	2		
リーディング・コース9 A	2		
リーディング・コース9 B	2		

注) 2015 年度より通年から学期開講に分割された。

## 3. 履修上の注意

後期課程の学生は、3 年間に、指導教員を含めて 3 名の教員によるリーディング・コースを 1 名につき 2 学期分ずつ履修することにより 12 単位を与えられる。コースは英文学、アメリカ文学、英語学の 3 分野からできるだけ万遍なく選択するように心がけるべきである。すべてが同じ分野のものであってはいけない。また、同じ教員のコースを、2 学期を超えて履修することはできない。将来、課程博士論文を提出して学位を得ようとする者は、リーディング・コースの履修に加えて、自分の専門分野における 3 年間の研究成果を修了論文あるいは博士予備論文として提出し、専攻所属教員による審査を受ける。修了論文あるいは博士予備論文については、英米文学専攻内規に詳細を定める。

なお、「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017 年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
DHEL3411	春	リーディング・コース1 A	ELI901	2	新井潤美	
DHEL3421	春	リーディング・コース2 A	ELI903	2	舟川一彦	
DHEL3431	春	リーディング・コース3 A	ELI905	2	飯野友幸	
DHEL3441	春	リーディング・コース4 A	ELI907	2	大塚寿郎	
DHEL3451	春	リーディング・コース5 A	ELI909	2	増井志津代	
DHEL3461	春	リーディング・コース6 A	ELI911	2	永富友海	
DHEL3471	春	リーディング・コース7 A	ELI913	2	池田真	
DHEL3491	春	リーディング・コース9 A	ELI917	2	西能史	
DHEL3412	秋	リーディング・コース1 B	ELI902	2	新井潤美	
DHEL3422	秋	リーディング・コース2 B	ELI904	2	舟川一彦	
DHEL3432	秋	リーディング・コース3 B	ELI906	2	飯野友幸	
DHEL3442	秋	リーディング・コース4 B	ELI908	2	大塚寿郎	
DHEL3452	秋	リーディング・コース5 B	ELI910	2	増井志津代	
DHEL3462	秋	リーディング・コース6 B	ELI912	2	永富友海	
DHEL3472	秋	リーディング・コース7 B	ELI914	2	池田真	
DHEL3492	秋	リーディング・コース9 B	ELI918	2	西能史	
DHEL3481	休講	リーディング・コース8 A	ELI915	2	松本朗	
DHEL3482	休講	リーディング・コース8 B	ELI916	2	松本朗	

#### 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ELI988	新井潤美	
	舟川一彦	
	飯野友幸	
	大塚寿郎	
	増井志津代	
	永富友海	
	池田真	
	西能史	
	松本朗	休講(春・秋)

## ドイツ文学専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択科目	30		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

#### 【13～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択科目	30		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

#### 【修士論文審査基準】

自立した研究者に必要な資質と能力を示す論文であること。

- 1) テーマ設定が的確であること。
- 2) 関連する先行研究を踏まえ, 論文の位置づけが明確にされていること。
- 3) 論文の構成が適切であり, 論理展開が明快であること。
- 4) 伝えるべきことを十全に伝える言語表現がなされていること。
- 5) 引用などに関する規定が守られていること。



## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
＜文学研究系列＞			
ドイツ文学研究Ⅰa			2
ドイツ文学研究Ⅰb			2
ドイツ文学研究Ⅱa			2
ドイツ文学研究Ⅱb			2
ドイツ文学研究Ⅲa			2
ドイツ文学研究Ⅲb			2
ドイツ文学研究Ⅳa			2
ドイツ文学研究Ⅳb			2
ドイツ文学研究Ⅴa			2
ドイツ文学研究Ⅴb			2
ドイツ文学研究Ⅵa			2
ドイツ文学研究Ⅵb			2
ドイツ文学研究Ⅶa			2
ドイツ文学研究Ⅶb			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
＜文化研究系列＞			
ドイツ文化研究Ⅰa			2
ドイツ文化研究Ⅰb			2
ドイツ文化研究Ⅱa			2
ドイツ文化研究Ⅱb			2
ドイツ文化研究Ⅲa			2
ドイツ文化研究Ⅲb			2
＜言語研究系列＞			
(他) ドイツ語統語論1 ※注1			2
(他) ドイツ語統語論2 ※注1			2
(他) ドイツ語文体論1 ※注1			2
(他) ドイツ語文体論2 ※注1			2
(他) ドイツ語音韻論1 ※注1			2
(他) ドイツ語音韻論2 ※注1			2
(他) ドイツ語教育1 ※注1			2
(他) ドイツ語教育2 ※注1			2
(他) ドイツ語意味論1 ※注1			2
(他) ドイツ語意味論2 ※注1			2

※注1 言語学専攻開講科目。詳細はp. 213～p. 214参照。

## 3. 履修上の注意

前期課程の学生は、指導教員の指導のもとに修士論文を作成すること。

また、「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他): 他専攻教員 *: 非常勤教員	備考
MHGL7310	春	ドイツ文学研究Ⅰa	GLI731	2	中井真之	
MHGL7320	秋	ドイツ文学研究Ⅰb	GLI732	2	中井真之	
MHGL7330	春	ドイツ文学研究Ⅱa	GLI733	2	高橋明彦	
MHGL7340	秋	ドイツ文学研究Ⅱb	GLI734	2	高橋明彦	
MHGL7350	春	ドイツ文学研究Ⅲa	GLI735	2	佐藤朋之	
MHGL7360	秋	ドイツ文学研究Ⅲb	GLI736	2	佐藤朋之	
MHGL7370	春	ドイツ文学研究Ⅳa	GLI737	2	*初見基	
MHGL7380	秋	ドイツ文学研究Ⅳb	GLI738	2	*高橋輝暁	
MHGL7390	春	ドイツ文学研究Ⅴa	GLI739	2	北島玲子	
MHGL7400	休講	ドイツ文学研究Ⅴb	GLI740	2		
MHGL7410	春	ドイツ文学研究Ⅵa	GLI741	2	*MEUTHEN Erich	★
MHGL7420	秋	ドイツ文学研究Ⅵb	GLI742	2	北島玲子	
MHGL7430	休講	ドイツ文学研究Ⅶa	GLI743	2		
MHGL7440	休講	ドイツ文学研究Ⅶb	GLI744	2		
MHGL7610	休講	ドイツ文化研究Ⅰa	GLI761	2		
MHGL7620	秋	ドイツ文化研究Ⅰb	GLI762	2	*佐藤直樹	
MHGL7630	春	ドイツ文化研究Ⅱa	GLI763	2	DUPPEL Mechthild	★
MHGL7640	秋	ドイツ文化研究Ⅱb	GLI764	2	DUPPEL Mechthild	★
MHGL7650	休講	ドイツ文化研究Ⅲa	GLI765	2		
MHGL7660	休講	ドイツ文化研究Ⅲb	GLI766	2		
MHGL9280	秋	修士論文	GLI899	0	ドイツ文学専攻 各指導教員	M2対象

#### 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
GLI888	高橋明彦	
	北島玲子	
	中村朝子	
	佐藤朋之	
	DUPPEL Mechthild	
	中井真之	

## ドイツ文学専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	14		
授業科目			
▶選択必修科目			
└─自専攻科目			
▶選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

#### 【13～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	14		
授業科目			
▶選択必修科目			
└─自専攻科目			
▶選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

#### 【博士論文審査基準】

自立した研究者として, 専門分野において独自の貢献を行うことができる能力を示す論文であること。

- 1) テーマ設定が的確であり, 専門分野に新たな知見をもたらすものであること。
- 2) 関連する先行研究を踏まえ, 論文の位置づけが明確にされていること。
- 3) 論文の構成が適切であり, 論理展開が明快であること。
- 4) 伝えるべきことを十全に伝える言語表現がなされていること。
- 5) 引用などに関する規定が守られていること。

なお, 博士論文を提出するための前提条件等に関しては, ドイツ文学専攻博士学位授与に関する内規を参照のこと。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;文学研究系列&gt;</b>			
ドイツ文学研究Ⅰa			2
ドイツ文学研究Ⅰb			2
ドイツ文学研究Ⅱa			2
ドイツ文学研究Ⅱb			2
ドイツ文学研究Ⅲa			2
ドイツ文学研究Ⅲb			2
ドイツ文学研究Ⅳa			2
ドイツ文学研究Ⅳb			2
ドイツ文学研究Ⅴa			2
ドイツ文学研究Ⅴb			2
ドイツ文学研究Ⅵa			2
ドイツ文学研究Ⅵb			2
ドイツ文学研究Ⅶa			2
ドイツ文学研究Ⅶb			2
<b>&lt;文化研究系列&gt;</b>			
ドイツ文化研究Ⅰa			2
ドイツ文化研究Ⅰb			2
ドイツ文化研究Ⅱa			2
ドイツ文化研究Ⅱb			2
ドイツ文化研究Ⅲa			2
ドイツ文化研究Ⅲb			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;言語研究系列&gt;</b>			
(他) ドイツ語統語論 1 ※			2
(他) ドイツ語統語論 2 ※			2
(他) ドイツ語文体論 1 ※			2
(他) ドイツ語文体論 2 ※			2
(他) ドイツ語音韻論 1 ※			2
(他) ドイツ語音韻論 2 ※			2
(他) ドイツ語教育 1 ※			2
(他) ドイツ語教育 2 ※			2
(他) ドイツ語意味論 1 ※			2
(他) ドイツ語意味論 2 ※			2

※ 言語学専攻開講科目。詳細はp. 213～p. 214参照。

## 3. 履修上の注意

- 1) 後期課程の学生は、指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 2) 指導教員開講科目は必ず履修すること。
- 3) 指導教員以外の開講科目より4科目8単位は履修すること。
- 4) 博士論文を作成し、提出したい者は、「ドイツ文学専攻博士学位授与に関する内規」に従って所定の手続きをとること。
- 5) 博士論文を提出せずに満期退学する場合も、在籍中の研究成果を論文、もしくは論文に準ずる形で提出しなければならない。

## 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他): 他専攻教員 *: 非常勤教員	備考
MHGL7310	春	ドイツ文学研究Ⅰa	GLI731	2	中井真之	
MHGL7320	秋	ドイツ文学研究Ⅰb	GLI732	2	中井真之	
MHGL7330	春	ドイツ文学研究Ⅱa	GLI733	2	高橋明彦	
MHGL7340	秋	ドイツ文学研究Ⅱb	GLI734	2	高橋明彦	
MHGL7350	春	ドイツ文学研究Ⅲa	GLI735	2	佐藤朋之	
MHGL7360	秋	ドイツ文学研究Ⅲb	GLI736	2	佐藤朋之	
MHGL7370	春	ドイツ文学研究Ⅳa	GLI737	2	*初見基	
MHGL7380	秋	ドイツ文学研究Ⅳb	GLI738	2	*高橋輝暁	
MHGL7390	春	ドイツ文学研究Ⅴa	GLI739	2	北島玲子	
MHGL7400	休講	ドイツ文学研究Ⅴb	GLI740	2		
MHGL7410	春	ドイツ文学研究Ⅵa	GLI741	2	*MEUTHEN Erich	★
MHGL7420	秋	ドイツ文学研究Ⅵb	GLI742	2	北島玲子	
MHGL7430	休講	ドイツ文学研究Ⅶa	GLI743	2		
MHGL7440	休講	ドイツ文学研究Ⅶb	GLI744	2		
MHGL7610	休講	ドイツ文化研究Ⅰa	GLI761	2		
MHGL7620	秋	ドイツ文化研究Ⅰb	GLI762	2	*佐藤直樹	
MHGL7630	春	ドイツ文化研究Ⅱa	GLI763	2	DUPPEL Mechthild	★
MHGL7640	秋	ドイツ文化研究Ⅱb	GLI764	2	DUPPEL Mechthild	★
MHGL7650	休講	ドイツ文化研究Ⅲa	GLI765	2		
MHGL7660	休講	ドイツ文化研究Ⅲb	GLI766	2		

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
GLI988	高橋明彦	
	北島玲子	
	中村朝子	
	佐藤朋之	
	DUPPEL Mechthild	
	中井真之	

## フランス文学専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択科目	30		
└自専攻科目			
└A群	24		
└B群			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

#### 【14～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶選択科目	30		
└自専攻科目			
└A群	24		
└B群			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

## 【10年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
▶選択科目	30		
└自専攻科目			
└A群	24		
└B群			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない
修士論文			必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

## 【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容に社会的・学術的意義が認められるものであること。
- 2) 研究テーマが明確で、問題設定が適切なものであること。
- 3) 先行研究が十分に参照され、引用が適切に明記されていること。
- 4) 論文の構成が的確になされ、論理の展開が明晰であること。
- 5) 論文の言語表現が正しく、目次と本文に整合性があること。  
(論文のあり方全般や規格については、ガイダンスの時に配布するマニュアルを参照のこと。)

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt; A群 &gt;</b>			
19世紀小説研究 I			2
19世紀小説研究 II			2
モデルニテ研究 I			2
モデルニテ研究 II			2
20世紀文学研究 I			2
20世紀文学研究 II			2
古典主義文学研究 I			2
古典主義文学研究 II			2
キリスト教文学研究 I			2
キリスト教文学研究 II			2
自伝文学研究 I			2
自伝文学研究 II			2
アンシャン・レジーム文学研究 I			2
アンシャン・レジーム文学研究 II			2
専門文献研究 A I			2
専門文献研究 A II			2
専門文献研究 B I			2
専門文献研究 B II			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
専門文献研究 C I			2
専門文献研究 C II			2
専門文献研究 D I			2
専門文献研究 D II			2
(他) 翻訳文化研究 II A ※注1			2
(他) 翻訳文化研究 II B ※注1			2
<b>&lt; B群 &gt;</b>			
フランス語小論文作成法			2
情報科学とフランス文学			2
(他) フランス語文体論1 ※注2			2
(他) フランス語文体論2 ※注2			2
(他) フランス語文法論1 ※注2			2
(他) フランス語文法論2 ※注2			2
(他) フランス語：文体から意味へ1 ※注2			2
(他) フランス語：文体から意味へ2 ※注2			2
(他) フランス語通訳論1 ※注2			2
(他) フランス語通訳論2 ※注2			2

※注1：文化交渉学専攻開講科目。詳細はp. 118参照。

※注2：言語学専攻開講科目。詳細はp. 213～p. 214参照。

### 3. 履修上の注意

- 1) 11年次生以降については、指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件を参照すること。
- 2) A群より24単位履修すること。
- 3) A群・B群いずれの科目も，繰り返し履修することが可能である。
- 4) 委託聴講科目の単位はA群科目として認定する。
- 5) 4月初旬のガイダンスにおいて配布される「フランス文学専攻マニュアル」を参照のこと。

### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHFL7090	春	古典主義文学研究 I	FLI709	2	小倉博孝	
MHFL7160	春	アンジャン・レジーム文学研究II	FLI716	2	DESPREZ Michaël	
MHFL7340	春	モデルニテ研究 I	FLI734	2	吉村和明	
MHFL7390	春	専門文献研究 A II	FLI739	2	*藤原真実	
MHFL7410	春	専門文献研究 B II	FLI741	2	*月村辰雄	
MHFL7420	春	専門文献研究 C I	FLI742	2	*赤羽研三	
MHFL7440	春	専門文献研究 D I	FLI744	2	*大森晋輔	
MHFL7480	春	キリスト教文学研究 I	FLI721	2	福田耕介	
MHFL7100	秋	古典主義文学研究 II	FLI710	2	小倉博孝	
MHFL7320	秋	19世紀小説研究 I	FLI732	2	澤田肇	
MHFL7350	秋	モデルニテ研究 II	FLI735	2	吉村和明	
MHFL7360	秋	20世紀文学研究 I	FLI736	2	永井敦子	
MHFL7400	秋	専門文献研究 B I	FLI740	2	*笠間直穂子	
MHFL7490	秋	キリスト教文学研究 II	FLI722	2	福田耕介	
MHFL9300	秋	修士論文	FLI899	0	フランス文学 専攻各指導教員	M2対象
MHFL7110	休講	自伝文学研究 I	FLI711	2	PEYRON Bruno	
MHFL7120	休講	自伝文学研究 II	FLI712	2	PEYRON Bruno	
MHFL7150	休講	アンジャン・レジーム文学研究 I	FLI715	2	DESPREZ Michaël	
MHFL7270	休講	情報科学とフランス文学	FLI727	2	澤田肇	
MHFL7330	休講	19世紀小説研究 II	FLI733	2	澤田肇	
MHFL7370	休講	20世紀文学研究 II	FLI737	2	永井敦子	
MHFL7380	休講	専門文献研究 A I	FLI738	2		
MHFL7430	休講	専門文献研究 C II	FLI743	2		
MHFL7450	休講	専門文献研究 D II	FLI745	2		
MHFL7460	休講	フランス語小論文作成法	FLI746	2	PEYRON Bruno	

### 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
FLI888	澤田肇	
	吉村和明	
	永井敦子	
	小倉博孝	
	福田耕介	
	DESPREZ Michaël	
	PEYRON Bruno	休講(春・秋)



## フランス文学専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	6		
↳ 選択科目	6		
↳ 自専攻科目			
研究指導 (必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

#### 【12~14年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
研究指導 (必修)			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

#### 【博士論文審査基準】

- 1) 研究の内容に社会的・学術的意義が認められるものであること。
- 2) 研究テーマが明確で, 問題設定が適切なものであること。
- 3) 先行研究が十分に参照され, 引用が適切に明記されていること。
- 4) 論文の構成が的確になされ, 論理の展開が明晰であること。
- 5) 論文の言語表現が正しく, 目次と本文に整合性があること。
- 6) 研究分野における先端的成果とみなされるものであること。  
(論文のあり方全般や規格については, ガイダンスの時に配布するマニュアルを参照のこと。)

### 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
19世紀小説特殊研究 I			2
19世紀小説特殊研究 II			2
モデルニテ特殊研究 I			2
モデルニテ特殊研究 II			2
20世紀文学特殊研究 I			2
20世紀文学特殊研究 II			2
古典主義文学特殊研究 I			2

科目名 ※(他): 他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
古典主義文学特殊研究 II			2
キリスト教文学特殊研究 I			2
キリスト教文学特殊研究 II			2
自伝文学特殊研究 I			2
自伝文学特殊研究 II			2
アンシャン・レジーム文学特殊研究 I			2
アンシャン・レジーム文学特殊研究 II			2

### 3. 履修上の注意

- 1) 17年次生は、後期課程在籍中に開講科目の中から最低6単位を修得すること。
- 2) 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 4月初旬のガイダンスにおいて配布される「フランス文学専攻マニュアル」を参照のこと。

### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	備考
DHFL7010	春	古典主義文学特殊研究Ⅰ	FLI901	2	小倉博孝	
DHFL7060	春	アンジャン・レジーム文学特殊研究Ⅱ	FLI946	2	DESPREZ Michaël	
DHFL7090	春	モデルニテ特殊研究Ⅰ	FLI915	2	吉村和明	
DHFL7130	春	キリスト教文学特殊研究Ⅰ	FLI925	2	福田耕介	
DHFL7020	秋	古典主義文学特殊研究Ⅱ	FLI902	2	小倉博孝	
DHFL7070	秋	19世紀小説特殊研究Ⅰ	FLI911	2	澤田肇	
DHFL7100	秋	モデルニテ特殊研究Ⅱ	FLI916	2	吉村和明	
DHFL7110	秋	20世紀文学特殊研究Ⅰ	FLI921	2	永井敦子	
DHFL7140	秋	キリスト教文学特殊研究Ⅱ	FLI926	2	福田耕介	
DHFL7030	休講	自伝文学特殊研究Ⅰ	FLI941	2	PEYRON Bruno	
DHFL7040	休講	自伝文学特殊研究Ⅱ	FLI942	2	PEYRON Bruno	
DHFL7050	休講	アンジャン・レジーム文学特殊研究Ⅰ	FLI945	2	DESPREZ Michaël	
DHFL7080	休講	19世紀小説特殊研究Ⅱ	FLI912	2	澤田肇	
DHFL7120	休講	20世紀文学特殊研究Ⅱ	FLI922	2	永井敦子	

### 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
FLI988	澤田肇	
	吉村和明	
	永井敦子	
	小倉博孝	
	福田耕介	
	DESPREZ Michaël	
	PEYRON Bruno	休講(春・秋)

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	20		
└コミュニケーション論特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
└ジャーナリズム史特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
└マス・メディア論特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
└論文演習Ⅰa	2		
└論文演習Ⅰb	2		
└論文演習Ⅱa	2		
└論文演習Ⅱb	2		
・選択科目	10		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる (P.28参照)
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【15~16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	20		
└コミュニケーション論特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
└ジャーナリズム史特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
└マス・メディア論特講Ⅰ・Ⅱ	各2		
└論文演習Ⅰa	2		
└論文演習Ⅰb	2		
└論文演習Ⅱa	2		
└論文演習Ⅱb	2		
・選択科目	10		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる (P.28参照)
研究指導 (必修)			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

## 【14年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	20		
└コミュニケーション論特講	4		
└ジャーナリズム史特講	4		
└マス・メディア論特講	4		
└論文演習Ⅰa	2		
└論文演習Ⅰb	2		
└論文演習Ⅱa	2		
└論文演習Ⅱb	2		
・選択科目	10		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる（P.28参照）
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること（修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

## 【修士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で，テーマが十分に絞り込まれていること。
- 2) 先行研究が十分に参照され，引用が的確になされていること。
- 3) 研究目的に照らして，研究のデザイン・分析方法等が適切であること。
- 4) 論文構成が的確で，論理展開に整合性・一貫性があること。
- 5) 論文の言語表現が的確で正しく，目次・注釈等に関する体裁が整っていること。
- 6) 得られた知見にオリジナリティがあり，新聞学の研究に寄与するものであること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
コミュニケーション論特講Ⅰ	2		
コミュニケーション論特講Ⅱ	2		
コミュニケーション論演習			2
ジャーナリズム史特講Ⅰ	2		
ジャーナリズム史特講Ⅱ	2		
ジャーナリズム史演習			2
マス・メディア論特講Ⅰ	2		
マス・メディア論特講Ⅱ	2		
マス・メディア論演習			2
新聞論特講Ⅰ			2
新聞論特講Ⅱ			2
放送論特講Ⅰ			2
放送論特講Ⅱ			2
広告論特講Ⅰ			2
広告論特講Ⅱ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
マス・コミュニケーション法制特講Ⅰ			2
マス・コミュニケーション法制特講Ⅱ			2
米州のマス・メディア論特講Ⅰ			2
米州のマス・メディア論特講Ⅱ			2
国際コミュニケーション論特講Ⅰ			2
国際コミュニケーション論特講Ⅱ			2
情報科学論特講Ⅰ			2
情報科学論特講Ⅱ			2
マス・コミュニケーション調査特講Ⅰ			2
マス・コミュニケーション調査特講Ⅱ			2
論文演習Ⅰa	2		
論文演習Ⅰb	2		
論文演習Ⅱa	2		
論文演習Ⅱb	2		

### 3. 履修上の注意

- 1) 指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件を参照すること。
- 2) 前期課程において修士論文を提出するに際しては、その概要書 (A4横書・40字・35行で4枚程度) も併せて提出すること。
- 3) 必修及び選択科目「Ⅱ」の科目については、原則同一科目名の「Ⅰ」を履修していなければならない。

### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他): 他専攻教員 *: 非常勤教員	備考
MHJN1000	春	コミュニケーション論特講Ⅰ	JRN511	2	音 好 宏	後期課程「コミュニケーション論特殊研究Ⅰa」と合併
MHJN1040	春	ジャーナリズム史特講Ⅰ	JRN513	2	鈴 木 雄 雅	後期課程「ジャーナリズム史特殊研究Ⅰ」と合併
MHJN1070	春	マス・メディア論特講Ⅰ	JRN515	2	田 島 泰 彦	後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅱa」と合併
MHJN1261	春	論文演習Ⅰa	JRN501	2	鈴 木 雄 雅	M1(17年次生)対象, 注1参照
MHJN1271	春	論文演習Ⅰa	JRN501	2	音 好 宏	M1(17年次生)対象, 注1参照
MHJN1281	春	論文演習Ⅰa	JRN501	2	田 島 泰 彦	M1(17年次生)対象, 注1参照
MHJN1291	春	論文演習Ⅰa	JRN501	2	碓 井 広 義	M1(17年次生)対象, 注1参照
MHJN1301	春	論文演習Ⅰa	JRN501	2	渡 邊 久 哲	M1(17年次生)対象, 注1参照
MHJN1321	春	論文演習Ⅰa	JRN501	2	柴 野 京 子	M1(17年次生)対象, 注1参照
MHJN1341	春	論文演習Ⅰa	JRN501	2	水 島 宏 明	M1(17年次生)対象, 注1参照
MHJN2021	春	論文演習Ⅱa	JRN601	2	鈴 木 雄 雅	M2(16年次生)対象, 注1参照
MHJN2031	春	論文演習Ⅱa	JRN601	2	音 好 宏	M2(16年次生)対象, 注1参照
MHJN2041	春	論文演習Ⅱa	JRN601	2	田 島 泰 彦	M2(16年次生)対象, 注1参照
MHJN2051	春	論文演習Ⅱa	JRN601	2	碓 井 広 義	M2(16年次生)対象, 注1参照
MHJN2061	春	論文演習Ⅱa	JRN601	2	渡 邊 久 哲	M2(16年次生)対象, 注1参照
MHJN2081	春	論文演習Ⅱa	JRN601	2	柴 野 京 子	M2(16年次生)対象, 注1参照
MHJN2101	春	論文演習Ⅱa	JRN601	2	水 島 宏 明	M2(16年次生)対象, 注1参照
MHJN7050	春	広告論特講Ⅰ	JRN705	2	渡 邊 久 哲	
MHJN7101	春	マス・コミュニケーション法制特講Ⅰ	JRN709	2	田 島 泰 彦	後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅱa」と合併
MHJN7111	春	米州のマス・メディア論特講Ⅰ	JRN711	2	*大 井 眞 二	
MHJN7150	春	新聞論特講Ⅰ	JRN715	2	小 此 木 潔	後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅰa」と合併
MHJN7170	春	放送論特講Ⅰ	JRN717	2	水 島 宏 明	
MHJN7210	春	情報科学論特講Ⅰ	JRN721	2	音 好 宏	
MHJN7230	春	マス・コミュニケーション調査特講Ⅰ	JRN723	2	渡 邊 久 哲	
MHJN9211	春	修士論文	JRN899	0	新聞学専攻各指導教員	M2 対象 ※9月修了希望者のみ登録可
MHJN1020	秋	コミュニケーション論特講Ⅱ	JRN512	2	音 好 宏	後期課程「コミュニケーション論特殊研究Ⅰb」と合併
MHJN1060	秋	ジャーナリズム史特講Ⅱ	JRN514	2	鈴 木 雄 雅	後期課程「ジャーナリズム史特殊研究Ⅱ」と合併
MHJN1080	秋	マス・メディア論特講Ⅱ	JRN516	2	田 島 泰 彦	後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅱb」と合併
MHJN1262	秋	論文演習Ⅰb	JRN502	2	鈴 木 雄 雅	M1(17年次生)対象, 注1参照
MHJN1272	秋	論文演習Ⅰb	JRN502	2	音 好 宏	M1(17年次生)対象, 注1参照
MHJN1282	秋	論文演習Ⅰb	JRN502	2	田 島 泰 彦	M1(17年次生)対象, 注1参照
MHJN1292	秋	論文演習Ⅰb	JRN502	2	碓 井 広 義	M1(17年次生)対象, 注1参照
MHJN1302	秋	論文演習Ⅰb	JRN502	2	渡 邊 久 哲	M1(17年次生)対象, 注1参照
MHJN1312	秋	論文演習Ⅰb	JRN502	2	阿 部 る り	M1(17年次生)対象, 注1参照
MHJN1322	秋	論文演習Ⅰb	JRN502	2	柴 野 京 子	M1(17年次生)対象, 注1参照
MHJN1342	秋	論文演習Ⅰb	JRN502	2	水 島 宏 明	M1(17年次生)対象, 注1参照
MHJN2022	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	鈴 木 雄 雅	M2(16年次生)対象, 注1参照
MHJN2032	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	音 好 宏	M2(16年次生)対象, 注1参照

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHJN2042	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	田島泰彦	M2(16年次生)対象,注1参照
MHJN2052	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	碓井広義	M2(16年次生)対象,注1参照
MHJN2062	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	渡邊久哲	M2(16年次生)対象,注1参照
MHJN2072	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	阿部るり	M2(16年次生)対象,注1参照
MHJN2082	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	柴野京子	M2(16年次生)対象,注1参照
MHJN2102	秋	論文演習Ⅱb	JRN602	2	水島宏明	M2(16年次生)対象,注1参照
MHJN7040	秋	ジャーナリズム史演習	JRN704	2	鈴木雄雅	
MHJN7060	秋	マス・メディア論演習	JRN706	2	柴野京子	
MHJN7070	秋	広告論特講Ⅱ	JRN707	2	渡邊久哲	
MHJN7102	秋	マス・コミュニケーション法制特講Ⅱ	JRN710	2	田島泰彦	後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅱb」と合併
MHJN7112	秋	米州のマス・メディア論特講Ⅱ	JRN712	2	*大井眞二	
MHJN7160	秋	新聞論特講Ⅱ	JRN716	2	小此木潔	後期課程「マス・メディア論特殊研究Ⅰb」と合併
MHJN7180	秋	放送論特講Ⅱ	JRN718	2	水島宏明	
MHJN7200	秋	国際コミュニケーション論特講Ⅱ	JRN720	2	阿部るり	
MHJN7220	秋	情報科学論特講Ⅱ	JRN722	2	音好宏	
MHJN7240	秋	マス・コミュニケーション調査特講Ⅱ	JRN724	2	渡邊久哲	
MHJN9210	秋	修士論文	JRN899	0	新聞学専攻各指導教員	M2 対象
MHJN1311	休講	論文演習Ⅰa	JRN501	2		M1(17年次生)対象,注1参照
MHJN2071	休講	論文演習Ⅱa	JRN601	2		M2(16年次生)対象,注1参照
MHJN7020	休講	コミュニケーション論演習	JRN702	2	*未定	★
MHJN7190	休講	国際コミュニケーション論特講Ⅰ	JRN719	2		

注1：論文演習については以下の通り合同で行う(合併科目)

前期課程「論文演習Ⅰa」,「論文演習Ⅱa」/後期課程「論文演習Ⅰa」,「論文演習Ⅱa」,「論文演習Ⅲa」

前期課程「論文演習Ⅰb」,「論文演習Ⅱb」/後期課程「論文演習Ⅰb」,「論文演習Ⅱb」,「論文演習Ⅲb」

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
JRN888	鈴木雄雅	
	音好宏	
	田島泰彦	
	碓井広義	
	渡邊久哲	
	柴野京子	
	水島宏明	
	阿部るり	休講(春)

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		
授業科目			
・必修科目	12		
└論文演習Ⅰa	2		
└論文演習Ⅰb	2		
└論文演習Ⅱa	2		
└論文演習Ⅱb	2		
└論文演習Ⅲa	2		
└論文演習Ⅲb	2		
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【13～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	12		
授業科目			
・必修科目	12		
└論文演習Ⅰa	2		
└論文演習Ⅰb	2		
└論文演習Ⅱa	2		
└論文演習Ⅱb	2		
└論文演習Ⅲa	2		
└論文演習Ⅲb	2		
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【博士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で, テーマが十分に絞り込まれていること。
- 2) 先行研究を十分に検討・吟味し, 引用が的確になされていること。
- 3) 研究目的に照らして, 研究のデザイン・分析方法等が適切であること。
- 4) 論文構成が的確で, 論理展開に整合性・一貫性があること。
- 5) 論文の言語表現が的確で正しく, 目次・注釈等に関する体裁が整っていること。
- 6) 得られた知見にオリジナリティがあり, 新聞学の研究に寄与するものであること。
- 7) 執筆者に今後研究者として自立して研究を遂行していく能力があることを示すものであること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
コミュニケーション論特殊研究Ⅰa			2
コミュニケーション論特殊研究Ⅰb			2
コミュニケーション論特殊研究Ⅱa			2
コミュニケーション論特殊研究Ⅱb			2
コミュニケーション論特殊研究演習Ⅰ			2
コミュニケーション論特殊研究演習Ⅱ			2
ジャーナリズム史特殊研究Ⅰ			2
ジャーナリズム史特殊研究Ⅱ			2
ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅰ			2
ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅱ			2
マス・メディア論特殊研究Ⅰa			2
マス・メディア論特殊研究Ⅰb			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
マス・メディア論特殊研究Ⅱa			2
マス・メディア論特殊研究Ⅱb			2
マス・メディア論特殊研究演習Ⅰ			2
マス・メディア論特殊研究演習Ⅱ			2
論文演習Ⅰa	2		
論文演習Ⅰb	2		
論文演習Ⅱa	2		
論文演習Ⅱb	2		
論文演習Ⅲa	2		
論文演習Ⅲb	2		

## 3. 履修上の注意

- 1) 後期課程論文演習は半期ごとに2単位、3年間で計12単位を履修すること。
- 2) 指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 博士論文執筆にあたっては専攻規定(2011年4月1日改訂)を参照のこと。なお、学位論文未提出にて満期退学する場合も、研究成果(修士論文レベル)を提出し、指導教員ならびに専攻の承認を得なければならない。
- 4) 2013年度までの入学者が満期退学時の課程博士論文(特例扱い)を申請する場合は、指導教員ならびに学事センターと十分の相談のうえ申請すること。

## 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	備考
DHJN3010	春	コミュニケーション論特殊研究Ⅰa	JRN911	2	音好宏	前期課程「コミュニケーション論特講Ⅰ」と合併
DHJN3221	春	論文演習Ⅰa	JRN901	2	鈴木雄雅	D1(17年次生)対象,注1参照
DHJN3231	春	論文演習Ⅰa	JRN901	2	音好宏	D1(17年次生)対象,注1参照
DHJN3241	春	論文演習Ⅰa	JRN901	2	田島泰彦	D1(17年次生)対象,注1参照
DHJN3251	春	論文演習Ⅰa	JRN901	2	碓井広義	D1(17年次生)対象,注1参照
DHJN3261	春	論文演習Ⅰa	JRN901	2	渡邊久哲	D1(17年次生)対象,注1参照
DHJN3271	春	論文演習Ⅰa	JRN901	2	水島宏明	D1(17年次生)対象,注1参照
DHJN4021	春	論文演習Ⅱa	JRN903	2	鈴木雄雅	D2(16年次生)対象,注1参照
DHJN4031	春	論文演習Ⅱa	JRN903	2	音好宏	D2(16年次生)対象,注1参照
DHJN4041	春	論文演習Ⅱa	JRN903	2	田島泰彦	D2(16年次生)対象,注1参照
DHJN4051	春	論文演習Ⅱa	JRN903	2	碓井広義	D2(16年次生)対象,注1参照
DHJN4061	春	論文演習Ⅱa	JRN903	2	渡邊久哲	D2(16年次生)対象,注1参照
DHJN4071	春	論文演習Ⅱa	JRN903	2	水島宏明	D2(16年次生)対象,注1参照
DHJN5021	春	論文演習Ⅲa	JRN905	2	鈴木雄雅	D3(15年次生)対象,注1参照
DHJN5031	春	論文演習Ⅲa	JRN905	2	音好宏	D3(15年次生)対象,注1参照
DHJN5041	春	論文演習Ⅲa	JRN905	2	田島泰彦	D3(15年次生)対象,注1参照
DHJN5051	春	論文演習Ⅲa	JRN905	2	碓井広義	D3(15年次生)対象,注1参照
DHJN5061	春	論文演習Ⅲa	JRN905	2	渡邊久哲	D3(15年次生)対象,注1参照



登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
DHJN5071	春	論文演習Ⅲa	JRN905	2	水島宏明	D3(15年次生)対象,注1参照
DHJN7020	春	コミュニケーション論特殊研究Ⅱa	JRN913	2	渡邊久哲	
DHJN7030	春	コミュニケーション論特殊研究演習Ⅰ	JRN915	2	音好宏	
DHJN7040	春	ジャーナリズム史特殊研究Ⅰ	JRN917	2	鈴木雄雅	前期課程「ジャーナリズム史特講Ⅰ」と合併
DHJN7050	春	ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅰa	JRN919	2	鈴木雄雅	
DHJN7070	春	マス・メディア論特殊研究Ⅱa	JRN923	2	田島泰彦	前期課程「マス・メディア論特講Ⅰ」と合併
DHJN7080	春	マス・メディア論特殊研究演習Ⅰ	JRN925	2	碓井広義	
DHJN3011	秋	コミュニケーション論特殊研究Ⅰb	JRN912	2	音好宏	前期課程「コミュニケーション論特講Ⅱ」と合併
DHJN3212	秋	論文演習Ⅰb	JRN902	2	小此木潔	D1(17年次生)対象,注1参照
DHJN3222	秋	論文演習Ⅰb	JRN902	2	鈴木雄雅	D1(17年次生)対象,注1参照
DHJN3232	秋	論文演習Ⅰb	JRN902	2	音好宏	D1(17年次生)対象,注1参照
DHJN3242	秋	論文演習Ⅰb	JRN902	2	田島泰彦	D1(17年次生)対象,注1参照
DHJN3252	秋	論文演習Ⅰb	JRN902	2	碓井広義	D1(17年次生)対象,注1参照
DHJN3262	秋	論文演習Ⅰb	JRN902	2	渡邊久哲	D1(17年次生)対象,注1参照
DHJN3272	秋	論文演習Ⅰb	JRN902	2	水島宏明	D1(17年次生)対象,注1参照
DHJN4022	秋	論文演習Ⅱb	JRN904	2	鈴木雄雅	D2(16年次生)対象,注1参照
DHJN4032	秋	論文演習Ⅱb	JRN904	2	音好宏	D2(16年次生)対象,注1参照
DHJN4042	秋	論文演習Ⅱb	JRN904	2	田島泰彦	D2(16年次生)対象,注1参照
DHJN4052	秋	論文演習Ⅱb	JRN904	2	碓井広義	D2(16年次生)対象,注1参照
DHJN4062	秋	論文演習Ⅱb	JRN904	2	渡邊久哲	D2(16年次生)対象,注1参照
DHJN4072	秋	論文演習Ⅱb	JRN904	2	水島宏明	D2(16年次生)対象,注1参照
DHJN5022	秋	論文演習Ⅲb	JRN906	2	鈴木雄雅	D3(15年次生)対象,注1参照
DHJN5032	秋	論文演習Ⅲb	JRN906	2	音好宏	D3(15年次生)対象,注1参照
DHJN5042	秋	論文演習Ⅲb	JRN906	2	田島泰彦	D3(15年次生)対象,注1参照
DHJN5052	秋	論文演習Ⅲb	JRN906	2	碓井広義	D3(15年次生)対象,注1参照
DHJN5062	秋	論文演習Ⅲb	JRN906	2	渡邊久哲	D3(15年次生)対象,注1参照
DHJN5072	秋	論文演習Ⅲb	JRN906	2	水島宏明	D3(15年次生)対象,注1参照
DHJN7021	秋	コミュニケーション論特殊研究Ⅱb	JRN914	2	渡邊久哲	
DHJN7031	秋	コミュニケーション論特殊研究演習Ⅱ	JRN916	2	音好宏	
DHJN7041	秋	ジャーナリズム史特殊研究Ⅱ	JRN918	2	鈴木雄雅	前期課程「ジャーナリズム史特講Ⅱ」と合併
DHJN7051	秋	ジャーナリズム史特殊研究演習Ⅰb	JRN920	2	鈴木雄雅	
DHJN7061	秋	マス・メディア論特殊研究Ⅰb	JRN922	2	小此木潔	前期課程「新聞学特講Ⅱ」と合併
DHJN7071	秋	マス・メディア論特殊研究Ⅱb	JRN924	2	田島泰彦	前期課程「マス・メディア論特講Ⅱ」と合併
DHJN7081	秋	マス・メディア論特殊研究演習Ⅱ	JRN926	2	碓井広義	

注1：論文演習については以下の通り合同で行う(合併科目)

前期課程「論文演習Ⅰa」,「論文演習Ⅱa」/後期課程「論文演習Ⅰa」,「論文演習Ⅱa」,「論文演習Ⅲa」

前期課程「論文演習Ⅰb」,「論文演習Ⅱb」/後期課程「論文演習Ⅰb」,「論文演習Ⅱb」,「論文演習Ⅲb」

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
JRN988	鈴木雄雅	
	音好宏	
	田島泰彦	
	碓井広義	
	渡邊久哲	
	水島宏明	

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└論文作成法 I A	2		
└論文作成法 I B	2		
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			国際連合大学との委託聴講科目（4単位まで）
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【13～16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└論文作成法 I A	2		
└論文作成法 I B	2		
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			国際連合大学との委託聴講科目（4単位まで）
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識により課題設定がなされ, それにふさわしい方法論がとられていること。
- 2) 既存の研究成果を適確にふまえ, 批判的に継承されていること。
- 3) 論文構成が適切で, 論理展開に整合性と一貫性があること。
- 4) 考察および結論に独創性があり, 専攻分野に対して, 何らかの貢献が行われていること。
- 5) 全体として, 専攻分野に関して, 執筆者が十分な研究能力を有していることを証する論文であること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
論文作成法ⅠA	2		
論文作成法ⅠB	2		
異文化研究特講ⅠA			2
異文化研究特講ⅠB			2
異文化研究特講ⅡA			2
異文化研究特講ⅡB			2
文化交渉学特講ⅠA			2
文化交渉学特講ⅠB			2
文化交渉学特講ⅡA			2
文化交渉学特講ⅡB			2
文化交渉学特講ⅢA			2
文化交渉学特講ⅢB			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
翻訳文化研究ⅠA			2
翻訳文化研究ⅠB			2
翻訳文化研究ⅡA			2
翻訳文化研究ⅡB			2
翻訳文化研究ⅢA			2
翻訳文化研究ⅢB			2
芸術文化研究ⅠA			2
芸術文化研究ⅠB			2
芸術文化研究ⅡA			2
芸術文化研究ⅡB			2
芸術文化研究ⅢA			2
芸術文化研究ⅢB			2

## 3. 履修上の注意

- 1) 「論文作成法ⅠA」および「論文作成法ⅠB」は必修科目なので、1年次に必ず履修すること。
- 2) 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHCU1010	春	論文作成法 I A	CUI501	2	山内 弘一	M1対象。自専攻のみ履修可
MHCU7010	春	異文化研究特講 I A	CUI701	2	CHEETHAM Dominic	
MHCU7030	春	異文化研究特講 II A	CUI703	2	*井上 健	
MHCU7050	春	文化交渉学特講 I A	CUI705	2	(他)大橋 容一郎	
MHCU7070	春	文化交渉学特講 II A	CUI707	2	(他)山岡 三治	
MHCU7090	春	文化交渉学特講 III A	CUI709	2	(他)碓井 広義	
MHCU7110	春	翻訳文化研究 I A	CUI711	2	三輪 玲子	
MHCU7130	春	翻訳文化研究 II A	CUI713	2	SCHWARTZ-ARENALES Laure	
MHCU7150	春	翻訳文化研究 III A	CUI715	2	(他)豊島 正之	
MHCU7170	春	芸術文化研究 I A	CUI717	2	小林 幸夫	
MHCU7190	春	芸術文化研究 II A	CUI719	2	*齊藤 貴子	
MHCU7210	春	芸術文化研究 III A	CUI721	2	*川瀬 佑介	
MHCU1020	秋	論文作成法 I B	CUI502	2	小林 幸夫	M1対象。自専攻のみ履修可
MHCU7020	休講	異文化研究特講 I B	CUI702	2		
MHCU7040	秋	異文化研究特講 II B	CUI704	2	*井上 健	
MHCU7060	秋	文化交渉学特講 I B	CUI706	2	(他)新井 潤美	
MHCU7080	秋	文化交渉学特講 II B	CUI708	2	(他)山岡 三治	
MHCU7100	秋	文化交渉学特講 III B	CUI710	2	(他)中澤 克昭	
MHCU7120	秋	翻訳文化研究 I B	CUI712	2	(他)飯野 友幸	
MHCU7140	休講	翻訳文化研究 II B	CUI714	2		
MHCU7160	秋	翻訳文化研究 III B	CUI716	2	三輪 玲子	
MHCU7180	休講	芸術文化研究 I B	CUI718	2		
MHCU7200	秋	芸術文化研究 II B	CUI720	2	*齊藤 貴子	
MHCU7220	秋	芸術文化研究 III B	CUI722	2	*三田村 雅子	
MHCU9010	秋	修士論文	CUI899	0	文化交渉学専攻各指導教員	M2対象

#### 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
CUI888	三輪 玲子	
	山内 弘一	
	小林 幸夫	
	CHEETHAM Dominic	
	SCHWARTZ-ARENALES Laure	※春学期のみ

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
研究指導 (必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【11~16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
研究指導 (必修)			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

【博士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識により課題設定がなされ, それにふさわしい方法論がとられていること。
- 2) 既存の研究成果を適確にふまえ, 批判的に継承されていること。
- 3) 論文構成が適切で, 論理展開に整合性と一貫性があること。
- 4) 独創的知見を有し, 専攻分野の学術的発展におおいに寄与するものであること。
- 5) 全体として, 専攻分野に関して, 執筆者が研究者として自立して研究活動を継続することのできる高度の研究能力, およびその基礎となる十分な学識を有することを証する内容の論文であること。

2. 履修上の注意

- 1) 「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお, 2017年次生以降の学生については, 必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件を参照すること。
- 2) 学位規定, 博士後期課程の研究スケジュール (指針) に従って, 研究に従事し, 博士号の取得をめざすこと。

3. 開講科目一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
CUI988	三輪 玲子	
	山内 弘一	
	小林 幸夫	
	CHEETHAM Dominic	
	SCHWARTZ-ARENALES Laure	※春学期のみ



# 实践宗教学研究科

## 1. 実践宗教学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

現代社会の宗教的思想的基盤を研究するとともに、新たな取り組みが求められる現代の死生学的課題について、価値多元化社会における宗教の社会的役割、死生観及び生命倫理、臨床スピリチュアルケアの三視点から研究・教育を行う。また、スピリチュアリティを基盤にしたケアの実践的対応能力の修得を目指す。これらを通じて実践力のある研究者、臨床家、コミュニティケア人材、ケア指導者等を養成する。

## 2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 死生学専攻

本専攻では、現代社会の宗教的基盤を研究するとともに、現代の死生学的課題について、価値多元化社会における宗教の社会的役割、死生観及び生命倫理、臨床スピリチュアルケアの三視点から教育研究を行います。

学生は、初めに死生学研究について理解を深め、その上で、第1群：宗教の公共性、第2群：死生観・生命倫理、第3群：臨床スピリチュアルケアに分かれる演習科目を履修し、専門領域を特化し、実践宗教学的課題に対する幅広い知見を養います。さらに講義科目と実習科目からなる選択科目で関連分野の学知を補完します。本専攻では、実習に重きを置いており、理論と実践の絶え間ない振り返り学習を可能としています。それらと並行して、研究指導を受け、修士論文の作成を進めるという体系的なカリキュラムを組んでいます。

## 3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

### 死生学専攻

現代社会で生じるさまざまな問題に対して、宗教文化や倫理思想的伝統を踏まえて対応する知の領域、さらに人文学とスピリチュアルケアの実習を土台として、医療やケアの現場や地域社会の実践的・臨床的な問題に対応しうる学知の修得者の養成を目指しています。この方針に基づき、本課程では、所定の科目を履修し、かつ研究指導を受けた上で、修士論文を提出し、その審査に合格した学生に修士（文学）の学位を授与します。



## 死生学専攻 修士課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└死生学研究法Ⅰ	2		
└死生学研究法Ⅱ	2		
▶選択必修科目	6		選択した1つの群から4単位および他の群から2単位修得すること
└第1群			
└第2群			
└第3群			
▶選択科目	20		
└自専攻科目			
└委託聴講科目			国際連合大学との委託聴講科目（4単位まで）
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

#### 【16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└死生学研究法Ⅰ	2		
└死生学研究法Ⅱ	2		
▶選択必修科目	6		選択した1つの群から4単位および他の群から2単位修得すること
└第1群			
└第2群			
└第3群			
▶選択科目	20		
└自専攻科目			
└委託聴講科目			国際連合大学との委託聴講科目（4単位まで）
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および口述試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

## 【修士論文審査基準】

- 1) 論文の課題設定の適切性  
論文の課題の設定が明確であり、かつ、当該領域の研究に学術的に寄与し得る独創性を有していること。
- 2) 専門的知識の理解  
当該領域にかかる専門的知識が十分に理解、修得されていること。
- 3) 先行研究の理解  
当該領域にかかる先行研究を理解し、かつ、先行研究が十分に参照・明記され、引用が正確になされていること。
- 4) 研究方法の適切性  
研究テーマ及び研究目的に対して、研究方法・分析方法が適切であること。
- 5) 論文構成の適切性  
論文構成が的確で、論理展開に整合性、一貫性があること。また、論理展開に無駄や矛盾がないこと。
- 6) 倫理的配慮  
研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。また、本学が定める研究倫理基準を満たしたものであること。
- 7) 論文としての体裁、形式上の適切性  
章・節の構成が適切であり、目次を見ることで全体の論旨が予想できること、文章が明解で、論旨が明確に理解可能であること。文献等の引用が適切であること。注記が適切であること。誤字や脱字が散見されないこと。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
死生学研究法Ⅰ	2		
死生学研究法Ⅱ	2		
＜第1群＞			
宗教学演習		2	
宗教史演習		2	
宗教と社会演習		2	
＜第2群＞			
死生学演習		2	
生命倫理学演習		2	
医療人文学演習		2	
＜第3群＞			
臨床スピリチュアルケア演習		2	
生涯発達論演習		2	
＜選択科目＞			
宗教学研究			2
比較宗教学			2
宗教史研究			4
宗教と社会研究			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
死生学研究			2
生命倫理学研究			2
臨床倫理学原論			2
臨床倫理学特論			2
実践宗教学研究Ⅰ			2
実践宗教学研究Ⅱ			2
臨床スピリチュアルケア研究			2
生涯発達論研究Ⅰ			2
生涯発達論研究Ⅱ			2
実践宗教学インターンシップAⅠ			1
実践宗教学インターンシップAⅡ			1
実践宗教学インターンシップBⅠ			1
実践宗教学インターンシップBⅡ			1
臨床スピリチュアルケア実習AⅠ			1
臨床スピリチュアルケア実習AⅡ			1
臨床スピリチュアルケア実習BⅠ			1
臨床スピリチュアルケア実習BⅡ			1

## 3. 履修上の注意

- 1) 死生学専攻の修了要件は、必修科目 4 単位を含む 30 単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。
- 2) 指導教員の「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017 年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 3) 選択必修科目の必要単位数 6 単位については、3 つの群のうち選択した 1 つの群から 4 単位およびその他の群から 2 単位を修得すること。なお、選択必修科目を必要単位数を超えて修得した場合、選択科目の単位に充当することができる。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MARL1010	春	死生学研究法 I	ARL501	2	島 菌 進 伊 藤 高 章	輪講
MARL6010	春	宗教学演習	ARL711	2	高 山 貞 美	
MARL6030	休講	宗教と社会演習	ARL713	2		隔年開講
MARL6110	春	死生学演習	ARL714	2	島 菌 進	
MARL6130	春	医療人文学演習	ARL716	2	*加 藤 眞 三	
MARL6210	春	臨床スピリチュアルケア演習	ARL717	2	伊 藤 高 章	
MARL7030	春	宗教史研究	ARL721	4	(他)DROTT Edward	★ グローバル社会専攻「RELIGION AND JAPANESE SOCIETY」と合併
MARL7060	春	生命倫理学研究	ARL724	2	浅 見 昇 吾	
MARL7070	春	臨床倫理学原論	ARL725	2	(他)寺 田 俊 郎	哲学専攻「現代倫理学研究 I」と合併
MARL7120	休講	生涯発達論研究 I	ARL730	2		隔年開講, 神学専攻「キリスト教教育 I」と合併
MARL7130	春	生涯発達論研究 II	ARL731	2	武 田 なほみ	隔年開講, 神学専攻「パストラル・ケア特講」と合併
MARL7400	春	実践宗教学インターンシップ A I	ARL732	1	伊 藤 高 章 島 菌 進 浅 見 昇 吾 武 田 なほみ	春学期集中, M1対象
MARL7420	春	実践宗教学インターンシップ B I	ARL734	1	伊 藤 高 章 島 菌 進 浅 見 昇 吾 武 田 なほみ	春学期集中, M2対象
MARL7500	集中	臨床スピリチュアルケア実習 A I	ARL736	1	伊 藤 高 章	春学期集中, M1対象
MARL7520	集中	臨床スピリチュアルケア実習 B I	ARL738	1	伊 藤 高 章	春学期集中, M2対象
MARL1020	秋	死生学研究法 II	ARL502	2	島 菌 進 伊 藤 高 章	輪講
MARL6020	秋	宗教史演習	ARL712	2	(他)村 上 辰 雄	
MARL6120	秋	生命倫理学演習	ARL715	2	浅 見 昇 吾	
MARL6220	秋	生涯発達論演習	ARL718	2	武 田 なほみ	
MARL7010	秋	宗教学研究	ARL719	2	高 山 貞 美	神学専攻「宗教倫理思想 I」と合併
MARL7020	秋	比較宗教学	ARL720	2	島 菌 進	隔年開講, 哲学専攻「宗教思想研究」と合併
MARL7040	休講	宗教と社会研究	ARL722	2		隔年開講
MARL7050	秋	死生学研究	ARL723	2	島 菌 進	
MARL7080	秋	臨床倫理学特論	ARL726	2	(他)寺 田 俊 郎	哲学専攻「現代倫理学研究 II」と合併
MARL7090	秋	実践宗教学研究 I	ARL727	2	山 岡 三 治	隔年開講, 神学専攻「エキュメニズム I」と合併
MARL7100	休講	実践宗教学研究 II	ARL728	2		隔年開講, 神学専攻「エキュメニズム II」と合併
MARL7110	秋	臨床スピリチュアルケア研究	ARL729	2	伊 藤 高 章	
MARL7410	秋	実践宗教学インターンシップ A II	ARL733	1	伊 藤 高 章 島 菌 進 浅 見 昇 吾 武 田 なほみ	秋学期集中, M1対象
MARL7430	秋	実践宗教学インターンシップ B II	ARL735	1	伊 藤 高 章 島 菌 進 浅 見 昇 吾 武 田 なほみ	秋学期集中, M2対象
MARL7510	集中	臨床スピリチュアルケア実習 A II	ARL737	1	伊 藤 高 章	秋学期集中, M1対象
MARL7530	集中	臨床スピリチュアルケア実習 B II	ARL739	1	伊 藤 高 章	秋学期集中, M2対象
MARL9010	秋	修士論文	ARL899	0	死生学専攻各指導教員	M2対象

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ARL888	島 菌 進	
	伊 藤 高 章	
	浅 見 昇 吾	
	高 山 貞 美	
	山 岡 三 治	
	武 田 なほみ	

# 総合人間科学研究科

教育学専攻

心理学専攻

社会学専攻

社会福祉学専攻

看護学専攻

## 1. 総合人間科学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

人間の尊厳を基盤とし、科学の知、臨床の知、政策・運営の知にかかわる学際的教育・研究を行い、理論と実践・臨床を両輪として社会に貢献しうる人材を育成する。前期課程では、実践・臨床の場で活躍できる高度専門職業人及びこれらの場を視野にいたした研究者の養成を目指し、後期課程では、実践・臨床的知見を踏まえ学問的に貢献しうる人材育成を目指す。

## 2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 教育学専攻

#### 【博士前期課程】

博士前期課程では、講義・演習・研究指導を組み合わせたカリキュラムを作成しています。学生は教育学各領域の講義、演習科目を受講して、幅広い学識と柔軟かつ多角的な思考力・分析力を身に付けます。また、指導教員による論文演習・研究指導を通じて、研究者として必要な能力を養うとともに、修士論文を完成させます。必要に応じて複数の教員が指導にあたり、教育と社会をめぐる課題解決に必要な情報収集・分析能力など、研究者として必要な素養を培います。

#### 【博士後期課程】

博士後期課程では、教育学各領域の講義・演習科目に加えて、博士論文作成のための論文演習・研究指導科目を設置しています。また、専攻では博士論文執筆のための「研究スケジュール」を作成して、博士後期課程入学から学位取得までの手順を示すとともに、3名からなる指導委員会を設置して研究指導を行うなど、学位取得までの一貫した指導体制を築いています。学生は、「研究スケジュール」に従って研究を進め、指導委員会による研究指導を受けて博士論文を完成させます。併せて、専門分野における情報収集・分析能力、および研究能力を向上させ、自立した研究者としての能力を身に付けます。

### 心理学専攻

厳密な科学的アプローチをしつつ、暖かなまなざしをもって人間を見つめる姿勢を涵養します。学部からの一貫した教育ポリシーに基づき、学部での基礎トレーニングを基盤に大学院での専門教育を設定しています。

#### 【博士前期課程】

心理学の基礎領域と臨床領域を車の両輪として、基礎・実験系心理学、社会・発達系心理学、臨床心理学のそれぞれに関わる共通科目の履修と、それぞれに特化した科目群を設定し、基礎と臨床の両面からカリキュラムが構築されています。

#### 【博士後期課程】

それぞれの専門テーマの追求とともに、領域横断的な視点をもった対人支援の専門家として行動できる心理学者を養成します。

## 社会学専攻

本専攻では、ディプロマ・ポリシーに掲げた人材を養成するため、理論と方法の基礎科目および現代社会の重要な諸側面を扱う幅広い専門科目を開講しています。

### 【博士前期課程】

本課程では、社会学理論と社会調査・データ収集分析の方法に関する必修科目を通して、先人の残した理論および経験的調査、データ分析のために必要な方法を身につけます。さらには、各自が設定したテーマに沿って、教員の指導を受けながら、学んだ理論と方法を駆使して実際に研究をおこない、修士論文を執筆します。

### 【博士後期課程】

本課程では、各自のテーマに沿って、博士論文の執筆、学際的研究の推進、関係学会における研究発表、学術雑誌や紀要への論文投稿に関する個人指導がおこなわれます。こうしたトレーニングを通じて、研究者として独立するために必要な専門的知識・能力の養成と資格・実績の獲得をめざしています。

## 社会福祉学専攻

本専攻は、従来の狭義の社会福祉を超えた新しい福祉社会の実現に貢献する人材育成のために、斬新なカリキュラムを編成し教育に取り組んでいます。

### 【博士前期課程】

従来の「研究者養成プログラム」だけでなく、理論と方法に裏付けられた「高度福祉専門職養成プログラム」を提供し、多様な人材養成に取り組んでいます。福祉政策・運営管理系および福祉臨床系の科目群を開講し、社会福祉を広く深く、バランスよく研究することができます。また、コアカリキュラムとして、3つの社会福祉研究法の演習を開講し、高度福祉専門職や研究者に求められる研究法を身につけるよう科目を配置しています。そして、社会福祉フィールドワークと、援助事例分析または地域事例分析により、学んだ研究法を実際に用いつつ、理論と実践を統合的に学ぶ能力を養い、修士論文を執筆できるように研究指導をおこないます。

### 【博士後期課程】

福祉政策・運営管理系および福祉臨床系の多様な専門分野で研究している教員の中から、指導教員を選び、指導教員の指導を受けて、必要な場合には博士前期課程の科目群から、博士論文執筆に必要な研究法や関連科目を履修します。先行研究の検討や調査実施により博士論文のテーマを絞り込み、研究を進めていきます。そして、学会発表や論文執筆を積み重ねて研究者としての能力を高め、実践・現場との共同研究などにも取り組み、研究をまとめ、博士論文を執筆します。

## 看護学専攻

### 【修士課程】

本専攻は、国内外の医療健康問題の動向における重要課題に鑑み、①小児・家族共生支援看護学領域、②がん・緩和ケア看護学領域、③メンタルヘルス看護学領域、④国際共生支援看護学領域の4領域に焦点をあて、「共生支援」のキーワードにもとづいて、良質のケアリングにかかわる発展的かつ実践的な研究を行うためのカリキュラムを設けています。

具体的には、講義、研究ゼミ、演習だけではなく、国内外における主体的な取り組みをとおして、実践力ならびに研究に必要な企画力、発展的な批判思考を修得できるよう「フィールドワーク」を開講しています。さらに「看護学研究特別指導」では、修士論文作成にあたり、学生が必要とする場合には主たる領域研究指導者だけでなく、本専攻の専任教員全員から指導を受けることができます。

### 3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

#### 教育学専攻

##### 【博士前期課程】

教育学の領域における幅広い学識を有し、人間の尊厳の理念および社会のさまざまな事象についての情報収集力、柔軟で多角的な思考力・分析力を身につけ、教育と社会をめぐる課題に対応し得る研究力を備えた人材に、修士（教育学）の学位を授与します。

##### 【博士後期課程】

研究者として教育学の領域における幅広い学識を有し、人間の尊厳の理念および社会のさまざまな事象についての情報収集力、柔軟で多角的な思考力・分析力を身につけ、かつ研究論文をまとめる力量、教育実践力・指導力の基礎を獲得した人材に、博士（教育学）の学位を授与します。

#### 心理学専攻

人間の尊厳を守る社会を実現するために、時代が求める「心」を探求する専門的な知識と経験を、総合的視野に立って駆使できる人材に対して学位を授与します。

##### 【博士前期課程】

基礎心理学コースでは、厳密な科学的アプローチを中心として、高度な専門知識と研究技術の獲得をめざします。臨床心理学コースでは、人間の尊厳を重視したヒューマニズムを中心として、心理専門職として活躍するための実践的な知識と技術の獲得をめざします。

##### 【博士後期課程】

臨床的視点を持つ研究者、研究者の視点をもつ実践家の養成をめざし、科学的視点を基盤にした対人支援を実践できる専門家に博士（心理学）の学位を授与します。

#### 社会学専攻

本専攻は、人間の尊厳を守る公正な社会の実現に向けて、社会が直面する様々な変化やそれに付随して生じる社会問題の根源的なメカニズムを理解し、冷静な分析力と機敏な応用力を兼ね備えた人材の育成をめざし、学位を授与します。

##### 【博士前期課程】

本課程では、社会学理論と方法論を中心に専門分野の知識の批判的学習、現実社会の理解・分析をとおして、高度な専門的知識と技術を兼ね備えた研究者および実践をも視野に入れた職業人を育成します。

##### 【博士後期課程】

本課程では、博士前期課程で備えた理論的知識や方法論的技術をより発展させることをとおして、オリジナルな研究が行える専門研究者を育成します。



## 社会福祉学専攻

本専攻は、人間の尊厳を尊重し、新しい福祉社会の実現に貢献する人材を育成します。

### 【博士前期課程】

「科学の知」「政策・運営の知」「臨床の知」のそれぞれを学び、理論と実践・臨床を統合して理解することによって、福祉臨床の知識・技術、福祉社会をデザインし作り出す知識・技術を修得した高度な専門職業人(実践者・行政官・社会的企業家等)や研究者となる、高度な専門的知識と実践能力、研究能力を身につけた人材を養成します。そして、研究をまとめて修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に、修士(社会福祉学)の学位を授与します。

### 【博士後期課程】

博士前期課程で身につけた高度な専門的知識と実践能力、研究能力をより高めていく研究指導をおこない、新しい社会福祉の研究と実践を積極的にリードする研究者を養成します。そして、研究をまとめて博士の学位申請論文を提出して、その審査および最終試験に合格した者に、博士(社会福祉学)の学位を授与します。

## 看護学専攻

### 【修士課程】

本専攻では、人間に対するケアリングをディシプリンとして捉えるとともに、実践に生かせる研究力ならびに指導力を兼ね備えた人材の育成を目指しています。

看護の対象者であるあらゆる地域および年齢の人々の発達・健康のレベルに応じた良質の健康支援および次世代育成ができる実践能力とともに、その支援や育成を推進できる研究能力を有する人材、次世代の看護を担う人々への教育を推進していける人材、学際的、総合的な視野から国内外で活躍できる人材に修士(看護学)の学位を授与します。

## 教育学専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 論文演習Ⅰ	2		
└ 論文演習Ⅱ	2		
▶ 選択科目	26		
└ 自専攻科目			
└ 自研究科他専攻科目			
└ 委託聴講科目			2単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

#### 【16年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶ 必修科目	4		
└ 論文演習Ⅰ	2		
└ 論文演習Ⅱ	2		
▶ 選択科目	26		
└ 自専攻科目			
└ 自研究科他専攻科目			
└ 委託聴講科目			2単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

#### 【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が教育研究に寄与し, オリジナリティを有すること。
- 2) 研究テーマが十分に絞り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究が十分に参照され, 明記されていること。引用が正確になされていること。  
データが適切に処理されていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。
- 5) 論文の言語表現が的確で正しいこと。また, 目次, 註などに関する体裁が整っていること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
教育哲学講義			2
教育哲学演習			2
教育哲学特殊講義Ⅰ			2
教育哲学特殊講義Ⅱ			2
日本教育史講義			2
日本教育史演習			2
日本教育史特殊講義Ⅰ			2
日本教育史特殊講義Ⅱ			2
外国教育史講義			2
外国教育史演習			2
外国教育史特殊講義Ⅰ			2
外国教育史特殊講義Ⅱ			2
生涯教育学講義			2
生涯教育学演習			2
生涯教育学特殊講義Ⅰ			2
生涯教育学特殊講義Ⅱ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
学校教育学講義			2
学校教育学演習			2
学校教育学特殊講義Ⅰ			2
学校教育学特殊講義Ⅱ			2
教育社会学講義			2
教育社会学演習			2
教育社会学特殊講義Ⅰ			2
教育社会学特殊講義Ⅱ			2
国際教育学講義			2
国際教育学演習			2
国際教育学特殊講義Ⅰ			2
国際教育学特殊講義Ⅱ			2
国際教育開発学講義			2
国際教育開発学演習			2
国際教育開発学特殊講義Ⅰ			2
国際教育開発学特殊講義Ⅱ			2
論文演習Ⅰ（前期）	2		
論文演習Ⅱ（前期）	2		

## 3. 履修上の注意

- 1) 担当教員の「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。なお、2017年次生以降の学生については、4科目以上合格すること。
- 2) 2年次に指導教員の「論文演習Ⅰ・Ⅱ」を必ず受講すること。
- 3) 同一名の授業科目であっても、年度によって授業内容の変わるものは、重複して履修することができ、単位として認定される。
- 4) 修士論文提出予定者は、修士論文を提出する学期の履修登録期間中に必ず修士論文を登録すること。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	備考
MHED2731	春	論文演習 I (前期)	EDU701	2	加藤 守通	M2対象
MHED2741	春	論文演習 I (前期)	EDU701	2	湯川 嘉津美	M2対象
MHED2751	春	論文演習 I (前期)	EDU701	2	高祖 敏明	M2対象
MHED2761	春	論文演習 I (前期)	EDU701	2	田中 治彦	M2対象
MHED2771	春	論文演習 I (前期)	EDU701	2	奈須 正裕	M2対象
MHED2791	春	論文演習 I (前期)	EDU701	2	酒井 朗	M2対象
MHED2801	春	論文演習 I (前期)	EDU701	2	杉村 美紀	M2対象
MHED2811	春	論文演習 I (前期)	EDU701	2	小松 太郎	M2対象
MHED7010	春	教育哲学講義	EDU501	2	加藤 守通	
MHED7030	休講	教育哲学特殊講義 I	EDU502	2		
MHED7070	春	日本教育史講義	EDU503	2	湯川 嘉津美	
MHED7090	春	日本教育史特殊講義 I	EDU504	2	*米田 俊彦	
MHED7130	春	外国教育史講義	EDU505	2	高祖 敏明	
MHED7150	春	外国教育史特殊講義 I	EDU506	2	*上野 正道	
MHED7190	春	生涯教育学講義	EDU507	2	田中 治彦	
MHED7210	休講	生涯教育学特殊講義 I	EDU508	2		
MHED7250	春	学校教育学講義	EDU509	2	奈須 正裕	
MHED7270	休講	学校教育学特殊講義 I	EDU510	2		
MHED7310	春	教育社会学講義	EDU511	2	酒井 朗	
MHED7330	春	教育社会学特殊講義 I	EDU512	2	*加藤 美帆	
MHED7430	春	国際教育学講義	EDU513	2	杉村 美紀	
MHED7450	春	国際教育学特殊講義 I	EDU514	2	*趙 貴花	春学期集中
MHED7490	春	国際教育開発学講義	EDU515	2	小松 太郎	★
MHED7470	春	国際教育開発学特殊講義 I	EDU516	2	*源 由理子	
MHED2732	秋	論文演習 II (前期)	EDU702	2	加藤 守通	M2対象
MHED2742	秋	論文演習 II (前期)	EDU702	2	湯川 嘉津美	M2対象
MHED2752	秋	論文演習 II (前期)	EDU702	2	高祖 敏明	M2対象
MHED2762	秋	論文演習 II (前期)	EDU702	2	田中 治彦	M2対象
MHED2772	秋	論文演習 II (前期)	EDU702	2	奈須 正裕	M2対象
MHED2792	秋	論文演習 II (前期)	EDU702	2	酒井 朗	M2対象
MHED2802	秋	論文演習 II (前期)	EDU702	2	杉村 美紀	M2対象
MHED2812	秋	論文演習 II (前期)	EDU702	2	小松 太郎	M2対象
MHED7020	秋	教育哲学演習	EDU601	2	加藤 守通	
MHED7040	休講	教育哲学特殊講義 II	EDU517	2		
MHED7080	秋	日本教育史演習	EDU602	2	湯川 嘉津美	
MHED7100	秋	日本教育史特殊講義 II	EDU518	2	*米田 俊彦	
MHED7140	秋	外国教育史演習	EDU603	2	高祖 敏明	
MHED7160	秋	外国教育史特殊講義 II	EDU519	2	*田中 弥生	
MHED7200	秋	生涯教育学演習	EDU604	2	田中 治彦	
MHED7220	秋	生涯教育学特殊講義 II	EDU520	2	*湯本 浩之	
MHED7260	秋	学校教育学演習	EDU605	2	奈須 正裕	
MHED7280	秋	学校教育学特殊講義 II	EDU521	2	*佐久間 亜紀	
MHED7320	秋	教育社会学演習	EDU606	2	酒井 朗	
MHED7340	休講	教育社会学特殊講義 II	EDU522	2		
MHED7440	秋	国際教育学演習	EDU607	2	杉村 美紀	
MHED7460	休講	国際教育学特殊講義 II	EDU523	2		
MHED7500	秋	国際教育開発学演習	EDU608	2	小松 太郎	★

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MHED7480	秋	国際教育開発学特殊講義Ⅱ	EDU524	2	*林 真樹子	★
MHED9490	秋	修士論文	EDU899	0	教育学専攻各指導教員	M2対象

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
EDU888	加藤 守通	
	湯川 嘉津美	
	高祖 敏明	
	田中 治彦	
	奈須 正裕	
	酒井 朗	
	杉村 美紀	
	小松 太郎	

## 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

### 【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		
授業科目			
▶ 必修科目	12		
└ 論文演習Ⅰ (後期)	6	3	3年間 (3回) 履修すること
└ 論文演習Ⅱ (後期)	6	3	3年間 (3回) 履修すること
▶ 選択科目			
研究指導 (必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

### 【16年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		
授業科目			
▶ 必修科目	12		
└ 論文演習Ⅰ (後期)	6	3	3年間 (3回) 履修すること
└ 論文演習Ⅱ (後期)	6	3	3年間 (3回) 履修すること
▶ 選択科目			
研究指導 (必修)			単位なし, 在学中毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

### 【博士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が教育研究に寄与し, オリジナリティを有すること。
- 2) 研究テーマが絞り込まれた明確なものであること。
- 3) 国内外の先行研究が網羅的に参照され, 明記されていること。引用が正確になされていること。データが適切に処理されていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。
- 5) 論文の言語表現が的確で正しいこと。また, 目次, 註などに関する体裁が整っていること。
- 6) 当該分野における先端的研究として位置づけられ, 執筆者が自立的な研究者として研究を遂行する能力を証するものであること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ (後期)	2		
論文演習Ⅱ (後期)	2		

※「論文演習Ⅰ・Ⅱ (後期)」については, 毎年4単位, 3年間で合計12単位を履修する。

※教育学専攻博士前期課程の選択科目は履修することができ, 修得単位として認める。(p. 134~135参照のこと)

### 3. 履修上の注意

- 1) 指導教授の「論文演習Ⅰ・Ⅱ」を、毎年必ず受講すること。12単位（4単位×3年）を必修とする。
- 2) 「研究指導」（必修）は在学中毎学期登録される。なお、2017年次生以降の学生については、6科目以上合格すること。
- 3) 学位規定、博士後期課程の研究スケジュール（指針）に従って、研究に従事し、博士号の取得をめざすこと。

### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	備考
DHED3011	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	加藤 守通	
DHED3021	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	湯川 嘉津美	
DHED3031	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	高祖 敏明	
DHED3041	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	田中 治彦	
DHED3051	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	奈須 正裕	
DHED3071	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	酒井 朗	
DHED3081	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	杉村 美紀	
DHED3091	春	論文演習Ⅰ（後期）	EDU901	2	小松 太郎	
DHED3012	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	加藤 守通	
DHED3022	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	湯川 嘉津美	
DHED3032	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	高祖 敏明	
DHED3042	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	田中 治彦	
DHED3052	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	奈須 正裕	
DHED3072	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	酒井 朗	
DHED3082	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	杉村 美紀	
DHED3092	秋	論文演習Ⅱ（後期）	EDU902	2	小松 太郎	

### 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
EDU988	加藤 守通	
	湯川 嘉津美	
	高祖 敏明	
	田中 治彦	
	奈須 正裕	
	酒井 朗	
	杉村 美紀	
	小松 太郎	

## 心理学専攻 博士前期課程 基礎心理学コース

### 1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
授業科目			
▶必修科目	8		
└論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
▶選択必修科目	8		
▶選択科目	18		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし，在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

#### 【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
授業科目			
▶必修科目	8		
└論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
▶選択必修科目	8		
▶選択科目	18		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

#### 【修士論文審査基準】

- 1) 問題設定：問題意識が明確で，課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解：先行研究を適切に検討，吟味していること。
- 3) 研究方法・分析方法：研究目的に対し，研究方法等が適切であること。
- 4) 論文構成：論文構成が的確で，論理展開に整合性，一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ：当該分野，領域における社会的・学術的な意義が認められること。



- 6) 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会、大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
- 7) 形式面：以下の形式面が整っていること。
1. 章・節の構成が適切であり、目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
  2. 文章が明快で、論旨が明確に理解可能であること。
  3. 引用が適切で、引用文献表がきちんと整えられていること。
  4. 論文、引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単 位 数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ（前期）	2		
論文演習Ⅱ（前期）	2		
心理測定学特殊研究Ⅰ		2	
心理測定学特殊研究Ⅱ		2	
認知心理学特殊研究Ⅰ		2	
認知心理学特殊研究Ⅱ		2	
精神医学特殊研究		2	
生理心理学特殊研究Ⅰ		2	
生理心理学特殊研究Ⅱ		2	
発達心理学特殊研究Ⅰ		2	
発達心理学特殊研究Ⅱ		2	
社会心理学特殊研究Ⅰ		2	
社会心理学特殊研究Ⅱ		2	
老年心理学特殊研究		2	
コミュニティ心理学特殊研究		2	
人間関係特論		2	
心理学研究法演習			2

※注1：言語学専攻開講科目。

※注2：社会福祉学専攻開講科目。

科目名 ※（他）：他専攻開講科目	単 位 数		
	必修	選必	選択
心理学各論特殊研究		2	
心理統計法特論			2
グループ・アプローチ特論			2
教育臨床特論			2
心理学基礎実習Ⅰ			1
心理学基礎実習Ⅱ			1
心理学特殊実習Ⅰ			1
心理学特殊実習Ⅱ			1
（他）失語・高次脳機能障害学特論A※注1		2	
（他）失語・高次脳機能障害学特論B※注1		2	
（他）言語障害研究特殊講義 F（学習障害）※注1		2	
（他）臨床医学特論D（神経系の基礎と病態・内科学）※注1			2
（他）臨床医学特論E（発達障害医学・脳性麻痺）※注1			2
（他）言語聴覚病理学特論（医学概論・解剖学・生理学・病理学）※注1			2
（他）児童福祉学 ※注2		2	
（他）精神保健福祉研究 ※注2		2	
（他）コミュニティオーガニゼーション研究 ※注2		2	

## 3. 履修上の注意

下記に従って合計 34 単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。

○ 全ての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。

- 1) 必修 8 単位：「論文演習Ⅰ（前期）」及び「論文演習Ⅱ（前期）」をそれぞれ 2 年間履修する。
- 2) 「研究指導（必修）」は在学中每学期登録される。なお、2017 年次生以降の学生については、4 科目以上合格すること。
- 3) 選択必修 8 単位：指導教員の指定する科目を履修する（選択必修科目の余剰単位は、選択科目の単位に充当することができる）。
- 4) 選択 18 単位
- 5) 「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は、各学期初めに専攻主任に届出し、承認を得た後に履修することができる。
- 6) 「心理学基礎実習Ⅰ」「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は、あらかじめ指導教員と相談すること。
- 7) 学年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明に十分留意すること。
- 8) 不明な点は指導教員と相談の上、履修を行うこと。
- 9) 前期課程在籍者で、やむをえず 9 月修了を希望する者は、修了予定年度の前年度末までに理由を説明する願い書（書式は自由）を専攻主任に提出し、専攻会議の承認を受けること。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MHPS1311	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	岡田 隆	
MHPS1321	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	毛利 伊吹	
MHPS1331	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	荻野 美佐子	
MHPS1341	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	藤山 直樹	
MHPS1351	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	道又 爾	
MHPS1361	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	松田 修	
MHPS1371	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	久田 満	
MHPS1381	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	横山 恭子	
MHPS1391	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	廣瀬 英子	
MHPS1401	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	吉村 聡	
MHPS1421	春	論文演習 I (前期)	PSY501	2	樋口 匡貴	
MHPS6230	春	心理測定学特殊研究 I	PSY723	2	廣瀬 英子	
MHPS6250	春	認知心理学特殊研究 I	PSY725	2	道又 爾	
MHPS6270	春	精神医学特殊研究	PSY727	2	藤山 直樹	
MHPS6290	春	生理心理学特殊研究 I	PSY729	2	岡田 隆	
MHPS6310	春	発達心理学特殊研究 I	PSY731	2	荻野 美佐子	
MHPS6330	春	社会心理学特殊研究 I	PSY733	2	樋口 匡貴	
MHPS6360	春	コミュニティ心理学特殊研究	PSY736	2	久田 満	
MHPS7390	春	心理学研究法演習	PSY739	2	荻野 美佐子 廣瀬 英子	輪講
MHPS7400	春	心理学各論特殊研究	PSY740	2	*能 智 正 博	春学期集中
MHPS7410	春	心理統計法特論	PSY741	2	*萩生田 伸子	
MHPS7420	春	グループ・アプローチ特論	PSY742	2	*大 沼 幸子	
MHPS7430	春	心理学基礎実習 I	PSY751	1	横山 恭子 樋口 匡貴 岡田 隆	複数同時担当
MHPS7450	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	岡田 隆	
MHPS7470	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	毛利 伊吹	
MHPS7510	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	荻野 美佐子	
MHPS7530	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	藤山 直樹	
MHPS7550	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	道又 爾	
MHPS7570	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	松田 修	
MHPS7590	休講	心理学特殊実習 I	PSY753	1		
MHPS7610	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	横山 恭子	
MHPS7630	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	廣瀬 英子	
MHPS7650	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	吉村 聡	
MHPS7700	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	樋口 匡貴	
MHPS7810	春	教育臨床特論	PSY783	2	*伊 東 孝 郎	
MHPS9830	春	修士論文	PSY899	0	心理学専攻教員	9月修了者対象
MHPS1312	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	岡田 隆	
MHPS1322	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	毛利 伊吹	
MHPS1332	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	荻野 美佐子	
MHPS1342	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	藤山 直樹	
MHPS1352	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	道又 爾	
MHPS1362	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	松田 修	
MHPS1372	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	久田 満	
MHPS1382	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	横山 恭子	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MHPS1392	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	廣瀬英子	
MHPS1402	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	吉村聡	
MHPS1422	秋	論文演習Ⅱ（前期）	PSY502	2	樋口匡貴	
MHPS6240	秋	心理測定学特殊研究Ⅱ	PSY724	2	廣瀬英子	心理測定学特殊研究Ⅰを履修済であること
MHPS6260	秋	認知心理学特殊研究Ⅱ	PSY726	2	道又爾	
MHPS6300	秋	生理心理学特殊研究Ⅱ	PSY730	2	岡田隆	★
MHPS6320	秋	発達心理学特殊研究Ⅱ	PSY732	2	荻野美佐子	
MHPS6340	秋	社会心理学特殊研究Ⅱ	PSY734	2	樋口匡貴	★
MHPS6350	秋	老年心理学特殊研究	PSY735	2	松田修	
MHPS6380	休講	人間関係特論	PSY738	2		
MHPS7440	秋	心理学基礎実習Ⅱ	PSY752	1	道又爾 荻野美佐子 廣瀬英子	複数同時担当
MHPS7460	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	岡田隆	
MHPS7480	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	毛利伊吹	
MHPS7520	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	荻野美佐子	
MHPS7540	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	藤山直樹	
MHPS7560	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	道又爾	
MHPS7580	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	松田修	
MHPS7600	休講	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1		
MHPS7620	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	横山恭子	
MHPS7640	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	廣瀬英子	
MHPS7660	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	吉村聡	
MHPS7710	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	樋口匡貴	
MHPS9820	秋	修士論文	PSY899	0	心理学専攻教員	M2対象

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PSY888	岡田隆	
	毛利伊吹	
	荻野美佐子	
	藤山直樹	
	道又爾	
	松田修	
	久田満	
	横山恭子	
	廣瀬英子	
	吉村聡	
	樋口匡貴	

## 心理学専攻 博士前期課程 臨床心理学コース

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	34		
授業科目			
▶必修科目	24		
└論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└臨床心理学特論Ⅰ	2		
└臨床心理学特論Ⅱ	2		
└臨床心理面接特論Ⅰ	2		
└臨床心理面接特論Ⅱ	2		
└臨床心理査定演習Ⅰ	2		
└臨床心理査定演習Ⅱ	2		
└臨床心理基礎実習Ⅰ	1		
└臨床心理基礎実習Ⅱ	1		
└臨床心理実習Ⅰ	1		
└臨床心理実習Ⅱ	1		
▶選択必修科目	10		
└A群	2		
└B群	2		
└C群	2		
└D群	2		
└E群	2		
▶選択科目			
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし, 国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

## 【16 年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
授業科目			
▶必修科目	24		
└論文演習Ⅰ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└論文演習Ⅱ（前期）	4	2	2年間（2回）履修すること
└臨床心理学特論Ⅰ	2		
└臨床心理学特論Ⅱ	2		
└臨床心理面接特論Ⅰ	2		
└臨床心理面接特論Ⅱ	2		
└臨床心理査定演習Ⅰ	2		
└臨床心理査定演習Ⅱ	2		
└臨床心理基礎実習Ⅰ	1		
└臨床心理基礎実習Ⅱ	1		
└臨床心理実習Ⅰ	1		
└臨床心理実習Ⅱ	1		
▶選択必修科目	10		
└A群	2		
└B群	2		
└C群	2		
└D群	2		
└E群	2		
▶選択科目			
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる ※ただし、国連大学委託聴講科目は認められない
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

## 【修士論文審査基準】

- 1) 問題設定：問題意識が明確で，課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解：先行研究を適切に検討，吟味していること。
- 3) 研究方法：研究目的に対し，研究方法等が適切であること。
- 4) 論文構成：論文構成が的確で，論理展開に整合性，一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ：当該分野，領域における社会的・学術的な意義が認められること。
- 6) 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し，研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会，大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
- 7) 形式面：以下の形式面が整っていること。
  - 1) 章・節の構成が適切であり，目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
  - 2) 文章が明快で，論旨が明確に理解可能であること。
  - 3) 引用が適切で，引用文献表がきちんと整えられていること。
  - 4) 論文，引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ（前期）	2		
論文演習Ⅱ（前期）	2		
臨床心理学特論Ⅰ	2		
臨床心理学特論Ⅱ	2		
臨床心理面接特論Ⅰ	2		
臨床心理面接特論Ⅱ	2		
臨床心理査定演習Ⅰ	2		
臨床心理査定演習Ⅱ	2		
臨床心理基礎実習Ⅰ	1		
臨床心理基礎実習Ⅱ	1		
臨床心理実習Ⅰ	1		
臨床心理実習Ⅱ	1		
< A群 >			
心理学研究法演習		2	
臨床心理学研究法演習		2	
< B群 >			
認知心理学特殊研究Ⅰ		2	
認知心理学特殊研究Ⅱ		2	
発達心理学特殊研究Ⅰ		2	
発達心理学特殊研究Ⅱ		2	
心理測定学特殊研究Ⅰ		2	
心理測定学特殊研究Ⅱ		2	
< C群 >			
社会心理学特殊研究Ⅰ		2	
社会心理学特殊研究Ⅱ		2	
コミュニティ心理学特殊研究		2	
人間関係特論		2	
(他) 精神保健福祉研究 ※注2		2	

※注1：言語学専攻開講科目。

※注2：社会福祉学専攻開講科目。

科目名 ※（他）：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
< D群 >			
精神医学特殊研究		2	
生理心理学特殊研究Ⅰ		2	
生理心理学特殊研究Ⅱ		2	
老年心理学特殊研究		2	
(他) 失語・高次脳機能障害学特論A※1		2	
(他) 失語・高次脳機能障害学特論B※1		2	
(他) 言語障害研究特殊講義F(学習障害)※1		2	
< E群 >			
臨床心理学特殊研究		2	
認知行動療法特殊研究		2	
精神分析特殊研究		2	
グループ・アプローチ特論		2	
臨床人格心理学特殊研究		2	
< 選択科目 >			
心理学各論特殊研究			2
心理統計法特論			2
教育臨床特論			2
心理学基礎実習Ⅰ			1
心理学基礎実習Ⅱ			1
心理学特殊実習Ⅰ			1
心理学特殊実習Ⅱ			1
(他) 臨床医学特論D(神経系の基礎と病態・内科学)※1			2
(他) 臨床医学特論E(発達障害医学・脳性麻痺)※1			2
(他) 言語聴覚病理学特論(医学概論・解剖学・生理学・病理学)※1			2
(他) 児童福祉学 ※注2			2
(他) コミュニティオーガニゼーション研究 ※注2			2

### 3. 履修上の注意

下記に従って合計 34 単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。

○ 全ての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。

1) 必修 24 単位：

論文演習 I（前期）及び論文演習 II（前期）2 年間履修（8 単位）

2) 「研究指導（必修）」は在学中毎学期登録される。なお、2017 年次生以降の学生については、4 科目以上合格すること。

3) 選択必修科目 10 単位：A～E の各群からそれぞれ 2 単位以上ずつ履修する。

4) 「心理学特殊実習 I」及び「心理学特殊実習 II」を履修しようとする者は、学年初めに専攻主任に届出し、承認を得た後に履修することができる。

5) 「心理学基礎実習 I」「心理学基礎実習 II」を履修しようとする者は、あらかじめ指導教員と相談すること。

6) 学年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明に十分留意すること。

7) 不明な点等は指導教員と相談の上、履修を行うこと。

8) 前期課程在籍者で、やむをえず 9 月修了を希望する者は、修了予定年度の前年度末までに理由を説明する願い書（書式は自由）を専攻主任に提出し、専攻会議の承認を受けること。特に臨床心理学コースの場合は臨床実習等において実務上の問題を引き起こす可能性があるため、事前に相談室長の了解を得ておくこと。

### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MHPS1311	春	論文演習 I（前期）	PSY501	2	岡田 隆	
MHPS1321	春	論文演習 I（前期）	PSY501	2	毛利 伊吹	
MHPS1331	春	論文演習 I（前期）	PSY501	2	荻野 美佐子	
MHPS1341	春	論文演習 I（前期）	PSY501	2	藤山 直樹	
MHPS1351	春	論文演習 I（前期）	PSY501	2	道又 爾	
MHPS1361	春	論文演習 I（前期）	PSY501	2	松田 修	
MHPS1371	春	論文演習 I（前期）	PSY501	2	久田 満	
MHPS1381	春	論文演習 I（前期）	PSY501	2	横山 恭子	
MHPS1391	春	論文演習 I（前期）	PSY501	2	廣瀬 英子	
MHPS1401	春	論文演習 I（前期）	PSY501	2	吉村 聡	
MHPS1421	春	論文演習 I（前期）	PSY501	2	樋口 匡貴	
MHPS1810	休講	臨床心理学特論 I	PSY511	2		
MHPS1820	春	臨床心理学特論 II	PSY512	2	松田 修	
MHPS1830	春	臨床心理面接特論 I	PSY513	2	毛利 伊吹	
MHPS1840	春	臨床心理面接特論 II	PSY514	2	横山 恭子	
MHPS1850	春	臨床心理査定演習 I	PSY515	2	吉村 聡 松田 修	輪講
MHPS1870	春	臨床心理基礎実習 I	PSY517	1	毛利 伊吹 松田 修 *中嶋 義文	複数同時担当
MHPS2770	春	臨床心理実習 I	PSY519	1	横山 恭子 藤山 直樹	複数同時担当
MHPS6230	春	心理測定学特殊研究 I	PSY723	2	廣瀬 英子	
MHPS6250	春	認知心理学特殊研究 I	PSY725	2	道又 爾	
MHPS6270	春	精神医学特殊研究	PSY727	2	藤山 直樹	
MHPS6290	春	生理心理学特殊研究 I	PSY729	2	岡田 隆	
MHPS6310	春	発達心理学特殊研究 I	PSY731	2	荻野 美佐子	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MHPS6330	春	社会心理学特殊研究 I	PSY733	2	樋口匡貴	
MHPS6360	春	コミュニティ心理学特殊研究	PSY736	2	久田満	
MHPS7390	春	心理学研究法演習	PSY739	2	荻野美佐子 廣瀬英子	輪講
MHPS7400	春	心理学各論特殊研究	PSY740	2	*能智正博	春学期集中
MHPS7410	春	心理統計法特論	PSY741	2	*萩生田伸子	
MHPS7420	春	グループ・アプローチ特論	PSY742	2	*大沼幸子	
MHPS7430	春	心理学基礎実習 I	PSY751	1	横山恭子 樋口匡貴 岡田隆	複数同時担当
MHPS7450	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	岡田隆	
MHPS7470	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	毛利伊吹	
MHPS7510	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	荻野美佐子	
MHPS7530	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	藤山直樹	
MHPS7550	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	道又爾	
MHPS7570	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	松田修	
MHPS7590	休講	心理学特殊実習 I	PSY753	1		
MHPS7610	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	横山恭子	
MHPS7630	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	廣瀬英子	
MHPS7650	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	吉村聡	
MHPS7700	春	心理学特殊実習 I	PSY753	1	樋口匡貴	
MHPS7810	春	教育臨床特論	PSY783	2	*伊東孝郎	
MHPS9830	春	修士論文	PSY899	0	心理学専攻教員	9月修了者対象
MHPS1312	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	岡田隆	
MHPS1322	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	毛利伊吹	
MHPS1332	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	荻野美佐子	
MHPS1342	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	藤山直樹	
MHPS1352	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	道又爾	
MHPS1362	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	松田修	
MHPS1372	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	久田満	
MHPS1382	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	横山恭子	
MHPS1392	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	廣瀬英子	
MHPS1402	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	吉村聡	
MHPS1422	秋	論文演習 II (前期)	PSY502	2	樋口匡貴	
MHPS1860	秋	臨床心理査定演習 II	PSY516	2	吉村聡	
MHPS1880	秋	臨床心理基礎実習 II	PSY518	1	毛利伊吹 松田修 *中嶋義文	複数同時担当
MHPS2780	秋	臨床心理実習 II	PSY520	1	横山恭子 藤山直樹	複数同時担当
MHPS6240	秋	心理測定学特殊研究 II	PSY724	2	廣瀬英子	心理測定学特殊研究 I を履修済であること
MHPS6260	秋	認知心理学特殊研究 II	PSY726	2	道又爾	
MHPS6280	秋	臨床心理学特殊研究	PSY728	2	横山恭子	
MHPS6300	秋	生理心理学特殊研究 II	PSY730	2	岡田隆	★
MHPS6320	秋	発達心理学特殊研究 II	PSY732	2	荻野美佐子	
MHPS6340	秋	社会心理学特殊研究 II	PSY734	2	樋口匡貴	★
MHPS6350	秋	老年心理学特殊研究	PSY735	2	松田修	
MHPS6370	秋	臨床人格心理学特殊研究	PSY737	2	吉村聡	
MHPS6380	休講	人間関係特論	PSY738	2		



登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MHPS6790	秋	臨床心理学研究法演習	PSY779	2	吉村 聡	
MHPS6810	秋	認知行動療法特殊研究	PSY781	2	毛利 伊吹	
MHPS7440	秋	心理学基礎実習Ⅱ	PSY752	1	道又 爾 荻野 美佐子 廣瀬 英子	複数同時担当
MHPS7580	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	松田 修	
MHPS7460	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	岡田 隆	
MHPS7480	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	毛利 伊吹	
MHPS7520	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	荻野 美佐子	
MHPS7540	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	藤山 直樹	
MHPS7560	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	道又 爾	
MHPS7600	休講	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1		
MHPS7620	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	横山 恭子	
MHPS7640	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	廣瀬 英子	
MHPS7660	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	吉村 聡	
MHPS7710	秋	心理学特殊実習Ⅱ	PSY754	1	樋口 匡貴	
MHPS7820	秋	精神分析特殊研究	PSY782	2	藤山 直樹	
MHPS9820	秋	修士論文	PSY899	0	心理学専攻教員	

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PSY888	岡田 隆	
	毛利 伊吹	
	荻野 美佐子	
	藤山 直樹	
	道又 爾	
	松田 修	
	久田 満	
	横山 恭子	
	廣瀬 英子	
	吉村 聡	
	樋口 匡貴	

## 心理学専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		
授業科目			
▶必修科目	12		
└論文演習Ⅰ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
└論文演習Ⅱ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
▶選択科目			
研究指導(必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

#### 【11~16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		
授業科目			
▶必修科目	12		
└論文演習Ⅰ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
└論文演習Ⅱ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
▶選択科目			
研究指導(必修)			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

#### 【10年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	12		
▶必修科目	12		
└論文指導演習Ⅰ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
└論文指導演習Ⅱ(後期)	6	3	3年間(3回)履修すること
▶選択科目			
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

#### 【博士論文審査基準】

自立した研究者として研究を継続遂行し, 当該分野・領域の研究において, 将来にわたり独自の貢献を行うことができる能力を有することが認められること。

- 1) 問題設定: 問題意識が明確で, 課題設定が適切であること。
- 2) 先行研究の理解: 先行研究を適切に検討, 吟味していること。
- 3) 研究方法・分析方法: 研究目的に対し, 研究方法等が適切であること。
- 4) 論文構成: 論文構成が的確で, 論理展開に整合性, 一貫性があること。
- 5) 研究の位置づけ: 当該分野, 領域における社会的・学術的な意義が認められること。

- 6) 独創性：全体を通して学術的独創性が認められること。
- 7) 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行っていること。各種学会、大学等が定める倫理基準を満たしたものであること。
- 8) 形式面：以下の形式面が整っていること。
  - 1) 章・節の構成が適切であり、目次を見ることで全体の論旨が予想できること。
  - 2) 文章が明快で、論旨が明確に理解可能であること。
  - 3) 引用が適切で、引用文献表がきちんと整えられていること。
  - 4) 論文、引用の基本的体裁が「アメリカ心理学会出版マニュアル」および日本心理学会の「執筆・投稿の手引き」に準拠したものであること。

なお、博士論文に関しては、心理学専攻博士論文内規に基づき、専攻における構想発表会を経たものであること（心理学専攻内規を参照）。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
論文指導演習Ⅰ（後期）※注1	2		
論文指導演習Ⅱ（後期）※注1	2		
論文演習Ⅰ（後期）※注2	2		
論文演習Ⅱ（後期）※注2	2		

※注1：10年次生以前対象

※注2：11年次生以降対象

## 3. 履修上の注意

下記に従って12単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに博士論文を作成・提出することが必要である。

必修12単位：11年次生以降は論文演習Ⅰ（後期）及び論文演習Ⅱ（後期）を、10年次生以前は論文指導演習Ⅰ（後期）及び論文指導演習Ⅱ（後期）を3年間履修する。

○ 全ての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。

- 1) 11年次生以降の学生については、研究指導（必修）は在学中毎学期登録される。なお、2017年次生以降の学生については、6科目以上合格すること。
- 2) 博士前期課程開講の「心理学特殊実習Ⅰ」及び「心理学特殊実習Ⅱ」を履修しようとする者は、学年初めに専攻主任に届出し、承認を得た後に履修することができる。
- 3) 博士前期課程開講の「心理学基礎実習Ⅰ」「心理学基礎実習Ⅱ」を履修しようとする者は、あらかじめ指導教員と相談すること。
- 4) 博士後期課程にあって博士論文未提出に終わる場合には、3年次の大学院（満期）修了時に、後期課程における研究報告書を専攻に提出すること。報告書は、心理学専攻修了者研究報告集の書式に従い（4000字程度、報告書2ページ分）、在籍中の研究成果（学会発表の内容等）を具体的に盛り込むこと。なお、学会誌発表あるいはそれに準ずる論文がある場合は、業績一覧（2000字程度、報告書1ページ分）をもって研究報告書に代えることができる。業績一覧の書式、内容については、専攻に問い合わせること。
- 5) 年初めの心理学専攻ガイダンスでの説明に十分留意すること。
- 6) 不明な点は指導教員と相談の上、履修を行うこと。

〈カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について〉

新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は同一科目とみなす。

2006年度以前の開講科目	2007年度以降の開講科目
論文指導演習（後期）（4）	論文指導演習Ⅰ（後期）（2） 論文指導演習Ⅱ（後期）（2）
心理学特殊実習（2）	心理学特殊実習Ⅰ（1） 心理学特殊実習Ⅱ（1）

（ ）内は単位数

〔がん医療心理学関連科目〕

2013年度より開設された4大学院の連携授業（「がん医療心理学演習Ⅰ」、「がん医療心理学特殊講義Ⅰ」など）について、8単位以上を取得したときに、修了認定証が与えられる。なお、履修に際しては、講義、演習、実習、ワークショップの異なる種別の科目を履修することが望ましい。詳細は専攻主任に確認すること。また、これらの科目の履修に当たっては、あらかじめ専攻主任に相談すること。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * :非常勤教員	備考
DHPS3010	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	岡田 隆	10年次生以前対象、「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3030	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	毛利 伊吹	10年次生以前対象、「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3070	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	荻野 美佐子	10年次生以前対象、「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3090	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	藤山 直樹	10年次生以前対象、「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3110	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	道又 爾	10年次生以前対象、「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3130	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	松田 修	10年次生以前対象、「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3150	休講	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2		10年次生以前対象、「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3170	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	横山 恭子	10年次生以前対象、「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3190	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	廣瀬 英子	10年次生以前対象、「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3210	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	吉村 聡	10年次生以前対象、「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3250	春	論文指導演習Ⅰ（後期）	PSY901	2	樋口 匡貴	10年次生以前対象、「論文演習Ⅰ」と合併
DHPS3311	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	岡田 隆	11年次生以降対象、「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3321	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	毛利 伊吹	11年次生以降対象、「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3331	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	荻野 美佐子	11年次生以降対象、「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3341	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	藤山 直樹	11年次生以降対象、「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3351	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	道又 爾	11年次生以降対象、「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3361	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	松田 修	11年次生以降対象、「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3371	休講	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2		11年次生以降対象、「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3381	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	横山 恭子	11年次生以降対象、「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3391	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	廣瀬 英子	11年次生以降対象、「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3401	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	吉村 聡	11年次生以降対象、「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3421	春	論文演習Ⅰ（後期）	PSY911	2	樋口 匡貴	11年次生以降対象、「論文指導演習Ⅰ」と合併
DHPS3510	春	がん医療心理学演習Ⅰ	PSY921	1	心理学専攻教員 他	輪講、4大学院の連携授業、春学期集中
DHPS3530	春	がん医療心理学特殊講義Ⅰ	PSY925	1	心理学専攻教員 他	輪講、4大学院の連携授業
DHPS3520	春	がんチーム医療演習Ⅰ	PSY923	1	心理学専攻教員 他	輪講、4大学院の連携授業
DHPS3540	春	がん医療心理学実習Ⅰ	PSY927	1	心理学専攻教員 他	輪講、4大学院の連携授業
DHPS3020	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	岡田 隆	10年次生以前対象、「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3040	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	毛利 伊吹	10年次生以前対象、「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3080	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	荻野 美佐子	10年次生以前対象、「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3100	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	藤山 直樹	10年次生以前対象、「論文演習Ⅱ」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
DHPS3120	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	道 又 爾	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3140	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	松 田 修	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3160	休講	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2		10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3180	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	横 山 恭 子	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3200	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	廣 瀬 英 子	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3220	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	吉 村 聡	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3260	秋	論文指導演習Ⅱ（後期）	PSY902	2	樋 口 匡 貴	10年次生以前対象, 「論文演習Ⅱ」と合併
DHPS3312	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	岡 田 隆	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3322	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	毛 利 伊 吹	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3332	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	荻 野 美佐子	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3342	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	藤 山 直 樹	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3352	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	道 又 爾	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3362	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	松 田 修	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3372	休講	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2		11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3382	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	横 山 恭 子	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3392	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	廣 瀬 英 子	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3402	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	吉 村 聡	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3422	秋	論文演習Ⅱ（後期）	PSY912	2	樋 口 匡 貴	11年次生以降対象, 「論文指導演習Ⅱ」と合併
DHPS3511	秋	がん医療心理学演習Ⅱ	PSY922	1	心理学専攻教員 他	輪講, 4大学院の連携授業, 秋学期集中,
DHPS3531	秋	がん医療心理学特殊講義Ⅱ	PSY926	1	心理学専攻教員 他	輪講, 4大学院の連携授業
DHPS3521	秋	がんチーム医療演習Ⅱ	PSY924	1	心理学専攻教員 他	輪講, 4大学院の連携授業
DHPS3541	秋	がん医療心理学実習Ⅱ	PSY928	1	心理学専攻教員 他	輪講, 4大学院の連携授業

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
PSY988	岡 田 隆	
	毛 利 伊 吹	
	荻 野 美佐子	
	藤 山 直 樹	
	道 又 爾	
	松 田 修	
	久 田 満	休講（春・秋）
	横 山 恭 子	
	廣 瀬 英 子	
	吉 村 聡	
	樋 口 匡 貴	

## 社会学専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	8		
└社会学理論	2		
└社会学方法論	2		
└論文演習Ⅰ	2		
└論文演習Ⅱ	2		
▶選択科目	22		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) 修士論文の審査基準は別に定める

#### 【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	8		
└社会学理論	2		
└社会学方法論	2		
└論文演習Ⅰ	2		
└論文演習Ⅱ	2		
▶選択科目	22		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) 修士論文の審査基準は別に定める

## 【修士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識により課題設定がなされていること。
- 2) 論文全体が的確に構成され、統合的で一貫した論理展開がなされていること。
- 3) 研究対象分野における既存の研究成果が適切に検討・理解されていること。
- 4) 当該分野に関する知識の向上に対して何らかの貢献が行われていること。
- 5) 文章表現が明快であること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
社会学理論	2		
社会学方法論	2		
社会階層論特講Ⅰ			2
社会階層論特講Ⅱ			2
地域社会論特講Ⅰ			2
地域社会論特講Ⅱ			2
社会運動論特講			2
歴史社会学特講			2
宗教社会学特講Ⅰ			2
宗教社会学特講Ⅱ			2
経済と組織の社会学Ⅰ			2
経済と組織の社会学Ⅱ			2
ライフスタイルと社会政策Ⅰ			2
ライフスタイルと社会政策Ⅱ			2
ナショナリズムとグローバル化Ⅰ			2
ナショナリズムとグローバル化Ⅱ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
ライフコース研究Ⅰ			2
ライフコース研究Ⅱ			2
現代社会理論特講			2
社会学研究法Ⅰ			2
社会学研究法Ⅱ			2
(他) 比較社会学研究1 (基礎) ※注1			2
(他) 比較社会学研究2 (応用) ※注1			2
(他) グローバル市民社会論研究1 (基礎) ※注1			2
(他) グローバル市民社会論研究2 (応用) ※注1			2
(他) 国際人口移動研究1 (基礎) ※注1			2
(他) 国際人口移動研究2 (応用) ※注1			2
(他) 国際社会学研究1 (基礎) ※注1			2
(他) 国際社会学研究2 (応用) ※注1			2
論文演習Ⅰ (M2)	2		
論文演習Ⅱ (M2)	2		

※注1：国際関係論専攻開講科目。

## 3. 履修上の注意

- 1) 本専攻では前期課程2年間において、30単位以上（「論文演習Ⅰ・Ⅱ」4単位を含む）を履修し、修士論文を提出することを修了の必須要件とする。
- 2) 毎年度4月に開催される専攻ガイダンスにおける指示に従って、各自専任教員一名を指導教員として定め、その指導のもとに所定の科目を履修し、かつ論文を作成すること。
- 3) 「論文演習Ⅰ・Ⅱ」は、原則として指導教員による科目のみを履修することとし、同一学期に複数の科目を履修することはできない。
- 4) 「研究指導（必修）」は在学中毎学期登録される。なお、2017年次生以降の学生については、4科目以上合格すること。
- 5) 毎年度、専攻の定める「研究計画書」及び「研究報告書」を所定の時期に提出すること。
- 6) 修士論文提出予定者は「提出予定書」及び「題目届」を提出すること。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※*:非常勤教員	備考
MHSC1110	春	社会学理論	SOC511	2	植田 今日子	
MHSC1120	春	社会学方法論	SOC512	2	酒井 計史	
MHSC2431	春	論文演習 I	SOC601	2	芳賀 学	M2対象
MHSC2461	春	論文演習 I	SOC601	2	田 渕 六 郎	M2対象
MHSC2441	春	論文演習 I	SOC601	2	藤村 正之	M2対象
MHSC2451	春	論文演習 I	SOC601	2	吉野 耕作	M2対象
MHSC2481	春	論文演習 I	SOC601	2	植田 今日子	M2対象
MHSC2471	春	論文演習 I	SOC601	2	猿谷 弘江	M2対象
MHSC7130	春	宗教社会学特講 I	SOC713	2	芳賀 学	
MHSC7170	春	ライフスタイルと社会政策 I	SOC717	2	藤村 正之	
MHSC7190	春	ナショナリズムとグローバル化 I	SOC719	2	吉野 耕作	
MHSC7210	春	ライフコース研究 I	SOC721	2	田 渕 六 郎	
MHSC7150	春	経済と組織の社会学 I	SOC715	2	渡辺 深	
MHSC7290	春	歴史社会学特講	SOC729	2	猿谷 弘江	
MHSC2432	秋	論文演習 II	SOC602	2	芳賀 学	M2対象
MHSC2462	秋	論文演習 II	SOC602	2	田 渕 六 郎	M2対象
MHSC2442	秋	論文演習 II	SOC602	2	藤村 正之	M2対象
MHSC2452	秋	論文演習 II	SOC602	2	吉野 耕作	M2対象
MHSC2482	秋	論文演習 II	SOC602	2	植田 今日子	M2対象
MHSC2472	秋	論文演習 II	SOC602	2	猿谷 弘江	M2対象
MHSC7140	秋	宗教社会学特講 II	SOC714	2	芳賀 学	
MHSC7180	秋	ライフスタイルと社会政策 II	SOC718	2	藤村 正之	
MHSC7220	秋	ライフコース研究 II	SOC722	2	田 渕 六 郎	
MHSC7160	秋	経済と組織の社会学 II	SOC716	2	渡辺 深	
MHSC7200	秋	ナショナリズムとグローバル化 II	SOC720	2	吉野 耕作	
MHSC7300	秋	地域社会論特講 I	SOC705	2	植田 今日子	
MHSC7310	秋	地域社会論特講 II	SOC706	2	植田 今日子	
MHSC7280	秋	社会運動論特講	SOC728	2	猿谷 弘江	
MHSC7250	秋	現代社会理論特講	SOC725	2	*園部 雅久	隔週
MHSC7270	秋	社会学研究法 II	SOC727	2	*苫米地 伸	隔年開講
MHSC9360	秋	修士論文	SOC899	0	社会学専攻各指導教員	M2対象
MHSC9361	春	修士論文	SOC899	0	社会学専攻各指導教員	M2対象, 9月修了者用
MHSC7260	休講	社会学研究法 I	SOC726	2		隔年開講
MHSC7030	休講	社会階層論特講 I	SOC703	2		★
MHSC7040	休講	社会階層論特講 II	SOC704	2		★

#### 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SOC888	植田 今日子	
	渡辺 深	
	芳賀 学	
	藤村 正之	
	吉野 耕作	
	田 渕 六 郎	
	猿谷 弘江	



## 社会学専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
授業科目			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること 博士論文の審査基準は別に定める

#### 【11～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
授業科目			
・選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること 博士論文の審査基準は別に定める

#### 【10年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	24		
・必修科目	24		
↳後期修了論文演習Ⅰ・Ⅱ	24	合計6	6セメスター分履修すること
・選択科目			
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること 博士論文の審査基準は別に定める

#### 【博士論文審査基準】

- 1) 明確な問題意識により課題設定がなされていること。
- 2) 論文全体が的確に構成され, 統合的で一貫した論理展開がなされていること。
- 3) 研究対象分野における既存の研究成果が網羅的に検討され, 十分に理解されていること。
- 4) 当該分野に関する知識に対して独自の貢献が行われていること。具体的には, 新たな事実の発見や自立した批判的思考を通して独創性が示されていること。
- 5) 文章表現が明快であること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
後期修了論文演習Ⅰ	4		
後期修了論文演習Ⅱ	4		

※後期修了論文演習Ⅰ・Ⅱについては、合計24単位を履修する。(10年次生以前のみ)

※社会学専攻博士前期課程の選択科目も履修することが出来る。

## 3. 履修上の注意

### 【全学年共通】

毎年度専攻の定める「研究計画書」及び「研究報告書」を所定の時期に提出すること。

### 【11年次生以降】

後期課程を修了するためには3年以上在学し、研究指導を毎学期履修すること(在学中、毎学期登録される。)なお、2017年次生以降の学生については、6科目以上合格すること。また、研究指導は、原則として指導教員の科目のみを履修することとし、同一学期に複数の研究指導を履修することはできない。

### 【10年次生以前】

後期課程を修了するためには3年以上在学し、「後期修了論文演習Ⅰ・Ⅱ」を合計24単位履修すること。なお、「後期修了論文演習Ⅰ・Ⅱ」は、原則として指導教員による科目のみを履修することとし、同一学期に複数の科目を履修することはできない。

## 4. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SOC988	植 田 今日子	
	渡 辺 深	
	芳 賀 学	
	藤 村 正 之	
	吉 野 耕 作	
	田 淵 六 郎	
	猿 谷 弘 江	

## 社会福祉学専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└社会福祉研究法基礎演習	4		
・選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
指導科目			
研究指導（必修）		4 (6)	単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

#### 【13～16年次生】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└社会福祉研究法基礎演習	4		
・選択科目	26		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
指導科目			
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

## 【11・12年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	2		
└社会福祉研究法基礎演習	2		
▶選択科目	28		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
指導科目			
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

## 【修士論文審査基準】

- 1) 研究テーマの設定が適切であり，社会福祉の理念・政策・実践との関連付けが明確であること。
- 2) 先行研究を的確に踏まえ，レビューが十分になされていること。
- 3) 研究目的に照らして研究方法が妥当であり，明確な結果が導き出されていること。
- 4) 論文構成が明快であり，論理の展開に一貫性があること。
- 5) 考察および結論に新たな知見が含まれていること。
- 6) 研究倫理上の問題がないこと。
- 7) 日本社会福祉学会誌執筆要領(注および文献の表示等)ないし社会政策学会誌執筆要領等に適合しており，学術論文としての体裁が整っていること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
社会福祉研究法基礎演習 ※注	4		
福祉政策運営管理研究法基礎演習			2
福祉臨床研究法基礎演習			2
ACADEMIC PRESENTATION AND WRITING SKILLS FOR GRADUATE STUDENTS IN SOCIAL WORK			2
社会福祉政策学			2
社会福祉運営計画論 I			2
社会福祉経営学			2
福祉サービス経営管理論			2
社会保障特殊講義			2
ソーシャルワーク実践理論研究			2
ソーシャルケースワーク研究			2
コミュニティオーガニゼーション研究			2
当事者福祉研究			2
障害者福祉学			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
児童福祉学			2
精神保健福祉研究			2
精神科ソーシャルワーク研究			2
医療ソーシャルワーク研究			2
司法福祉研究			2
権利擁護関係法制論			2
リスクマネジメント事例研究			2
生活構造論研究			2
社会福祉フィールドワーク A			0
社会福祉フィールドワーク B			2
援助事例分析 A			0
援助事例分析 B			2
地域事例分析 A			0
地域事例分析 B			2

※注 12年次生以前は2単位

### 3. 履修上の注意

- 1) すべての科目は繰り返し履修することが可能であり、修了に必要な単位として認められる。  
必修科目「社会福祉研究法基礎演習」を重複して履修した場合の超過単位数は、選択科目に充当する。
- 2) 前期課程 2 年間に於いて 30 単位以上を修得するとともに、「研究指導」(単位なし)を毎学期履修し、修士論文を提出すること。
- 3) 「研究指導」は在学中毎学期登録される。なお、2017 年次生以降の学生は、4 科目以上(長期履修学生は 6 科目以上)合格すること。
- 4) 1 年間に複数教員の社会福祉フィールドワークを受講することはできない。
- 5) 援助事例分析と地域事例分析は、合わせて 1 年間 2 教員まで履修することができる。また 1 年間に、援助事例分析の中の 2 教員までの科目、地域事例分析の中の 2 教員までの科目を履修することができる。
- 6) 「社会福祉フィールドワーク」、「援助事例分析」、「地域事例分析」は、原則として春学期に A、秋学期に B を登録することとする。ただし、留学等やむを得ない事情がある場合は、事前に専攻主任に相談すること。また、各科目は A、B とも同一の教員が開講しているものを登録しなければならない。
- 7) 「社会福祉フィールドワーク A」、「援助事例分析 A」、「地域事例分析 A」の評価には、P (合格)、X (不合格)を使用する。

#### 【カリキュラムの変更に伴う新旧科目の対応と履修単位の読み替え措置について】

新旧科目の対応と履修単位の読み替えは、以下の表により、対応する科目は同一科目とみなす。

2014 年度以前の開講科目	2015 年度以降の開講科目
社会福祉フィールドワーク (2)	社会福祉フィールドワーク A (0) 社会福祉フィールドワーク B (2)
援助事例分析 (2)	援助事例分析 A (0) 援助事例分析 B (2)
地域事例分析 (2)	地域事例分析 A (0) 地域事例分析 B (2)

( )は単位数

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※*:非常勤教員	備考
MHSV1020	春	社会福祉研究法基礎演習	SSV501	4	コーディネータ 岡 知 史	輪講 M1必修
MHSV7050	春	社会福祉運営計画論 I	SSV641	2	栃本 一三郎	
MHSV7070	春	社会福祉経営学	SSV631	2	藤井 賢一郎	
MHSV7140	春	権利擁護関係法制論	SSV632	2	*佐藤 彰一	
MHSV7150	春	リスクマネジメント事例研究	SSV532	2	*本田 純一	
MHSV7170	春	児童福祉学	SSV515	2	*新保 幸男	
MHSV7190	春	精神科ソーシャルワーク研究	SSV511	2	藤井 達也	隔年開講
MHSV7250	春	ソーシャルケースワーク研究	SSV514	2	高山 恵理子	
MHSV7460	春	当事者福祉研究	SSV611	2	岡 知 史	後期課程科目「質的研究法特殊研究」との合併科目
MHSV7450	春	障害者福祉学	SSV531	2	大塚 晃	後期課程科目「地域生活支援特殊研究」との合併科目
MHSV7020	秋	福祉政策運営管理研究法 基礎演習	SSV701	2	コーディネータ 栃本 一三郎	輪講
MHSV7030	秋	福祉臨床研究法基礎演習	SSV702	2	コーディネータ 伊藤 富士江	輪講
MHSV7040	秋	社会福祉政策学	SSV731	2	栃本 一三郎	後期課程科目「社会福祉政策学特殊研究」との合併科目
MHSV7160	秋	生活構造論研究	SSV633	2	*山田 知子	
MHSV7240	秋	医療ソーシャルワーク研究	SSV623	2	高山 恵理子	
MHSV7440	秋	福祉サービス経営管理論	SSV741	2	藤井 賢一郎	
MHSV7270	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0	大塚 晃	
MHSV7280	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0	藤井 達也	
MHSV7290	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0	栃本 一三郎	
MHSV7300	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0	岡 知 史	
MHSV7340	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0	高山 恵理子	
MHSV7430	春	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0	藤井 賢一郎	
MHSV7271	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2	大塚 晃	
MHSV7281	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2	藤井 達也	
MHSV7291	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2	栃本 一三郎	
MHSV7301	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2	岡 知 史	
MHSV7341	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2	高山 恵理子	
MHSV7431	秋	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2	藤井 賢一郎	
	春	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2	社会福祉学専攻各指導教員	留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
	秋	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0	社会福祉学専攻各指導教員	留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
MHSV7350	春	援助事例分析 A	SSV753	0	岡 知 史	
MHSV7360	春	援助事例分析 A	SSV753	0	藤井 達也	
MHSV7380	春	援助事例分析 A	SSV753	0	高山 恵理子	
MHSV7351	秋	援助事例分析 B	SSV754	2	岡 知 史	
MHSV7361	秋	援助事例分析 B	SSV754	2	藤井 達也	
MHSV7381	秋	援助事例分析 B	SSV754	2	高山 恵理子	
	春	援助事例分析 B	SSV754	2	社会福祉学専攻各指導教員	留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
	秋	援助事例分析 A	SSV753	0	社会福祉学専攻各指導教員	留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
MHSV7390	春	地域事例分析 A	SSV755	0	大塚 晃	
MHSV7410	春	地域事例分析 A	SSV755	0	栃本 一三郎	
MHSV7420	春	地域事例分析 A	SSV755	0	藤井 賢一郎	
MHSV7391	秋	地域事例分析 B	SSV756	2	大塚 晃	
MHSV7411	秋	地域事例分析 B	SSV756	2	栃本 一三郎	
MHSV7421	秋	地域事例分析 B	SSV756	2	藤井 賢一郎	
	春	地域事例分析 B	SSV756	2	社会福祉学専攻各指導教員	留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
	秋	地域事例分析 A	SSV755	0	社会福祉学専攻各指導教員	留学等特別な事情のある場合のみ、 専攻の許可のもと履修可能
MHSV9530	春	修士論文	SSV899	0	社会福祉学専攻 各指導教員	M2対象, 9月修了者用
MHSV9520	秋	修士論文	SSV899	0	社会福祉学専攻 各指導教員	M2対象
MHSV7220	休講	ソーシャルワーク実践理論研究	SSV513	2	伊藤 富士江	後期課程科目「ソーシャルワーク理論特 殊研究」との合併科目
MHSV7470	休講	社会保障特殊講義	SSV634	2		
MHSV7180	休講	精神保健福祉研究	SSV621	2		隔年開講
MHSV7230	休講	司法福祉研究	SSV622	2		隔年開講
MHSV7480	休講	ACADEMIC PRESENTATION AND WRITING SKILLS FOR GRADUATE STUDENTS IN SOCIAL WORK	SSV502	2		★
MHSV7210	休講	コミュニティーオーガニゼーション研究	SSV512	2		隔年開講
MHSV7320	休講	社会福祉フィールドワーク A	SSV751	0		
MHSV7321	休講	社会福祉フィールドワーク B	SSV752	2		
MHSV7370	休講	援助事例分析 A	SSV753	0		
MHSV7371	休講	援助事例分析 B	SSV754	2		

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SSV888	大塚 晃	
	藤井 達也	
	栃本 一三郎	
	岡 知史	
	伊藤 富士江	
	高山 恵理子	
	藤井 賢一郎	

## 社会福祉学専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

#### 【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
授業科目			
▶選択科目	6		
指導科目			
研究指導(必修)		6	単位なし，在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

#### 【11～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
授業科目			
▶選択科目			
指導科目			
研究指導(必修)			単位なし，在学中毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

#### 【10年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数			
▶必修科目			
↳後期論文・レポート指導		3	単位なし，3年間，毎学期履修すること
▶選択科目			
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること。博士論文の審査基準は別に定める。

#### 【博士論文審査基準】

- 1) 研究テーマの設定が適切であり，社会福祉の理念・政策・実践との関連付けが明確であること。
- 2) 先行研究を的確に踏まえ，レビューが十分になされていること。
- 3) 研究目的に照らして研究方法が妥当であり，明確な研究成果が導き出されていること。
- 4) 論文構成が明快であり，論理の展開に一貫性があること。
- 5) 社会福祉学領域に新たな知見を提示し，当該領域の理論および実践の進展に寄与するものであること。
- 6) 自立した研究者としての資質と能力を証明するものであること。
- 7) 研究倫理上の問題がないこと。
- 8) 日本社会福祉学会誌執筆要領(注および文献の表示等)ないし社会政策学会誌執筆要領等に適合しており，学術論文としての体裁が整っていること。

なお，博士論文の提出については，社会福祉学専攻「博士学位論文の審査手続きに関する内規」を参照すること。



## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ソーシャルワーク理論特殊研究 ※注1			2
社会福祉政策学特殊研究 ※注1			2
地域生活支援特殊研究 ※注1			2
質的研究法特殊研究 ※注1			2
後期論文・レポート指導 ※注2	0		

※注1 17年次生対象

※注2 10年次生以前対象

## 3. 履修上の注意

- 1) 17年次生は、博士論文の審査および試験に合格することに加え、選択科目6単位を修了要件とする。
- 2) 11年次生以降は、後期課程を終了するためには3年以上在学し、「研究指導」（単位なし）を毎学期履修すること（在学中毎学期登録される）。なお、2017年次生以降は、6科目合格すること。
- 3) 10年次生以前の学生は、後期課程を修了するためには3年以上在学し、3年間にわたり毎学期「後期論文・レポート指導」を履修すること。なお、4年目以降も在学継続する場合も、原則として在学中は毎学期「後期論文・レポート指導」を履修する必要があるが、休学等の事情でやむをえず履修が難しい場合には事前に必ず相談すること。
- 4) 選択科目として、前期課程の科目を履修する場合は、p. 160～161を参照すること。

#### 4. 開講科目一覧表

##### 【17年次生】

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	備考
DHSV7000	休講	ソーシャルワーク理論特殊研究	SSV912	2	伊藤 富士江	前期課程科目「ソーシャルワーク実践理論研究」との合併科目
DHSV7010	秋	社会福祉政策学特殊研究	SSV931	2	栃本 一三郎	前期課程科目「社会福祉政策学」との合併科目
DHSV7020	春	地域生活支援特殊研究	SSV932	2	大塚 晃	前期課程科目「障害者福祉学」との合併科目
DHSV7030	春	質的研究法特殊研究	SSV911	2	岡 知史	前期課程科目「当事者福祉研究」との合併科目

##### 【10年次生以前】

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	備考
DHSV3020	春	後期論文レポート指導	SSV901	0	大塚 晃	10年次生以前対象
DHSV3030	春	後期論文レポート指導	SSV901	0	藤井 達也	10年次生以前対象
DHSV3040	春	後期論文レポート指導	SSV901	0	栃本 一三郎	10年次生以前対象
DHSV3050	春	後期論文レポート指導	SSV901	0	岡 知史	10年次生以前対象
DHSV3070	春	後期論文レポート指導	SSV901	0	伊藤 富士江	10年次生以前対象
DHSV3021	秋	後期論文レポート指導	SSV901	0	大塚 晃	10年次生以前対象
DHSV3031	秋	後期論文レポート指導	SSV901	0	藤井 達也	10年次生以前対象
DHSV3041	秋	後期論文レポート指導	SSV901	0	栃本 一三郎	10年次生以前対象
DHSV3051	秋	後期論文レポート指導	SSV901	0	岡 知史	10年次生以前対象
DHSV3071	秋	後期論文レポート指導	SSV901	0	伊藤 富士江	10年次生以前対象

#### 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SSV988	大塚 晃	
	藤井 達也	
	栃本 一三郎	
	岡 知史	
	伊藤 富士江	

## 看護学専攻 修士課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	10		
└キリスト教と人間論特論	2		
└看護研究法ⅠA	2		
└看護研究法ⅠB	2		
└看護学特別研究演習Ⅰ	2		
└看護学特別研究演習Ⅱ	2		
▶選択科目	20		自専門分野指定科目を6単位以上履修すること
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる（P. 28参照）
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。4科目以上（長期履修学生は6科目以上）合格すること。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

#### 【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	8		
└キリスト教と人間論特論	2		
└看護研究方法Ⅰ	2		
└看護学特別研究演習Ⅰ	2		
└看護学特別研究演習Ⅱ	2		
▶選択科目	22		自領域指定科目を8単位以上履修すること
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			8単位まで修了に必要な単位として認められる（P. 28参照）
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。修士論文の審査基準は別に定める。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること）

#### 【修士論文審査基準】

修士論文審査にあたっては, 以下の視点で評価報告を行う。

1. 表題の明確性と内容との一貫性
2. 研究目的の明確性
3. 研究の意義, 着眼点
4. 倫理的配慮を含む研究方法の適切性（目的との関連性）
5. データ収集・分析の適切性
6. 結果の提示の十分性
7. 考察の妥当性（結果をもとに考察し, 論理の矛盾や飛躍がないか）
8. 論旨の一貫性
9. 図表の不備・不足ないしは不要の有無
10. 文献の偏りおよび不備
11. 研究の独自性, 独創性

## 2. 授業科目の編成・単位

### 【17年次生】

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;共通科目&gt;</b>			
キリスト教と人間論特論	2		
看護研究法ⅠA	2		
看護研究法ⅠB	2		
看護研究法Ⅱ（質的研究）			2
看護研究法Ⅲ（量的研究）			2
看護理論			2
ケアリング特論			2
ヘルスケア哲学			2
倫理学特論			2
看護管理学特論			2
看護教育学特論			2
医療政策特講			2
国際比較文化論			2
生涯発達学特論			2
家族社会学			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;専門（領域）科目&gt;</b>			
専門看護学特論			2
専門看護学ゼミ			2
専門看護学演習			2
フィールドワーク			2
看護学特別研究演習Ⅰ	2		
看護学特別研究演習Ⅱ	2		

### 【16年次生以前】

2017年度からのカリキュラム変更に伴い、科目名が変更された。詳細は、p.167 3. 履修上の注意【16年次生以前】6)を参照すること。

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;共通科目&gt;</b>			
キリスト教と人間論特論	2		
看護研究方法Ⅰ	2		
看護研究方法Ⅱ			2
倫理学特論			2
ヘルスケア哲学			2
生涯発達学特論			2
国際比較文化論			2
認識・看護理論			2
ケアリング特論			2
実践看護カウンセリング特論			2
発達行動と家族機能特論			2
グリーフケア特講			2
感染管理アセスメント論			2
医療政策特講			2
アドバンスフランス語			2
医療看護フランス語			2
総合看護学理論			2
総合看護学方法論			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;領域別科目&gt;</b>			
小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学特論			2
小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学研究ゼミ			2
小児・ウィメンズ看護学研究ゼミ			2
家族発達看護学研究ゼミ			2
小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学演習			2
地域・国際ヘルス看護学特論			2
地域・国際ヘルス看護学研究ゼミ			2
クリティカル・慢性・がん緩和ケア看護学研究ゼミ			2
メンタルヘルス看護学研究ゼミ			2
国際共生支援看護学研究ゼミ			2
地域ヘルス看護学研究ゼミ			2
クリティカル・慢性・がん緩和ケア看護学演習			2
メンタルヘルス看護学演習			2
国際共生支援看護学演習			2
地域ヘルス看護学演習			2
ヘルスシステム開発・政策特講			2
<b>&lt;研究指導&gt;</b>			
フィールドワーク			2
看護学特別研究演習Ⅰ	2		
看護学特別研究演習Ⅱ	2		

### 3. 履修上の注意

#### 【17年次生】

- 1) 看護学専攻の修了要件は 30 単位以上を履修し、自専門分野指導教員のもと修士論文を作成・提出することとする。  
なお、学生の研究関心分野に応じて、関連した他専門分野の教員からも研究指導を適宜受けることができる。
- 2) 研究指導（必修）は、在学中毎学期登録される。4 科目以上（長期履修学生は 6 科目以上）合格すること。
- 3) 学生は本専攻入学時に、それぞれの分野に対応する「専門看護学特論」（2 単位）、「専門看護学ゼミ」（2 単位）及び「専門看護学演習」（2 単位）を履修すること。詳細については、ガイダンスで説明する。
- 4) 本専攻では、教育・実践力ならびに研究に必要なセンスを磨くための教育方法として、「フィールドワーク」（2 年次選択科目）を重視している。内容については、ガイダンスで説明する。
- 5) 各専門分野別履修モデルについては、ガイダンスで配布し説明を行うが、履修登録前に自専門分野指導教員と相談すること。

#### 【16年次生以前】

- 1) 看護学専攻の修了要件は 30 単位以上を履修し、自領域指導教員のもと修士論文を作成・提出することとする。  
なお、学生の研究関心領域に応じて、関連した他領域の教員からも研究指導を適宜得ることができる。
- 2) 研究指導（必修）は、在学中毎学期登録される。
- 3) 学生は本専攻入学時に、主専門領域を小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学領域、クリティカル・慢性・がん緩和ケア看護学領域、メンタルヘルス看護学領域、地域・国際共生支援看護学領域の 4 つの中から選択する。それぞれの領域に指定科目があるので、それらを履修すること。（下記一覧表参照）

領域	科目	領域別特論	領域別研究ゼミ (基礎)	領域別研究ゼミ (各論)	領域別演習
小児・家族・ウィメンズ共生支援		小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学特論	小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学研究ゼミ	小児・ウィメンズ看護学研究ゼミ もしくは 家族発達看護学研究ゼミ	小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学演習
クリティカル・慢性・がん緩和ケア	地域・国際ヘルス看護学特論		地域・国際ヘルス看護学研究ゼミ	クリティカル・慢性・がん緩和ケア看護学研究ゼミ	クリティカル・慢性・がん緩和ケア看護学演習
メンタルヘルス				メンタルヘルス看護学研究ゼミ	メンタルヘルス看護学演習
地域・国際共生支援				国際共生支援看護学研究ゼミ	国際共生支援看護学演習
				地域ヘルス看護学研究ゼミ	地域ヘルス看護学演習

- 4) 本専攻では、教育・実践力ならびに研究に必要なセンスを磨くための教育方法として、「フィールドワーク」（2 年次選択科目）を重視している。内容については、ガイダンスで説明する。
- 5) 各領域別履修モデルについては、ガイダンスで配布し説明を行うが、履修登録前に自領域指導教員と相談すること。
- 6) 2017 年度からのカリキュラム変更に伴い科目名が変更となった。以下の表により、対応する科目は同一科目とみなす。

2016年度以前の開講科目	2017年度以降の開講科目	重複履修
小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学特論 地域・国際ヘルス看護学特論	専門看護学特論※	不可
小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学研究ゼミ 地域・国際ヘルス看護学研究ゼミ 小児・家族・ウィメンズ看護学研究ゼミ 家族発達看護学研究ゼミ クリティカル・慢性・がん緩和ケア看護学研究ゼミ メンタルヘルス看護学研究ゼミ 国際共生支援看護学研究ゼミ 地域ヘルス看護学研究ゼミ	専門看護学ゼミ※	不可
小児・家族・ウィメンズ共生支援看護学演習 クリティカル・慢性・がん緩和ケア看護学演習 メンタルヘルス看護学演習 国際共生支援看護学演習 地域ヘルス看護学演習	専門看護学演習※	不可
看護研究方法 I	看護研究法 I A	不可
看護研究方法 II	看護研究法 I B	不可
認識・看護理論	看護理論	不可

※2016 年度以前の開講科目の特論、ゼミ、演習科目に関しては、2017 年度の開講科目である専門看護学特論、専門看護学ゼミ、専門看護学演習のそれぞれ自分の指導教員の科目を履修すること。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHNU7300	休講	専門看護学特論	NRS750	2		
MHNU7310	春	専門看護学特論	NRS750	2	石川 ふみよ 渡邊 知映	輪講, (注1)
MHNU7320	春	専門看護学特論	NRS750	2	小長谷 百絵	(注1)
MHNU7330	春	専門看護学特論	NRS750	2	島田 真理恵 礪山 あけみ 稲田 千晴	輪講, (注1)
MHNU7340	春	専門看護学特論	NRS750	2	草柳 浩子	(注1)
MHNU7350	春	専門看護学特論	NRS750	2	小高 恵実	(注1)
MHNU7360	春	専門看護学特論	NRS750	2	西山 悦子	(注1)
MHNU7370	休講	専門看護学特論	NRS750	2		★, (注1)
MHNU7010	春	フィールドワーク	NRS780	2	西山 悦子	M2 対象
MHNU2031	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	石川 ふみよ	M2 対象
MHNU2071	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	小長谷 百絵	M2 対象
MHNU2041	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	島田 真理恵	M2 対象
MHNU2021	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	塚本 尚子	M2 対象
MHNU2011	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	草柳 浩子	M2 対象
MHNU2051	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	西山 悦子	M2 対象
MHNU2091	休講	看護学特別研究演習 I	NRS601	2		M2 対象
MHNU2111	春	看護学特別研究演習 I	NRS601	2	渡邊 知映	M2 対象
MHNU1010	春	キリスト教と人間論特論	NRS501	2	(他)瀬本 正之	
MHNU1020	春	看護研究法 I A	NRS502	2	西山 悦子 小長谷 百絵 草柳 浩子	輪講, (注1)
MHNU1030	春	看護研究法 I B	NRS503	2	島田 真理恵 石川 ふみよ 塚本 尚子	輪講, (注1)
MHNU7240	春	看護理論	NRS703	2	草柳 浩子 小長谷 百絵 西山 悦子	輪講, (注1)
MHNU7120	春	ヘルスケア哲学	NRS731	2	*丹木 博一	
MHNU7110	春	倫理学特論	NRS730	2	(他)寺田 俊郎 (他)有江 文栄	輪講
MHNU7210	春	医療政策特講	NRS736	2	(他)栃本 一三郎 (他)藤井 賢一郎	輪講
MHNU7130	春	生涯発達学特論	NRS732	2	(他)荻野 美佐子 (他)横山 恭子 (他)松田 修	輪講
MHNU6120	春	ヘルスシステム開発・政策特講	NRS738	2	石川 ふみよ (他)藤井 賢一郎 *秋山 正子	輪講, M2 対象
MHNU7160	秋	ケアリング特論	NRS746	2	(他)大橋 容一郎	
MHNU7400	秋	専門看護学ゼミ	NRS760	2	塚本 尚子 未 定	輪講, (注1)
MHNU7410	秋	専門看護学ゼミ	NRS760	2	石川 ふみよ 渡邊 知映	輪講, (注1)
MHNU7420	秋	専門看護学ゼミ	NRS760	2	小長谷 百絵	(注1)

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MHNU7430	秋	専門看護学ゼミ	NRS760	2	島田 真理恵 礪山 あけみ 稲田 千晴	輪講, (注1)
MHNU7440	秋	専門看護学ゼミ	NRS760	2	草柳 浩子	(注1)
MHNU7450	秋	専門看護学ゼミ	NRS760	2	西山 悦子	(注1)
MHNU7460	休講	専門看護学ゼミ	NRS760	2		★, (注1)
MHNU7500	秋	専門看護学演習	NRS770	2	塚本 尚子 未 定	輪講, (注1)
MHNU7510	秋	専門看護学演習	NRS770	2	石川 ふみよ 渡邊 知映	輪講, (注1)
MHNU7520	秋	専門看護学演習	NRS770	2	小長谷 百絵	(注1)
MHNU7530	秋	専門看護学演習	NRS770	2	島田 真理恵 礪山 あけみ 稲田 千晴	輪講, (注1)
MHNU7540	秋	専門看護学演習	NRS770	2	草柳 浩子	(注1)
MHNU7550	秋	専門看護学演習	NRS770	2	西山 悦子	(注1)
MHNU7560	休講	専門看護学演習	NRS770	2		★, (注1)
MHNU2032	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	石川 ふみよ	M2 対象
MHNU2072	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	小長谷 百絵	M2 対象
MHNU2042	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	島田 真理恵	M2 対象
MHNU2022	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	塚本 尚子	M2 対象
MHNU2012	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	草柳 浩子	M2 対象
MHNU2052	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	西山 悦子	M2 対象
MHNU2092	休講	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2		M2 対象
MHNU2112	秋	看護学特別研究演習Ⅱ	NRS602	2	渡邊 知映	M2 対象
MHNU7220	秋	看護研究法Ⅱ (質的研究)	NRS701	2	* 森岡 崇	
MHNU7230	春集中	看護研究法Ⅲ (量的研究)	NRS702	2	* 猫田 泰敏	
MHNU7250	秋	看護管理学特論	NRS706	2	西山 悦子 * 照沼 則子	輪講
MHNU7260	秋	看護教育学特論	NRS707	2	* 菊田 文夫	
MHNU7140	秋	国際比較文化論	NRS740	2	* 釘宮 明美	
MHNU7270	春	家族社会学	NRS711	2	(他) 田 渕 六郎	
MHNU7190	秋	グリーンケア特講	NRS747	2	石川 ふみよ 西山 悦子	輪講, M2 対象
MHNU9010	秋	修士論文	NRS899	0	看護学専攻教員	

(注1) p. 167 6) 参照

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
NRS820	石 川 ふみよ	
	小長谷 百 絵	
	島 田 真理恵	
	塚 本 尚 子	
	草 柳 浩 子	
	西 山 悦 子	



法 学 研 究 科

## 1. 法学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

### 法律学専攻

本専攻は法学・政治学の研究者の養成、並びに、この素養を身につけた社会人を送り出すことを目的とする。

現代社会では、研究者は自分の専門領域に特化しているだけで足りるものでなく、社会で生起するさまざまな問題を論理的に再構成し、より高度な問題を処理できる実務能力を身につけていなければならない。社会人を積極的に受け入れ、研究者養成とともに、法学・政治学の素養を身につけた人材の養成を目指す。

## 2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 法律学専攻

本専攻は、法律学の諸分野における実定法の研究教育や基礎法・国際法・政治学・比較法などの研究教育をおこないます。

#### 【博士前期課程】

学部で修得した法学・政治学全般の基礎知識の深化を図り、専攻科目の研究への移行を助け、高度な法的能力および政治的分析力の涵養を目指します。また、社会人については、社会で身につけた知識・経験を専攻科目と関連づけて、専門的視点および分析力の深化を目指します。

#### 【博士後期課程】

研究者養成を主な目的としながら、既存の法秩序や政治の枠を超えて生起する現代の諸問題の処理能力を養うことに重点を置きます。また、社会で生起するさまざまな問題を論理的に再構成し、より高度な問題を処理できる実務能力を涵養します。

## 3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

### 法律学専攻

本専攻は、法学・政治学研究者の養成と高度の専門的能力を有する職業人および人間性豊かな法律家を養成し、社会に送り出すことを目的としています。

#### 【博士前期課程】

所定の年限を在学し、研究指導を受け、所定の単位数を修得し、かつ、本研究科が行う論文の審査に合格した学生に、修士（法学）の学位を授与します。修了にあたっては、専攻分野に関する高度な専門知識を修得し、使いこなす能力を身につけていることを到達の目安とします。

#### 【博士後期課程】

所定の年限を在学し、研究指導を受け、かつ、本研究科が行う博士論文の審査に合格した学生に博士（法学）の学位を授与します。修了にあたっては、専攻分野に関する深い学識と高度な分析力を備え、その学識と分析力を基盤として独創的な課題を設定し、自らそれを解決・展開する能力を身につけていることを到達の目安とします。

## 法律学専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

#### (標準修業年限(2年) 修了予定者)

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考(上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└前期研究演習Ⅱ	2		M1対象
└前期研究演習Ⅲ	2		M2対象
▶選択必修科目	2		M2対象, 指導教員と協議の上, 「前期研究演習Ⅳ」又は「前期論文演習」のいずれかを履修すること
▶選択科目	24		
└自専攻科目			
研究指導(必修)		4	M1・M2対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される4科目以上合格すること
修士論文/リサーチペーパー			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) ※ただし, リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細についてはp.177履修上の注意を参照。

#### (早期修了予定者)

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考(上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└前期研究演習Ⅰ	2		M1対象
└前期研究演習Ⅱ	2		M1対象
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
研究指導(必修)		4	M1対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される4科目以上合格すること ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される
修士論文/リサーチペーパー			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) ※ただし, リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細についてはp.178履修上の注意を参照。

**【16 年次生以前】**  
**(標準修業年限 (2年) 修了予定者)**

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└前期研究演習Ⅱ	2		M1 対象
└前期研究演習Ⅲ	2		M2 対象
・選択必修科目	2		M2 対象, 指導教員と協議の上, 「前期研究演習Ⅳ」又は「前期論文演習」のいずれかを履修すること
・選択科目	24		
└自専攻科目			
研究指導 (必修)			M1・M2 対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される
修士論文/リサーチペーパー			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) ※ただし, リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細については p. 177 履修上の注意を参照。

**(早期修了予定者)**

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
・必修科目	4		
└前期研究演習Ⅰ	2		M1 対象
└前期研究演習Ⅱ	2		M1 対象
・選択科目	26		
└自専攻科目			
研究指導 (必修)			M1 対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される
修士論文/リサーチペーパー			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) ※ただし, リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細については p. 178 履修上の注意を参照。

**【修士論文審査基準】**

修士学位論文の位置づけと評価基準

- 1) 修士の学位は, 博士前期課程における履修と研鑽を通じて, 専門的研究者としての能力水準をある程度具え, それが提出論文に充分反映されている場合に, これを授与するものとする (課程「修了」の証明)。また, この学位は, 爾後, 学界において研究者としての活動を継続・発展させていくに必要な能力をある程度具えていると思科される場合に, これを授与するものとする。
- 2) 修士の学位論文は, 主題に関する学界での到達点を適切に理解し, かつこれをさらに発展させるための斬新な視点ないし切り口・分析方法をある程度提示していること, 論文全体に一貫性・実証性・独創性が認められ, 構成力と表現力において優れていること等が必要である。

## 【リサーチ・ペーパーの提出要件および審査基準】

### 提出要件

博士前期課程の学生は、指導教授の承諾を得た上で、修士論文に代えてリサーチ・ペーパーを提出することができる。

リサーチ・ペーパーとして受理されるためには下記の要件を充足する必要がある、その審査も下記の要件を踏まえた観点から実施される。

また、リサーチ・ペーパー提出にかかる一連の取扱いは、「法学研究科法律学専攻博士前期課程の履修等に関する申し合わせ」の関連規定によるものとする。

なお、リサーチ・ペーパーを提出した者は、本研究科博士後期課程入試において、第1次試験の免除を受けることはできない。

### 審査基準

1. 特定の研究課題に沿った問題の所在が明確にされ、学説、判例、実務ないし実例等の検討がなされ、十分ではないものの自説の展開がなされていること。
2. 特定の研究課題を論じるにあたって必須と思われる基本的な文献が引照されていること。
3. 外国語文献を参照することが望ましいが、比較法的な検討は必ずしも要しないこと。
4. 形式的には、一般的な論文の体裁により作成され、少なくとも1万字を超えていること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
前期研究演習Ⅰ ※注1	2		
前期研究演習Ⅱ	2		
前期研究演習Ⅲ	2		
前期研究演習Ⅳ		2	
前期論文演習		2	
課題研究			1
法哲学研究Ⅰ			2
法哲学研究Ⅱ			2
西洋法制史研究Ⅰ			2
西洋法制史研究Ⅱ			2
外国法研究Ⅰ			2
外国法研究Ⅱ			2
外国法研究Ⅲ			2
比較法研究Ⅰ			2
比較法研究Ⅱ			2
憲法研究Ⅰ			2
憲法研究Ⅱ			2
憲法研究Ⅲ			2
憲法研究Ⅳ			2
憲法研究Ⅴ			2
憲法研究Ⅵ			2
行政法研究Ⅰ			2
行政法研究Ⅱ			2
行政法研究Ⅲ			2
行政法研究Ⅳ			2
政治学研究Ⅰ			2
政治学研究Ⅱ			2
政治学研究Ⅲ			2
政治学研究Ⅳ			2
政治学研究Ⅴ			2
政治学研究Ⅵ			2
民法研究Ⅰ			2
民法研究Ⅱ			2
民法研究Ⅲ			2
民法研究Ⅳ			2
民法研究Ⅴ			2
民法研究Ⅵ			2
民法研究Ⅶ			2
民法研究Ⅷ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
民法研究Ⅸ			2
民法研究Ⅹ			2
商法研究Ⅰ			2
商法研究Ⅱ			2
商法研究Ⅲ			2
商法研究Ⅳ			2
商法研究Ⅴ			2
商法研究Ⅵ			2
商法研究Ⅶ			2
民事訴訟法研究Ⅰ			2
民事訴訟法研究Ⅱ			2
民事訴訟法研究Ⅲ			2
刑事法研究Ⅰ			2
刑事法研究Ⅱ			2
労働法研究Ⅰ			2
労働法研究Ⅱ			2
経済法研究Ⅰ			2
経済法研究Ⅱ			2
知的財産権法研究Ⅰ			2
知的財産権法研究Ⅱ			2
社会保障法研究Ⅰ			2
社会保障法研究Ⅱ			2
国際法研究Ⅰ			2
国際法研究Ⅱ			2
国際法研究Ⅲ			2
国際法研究Ⅳ			2
国際法研究Ⅴ			2
国際法研究Ⅵ			2
国際経済法研究Ⅰ			2
国際経済法研究Ⅱ			2
国際私法研究Ⅰ			2
国際私法研究Ⅱ			2
国際私法研究Ⅲ			2
国際取引法研究Ⅰ			2
国際取引法研究Ⅱ			2
環境法研究Ⅰ			2
環境法研究Ⅱ			2
環境法研究Ⅲ			2
環境法研究Ⅳ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
環境法研究V			2
環境法研究VI			2
環境法研究VII			2
環境法研究VIII			2
環境学研究I			2
環境学研究II			2
(他)特殊講義(警察活動と法実務) ※注2			1
(他)LAW AND PRACTICE OF INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS ※注2			1
(他)平和研究の課題 ※注3			2
(他)グローバル・スタディーズの新課題※注3			2
(他)国際関係論研究1 ※注3			2
(他)国際関係論研究2 ※注3			2
(他)国際経済学研究1 ※注3			2
(他)国際経済学研究2 ※注3			2
(他)国際政治経済論研究1 ※注3			2
(他)国際政治経済論研究2 ※注3			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
(他) 対外政策研究1 ※注3			2
(他) 対外政策論文演習1 ※注3			2
(他) 対外政策研究2 ※注3			2
(他) 対外政策論文演習2 ※注3			2
(他) 政治社会論研究1 ※注3			2
(他) 政治社会論研究2 ※注3			2
(他) 比較政治学研究1 ※注3			2
(他) 比較政治学研究2 ※注3			2
(他) 国際関係論 INTERNATIONAL RELATIONS THEORY ※注4			2
(他) 主権, 国家, 自由主義 SOVEREIGNTY, NATIONHOOD, LIBERALISM ※注4			2
(他) 比較政治学I COMPARATIVE POLITICS ※注4			2
(他) 比較政治学II DEMOCRACY IN GLOBALIZATION ※注4			2
(他) グローバル政治学III GLOBAL POLITICS ※注4			4

※注1：早期修了予定者のみ対象

※注2：法曹養成専攻開講科目（時間割は法科大学院履修要綱参照）

※注3：国際関係論専攻開講科目（詳細はp. 236～p. 240参照）

※注4：グローバル社会専攻開講科目（詳細はEnglish-taught GRADUATE PROGRAMS「BULLETIN OF INFORMATION 2017-2018」参照）

### 3. 履修上の注意

#### (標準修業年限(2年)修了予定者)

(9月修了予定者は4月第2月曜日までに法律学専攻事務室に申し出ること。)

- 「前期研究演習Ⅱ」及び「前期研究演習Ⅲ」の履修登録を行い、学期末に研究報告書を提出すること。
- 2年次の秋学期においては、指導教員と協議の上、「前期研究演習Ⅳ」又は「前期論文演習」のいずれかを履修登録すること。
- 「前期論文演習」の履修登録を予定する者は、2年次春学期末に開催する「研究報告会」において報告すること。
- 「前期論文演習」を履修登録した者は修士論文を提出し、「前期研究演習Ⅳ」を履修登録した者はリサーチ・ペーパーを提出すること。ただし、「前期論文演習」履修登録者であっても、指導教員の承認を得て、リサーチ・ペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。
- リサーチ・ペーパーは、上智大学大学院学則第21条に規定する修士論文とみなす。
- 修士論文、又はリサーチ・ペーパーを提出した者は、2年次秋学期末に法学会が開催する「研究報告会」で報告すること。
- 「前期研究演習Ⅱ～Ⅳ」、又は「前期研究演習Ⅱ～Ⅲ」及び「前期論文演習」の6単位を含めて、合計30単位以上を履修すること。
- 「研究指導・課題研究・前期研究演習・前期論文演習」は、指導教員の科目を履修すること。
- 「研究指導」を在籍中（標準修業年限を超えて在籍する者も含む）毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。

10)「課題研究」とは、①常勤で就労する学生のみ履修登録することができ、②博士前期課程在籍中に2単位(1学期1単位)まで取得することができ、③履修登録に際しては、あらかじめ指導教員と問題設定等について相談して研究計画を立て、その了解を得ること。

なお、「課題研究」の履修登録を予定する者は、履修登録期間前までに法律学専攻事務室に\*所定用紙を提出すること。

\*上記所定用紙は、法律学専攻事務室にて配付。

### (早期修了予定者)

- 1) 上智大学大学院学則第21条第1項ただし書に規定する1年間の在学期間(早期修了)を希望する者は、指導教員の承認を得て、1年次4月第2月曜日までに、「早期修了申請書」(\*所定用紙)を法学研究科委員長(法律学専攻事務室)に届け出ること。なお、本学の法律学専攻博士後期課程進学希望者は、早期修了を希望することができない。同項ただし書に規定する「優れた業績を上げた者」とは、修了に必要な修得単位の成績評価のGPAが3.4以上であり、修士論文又はリサーチ・ペーパーが審査委員会によってB以上と評価された者とする。
- 2) 「前期研究演習Ⅰ」、「前期研究演習Ⅱ」の履修登録を行うこと。
- 3) 1年次春学期末に研究報告書を提出し、1年次秋学期末に修士論文又はリサーチ・ペーパーを提出すること。
- 4) リサーチ・ペーパーは、上智大学大学院学則第21条に規定する修士論文とみなすこと。
- 5) 修士論文又はリサーチ・ペーパーを提出した者は、1年次秋学期末に法学会が主催する「研究報告会」で報告すること。
- 6) 「前期研究演習Ⅰ」、「前期研究演習Ⅱ」の4単位を含めて、合計30単位以上を履修すること。
- 7) 「研究指導」を在籍中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 8) 早期修了の予定を取り消す者については、指導教員の承認を得て、2017年11月20日～12月1日の期間(修士論文題目提出期間)に、「早期修了取消届出書」(\*所定用紙)を、法学研究科委員長(法律学専攻事務室)に届け出ること。その者の履修は、上記の標準修業年限(2年)修了予定者に準ずる。
- 9) 「課題研究」とは、①常勤で就労する学生のみ履修登録することができ、②博士前期課程在籍中に2単位(1学期1単位)まで取得することができ、③履修登録に際しては、あらかじめ指導教員と問題設定等について相談して研究計画を立て、その了解を得ること。

なお、「課題研究」の履修登録を予定する者は、履修登録期間前までに法律学専攻事務室に\*所定用紙を提出すること。

\*上記所定用紙は、法律学専攻事務室にて配付。



## 4. 開講科目一覧表

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	備考
<b>&lt;必修科目&gt;</b>						
MLLW1125	春	前期研究演習 I	LAW501	2	桑原 勇進	M1早期修了予定者対象
MLLW1118	春	前期研究演習 I	LAW501	2	駒田 泰士	M1早期修了予定者対象
MLLW1113	春	前期研究演習 I	LAW501	2	甘利 公人	M1早期修了予定者対象
MLLW1109	春	前期研究演習 I	LAW501	2	岡部 みどり	M1早期修了予定者対象
MLLW1135	春	前期研究演習 I	LAW501	2	梅村 悠	M1早期修了予定者対象
MLLW1325	秋	前期研究演習 II	LAW502	2	桑原 勇進	M1対象
MLLW1318	秋	前期研究演習 II	LAW502	2	駒田 泰士	M1対象
MLLW1313	秋	前期研究演習 II	LAW502	2	甘利 公人	M1対象
MLLW1309	秋	前期研究演習 II	LAW502	2	岡部 みどり	M1対象
MLLW1335	秋	前期研究演習 II	LAW502	2	梅村 悠	M1対象
MLLW1425	春	前期研究演習 III	LAW601	2	堀口 健夫	M2対象(前期研究演習 II を修得済み であること)
MLLW1406	春	前期研究演習 III	LAW601	2	出口 耕自	M2対象(前期研究演習 II を修得済み であること)
MLLW1410	春	前期研究演習 III	LAW601	2	三浦 まり	M2対象(前期研究演習 II を修得済み であること)
MLLW1422	春	前期研究演習 III	LAW601	2	佐藤 結美	M2対象(前期研究演習 II を修得済み であること)
MLLW1436	春	前期研究演習 III	LAW601	2	北村 喜宣	M2対象(前期研究演習 II を修得済み であること)
MLLW1418	春	前期研究演習 III	LAW601	2	駒田 泰士	M2対象(前期研究演習 II を修得済み であること)
MLLW1404	春	前期研究演習 III	LAW601	2	江藤 淳一	M2対象(前期研究演習 II を修得済み であること)
<b>&lt;選択必修科目&gt;</b>						
MLLW1508	秋	前期研究演習 IV	LAW602	2	矢島 基美	M2対象(前期研究演習 III を修得済み であること)
MLLW1525	秋	前期研究演習 IV	LAW602	2	堀口 健夫	M2対象(前期研究演習 III を修得済み であること)
MLLW1506	秋	前期研究演習 IV	LAW602	2	出口 耕自	M2対象(前期研究演習 III を修得済み であること)
MLLW1510	秋	前期研究演習 IV	LAW602	2	三浦 まり	M2対象(前期研究演習 III を修得済み であること)
MLLW1522	秋	前期研究演習 IV	LAW602	2	佐藤 結美	M2対象(前期研究演習 III を修得済み であること)
MLLW1536	秋	前期研究演習 IV	LAW602	2	北村 喜宣	M2対象(前期研究演習 III を修得済み であること)
MLLW1518	秋	前期研究演習 IV	LAW602	2	駒田 泰士	M2対象(前期研究演習 III を修得済み であること)
MLLW1504	秋	前期研究演習 IV	LAW602	2	江藤 淳一	M2対象(前期研究演習 III を修得済み であること)
MLLW1608	秋	前期論文演習	LAW603	2	矢島 基美	M2対象(前期研究演習 III を修得済み であること)
MLLW1625	秋	前期論文演習	LAW603	2	堀口 健夫	M2対象(前期研究演習 III を修得済み であること)
MLLW1606	秋	前期論文演習	LAW603	2	出口 耕自	M2対象(前期研究演習 III を修得済み であること)

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	備考
MLLW1610	秋	前期論文演習	LAW603	2	三 浦 ま り	M2対象(前期研究演習Ⅲを修得済み であること)
MLLW1622	秋	前期論文演習	LAW603	2	佐 藤 結 美	M2対象(前期研究演習Ⅲを修得済み であること)
MLLW1636	秋	前期論文演習	LAW603	2	北 村 喜 宣	M2対象(前期研究演習Ⅲを修得済み であること)
MLLW1618	秋	前期論文演習	LAW603	2	駒 田 泰 士	M2対象(前期研究演習Ⅲを修得済み であること)
MLLW1604	秋	前期論文演習	LAW603	2	江 藤 淳 一	M2対象(前期研究演習Ⅲを修得済み であること)
<b>&lt;選択科目&gt;※重複履修可(他専攻開講科目を除く)</b>						
MLLW7740	休講△	課題研究	LAW701	1	法学専攻各指導教員	M1・M2対象, △履修登録希望者が いる場合開講
MLLW7750	休講△	課題研究	LAW701	1	法学専攻各指導教員	M1・M2対象, △履修登録希望者が いる場合開講
MLLW7010	休講	法哲学研究Ⅰ(法哲学文献講読)	JUR701	2		隔年開講
MLLW7020	春	法哲学研究Ⅱ(正義論文献講読)	JUR702	2	奥 田 純一郎	隔年開講
MLLW7030	休講	西洋法制史研究Ⅰ (ヨーロッパ近世・近代史)	JUR711	2		隔年開講
MLLW7040	秋	西洋法制史研究Ⅱ (ヨーロッパ現代史)	JUR712	2	松 本 尚 子	隔年開講
MLLW7050	休講	外国法研究Ⅰ (フランス法文献講読)	JUR721	2		
MLLW7060	春	外国法研究Ⅱ(英米法文献講読)	JUR722	2	岩 田 太	
MLLW7070	秋	外国法研究Ⅲ (ドイツ法文献講読)	JUR723	2	松 本 尚 子	
MLLW7080	休講	比較法研究Ⅰ (フランス法文献講読)	JUR733	2		
MLLW7090	秋	比較法研究Ⅱ(英米法文献講読)	JUR734	2	岩 田 太	法曹養成専攻「英米法」と合併科 目
MLLW7100	春	憲法研究Ⅰ(憲法判例研究)	PBL701	2	江 藤 祥 平	
MLLW7110	春	憲法研究Ⅱ(憲法解釈理論)	PBL702	2	江 藤 祥 平	
MLLW7790	休講	憲法研究Ⅲ	PBL703	2		
MLLW7120	秋	憲法研究Ⅳ(憲法理論研究)	PBL704	2	巻 美矢紀	
MLLW7130	春	憲法研究Ⅴ(憲法理論研究)	PBL705	2	矢 島 基 美	
MLLW7140	秋	憲法研究Ⅵ(憲法判例研究)	PBL706	2	矢 島 基 美	
MLLW7150	休講	行政法研究Ⅰ(行政法判例研究)	PBL711	2		
MLLW7160	春	行政法研究Ⅱ(行政法判例研究)	PBL712	2	古 城 誠	
MLLW7170	休講	行政法研究Ⅲ(行政法判例研究)	PBL713	2		
MLLW7180	春	行政法研究Ⅳ(行政法判例研究)	PBL714	2	小 幡 純 子	
MLLW7190	休講	政治学研究Ⅰ (グローバル化の政治経済1)	POL701	2		
MLLW7200	秋	政治学研究Ⅱ (グローバル化の政治経済2)	POL702	2	加 藤 浩 三	
MLLW7210	休講	政治学研究Ⅲ (グローバル化と公共政策) GLOBALIZATION & PUBLIC POLICY	POL703	2		★
MLLW7220	休講	政治学研究Ⅳ(現代日本政治研究) CONTEMPORARY JAPANESE POLITICS	POL704	2		★

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	備考
MLLW7230	春	政治学研究Ⅴ(国際政治の諸理論) INTERNATIONAL POLITICS	POL705	2	岡部みどり	★
MLLW7240	秋	政治学研究Ⅵ(人の国際移動) INTERNATIONAL MIGRATION	POL706	2	岡部みどり	★
MLLW7250	秋	民法研究Ⅰ(債権法の諸問題)	CVL701	2	奥富晃	
MLLW7260	秋	民法研究Ⅱ(ドイツ民法文献講読)	CVL702	2	大塚智見	
MLLW7270	秋	民法研究Ⅲ(英米契約法・信託法の検討)	CVL703	2	小山泰史	
MLLW7280	春	民法研究Ⅳ(フランス民法文献講読)	CVL704	2	大塚智見	
MLLW7290	春	民法研究Ⅴ(債権法改正の諸問題(共同担保法に関する諸問題その1))	CVL705	2	佐藤岩昭	
MLLW7300	秋	民法研究Ⅵ(債権法改正の諸問題(共同担保法に関する諸問題その2))	CVL706	2	佐藤岩昭	
MLLW7310	春	民法研究Ⅶ (物権法の諸問題)	CVL707	2	伊藤栄寿	
MLLW7320	秋	民法研究Ⅷ(決済法の研究)	CVL708	2	伊藤栄寿	
MLLW7330	春	民法研究Ⅸ(親族法の諸問題)	CVL709	2	羽生香織	
MLLW7340	秋	民法研究Ⅹ(相続法の諸問題)	CVL710	2	羽生香織	
MLLW7350	春	商法研究Ⅰ(英米保険法研究)	CML701	2	甘利公人	
MLLW7360	秋	商法研究Ⅱ(商事判例研究)	CML702	2	甘利公人	
MLLW7370	秋	商法研究Ⅲ(外国語文献講読・ウィーン売買条約)	CML703	2	松井智予	
MLLW7380	春	商法研究Ⅳ(ドイツ会社法判例を読む)	CML704	2	伊藤雄司	
MLLW7820	秋	商法研究Ⅴ (ドイツ会社法文献講読)	CML705	2	伊藤雄司	
MLLW7830	春	商法研究Ⅵ (英米商事法研究Ⅰ)	CML706	2	梅村悠	
MLLW7381	秋	商法研究Ⅶ (英米商事法研究Ⅱ)	CML707	2	梅村悠	
MLLW7390	秋	民事訴訟法研究Ⅰ (民事手続法の判例研究)	CPL701	2	原強	
MLLW7400	秋	民事訴訟法研究Ⅱ (民事訴訟法の理論研究)	CPL702	2	田頭章一	
MLLW7410	秋	民事訴訟法研究Ⅲ (民事執行法の判例研究)	CPL703	2	安西明子	
MLLW7420	春	刑事法研究Ⅰ (最近の刑事判例と刑法学説)	CRL701	2	長沼範良 伊藤涉 照沼亮介 佐藤結美 三好幹夫	複数同時担当, 隔週

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	備考
MLLW7430	秋	刑事法研究Ⅱ(比較法的に見た 刑事法上の諸問題)	CRL702	2	長 沼 範 良 伊 藤 涉 照 沼 亮 介 佐 藤 結 美 三 好 幹 夫	複数同時担当, 隔週
MLLW7440	春	労働法研究Ⅰ(雇用関係法)	SCL701	2	富 永 晃 一	
MLLW7450	秋	労働法研究Ⅱ(労使関係法)	SCL702	2	富 永 晃 一	
MLLW7460	春	経済法研究Ⅰ(独占禁止法)	SCL711	2	楠 茂 樹	
MLLW7470	秋	経済法研究Ⅱ(公共調達と法)	SCL712	2	楠 茂 樹	
MLLW7480	春	知的財産権法研究Ⅰ(著作権法)	SCL721	2	駒 田 泰 士	
MLLW7490	春	知的財産権法研究Ⅱ (特許・商標法)	SCL722	2	駒 田 泰 士	
MLLW7660	休講	社会保障法研究Ⅰ (社会保障法政策研究)	SCL731	2		
MLLW7670	秋	社会保障法研究Ⅱ (社会保障法判例研究)	SCL732	2	永 野 仁 美	
MLLW7500	秋	国際法研究Ⅰ(国際法総論)	INL701	2	江 藤 淳 一	
MLLW7510	春	国際法研究Ⅱ(国際紛争処理)	INL702	2	川 瀬 剛 志	
MLLW7520	秋	国際法研究Ⅲ(判例研究)	INL703	2	兼 原 敦 子	
MLLW7530	秋	国際法研究Ⅳ(文献講読)	INL704	2	兼 原 敦 子	
MLLW7780	春	国際法研究Ⅴ(海洋法研究)	INL721	2	堀 口 健 夫	
MLLW7800	休講	国際法研究Ⅵ(国際環境法研究)	INL722	2		
MLLW7560	秋	国際経済法研究Ⅰ (WTO判例研究1)	INL711	2	川 瀬 剛 志	
MLLW7570	休講	国際経済法研究Ⅱ (WTO判例研究2)	INL712	2		
MLLW7600	春	国際私法研究Ⅰ(比較国際私法総論)	PIL701	2	出 口 耕 自	
MLLW7610	秋	国際私法研究Ⅱ(比較国際私法各論)	PIL702	2	出 口 耕 自	
MLLW7620	休講	国際私法研究Ⅲ (比較国際民事訴訟法)	PIL703	2		
MLLW7630	春	国際取引法研究Ⅰ (国際取引法文献講読1)	PIL711	2	森 下 哲 朗	
MLLW7640	秋	国際取引法研究Ⅱ (国際取引法文献講読2)	PIL712	2	森 下 哲 朗	
MLLW7680	秋	環境法研究Ⅰ(景観判例の研究)	ENL701	2	北 村 喜 宣	
MLLW7690	休講	環境法研究Ⅱ(環境法理論研究)	ENL702	2		
MLLW7700	休講	環境法研究Ⅲ(環境法の基礎理論)	ENL703	2		
MLLW7710	春	環境法研究Ⅳ(環境法の基本原則)	ENL704	2	桑 原 勇 進	
MLLW7720	秋	環境法研究Ⅴ (まちづくり, 観光と法)	ENL705	2	越 智 敏 裕	
MLLW7730	休講	環境法研究Ⅵ(環境判例研究)	ENL706	2		
MLLW7890	春	環境法研究Ⅶ(環境法事例研究)	ENL707	2	筑 紫 圭 一	
MLLW7891	休講	環境法研究Ⅷ(環境法文献講読)	ENL708	2		
MLLW7900	春	環境学研究Ⅰ (社会発展と環境問題)	ENL711	2	大和田 滝 恵	
MLLW7910	秋	環境学研究Ⅱ (社会機構と環境問題)	ENL712	2	大和田 滝 恵	

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	備考
LWS61500	春	特殊講義（警察活動と法実務）	LAW703	1	*金山 泰介	(他)法曹養成専攻，学期前半，隔週，授業日程・履修中止期間が異なるので，開講学期の履修登録期間が始まる前に法律学専攻事務室に確認すること
LWS60600	秋	LAW AND PRACTICE OF INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS	LAW702	1	コーディネータ 森下 哲朗	(他)法曹養成専攻，学期前半，輪講，★，授業日程・履修中止期間が異なるので，開講学期の履修登録期間が始まる前に法律学専攻事務室に確認すること
MFIR6010	休講	平和研究の課題	IRS701	2		(他)国際関係論専攻，隔年開講 ★
MFIR6020	休講	グローバル・スタディーズの新課題	IRS702	2		(他)国際関係論専攻，隔年開講 ★
MFIR6030	春	国際関係論研究 1 (理論)	IRS703	2	(他)WESSELS David	(他)国際関係論専攻，隔年開講 ★
MFIR6040	秋	国際関係論研究 2 (思想と行動)	IRS704	2	(他)WESSELS David	(他)国際関係論専攻，隔年開講 ★
MFIR6120	休講	国際経済学研究 1 (理論)	IRS712	2		(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6130	休講	国際経済学研究 2 (ケース・スタディ)	IRS713	2		(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6140	春	国際政治経済論研究 1 (理論)	IRS714	2	(他)下川 雅嗣	(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6150	秋	国際政治経済論研究 2 (ケース・スタディ)	IRS715	2	(他)下川 雅嗣	(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6200	春	対外政策研究 1	IRS720	2	(他)樋渡 由美	(他)国際関係論専攻，M1対象
MFIR6210	春	対外政策論文演習 1	IRS721	2	(他)樋渡 由美	(他)国際関係論専攻，M2対象
MFIR6220	秋	対外政策研究 2	IRS722	2	(他)樋渡 由美	(他)国際関係論専攻，M1対象
MFIR6230	秋	対外政策論文演習 2	IRS723	2	(他)樋渡 由美	(他)国際関係論専攻，M2対象
MFIR6280	春	政治社会論研究 1	IRS728	2	(他)岸川 毅	(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6290	秋	政治社会論研究 2	IRS729	2	(他)岸川 毅	(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6300	休講	比較政治学研究 1	IRS730	2		(他)国際関係論専攻，隔年開講
MFIR6310	休講	比較政治学研究 2	IRS731	2		(他)国際関係論専攻，隔年開講
MZAG5380	春	国際関係論 INTERNATIONAL RELATIONS THEORY	AGS729	2	(他)安野 正士	(他)グローバル社会専攻，★
MZAG5410	秋	主権，国家，自由主義 SOVEREIGNTY, NATIONHOOD, LIBERALISM	AGS730	2	(他)安野 正士	(他)グローバル社会専攻，★
MZAG5020	春	比較政治学 I COMPARATIVE POLITICS	AGS714	2	(他)中野 晃一	(他)グローバル社会専攻，★
MZAG5040	秋	比較政治学 II DEMOCRACY IN GLOBALIZATION	AGS715	2	(他)中野 晃一	(他)グローバル社会専攻，★
MZAG5310	春	グローバル政治学 III GLOBAL POLITICS	AGS707	4	(他)伊藤 毅	(他)グローバル社会専攻，★
<b>&lt;修士論文&gt;</b>						
MLLW9020	秋	修士論文／リサーチペーパー	LAW899	0	法律学専攻各指導教員	M2(M1早期修了予定者含む)対象
MLLW9021	春	修士論文／リサーチペーパー	LAW899	0	法律学専攻各指導教員	M2(9月修了予定者)対象

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LAW888	駒田泰士	
	出口耕自	
	堀口健夫	
	江藤淳一	
	三浦まり	
	佐藤結美	
	矢島基美	
	甘利公人	
	岡部みどり	
	梅村悠	
	北村喜宣	
	桑原勇進	

## 法律学専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	20		
授業科目			
▶必修科目	12		
└後期論文演習Ⅰ－A	2		D 1 対象
└後期論文演習Ⅰ－B	2		D 1 対象
└後期論文演習Ⅱ－A	2		D 2 対象
└後期論文演習Ⅱ－B	2		D 2 対象
└後期論文演習Ⅲ－A	2		D 3 対象
└後期論文演習Ⅲ－B	2		D 3 対象
▶選択科目	8		
研究指導（必修）		6	D 1・D 2・D 3 対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

#### 【16年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	20		
授業科目			
▶必修科目	12		
└後期論文演習Ⅰ－A	2		D 1 対象
└後期論文演習Ⅰ－B	2		D 1 対象
└後期論文演習Ⅱ－A	2		D 2 対象
└後期論文演習Ⅱ－B	2		D 2 対象
└後期論文演習Ⅲ－A	2		D 3 対象
└後期論文演習Ⅲ－B	2		D 3 対象
▶選択科目	8		
研究指導（必修）			D 1・D 2・D 3 対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

#### 【博士論文審査基準】

博士学位論文の位置づけと評価基準

- 1) 博士の学位は, 博士後期課程において履修と研鑽を通じて, 専門的研究者としての能力水準を十分に具え, それ  
が提出論文に充分反映されている場合に, これを授与するものとする（課程「修了」の証明）。また, この学位は,  
爾後, 学界において研究者としての活動を継続・発展させていくに必要な能力を十分に具えていると料される場  
合に, これを授与するものとする。

2) 博士の学位論文は、主題に関する学界での到達点を適切に理解し、かつこれをさらに発展させるための斬新な視点ないし切り口・分析方法を十分に提示していること、論文全体に一貫性・実証性・独創性が認められ、構成力と表現力において優れていること等が必要である。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;必修科目&gt;</b>			
後期論文演習Ⅰ-A	2		
後期論文演習Ⅰ-B	2		
後期論文演習Ⅱ-A	2		
後期論文演習Ⅱ-B	2		
後期論文演習Ⅲ-A	2		
後期論文演習Ⅲ-B	2		
<b>&lt;選択科目&gt;</b>			
選択科目は法律学専攻前期課程の選択科目（【課題研究】除く）を履修すること（p.180～p.183参照）※重複履修可（他専攻開講科目を除く）			

## 3. 履修上の注意

- 1) 「後期論文演習Ⅰ-A」、「後期論文演習Ⅰ-B」、「後期論文演習Ⅱ-A」・「後期論文演習Ⅱ-B」、「後期論文演習Ⅲ-A」、「後期論文演習Ⅲ-B」の履修登録を行い、かつ各年度末には研究報告書を提出すること。
- 2) 「後期論文演習Ⅰ-A」、「後期論文演習Ⅰ-B」、「後期論文演習Ⅱ-A」、「後期論文演習Ⅱ-B」、「後期論文演習Ⅲ-A」、「後期論文演習Ⅲ-B」（12単位）を含めて20単位以上を履修すること。
- 3) 「研究指導・後期論文演習」は、指導教員の科目を履修すること。
- 4) 「研究指導」を在籍中（標準修業年限を超えて在籍する者も含む）毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 5) 後期課程の単位を取得したが学位論文を提出することなくその課程を満期退学しようとする者は、それまでの研究成果をまとめて論文として提出し、研究科委員会の承認を受けること。



## 4. 開講科目一覧表

登録 コード	開 講 期	科目名	ナン バ リ ン グ	単 位 数	担当教員名 ※(他)：他研究科教員 *：非常勤教員	備考
<b>&lt;必修科目&gt;</b>						
DLLW3311	春	後期論文演習Ⅰ－A	LAW901	2	三 浦 ま り	D1対象
DLLW3411	秋	後期論文演習Ⅰ－B	LAW902	2	三 浦 ま り	D1対象(後期論文演習Ⅰ－Aを修得済みであること)
DLLW3748	春	後期論文演習Ⅱ－A	LAW903	2	北 村 喜 宣	D2対象(後期論文演習Ⅰ－Bを修得済みであること)
DLLW3848	秋	後期論文演習Ⅱ－B	LAW904	2	北 村 喜 宣	D2対象(後期論文演習Ⅱ－Aを修得済みであること)
DLLW3901	春	後期論文演習Ⅲ－A	LAW905	2	奥 田 純一郎	D3対象(後期論文演習Ⅱ－Bを修得済みであること)
DLLW4001	秋	後期論文演習Ⅲ－B	LAW906	2	奥 田 純一郎	D3対象(後期論文演習Ⅲ－Aを修得済みであること)
<b>&lt;選択科目&gt;</b>						
選択科目は法律学専攻前期課程の選択科目（【課題研究】除く）を履修すること（p.180～p.183参照）※重複履修可（他専攻開講科目を除く）						

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LAW988	奥 田 純一郎	
	北 村 喜 宣	
	桑 原 勇 進	
	三 浦 ま り	



# 経済学研究科

経済学専攻

経営学専攻

## 1. 経済学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

経済学・経営学に関する深い学識を基礎に、実際的な应用能力を有する職業専門家、深い洞察力を備えた高い水準の研究者を育成する。

前期課程修了者には、専門知識を活かして、研究やコンサルティングに従事したり、企業実務の第一線で活躍する高度専門職業人となることが期待される。

後期課程修了者には、学術・研究機関において教育・研究に従事することが期待される。

## 2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 経済学専攻

#### 【博士前期課程】

本課程では、現代経済を分析する能力を養う「ミクロ経済学特講Ⅰ」「マクロ経済学特講Ⅰ」および「計量経済学特講Ⅰ」に加え、「論文演習Ⅰ [基礎]」の計8単位を必修としています。さらに専攻分野に応じて多くの選択科目が用意されており、自専攻科目、自研究科他専攻科目などから計22単位を履修します。学生は専攻する分野に応じ、指導教員から必要な研究指導を受けながら修士論文を書くことが求められており、その審査・試験に合格する必要があります。

#### 【博士後期課程】

本課程では、経済の理論・応用・歴史に属するさまざまな分野での専門家を育成することを目的としています。ここには、本専攻の博士前期課程を修了し引き続き研究を行う学生と、他大学の博士前期課程などの出身学生がいます。指導教育による専門的指導を目的とした「研究指導」が必修となっており、在学中は、毎学期履修することが求められています。学生には、学内外の学会、研究会などでの研究報告を行うこと、ならびに学会誌への投稿を行うことが推奨されます。そして最終的には、博士論文を提出することが求められます。

### 経営学専攻

#### 【博士前期課程】

本課程では、必修科目として論文演習Ⅰと研究指導を設け、各学生の研究テーマに応じて個別に履修指導をおこないます。会計、流通・マーケティング、経営戦略・経営管理の分野における多様なトピックを扱います。本学の教育理念に基づく少人数教育による双方向的指導を実施し、専門知識だけでなく教員と学生の人間としてのふれあいの中で、個々人の能力と個性に即した成長を目指します。

講義内容は、理論構築の基礎となる調査研究方法論（統計や社会調査技法）から、理論的な基礎、現実の経営現象への応用まで幅広く、基礎と応用のバランスが取れた教育課程を編成しています。講義形式は、伝統的な文献講読タイプだけでなく、現実の事例に基づくケース・ディスカッションやデータ分析の実習など多様な形式を設け、問題探究力、分析能力、応用・実践能力、コミュニケーション能力を養います。

#### 【博士後期課程】

本課程では、経営学の理論を現実の応用へ橋渡しできるような高度な研究能力を涵養することを目指し、指導教員の研究指導にもとづき、学位論文の作成に向けた研究に専念します。国内や海外での学会での積極的な発表や論文の投稿を通じて知見を深めていくことが推奨されます。

### 3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

#### 経済学専攻

##### 【博士前期課程】

本課程では「広い視野と先見性を持ち、国際的な場で活躍するリーダーとなる人材を養成する」学部教育の理念のもと、経済を理論的、実証的、歴史的に分析する能力をもつ人材の養成を目指しています。具体的には、経済学についての基本的な知識を身につけたうえで、それぞれが選んだ分野での専門的研究を遂行することが要求されます。後者については、指導教官や学生間でのディスカッションを通じ知見を改善しつつ修士論文として仕上げていくことを大きな目標としています。当該課程に2年以上（優れた業績を上げた者については1年以上）在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査および最終試験に合格した学生に修士（経済学）の学位を授与します。

##### 【博士後期課程】

本課程では、自ら選んだ専攻分野で専門家としての能力を深め、高めることを大きな目標にしています。多くの場合、博士前期課程で研究した分野をさらに深め、かつ広げる努力をなすことが要請されます。日ごろから、海外の学術雑誌に掲載されている論文や注目を浴びている著作などを絶えず読むことで知見を深めるとともに、絶えず未知のデータや資料を収集していく姿勢が要求されます。実証的分野の場合、対象となるデータの収集と解析が、また歴史的分野の場合、一次資料を発掘しての分析・解明が重要な研究課題となります。そしてそれらをもとに論文を執筆していくことが要請されます。当初は指導教官や学生間でのディスカッション、続いてそれらをもとに外部で開催される研究会での報告、さらには学会での発表などを行うことで、論文の質を高めていく努力が奨励されます（最近では、海外の学会での報告も奨励されており、そのための資金も用意されています）。その先は、定評のある内外の学術雑誌への投稿ということになります。そして最終的には、博士論文の完成に至ることが要請されています。当該課程に3年以上在学し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査および最終試験に合格した学生に博士（経済学）の学位を授与します。

#### 経営学専攻

本専攻では、以下のような学生に学位を授与します。

##### 【博士前期課程】

本課程では、会計、流通・マーケティング、経営戦略・経営管理の各分野におけるテーマについて、先行研究や関連文献を調査し、必要に応じてマーケット調査やアンケート調査などの社会調査を実施し、参考資料やデータを詳細に分析した知見から、世界の人々の生活の向上に役立ち、グローバルな視点での考察を加えて、世界の企業のさらなる繁栄に貢献する独創的、先進的な論文を作成することが要求されます。本課程に2年以上（優れた業績を上げた者については1年以上）在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査および最終試験に合格した学生に修士（経営学）の学位を授与します。

##### 【博士後期課程】

本課程では、研究者としての能力と学識を備えた人材を養成します。本課程に3年以上在学し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査および最終試験に合格した者に博士（経営学）の学位を授与します。

## 経済学専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶必修科目	8		
└マイクロ経済学特講Ⅰ	2		
└マクロ経済学特講Ⅰ	2		
└計量経済学特講Ⅰ	2		
└論文演習Ⅰ（基礎）	2		
▶選択科目	22		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。 ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること。)

## 【16 年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
▶必修科目	8		
↳ミクロ経済学特講 I	2		
↳マクロ経済学特講 I	2		
↳計量経済学特講 I	2		
↳論文演習 I（基礎）	2		
▶選択科目	22		
↳自専攻科目			
↳自研究科他専攻科目			
↳委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。 （修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること。）

## 【修士論文審査基準】

- 1) 指導・審査グループと協議の上，研究課題が明確に設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され，研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経済学の当該専門分野に関する深い理解に基づき，社会で生じる事象や問題を考察・分析したものであること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
ミクロ経済学特講Ⅰ	2		
ミクロ経済学特講Ⅱ			2
マクロ経済学特講Ⅰ	2		
マクロ経済学特講Ⅱ			2
計量経済学特講Ⅰ	2		
計量経済学特講Ⅱ			2
論文演習Ⅰ（基礎）	2		
論文演習Ⅱ（応用）			2
プレゼンテーションの技術Ⅰ			2
プレゼンテーションの技術Ⅱ			2
公共経済学特講Ⅰ			2
公共経済学特講Ⅱ			2
国際貿易論特講Ⅰ			2
国際貿易論特講Ⅱ			2
財政学特講Ⅰ			2
財政学特講Ⅱ			2
産業組織論特講Ⅰ			2
産業組織論特講Ⅱ			2
環境経済学特講Ⅰ			2
環境経済学特講Ⅱ			2
金融論特講			4

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
貨幣とマクロ経済特講Ⅰ			2
貨幣とマクロ経済特講Ⅱ			2
労働経済学特講Ⅰ			2
労働経済学特講Ⅱ			2
統計学特講Ⅰ			2
統計学特講Ⅱ			2
国際経済史特講			2
農業経済学特講			2
金融工学特講Ⅰ			2
金融工学特講Ⅱ			2
厚生経済学特講Ⅰ			2
厚生経済学特講Ⅱ			2
国際マクロ経済学特講Ⅰ			2
国際マクロ経済学特講Ⅱ			2
開発経済学特講Ⅰ			2
開発経済学特講Ⅱ			2
日本経済論特講Ⅰ			2
日本経済論特講Ⅱ			2
科目名未定特講Ⅰ			2
科目名未定特講Ⅱ			2
(他) カーボンマネジメント論			2
(他) 途上国の環境と開発			2

## 3. 履修上の注意

- 1) 修了要件に必要な必修科目 8 単位を含む 30 単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。
- 2) 同一名の授業科目の単位を重複して取得しても、修了に必要な単位として算入できるのは、1 科目分のみである。
- 3) 「研究指導（必修）」を在学中毎学期受けること。なお、2017 年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 4) 修士論文の履修登録については、論文を提出する学期の履修登録期間に必ず登録をすること。



## 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MEEC1010	春	ミクロ経済学特講 I	ECN501	2	青木 研	
MEEC1020	春	マクロ経済学特講 I	ECN502	2	竹田 陽介	
MEEC1030	春	計量経済学特講 I	ECN503	2	高橋 和志	
MEEC7130	春	公共経済学特講 I	ECN710	2	近藤 広紀	
MEEC7150	春	国際貿易論特講 I	ECN712	2	蓬田 守弘	
MEEC7180	春	財政学特講 II	ECN715	2	中里 透	
MEEC7280	春	統計学特講 I	ECN721	2	竹内 明香	
MEEC7400	春	環境経済学特講 I	ECN727	2	堀江 哲也	
MEEC7460	春	国際経済史特講	ECN733	2	倉田 正充	
MEEC7500	春	日本経済論特講 I	ECN737	2	南橋 尚明	
MGGE7440	春	カーボンマネジメント論	GES731	2	* 糸原 茂人	(他) 地球環境学研究科
P196参照	春	論文演習 I (基礎)	ECN511	2	経済学専攻各指導教員	M1 対象
P196参照	春	プレゼンテーションの技術 I	ECN705	2	経済学専攻各指導教員	M2 対象
MEEC7010	秋	ミクロ経済学特講 II	ECN701	2	釜賀 浩平	
MEEC7020	秋	マクロ経済学特講 II	ECN702	2	中里 透	
MEEC7140	秋	公共経済学特講 II	ECN711	2	近藤 広紀	
MEEC7160	秋	国際貿易論特講 II	ECN713	2	蓬田 守弘	
MEEC7190	秋	金融論特講	ECN716	4	川西 論	授業はすべて英語で行う
MEEC7230	秋	貨幣とマクロ経済特講 II	ECN718	2	竹田 陽介	
MEEC7290	秋	統計学特講 II	ECN722	2	竹内 明香	
MEEC7360	秋	産業組織論特講 I	ECN723	2	青木 研	
MEEC7380	秋	厚生経済学特講 I	ECN725	2	釜賀 浩平	
MEEC7410	秋	環境経済学特講 II	ECN728	2	堀江 哲也	
MEEC7420	秋	金融工学特講 I	ECN729	2	來島 愛子	
MEEC7470	秋	農業経済学特講	ECN734	2	倉田 正充	
MEEC7490	秋	開発経済学特講 II	ECN736	2	高橋 和志	
MEEC7510	秋	日本経済論特講 II	ECN738	2	南橋 尚明	
MGGE7200	秋	途上国の環境と開発	GES719	2	(他) プレカム ジョジョセ	(他) 地球環境学研究科, 隔年開講
P196参照	秋	論文演習 II (応用)	ECN704	2	経済学専攻各指導教員	M1 対象
P196参照	秋	プレゼンテーションの技術 II	ECN706	2	経済学専攻各指導教員	M2 対象
MEEC9010	秋	修士論文	ECN899	0	経済学専攻各指導教員	
MEEC7440	未定	国際マクロ経済学特講 I	ECN731	2	未定	
MEEC7450	未定	国際マクロ経済学特講 II	ECN732	2	未定	
MEEC7520	未定	科目名未定特講 I	ECN739	2	未定	
MEEC7530	未定	科目名未定特講 II	ECN740	2	未定	
MEEC7030	休講	計量経済学特講 II	ECN703	2		
MEEC7170	休講	財政学特講 I	ECN714	2		
MEEC7220	休講	貨幣とマクロ経済特講 I	ECN717	2		
MEEC7240	休講	労働経済学特講 I	ECN719	2		
MEEC7250	休講	労働経済学特講 II	ECN720	2		
MEEC7370	休講	産業組織論特講 II	ECN724	2		
MEEC7390	休講	厚生経済学特講 II	ECN726	2		
MEEC7430	休講	金融工学特講 II	ECN730	2		
MEEC7480	休講	開発経済学特講 I	ECN735	2		

論文演習（Ⅰ・Ⅱ），プレゼンテーションの技術（Ⅰ・Ⅱ） 登録コード一覧

科目名・対象/ 開講期 指導教員	論文演習Ⅰ（基礎） M1／春	論文演習Ⅱ（応用） M1／秋	プレゼンテーションの技術Ⅰ M2／春	プレゼンテーションの技術Ⅱ M2／秋
	登録コード	登録コード	登録コード	登録コード
竹田 陽介	MEEC1101	MEEC7701	MEEC7801	MEEC7901
出島 敬久	MEEC1102（休講）	MEEC7702（休講）	MEEC7802（休講）	MEEC7902（休講）
青木 研	MEEC1104	MEEC7704	MEEC7804	MEEC7904
中里 透	MEEC1105	MEEC7705	MEEC7805	MEEC7905
川西 諭	MEEC1106	MEEC7706	MEEC7806	MEEC7906
蓬田 守弘	MEEC1107	MEEC7707	MEEC7807	MEEC7907
近藤 広紀	MEEC1108	MEEC7708	MEEC7808	MEEC7908
來島 愛子	MEEC1109（休講）	MEEC7709（休講）	MEEC7809（休講）	MEEC7909（休講）
竹内 明香	MEEC1110	MEEC7710	MEEC7810	MEEC7910
釜賀 浩平	MEEC1112	MEEC7712	MEEC7812	MEEC7912
倉田 正充	MEEC1114	MEEC7714	MEEC7814	MEEC7914
高橋 和志	MEEC1115	MEEC7715	MEEC7815	MEEC7915
堀江 哲也	MEEC1116	MEEC7716	MEEC7816	MEEC7916
南橋 尚明	MEEC1117	MEEC7717	MEEC7817	MEEC7917
未 定	MEEC1118	MEEC7718	MEEC7818	MEEC7918
未 定	MEEC1119	MEEC7719	MEEC7819	MEEC7919

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ECN888	出島 敬久	
	竹田 陽介	
	青木 研	
	中里 透	
	川西 諭	
	蓬田 守弘	
	近藤 広紀	
	來島 愛子	休講（春・秋）
	竹内 明香	
	釜賀 浩平	
	高橋 和志	
	堀江 哲也	
南橋 尚明		

## 経済学専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考(上限, その他)
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導(必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。

#### 【16年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考(上限, その他)
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導(必修)			【10年次生以前】単位なし, 修業年限3年を満たすまでは, 毎学期履修すること。 【11年次生以降】単位なし, 修業年数にかかわらず, 在学中 は毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。

#### 【博士論文審査基準】

- 1) 学術性の高い研究課題が設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され, 研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経済学の当該専門分野において, 独自の学術的貢献を有する研究内容であること。
- 6) 執筆者が自立的研究者としての研究遂行能力を有することを証するものであること。

### 2. 履修上の注意

指導教員の研究指導を受け, 博士論文を作成・提出することが必要である。

研究指導について

【10年次生以前】修業年限3年を満たすまでは毎学期(春・秋)履修登録すること。なお2010年度以前開講の研究指導については, 毎年(通年)履修登録すること。

【11~16年次生】在学期間中は研究指導が毎学期履修登録される。

【17年次生以降】在学中毎学期受けること。なお, 必要な合格科目数も定められているので, 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件を参照すること。

## 3. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ECN988	出 島 敬 久	休講 (春・秋)
	青 木 研	
	川 西 諭	
	近 藤 広 紀	
	來 島 愛 子	休講 (春・秋)
	中 里 透	
	竹 田 陽 介	
	蓬 田 守 弘	
	竹 内 明 香	
	釜 賀 浩 平	
	高 橋 和 志	
	堀 江 哲 也	
	南 橋 尚 明	

## 経営学専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶必修科目			
└論文演習 I	2		
▶選択科目	28		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される。 4科目以上合格すること。 ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること。)

#### 【16年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶必修科目			
└論文演習 I	2		
▶選択科目	28		
└自専攻科目			
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる。
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される。
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。 (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること。)

#### 【修士論文審査基準】

- 1) 指導・審査グループと協議の上, 研究課題が明確に設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され, 研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経営学の当該専門分野に関する深い理解に基づき, 社会で生じる事象や問題を考慮・分析したものであること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
論文演習Ⅰ	2		
論文演習Ⅱ			2
論文演習Ⅲ			2
論文演習Ⅳ			2
財務会計論特講Ⅰ			2
財務会計論特講Ⅱ			2
財務会計論研究Ⅰ			2
財務会計論研究Ⅱ			2
会計学特講Ⅰ			2
会計学研究Ⅰ			2
環境会計論特講			2
環境会計論研究			2
管理会計論特講Ⅰ			2
管理会計論特講Ⅱ			2
管理会計論研究Ⅰ			2
管理会計論研究Ⅱ			2
経営財務論特講Ⅰ			2
経営財務論特講Ⅱ			2
経営財務論研究Ⅰ			2
経営財務論研究Ⅱ			2
経営管理論特講Ⅰ			2
経営管理論特講Ⅱ			2
経営管理論研究Ⅰ			2
経営管理論研究Ⅱ			2
経営戦略論特講Ⅰ			2
経営戦略論特講Ⅱ			2
経営戦略論研究Ⅰ			2
経営戦略論研究Ⅱ			2
人事管理論特講Ⅰ			2
人事管理論特講Ⅱ			2
人事管理論研究Ⅰ			2
人事管理論研究Ⅱ			2
経営組織論特講Ⅰ			2
経営組織論特講Ⅱ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
経営組織論研究Ⅰ			2
経営組織論研究Ⅱ			2
マーケティング戦略論特講Ⅰ			2
マーケティング戦略論特講Ⅱ			2
マーケティング戦略論研究Ⅰ			2
マーケティング戦略論研究Ⅱ			2
経済・経営倫理特講Ⅰ			2
経済・経営倫理特講Ⅱ			2
経済・経営倫理研究Ⅰ			2
経済・経営倫理研究Ⅱ			2
国際経営論特講Ⅰ			2
国際経営論特講Ⅱ			2
国際経営論研究Ⅰ			2
国際経営論研究Ⅱ			2
経営科学特講Ⅰ			2
経営科学特講Ⅱ			2
経営科学研究Ⅰ			2
経営科学研究Ⅱ			2
消費者行動論特講Ⅰ			2
消費者行動論特講Ⅱ			2
消費者行動論研究Ⅰ			2
消費者行動論研究Ⅱ			2
インターネット・マーケティング特講Ⅰ			2
インターネット・マーケティング特講Ⅱ			2
インターネット・マーケティング研究Ⅰ			2
インターネット・マーケティング研究Ⅱ			2
製品開発論特講Ⅰ			2
製品開発論特講Ⅱ			2
製品開発論研究Ⅰ			2
製品開発論研究Ⅱ			2
(他) カーボンマネジメント論			2

## 3. 履修上の注意

- 1) 修了要件に必要な30単位以上を修得し、指導教員の指導のもとに修士論文を作成・提出することが必要である。
- 2) 同一名の授業科目の単位を重複して取得しても、修了に必要な単位として算入できるのは、1科目分のみである。
- 3) 各教員が特講と研究を開講しているが、研究は特講を修得した者が履修できることとする。
- 4) 研究指導を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。

## 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
P.202参照	春	論文演習Ⅰ	MMI501	2	経営学専攻各指導教員	M1対象
P.202参照	秋	論文演習Ⅱ	MMI502	2	経営学専攻各指導教員	M1対象
P.202参照	春	論文演習Ⅲ	MMI601	2	経営学専攻各指導教員	M2対象
P.202参照	秋	論文演習Ⅳ	MMI602	2	経営学専攻各指導教員	M2対象
MEMG7010	春	財務会計論特講Ⅰ	MAC515	2	西澤 茂	「財務会計論研究Ⅰ」と合併
MEMG7030	春	財務会計論研究Ⅰ	MAC615	2	西澤 茂	M2対象, 「財務会計論特講Ⅰ」と合併
MEMG7050	春	会計学特講Ⅰ	MAC511	2	上妻 義直	「会計学研究Ⅰ」と合併
MEMG7070	春	会計学研究Ⅰ	MAC611	2	上妻 義直	M2対象, 「会計学特講Ⅰ」と合併
MEMG7370	休講	経済・経営倫理特講Ⅰ	MMN521	2		「経済・経営倫理研究Ⅰ」と合併, 隔年開講
MEMG7390	休講	経済・経営倫理研究Ⅰ	MMN621	2		M2対象, 「経済・経営倫理特講Ⅰ」と合併, 隔年開講
MEMG7170	春	経営財務論特講Ⅰ	MMN515	2	石井 昌宏	「経営財務論研究Ⅰ」と合併
MEMG7190	春	経営財務論研究Ⅰ	MMN615	2	石井 昌宏	M2対象, 「経営財務論特講Ⅰ」と合併
MEMG7210	春	経営管理論特講Ⅰ	MMN513	2	山田 幸三	「経営管理論研究Ⅰ」と合併
MEMG7230	春	経営管理論研究Ⅰ	MMN613	2	山田 幸三	M2対象, 「経営管理論特講Ⅰ」と合併
MEMG7290	春	人事管理論特講Ⅰ	MMN525	2	細萱 伸子	「人事管理論研究Ⅰ」と合併
MEMG7310	春	人事管理論研究Ⅰ	MMN625	2	細萱 伸子	M2対象, 「人事管理論特講Ⅰ」と合併
MEMG7330	春	経営組織論特講Ⅰ	MMN519	2	関 廷媛	「経営組織論研究Ⅰ」と合併
MEMG7350	春	経営組織論研究Ⅰ	MMN619	2	関 廷媛	M2対象, 「経営組織論特講Ⅰ」と合併
MEMG7410	春	国際経営論特講Ⅰ	MMN523	2	竹之内 秀行	「国際経営論研究Ⅰ」と合併
MEMG7430	春	国際経営論研究Ⅰ	MMN623	2	竹之内 秀行	M2対象, 「国際経営論特講Ⅰ」と合併
MEMG7450	休講	経営科学特講Ⅰ	MMN511	2		「経営科学研究Ⅰ」と合併
MEMG7470	休講	経営科学研究Ⅰ	MMN611	2		M2対象, 「経営科学特講Ⅰ」と合併
MEMG7530	春	消費者行動論特講Ⅰ	MMR513	2	杉本 徹雄	「消費者行動論研究Ⅰ」と合併
MEMG7550	春	消費者行動論研究Ⅰ	MMR613	2	杉本 徹雄	M2対象, 「消費者行動論特講Ⅰ」と合併
MEMG7610	休講	マーケティング戦略論特講Ⅰ	MMR515	2		「マーケティング戦略論研究Ⅰ」と合併
MEMG7630	休講	マーケティング戦略論研究Ⅰ	MMR615	2		M2対象, 「マーケティング戦略論特講Ⅰ」と合併
MEMG7690	春	インターネット・マーケティング特講Ⅰ	MMR511	2	新井 範子	「インターネット・マーケティング研究Ⅰ」と合併
MEMG7710	春	インターネット・マーケティング研究Ⅰ	MMR611	2	新井 範子	M2対象, 「インターネット・マーケティング特講Ⅰ」と合併
MEMG7740	春	製品開発論特講Ⅰ	MMN527	2	小阪 玄次郎	「製品開発論研究Ⅰ」と合併
MEMG7760	春	製品開発論研究Ⅰ	MMN627	2	小阪 玄次郎	M2対象, 「製品開発論特講Ⅰ」と合併
MGGE7440	春	カーボンマネジメント論	GES731	2	* 桑原 茂人	(他) 地球環境学研究科
MEMG7250	春	経営戦略論特講Ⅰ	MMN517	2	網倉 久永	「経営戦略論研究Ⅰ」と合併
MEMG7270	春	経営戦略論研究Ⅰ	MMN617	2	網倉 久永	M2対象, 「経営戦略論特講Ⅰ」と合併
MEMG7090	春	管理会計論特講Ⅰ	MAC513	2	王 志	「管理会計論研究Ⅰ」と合併
MEMG7110	春	管理会計論研究Ⅰ	MAC613	2	王 志	M2対象, 「管理会計論特講Ⅰ」と合併
MEMG7020	秋	財務会計論特講Ⅱ	MAC516	2	西澤 茂	「財務会計論研究Ⅱ」と合併
MEMG7040	秋	財務会計論研究Ⅱ	MAC616	2	西澤 茂	M2対象, 「財務会計論特講Ⅱ」と合併
MEMG7060	秋	環境会計論特講	MAC512	2	上妻 義直	「環境会計論研究」と合併
MEMG7080	秋	環境会計論研究	MAC612	2	上妻 義直	M2対象, 「環境会計論特講」と合併
MEMG7180	秋	経営財務論特講Ⅱ	MMN516	2	石井 昌宏	「経営財務論研究Ⅱ」と合併
MEMG7200	秋	経営財務論研究Ⅱ	MMN616	2	石井 昌宏	M2対象, 「経営財務論特講Ⅱ」と合併
MEMG7220	休講	経営管理論特講Ⅱ	MMN514	2		「経営管理論研究Ⅱ」と合併
MEMG7240	休講	経営管理論研究Ⅱ	MMN614	2		M2対象, 「経営管理論特講Ⅱ」と合併
MEMG7300	秋	人事管理論特講Ⅱ	MMN526	2	細萱 伸子	「人事管理論研究Ⅱ」と合併

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MEMG7320	秋	人事管理論研究Ⅱ	MMN626	2	細 萱 伸 子	M2対象, 「人事管理論特講Ⅱ」と合併
MEMG7340	秋	経営組織論特講Ⅱ	MMN520	2	関 廷 媛	「経営組織論研究Ⅱ」と合併
MEMG7360	秋	経営組織論研究Ⅱ	MMN620	2	関 廷 媛	M2対象, 「経営組織論特講Ⅱ」と合併
MEMG7460	休講	経営科学特講Ⅱ	MMN512	2		「経営科学研究Ⅱ」と合併
MEMG7480	休講	経営科学研究Ⅱ	MMN612	2		M2対象, 「経営科学特講Ⅱ」と合併
MEMG7540	秋	消費者行動論特講Ⅱ	MMR514	2	杉 本 徹 雄	「消費者行動論研究Ⅱ」と合併
MEMG7560	秋	消費者行動論研究Ⅱ	MMR614	2	杉 本 徹 雄	M2対象, 「消費者行動論特講Ⅱ」と合併
MEMG7620	秋	マーケティング戦略論特講Ⅱ	MMR516	2	杉 谷 陽 子	「マーケティング戦略論研究Ⅱ」と合併
MEMG7640	秋	マーケティング戦略論研究Ⅱ	MMR616	2	杉 谷 陽 子	M2対象, 「マーケティング戦略論特講Ⅱ」と合併
MEMG7700	秋	インターネット・マーケティング特講Ⅱ	MMR512	2	新 井 範 子	「インターネット・マーケティング研究Ⅱ」と合併
MEMG7720	秋	インターネット・マーケティング研究Ⅱ	MMR612	2	新 井 範 子	M2対象, 「インターネット・マーケティング特講Ⅱ」と合併
MEMG7750	秋	製品開発論特講Ⅱ	MMN528	2	小 阪 玄 次 郎	「製品開発論研究Ⅱ」と合併
MEMG7770	秋	製品開発論研究Ⅱ	MMN628	2	小 阪 玄 次 郎	M2対象, 「製品開発論特講Ⅱ」と合併
MEMG9010	秋	修士論文	MMI899	0	経営学専攻各指導教員	
MEMG7380	秋	経済・経営倫理特講Ⅱ	MMN522	2	(他)ブレイク ジョブ	「経済・経営倫理研究Ⅱ」と合併, 隔年開講
MEMG7400	秋	経済・経営倫理研究Ⅱ	MMN622	2	(他)ブレイク ジョブ	M2対象, 「経済・経営倫理特講Ⅱ」と合併, 隔年開講
MEMG7100	秋	管理会計論特講Ⅱ	MAC514	2	王 志	「管理会計論研究Ⅱ」と合併
MEMG7120	秋	管理会計論研究Ⅱ	MAC614	2	王 志	M2対象, 「管理会計論特講Ⅱ」と合併
MEMG7420	秋	国際経営論特講Ⅱ	MMN524	2	竹之内 秀 行	「国際経営論研究Ⅱ」と合併
MEMG7440	秋	国際経営論研究Ⅱ	MMN624	2	竹之内 秀 行	M2対象, 「国際経営論特講Ⅱ」と合併
MEMG7260	秋	経営戦略論特講Ⅱ	MMN518	2	網 倉 久 永	「経営戦略論研究Ⅱ」と合併
MEMG7280	秋	経営戦略論研究Ⅱ	MMN618	2	網 倉 久 永	M2対象, 「経営戦略論特講Ⅱ」と合併

論文演習 (Ⅰ～Ⅳ) 登録コード一覧

科目名・対象/ 開講期 指導教員	論文演習Ⅰ M1/春	論文演習Ⅱ M1/秋	論文演習Ⅲ M2/春	論文演習Ⅳ M2/秋
	登録コード	登録コード	登録コード	登録コード
網 倉 久 永	MEMG1100	MEMG7850	MEMG7890	MEMG7930
新 井 範 子	MEMG1101	MEMG7851	MEMG7891	MEMG7931
細 萱 伸 子	MEMG1103	MEMG7853	MEMG7893	MEMG7933
石 井 昌 宏	MEMG1104	MEMG7854	MEMG7894	MEMG7934
関 廷 媛	MEMG1105	MEMG7855	MEMG7895	MEMG7935
西 澤 茂	MEMG1108	MEMG7858	MEMG7898	MEMG7938
杉 本 徹 雄	MEMG1109	MEMG7859	MEMG7899	MEMG7939
杉 谷 陽 子	MEMG1110(休講)	MEMG7860	MEMG7900(休講)	MEMG7940
竹之内 秀行	MEMG1111	MEMG7861	MEMG7901	MEMG7941
山 田 幸 三	MEMG1112	MEMG7862(休講)	MEMG7902	MEMG7942(休講)
小 阪 玄 次 郎	MEMG1113	MEMG7863	MEMG7903	MEMG7943
王 志	MEMG1114	MEMG7864	MEMG7904	MEMG7944



## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
MMI888	網 倉 久 永	
	新 井 範 子	
	細 萱 伸 子	
	石 井 昌 宏	
	関 廷 媛	
	西 澤 茂	
	杉 本 徹 雄	
	杉 谷 陽 子	
	竹之内 秀 行	
	山 田 幸 三	
	小 阪 玄次郎	
	王 志	

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。 6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。

【16 年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導（必修）			【10年次生以前】単位なし, 修業年限3年を満たすまでは, 毎学期履修すること。 【11年次生以降】単位なし, 修業年限にかかわらず, 在学 中は毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること。

【博士論文審査基準】

- 1) 学術性の高い研究課題が設定されていること。
- 2) 研究課題を考察・分析するための枠組みが適切であること。
- 3) 先行研究が適切に引用され, 研究内容の学術的な位置づけが明確であること。
- 4) 研究内容が明確かつ論理的に記述されていること。
- 5) 経営学の当該専門分野において, 独自の学術的貢献を有する研究内容であること。
- 6) 執筆者が自立的研究者としての研究遂行能力を有することを証するものであること。

2. 履修上の注意

指導教員の研究指導を受け, 博士論文を作成・提出することが必要である。

研究指導について

【10 年次生以前】修業年限 3 年を満たすまでは毎学期（春・秋）履修登録すること。なお 2010 年度以前開講の研究指導については, 毎年（通年）履修登録すること。

【11~16 年次生】在学期間中は研究指導が毎学期登録される。

【17 年次生以降】在学中毎学期受けること。なお, 必要な合格科目数も定められているので, 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件を参照すること。

## 3. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
MMI988	網 倉 久 永	
	新 井 範 子	
	細 萱 伸 子	
	石 井 昌 宏	
	関 廷 媛	
	西 澤 茂	
	杉 本 徹 雄	
	杉 谷 陽 子	
	竹之内 秀 行	
	山 田 幸 三	
	小 阪 玄次郎	
	王 志	



# 言語科学研究科

## 1. 言語科学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

理論言語学、個別言語学、及び応用言語学に関して国際的視野で独創的研究を行える研究者を養成する。また、言語聴覚障害学の基礎および臨床における研究者を養成し、さらに、英語による授業を通じて、英語教育に携わる教師を養成する。理論と実践が伴った国内外で活躍できる日本語教師も養成する。

## 2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 言語学専攻

#### 【博士前期課程】

4つの専門領域（一般言語学、言語聴覚研究、英語教授法、日本語教育学）で、各々に独自のカリキュラムを編成しています。領域により必修や選択必修科目の履修は異なりますが、共通で履修することができる科目も多くあります。いずれの領域でも2年次前半で修士論文計画を提出し、論文作成に着手することになります。

#### 【博士後期課程】

本課程では、主として指導教員から研究指導を受けることになります。必修科目や定められた履修単位数はありませんが、言語学専攻で開講されている科目を登録履修することができます。

## 3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

### 言語学専攻

#### 【博士前期課程】

言語学の幅広い分野から自らの専門領域を確立させ、専門性を活かして社会に貢献することのできる学生を養成することを目指します。初年度より各々の分野で所定の科目履修をすることにより、言語研究の現状と方法論を学びます。2年次には関連科目の履修で知識を広め、修士論文を計画し、完成させます。この過程を経て、学究的な思考方法を学び、論文にまとめる能力を身につけます。

#### 【博士後期課程】

指導教員の助言を受けながら学位論文を完成させます。博士前期課程で身につけた専門領域での方法論と知識をもとに、オリジナリティのある研究を計画し、論文にまとめます。論文完成時には、独力で高度の研究能力を遂行することができる学究的能力を身につけていることになります。

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17 年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶ 選択必修科目	8		
└ 統辞論基礎	4		
└ 音声学・音韻論基礎	4		
▶ 選択科目	22		
└ 意味論基礎			選択科目だが, 理論言語学を専攻する者は必ず履修すること
└ 自専攻自コース科目			
└ 自専攻他コース科目			
研究指導(必修)		2	単位なし, 2年次以降に毎学期登録される 2科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に 合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文 登録をすること)

【16 年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶ 選択必修科目	8		
└ 統辞論基礎	4		
└ 音声学・音韻論基礎	4		
▶ 選択科目	22		
└ 意味論基礎			選択科目だが, 理論言語学を専攻する者は必ず履修すること
└ 自専攻自コース科目			
└ 自専攻他コース科目			
研究指導(必修)			単位なし, 2年次以降に毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に 合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文 登録をすること)

**【15 年次生以前】**

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
▶ 選択必修科目	12		
└ 統辞論基礎	4		
└ 音声学・音韻論基礎	4		
└ 意味論基礎	4		
▶ 選択科目	18		
└ 自専攻自コース科目			
└ 自専攻他コース科目			
研究指導(必修)			単位なし，2年次以降に毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

**【修士論文審査基準】**

- 1) 研究の内容が言語研究に寄与し，独創性を有すること。
- 2) 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究を踏まえ，十分な論証がなされていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており，論理が明晰で，論旨が一貫していること。



## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;一般言語学&gt;</b>			
統辞論基礎		4	
音声学・音韻論基礎		4	
意味論基礎			4
理論言語学A-1			2
理論言語学A-2			2
理論言語学B			4
理論言語学C			4
実験音声学特講・演習Ⅰ-A			2
実験音声学特講・演習Ⅰ-B			2
実験音声学特講・演習Ⅱ-A			2
実験音声学特講・演習Ⅱ-B			2
文法理論			4
意味論1			2
意味論2			2
Psycholinguistics ※注1			4
コーパス言語学1			2
コーパス言語学2			2
Sociolinguistics ※注1			4
日本語言語学A（現代日本語構造論）			4
言語学特殊講義A（GB概説）			4
言語学特殊講義B-1（音韻論と言語障害）			2
言語学特殊講義B-2（音韻論と言語障害）			2
言語学特殊講義C（言語の認知神経科学）			4
現代言語学諸問題A（音韻論）			4
現代言語学諸問題B（文法理論）			4
現代言語学諸問題C（日本語言語学）			4
現代言語学諸問題D（意味論）			4
<b>&lt;応用言語学&gt;</b>			
実験統計法1			2
実験統計法2			2
Second Language Acquisition (English) ※注1			4
言語テスト1			2
言語テスト2			2
TEFL Methodology ※注1			4
Applied Linguistics (Focus on Form) ※注1			4
Bilingual Education ※注1			4
フランス語教授法1			2
フランス語教授法2			2
Affective Factors in TESOL ※注1			2
Sociocultural Theory & SLA ※注1			2
Qualitative Research Methods ※注1			2
Language and Power ※注1			2
World Englishes ※注1			4
Thesis Writing ※注1			2
Classroom Discourse ※注1			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
Intercultural Interaction ※注1			2
Analyzing Spoken Data ※注1			2
<b>&lt;個別外国語研究&gt;</b>			
ドイツ語意味論1			2
ドイツ語意味論2			2
ドイツ語統語論1			2
ドイツ語統語論2			2
ドイツ語文体論1			2
ドイツ語文体論2			2
ドイツ語音韻論1			2
ドイツ語音韻論2			2
ドイツ語教育1			2
ドイツ語教育2			2
フランス語文法論1			2
フランス語文法論2			2
フランス語文体論1			2
フランス語文体論2			2
フランス語：文体から意味へ1			2
フランス語：文体から意味へ2			2
フランス語通訳論1			2
フランス語通訳論2			2
イスパニア語史1			2
イスパニア語史2			2
イスパニア語文法論1			2
イスパニア語文法論2			2
イスパニア語のバリエーション1 （言語データ処理の技法）			2
イスパニア語のバリエーション2 （言語データ処理の技法）			2
イスパニア語研究1			2
イスパニア語研究2			2
イスパニア語応用言語学1			2
イスパニア語応用言語学2			2
ロシア語史1			2
ロシア語史2			2
ロシア語文法論1			2
ロシア語文法論2			2
ロシア語翻訳論1			2
ロシア語翻訳論2			2
ロシア語文体論1			2
ロシア語文体論2			2
ロシア語統語論1			2
ロシア語統語論2			2
ポルトガル語の拡がりと変異1			2
ポルトガル語の拡がりと変異2			2
ポルトガル語文法論1			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ポルトガル語文法論2			2
ポルトガル語比較文体論1			2
ポルトガル語比較文体論2			2
ポルトガル語翻訳論1			2
ポルトガル語翻訳論2			2
ポルトガル語史1			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ポルトガル語史2			2
<b>&lt;個別言語学特殊講義&gt;</b>			
音韻論特講1			2
音韻論特講2			2
文法理論演習			4
意味論演習			4

※注1：英語教授法コース（TESOL）開講科目。

### 3. 履修上の注意

- 1) 15年次生以前：選択必修の3科目を含め、30単位以上を履修すること。選択必修科目（「統辞論基礎」「意味論基礎」「音声学・音韻論基礎」）は、修了要件上の必修科目であり、入学1年次に履修することが望ましい。  
16年次生以降：選択必修の2科目を含め、30単位以上を履修すること。選択必修科目（「統辞論基礎」「音声学・音韻論基礎」）は、修了要件上の必修科目であり、入学1年次に履修することが望ましい。また、「意味論基礎」は選択科目であるが、理論言語学を専攻する者は必ず履修すること。
- 2) 1年次終了までに指導教員を決め、履修計画および修士論文の作成に対する指導を受けること。
- 3) 「研究指導」を2年次以降に毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 4) 2年次春学期に「修士論文計画案」を提出し、論文審査委員（主査1名、副査2名以上）による面接を受けること。  
その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限に提出後、学位論文審査を受けること。

### ■学部開講関連科目一覧（参考）

授業科目名	担当者 *：非常勤教員	開講学科等
言語処理入門	RUIZ TINOCO Antonio	外国語学部
日本語史1	本橋辰至	外国語学部
日本語史2	本橋辰至	外国語学部
言語学特殊講義1（ロマンス語研究）	*小川定義	外国語学部
言語学特殊講義2（ロマンス語研究）	*小川定義	外国語学部
ヨーロッパの社会と言語A	木村護郎クリストフ	外国語学部
ヨーロッパの社会と言語B	*石部尚登	外国語学部
休 ヨーロッパ言語社会論	木村護郎クリストフ	外国語学部
フランス語圏の社会と言語	*古石篤子	外国語学部

※科目の詳細（開講期、曜日、時限等）については、学部のLoyolaの「時間割表」および「履修要覧」で確認すること。

※上記の科目は、履修することは可能だが、修了要件に算入することは出来ない。

## 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MFLG6030	春	音声学・音韻論基礎	LNG502	4	北原真冬	前期課程対象
MFLG7040	春	実験音声学特講・演習Ⅰ-A	LNG704	2	*田嶋圭一	
MFLG7060	春	実験音声学特講・演習Ⅱ-A	LNG706	2	*藤本雅子	
MFLG7140	春	言語学特殊講義A (GB概説)	LNG713	4	*石井透	旧「言語学特殊講義A(GB概論)」
MFLG7170	春	言語学特殊講義B-1 (音韻論と言語障害)	LNG715	2	*都田青子	前期課程対象
MFLG7160	春	言語学特殊講義C (言語の認知神経科学)	LNG735	4	*酒井弘	隔年開講
MFLG7230	春	現代言語学諸問題C (日本語言語学)	LNG721	4	加藤孝臣	
MFLG7270	春	実験統計法1	LNG724	2	渡部良典	
MFLG7460	春	ドイツ語文体論1	LGG721	2	高橋由美子	隔年開講, ★
MFLG7491	春	ドイツ語教育1	LGG741	2	LIPSKY Angela	★
MFLG7542	春	フランス語通訳論1	LGF741	2	福崎裕子	隔年開講
MFLG7580	春	イスパニア語文法論1	LGS711	2	RUIZ TINOCO Antonio	★, 前期課程対象
MFLG7600	春	イスパニア語のバリエーション1 (言語データ処理の技法)	LGS721	2	*上田博人	一部集中, 隔年開講, 旧「イスパニア語のバリエーション1」
MFLG7680	春	ロシア語文法論1	LGR711	2	井上幸義	隔年開講, ★
MFLG7740	春	ロシア語文体論1	LGR741	2	村田真一	隔年開講, 前期課程対象
MFLG7760	春	ポルトガル語の拡がりの変異1	LGP701	2	市之瀬敦	隔年開講, 前期課程対象
MFLG7780	春	ポルトガル語翻訳論1	LGP711	2	TOIDA Helena	
MFLG7791	春	ポルトガル語史1	LGP721	2	*黒澤直俊	
MFLG7820	春	ポルトガル語比較文体論1	LGP741	2	NEVES Mauro	隔年開講, ★
MFLG9311	春	修士論文	LNG899	0	言語学専攻各指導教員	M2対象, 注1
MFLG7310	秋	理論言語学B	LNG728	4	加藤孝臣	旧「理論言語学B-1」「理論言語学B-2」
MFLG7030	秋	理論言語学C	LNG703	4	福井直樹	
MFLG7050	秋	実験音声学特講・演習Ⅰ-B	LNG705	2	*田嶋圭一	
MFLG7070	秋	実験音声学特講・演習Ⅱ-B	LNG707	2	*藤本雅子	
MFLG7100	秋	コーパス言語学1	LNG709	2	RUIZ TINOCO Antonio	隔年開講
MFLG7180	秋	言語学特殊講義B-2 (音韻論と言語障害)	LNG716	2	*都田青子	前期課程対象
MFLG7210	秋	現代言語学諸問題A (音韻論)	LNG719	4	北原真冬	
MFLG7300	秋	言語テストング2	LNG727	2	渡部良典	★
MFLG7450	秋	ドイツ語統語論2	LGG712	2	高橋亮介	★
MFLG7470	秋	ドイツ語文体論2	LGG722	2	高橋由美子	隔年開講, ★
MFLG7492	秋	ドイツ語教育2	LGG742	2	LIPSKY Angela	★
MFLG7543	秋	フランス語通訳論2	LGF742	2	福崎裕子	隔年開講
MFLG7590	秋	イスパニア語文法論2	LGS712	2	RUIZ TINOCO Antonio	★, 前期課程対象
MFLG7610	秋	イスパニア語のバリエーション2 (言語データ処理の技法)	LGS722	2	*上田博人	隔年開講, 旧「イスパニア語のバリエーション2」
MFLG7690	秋	ロシア語文法論2	LGR712	2	井上幸義	隔年開講, ★
MFLG7750	秋	ロシア語文体論2	LGR742	2	村田真一	隔年開講, 前期課程対象
MFLG7770	秋	ポルトガル語の拡がりの変異2	LGP702	2	市之瀬敦	隔年開講, 前期課程対象
MFLG7790	秋	ポルトガル語翻訳論2	LGP712	2	TOIDA Helena	
MFLG7792	秋	ポルトガル語史2	LGP722	2	*黒澤直俊	
MFLG7830	秋	ポルトガル語比較文体論2	LGP742	2	NEVES Mauro	隔年開講, ★
MFLG7940	秋	文法理論演習	LNG734	4	福井直樹	
MFLG9310	秋	修士論文	LNG899	0	言語学専攻各指導教員	M2対象
MFLG6040	休講	統辞論基礎	LNG503	4		前期課程対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MFLG6020	休講	意味論基礎	LNG501	4		隔年開講, 前期課程対象, 注2
MFLG7010	休講	理論言語学A-1	LNG701	2		旧「理論言語学A」
MFLG7020	休講	理論言語学A-2	LNG702	2		旧「理論言語学A」
MFLG7080	休講	文法理論	LNG708	4		
MFLG7110	休講	コーパス言語学2	LNG710	2		隔年開講
MFLG7120	休講	日本語言語学A (現代日本語構造論)	LNG711	4		
MFLG7190	休講	意味論1	LNG717	2		隔年開講
MFLG7200	休講	意味論2	LNG718	2		隔年開講
MFLG7220	休講	現代言語学諸問題B (文法理論)	LNG720	4		
MFLG7240	休講	現代言語学諸問題D (意味論)	LNG722	4		
MFLG7280	休講	実験統計法2	LNG725	2		
MFLG7290	休講	言語テスト1	LNG726	2		★
MFLG7320	休講	フランス語教授法1	LGF701	2		隔年開講, ★
MFLG7330	休講	フランス語教授法2	LGF702	2		隔年開講, ★
MFLG7420	休講	ドイツ語意味論1	LGG701	2		隔年開講, ★
MFLG7430	休講	ドイツ語意味論2	LGG702	2		隔年開講, ★
MFLG7440	休講	ドイツ語統語論1	LGG711	2		
MFLG7480	休講	ドイツ語音韻論1	LGG731	2		★
MFLG7490	休講	ドイツ語音韻論2	LGG732	2		★
MFLG7500	休講	フランス語文法論1	LGF711	2		隔年開講, ★
MFLG7510	休講	フランス語文法論2	LGF712	2		隔年開講, ★
MFLG7520	休講	フランス語文体論1	LGF721	2		隔年開講, ★
MFLG7530	休講	フランス語文体論2	LGF722	2		隔年開講, ★
MFLG7531	休講	フランス語: 文体から意味へ1	LGF731	2		隔年開講
MFLG7532	休講	フランス語: 文体から意味へ2	LGF732	2		隔年開講
MFLG7560	休講	イスパニア語史1	LGS701	2		隔年開講, ★
MFLG7570	休講	イスパニア語史2	LGS702	2		隔年開講, ★
MFLG7620	休講	イスパニア語研究1	LGS731	2		隔年開講
MFLG7630	休講	イスパニア語研究2	LGS732	2		隔年開講
MFLG7640	休講	イスパニア語応用言語学1	LGS741	2		隔年開講
MFLG7650	休講	イスパニア語応用言語学2	LGS742	2		隔年開講
MFLG7660	休講	ロシア語史1	LGR701	2		隔年開講
MFLG7670	休講	ロシア語史2	LGR702	2		隔年開講
MFLG7700	休講	ロシア語翻訳論1	LGR721	2		隔年開講, ★
MFLG7710	休講	ロシア語翻訳論2	LGR722	2		隔年開講, ★
MFLG7720	休講	ロシア語統語論1	LGR731	2		隔年開講
MFLG7730	休講	ロシア語統語論2	LGR732	2		隔年開講
MFLG7800	休講	ポルトガル語文法論1	LGP731	2		隔年開講
MFLG7810	休講	ポルトガル語文法論2	LGP732	2		隔年開講
MFLG7900	休講	音韻論特講1	LNG731	2		
MFLG7910	休講	音韻論特講2	LNG732	2		
MFLG7934	休講	意味論演習	LNG733	4		前期課程対象, 旧「意味論演習1」「同2」

注1: Loyolaで登録することはできないので, 登録に際しては学事センターで手続きすること。

注2: 履修に際しては, P.212の「3. 履修上の注意」の1)を参照すること。

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LNG888	吉田 研作	
	高橋 由美子	
	BRITTO Francis	
	RUIZ TINOCO Antonio	
	福井 直樹	
	渡部 良典	
	井上 幸義	
	市之瀬 敦	
	原田 早苗	
	和泉 伸一	
	小柳 かおる	
	本橋 辰至	
	NEVES Mauro	
	西村 君代	
	坂本 光代	
	清水 崇文	
	TOIDA Helena	
	村田 真一	
	COUCHOT Hervé	
	FAIRBROTHER Lisa	
	TUCHAIS Simon	
	LIPSKY Angela	
	原 惠子	
	原 求作	
	福崎 裕子	
	高橋 亮介	
吉畑 博代		
加藤 孝臣		
峯 布由紀		
秋山 真一		
北原 真冬		

# 言語学専攻 博士前期課程 言語聴覚研究コース

## 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

### 【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶選択必修科目 (必修)	6		
└言語聴覚障害学特論	2		
└言語聴覚障害研究法B (実験計画法)	2		
└言語聴覚障害研究法D (文献講読)	2		
▶選択必修科目	2		「コミュニケーション科学研究法A」「同B」のうち, 1科目は必ず履修すること
▶選択科目	22		
└自専攻自コース科目			
└自専攻他コース科目			
研究指導(必修)		2	単位なし, 2年次以降に毎学期登録される 2科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

### 【16年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶選択必修科目 (必修)	6		
└言語聴覚障害学特論	2		
└言語聴覚障害研究法B (実験計画法)	2		
└言語聴覚障害研究法D (文献講読)	2		
▶選択必修科目	2		「コミュニケーション科学研究法A」「同B」のうち, 1科目は必ず履修すること
▶選択科目	22		
└自専攻自コース科目			
└自専攻他コース科目			
研究指導(必修)			単位なし, 2年次以降に毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

### 【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が言語研究に寄与し, 独創性を有すること。
- 2) 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究を踏まえ, 十分な論証がなされていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
言語聴覚障害学特論	2		
失語・高次脳機能障害学特論A			2
失語・高次脳機能障害学特論B			2
聴覚障害学特論A			2
聴覚障害学特論B			2
聴覚障害学特論C（補聴器）			2
聴覚障害学特論D（人工内耳）			2
小児言語発達学特論			2
言語聴覚学特論A（成人のコミュニケーション障害）			2
言語聴覚学特論B（小児のコミュニケーション障害）			2
言語聴覚障害研究法A（心理統計）			2
言語聴覚障害研究法B（実験計画法）	2		
言語聴覚障害研究法C（データ分析）			2
言語聴覚障害研究法D（文献講読）	2		
コミュニケーション障害分析法A（治療診断学・成人）			2
コミュニケーション障害分析法B（治療診断学・小児）			2
言語障害研究特殊講義A（機能的構音障害）			2
言語障害研究特殊講義B（器質性構音障害）			2
言語障害研究特殊講義C（発声発語の生理学）			2
言語障害研究特殊講義D（音声障害）			2
言語障害研究特殊講義E（吃音）			2
言語障害研究特殊講義F（学習障害）			2
言語障害研究特殊講義G（成人の運動性構音障害・摂食・嚥下障害）			2
言語障害研究特殊講義H（小児の運動性構音障害・摂食・嚥下障害）			2
臨床医学特論A（神経内科学）			2
臨床医学特論B（精神医学・リハビリテーション医学・コミュニケーション障害と心理臨床）			2
臨床医学特論C（耳科学・形成外科学・歯科口腔外科学）			2
臨床医学特論D（神経系の基礎と病態・内科学）			2
臨床医学特論E（発達障害医学・脳性麻痺）			2

※注1：心理学専攻開講科目。

※注2：言語学専攻開講科目。

※注3：英語教授法コース（TESOL）開講科目。

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
言語聴覚病理学特論（医学概論・解剖学・生理学・病理学）			2
高次脳機能障害学演習A			2
高次脳機能障害学演習B			2
言語発達障害学演習A			2
言語発達障害学演習B			2
聴覚障害学演習A			2
聴覚障害学演習B			2
発声発語障害学演習A			2
発声発語障害学演習B			2
発声発語障害学演習C			2
発声発語障害学演習D			2
コミュニケーション科学研究法A		2	
コミュニケーション科学研究法B		2	
統辞論基礎 ※注2			4
意味論基礎 ※注2			4
音声学・音韻論基礎 ※注2			4
実験音声学特講・演習Ⅰ－A ※注2			2
実験音声学特講・演習Ⅰ－B ※注2			2
実験音声学特講・演習Ⅱ－A ※注2			2
実験音声学特講・演習Ⅱ－B ※注2			2
Psycholinguistics ※注3			4
Second Language Acquisition (English) ※注3			4
(他) 心理測定学特殊研究Ⅰ ※注1			2
(他) 心理測定学特殊研究Ⅱ ※注1			2
(他) 認知心理学特殊研究Ⅰ ※注1			2
(他) 認知心理学特殊研究Ⅱ ※注1			2
(他) 生理心理学特殊研究Ⅰ ※注1			2
(他) 生理心理学特殊研究Ⅱ ※注1			2
(他) 発達心理学特殊研究Ⅰ ※注1			2
(他) 発達心理学特殊研究Ⅱ ※注1			2

### 3. 履修上の注意

- 1) 必修科目の3科目と、選択必修科目のうち、どちらか1科目を含む、30単位以上を履修すること。言語聴覚士国家試験の受験資格の取得を希望する場合は、在籍期間中に、厚生労働大臣の指定する科目（平成10年8月厚生省告示227号）を履修すること。なお、言語聴覚士の国家試験受験資格を得るためには2年半の在籍が必要となる。
- 2) 1年次終了までに指導教員を決め、履修計画及び、修士論文の作成に対する指導を受けること。
- 3) 「研究指導」を2年次以降に毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 4) 2年次春学期に「修士論文計画書」を提出し、論文審査委員（主査1名、副査2名以上）による面接を受けること。その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限に提出後、学位論文審査を受けること。

#### ■学部開講関連科目一覧（参考）

授 業 科 目 名	担 当 者 *：非常勤教員	開講学科等
言語学概論1	加 藤 孝 臣	外国語学部
言語学概論2	加 藤 孝 臣	外国語学部
言語聴覚障害学概論	コ)吉 畑 博 代	外国語学部
言語聴覚障害学特殊講義A（失語症）	吉 畑 博 代	外国語学部
言語聴覚障害学特殊講義B（言語発達遅滞）	コ)原 恵 子	外国語学部
学習心理学Ⅰ	廣 瀬 英 子	心理学科
発達心理学Ⅰ	荻 野 美 佐 子	心理学科
発達心理学Ⅱ	荻 野 美 佐 子	心理学科
認知心理学Ⅰ	道 又 爾	心理学科
認知心理学Ⅱ	道 又 爾	心理学科
人格心理学Ⅰ	吉 村 聡	心理学科
人格心理学Ⅱ	吉 村 聡	心理学科
カウンセリング概論Ⅰ	毛 利 伊 吹	心理学科
カウンセリング概論Ⅱ	毛 利 伊 吹	心理学科
心理臨床学Ⅰ	横 山 恭 子	心理学科
心理臨床学Ⅱ	横 山 恭 子	心理学科
社会福祉概論	栃 本 一 三 郎	社会福祉学科
社会福祉原論	栃 本 一 三 郎	社会福祉学科
社会保障論Ⅰ	大 塚 晃	社会福祉学科
精神保健福祉論	藤 井 達 也	社会福祉学科
障害者福祉論Ⅰ	大 塚 晃	社会福祉学科
休 障害者福祉論Ⅱ	大 塚 晃	社会福祉学科

※科目の詳細（開講期、曜日、時限等）については、学部のLoyolaの「時間割表」および「履修要覧」で確認すること。

※上記の科目は、履修することは可能だが、修了要件に算入することはできない。

※履修希望者は、p.11を参照。



## 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※*:非常勤教員	備考
MFLC6010	春	コミュニケーション科学研究法A	LGC601	2	吉畑博代	M2対象
MFLC6020	春	コミュニケーション科学研究法B	LGC602	2	*山本崇博	M2対象
MFLC7010	春	失語・高次脳機能障害学特論A	LGC503	2	吉畑博代	M1対象
MFLC7090	春	言語聴覚障害研究法C (データ分析)	LGC605	2	*山本崇博	M2対象
MFLC7120	春	言語障害研究特殊講義A (機能性構音障害)	LGC508	2	*浅野和海	一部集中
MFLC7142	春	言語障害研究特殊講義F (学習障害)	LGC712	2	原 恵子 *熊谷恵子 *奥村智人 *牟田悦子 *都田青子	春学期集中, 輪講, 隔年開講
MFLC7170	春	高次脳機能障害学演習A	LGC510	2	吉畑博代	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M1対象
MFLC7190	春	言語発達障害学演習A	LGC606	2	*青木さつき	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M2対象, 集中実習を含む
MFLC7210	春	聴覚障害学演習A	LGC721	2	*伊原素子	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, 集中実習を含む
MFLC7230	春	発声発語障害学演習A	LGC607	2	*関谷麻美子	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, 集中実習を含む
MFLC7250	春	発声発語障害学演習C	LGC515	2	*西脇恵子	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可
MFLC7030	春	聴覚障害学特論A	LGC702	2	*進藤美津子	春学期集中, 隔年開講
MFLC7131	春	言語障害研究特殊講義C (発声発語の生理学)	LGC709	2	*倉智雅子	春学期集中, 隔年開講
MFLC7132	春	言語障害研究特殊講義D (音声障害)	LGC710	2	*石毛美代子	春学期集中, 隔年開講
MFLC7150	春	言語障害研究特殊講義G(成人の 運動性構音障害・摂食・嚥下障害)	LGC713	2	*長谷川和子	春学期集中, 隔年開講
MFLC7152	春	臨床医学特論A(神経内科学)	LGC715	2	*清水優子	春学期集中, 隔年開講
MFLC7153	春	臨床医学特論B(精神医学・リハビリ テーション医学・コミュニケーション 障害と心理臨床)	LGC716	2	*宮田久嗣 *菅原英和 *角山富雄	春学期集中, 輪講, 隔年開講
MFLC1020	秋	言語聴覚障害研究法B (実験計画法)	LGC502	2	吉畑博代	M1対象
MFLC1030	秋	言語聴覚障害研究法D (文献講読)	LGC701	2	*鈴木勉	隔年開講
MFLC7020	秋	失語・高次脳機能障害学特論B	LGC504	2	コーディネータ 吉畑博代	一部集中, 輪講, M1対象
MFLC7060	秋	言語聴覚学特論A(成人の コミュニケーション障害)	LGC603	2	吉畑博代	M2対象
MFLC7070	秋	言語聴覚学特論B(小児の コミュニケーション障害)	LGC604	2	*山本崇博	M2対象
MFLC7080	秋	言語聴覚障害研究法A (心理統計)	LGC505	2	*山本崇博	M1対象
MFLC7100	秋	コミュニケーション障害分析法A (治療診断学・成人)	LGC506	2	吉畑博代	M1対象

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※*:非常勤教員	備考
MFLC7130	秋	言語障害研究特殊講義B (器質性構音障害)	LGC509	2	*浅野和海 *山下夕香里	一部集中, 輪講
MFLC7180	秋	高次脳機能障害学演習B	LGC511	2	吉畑博代	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M1対象
MFLC7200	秋	言語発達障害学演習B	LGC512	2	*青木さつき	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, M1対象, 集中実習を含む
MFLC7220	秋	聴覚障害学演習B	LGC513	2	*伊原素子	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, 集中実習を含む
MFLC7240	秋	発声発語障害学演習B	LGC514	2	*関谷麻美子	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可, 集中実習を含む
MFLC7260	秋	発声発語障害学演習D	LGC516	2	*西脇恵子	言語聴覚研究コースの学生のみ履修可
MFLC7051	秋	聴覚障害学特論D(人工内耳)	LGC705	2	*城間将江	秋学期集中, 隔年開講
MFLC7110	秋	コミュニケーション障害分析法B (治療診断学・小児)	LGC507	2	*小杉裕子	秋学期集中, M1対象
MFLC1010	休講	言語聴覚障害学特論	LGC501	2		M1対象
MFLC7040	休講	聴覚障害学特論B	LGC703	2		隔年開講
MFLC7041	休講	聴覚障害学特論C(補聴器)	LGC704	2		隔年開講
MFLC7052	休講	小児言語発達学特論	LGC706	2		隔年開講
MFLC7141	休講	言語障害研究特殊講義E(吃音)	LGC711	2		隔年開講
MFLC7151	休講	言語障害研究特殊講義H(小児の 運動性構音障害・摂食・嚥下障害)	LGC714	2		隔年開講
MFLC7161	休講	臨床医学特論C(耳科学・形成 外科学・歯科口腔外科学)	LGC717	2		輪講, 隔年開講
MFLC7165	休講	臨床医学特論D(神経系の基 礎と病態・内科学)	LGC719	2		輪講, 隔年開講
MFLC7166	休講	臨床医学特論E (発達障害医学・脳性麻痺)	LGC720	2		輪講, 隔年開講
MFLC7164	休講	言語聴覚病理学特論(医学概論・ 解剖学・生理学・病理学)	LGC718	2		輪講, 隔年開講

※備考欄で特に記載がない場合は前期課程の学生を対象。

※修士論文についてはp. 213～214参照。

※研究指導一覧表についてはp. 215参照。

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶選択必修科目 (必修)	8		
└Introduction to Linguistics	2		
└Introduction to TEFL in Japan	2		
└Second Language Acquisition (English)	4		
▶選択科目	22		
└自専攻自コース科目	12		
└Core Courses	4		
└Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics)	4		
└Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics)	4		
└Special Topics in Linguistics			
└自専攻他コース科目			
研究指導 (必修)		2	単位なし, 2年次以降に毎学期登録される 2科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

## 【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
▶選択必修科目（必修）	8		
└Introduction to Linguistics	2		
└Introduction to TEFL in Japan	2		
└Second Language Acquisition (English)	4		
▶選択科目	22		
└自専攻自コース科目	12		
└Core Courses	4		
└Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics)	4		
└Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics)	4		
└Special Topics in Linguistics			
└自専攻他コース科目			
研究指導（必修）			単位なし，2年次以降に毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

## 【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が言語研究に寄与し，独創性を有すること。
- 2) 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究を踏まえ，十分な論証がなされていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており，論理が明晰で，論旨が一貫していること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt;Core Courses&gt;</b>			
Introduction to Linguistics		2	
Introduction to TEFL in Japan		2	
Second Language Acquisition (English)		4	
Teaching Pronunciation			2
Listening and Speaking			2
Reading and Writing			2
Classroom Research			2
Affective Factors in TESOL			2
Curriculum and Syllabus Design			2
Materials Development			2
Principles and Practice of CLIL			2
Thesis Writing			2
<b>&lt;Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics)&gt;</b>			
Applied Linguistics (Focus on Form)			4
Action Research			4
TEFL Methodology			4
言語テスト 1 ※注1			2
言語テスト 2 ※注1			2
Classroom Discourse			2
<b>&lt;Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics)&gt;</b>			
Bilingual Education			4
Intercultural Interaction			2
Analyzing Spoken Data			2
Psycholinguistics			4
Sociolinguistics			4
Sociocultural Theory & SLA			2
Qualitative Research Methods			2
Language and Power			2
実験統計法1 ※注1			2
実験統計法2 ※注1			2
フランス語教授法1 ※注1			2
フランス語教授法2 ※注1			2
Theories of Teaching English to Young Children			2
Practicum in Teaching English to Children 1			2
Practicum in Teaching English to Children 2			2

※注1：言語学専攻開講科目。

※注2：日本語教育学コース開講科目。

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
日本語教育文法 I ※注2			2
日本語教育文法 II ※注2			2
第二言語習得 I ※注2			2
第二言語習得 II ※注2			2
言語・文化・社会 ※注2			2
日本語教授法概論 ※注2			2
日本語教育文法演習 ※注2			2
日本語教授法特講 ※注2			2
第二言語習得演習 ※注2			2
中間言語語用論概論 ※注2			2
中間言語語用論演習 ※注2			2
談話分析 ※注2			2
日本語評価法 ※注2			2
日本語教授法 (初級) ※注2			2
日本語教授法 (中上級) ※注2			2
日本語音声学 ※注2			2
日本語教材・教具論 ※注2			2
日本語社会言語学 ※注2			2
バイリンガル教育と多文化共生 ※注2			2
研究法入門 ※注2			2
異文化コミュニケーション ※注2			2
日本語研究 I ※注2			2
日本語研究 II ※注2			2
社会言語学特講 ※注2			2
日本語教授法演習 ※注2			2
応用心理言語学 ※注2			2
<b>&lt;Special Topics in Linguistics&gt;</b>			
Functional Grammar 1			2
Functional Grammar 2			2
World Englishes			4
音声学・音韻論基礎 ※注1			4
統辞論基礎 ※注1			4
意味論基礎 ※注1			4
コーパス言語学1 ※注1			2
コーパス言語学2 ※注1			2

### 3. 履修上の注意

1) 30 単位以上を履修すること。

なお、上記 30 単位の中には、次の選択必修科目が含まれていなければいけない。

Introduction to Linguistics, Introduction to TEFL in Japan, Second Language Acquisition (English), これら 3 科目は、修了要件上の必修科目であり、1 年次に履修することが望ましい。

また、Core Courses から少なくとも 12 単位、Integrative Seminar in TESOL 1 (Core Topics) から少なくとも 4 単位、Integrative Seminar in TESOL 2 (Related Topics) から少なくとも 4 単位履修すること。

2) 1 年次終了までに指導教員を決め、履修計画及び、修士論文・プロジェクトの作成に対する指導を受けること。

3) 「研究指導」を 2 年次以降に毎学期受けること。なお、2017 年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。

4) 2 年次春学期に「修士論文計画書」を提出し、論文審査委員（主査 1 名、副査 2 名以上）による面接を受けること。

その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限に提出後、学位論文審査を受けること。

5) 「Practicum in Teaching English to Children 1・2」は、10 月から 11 月に「1」の授業を行い、11 月から 1 月に「2」の授業を行うが、履修する学生は秋学期の履修登録期間に両方の科目を履修すること。なお、「1」を履修中止する場合、「秋学期前半科目履修中止期間」に Loyola にて手続きを行うこと。

## 4. 開講科目一覧表 ※授業はすべて英語で行う

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他) : 他専攻教員 * : 非常勤教員	備考
MFLT6010	春	INTRODUCTION TO LINGUISTICS	LGT501	2	藤田 保	M1対象
MFLT6020	春	INTRODUCTION TO TEFL IN JAPAN	LGT502	2	渡部 良典	M1対象
MFLT6041	春	SECOND LANGUAGE ACQUISITION (ENGLISH)	LGT503	4	和泉 伸一	M1対象
MFLT7020	春	LISTENING AND SPEAKING	LGT702	2	佐藤 敬典	
MFLT7040	春	CLASSROOM RESEARCH	LGT704	2	渡部 良典	
MFLT7050	春	AFFECTIVE FACTORS IN TESOL	LGT705	2	逸見 シャンタール	
MFLT7080	春	THESIS WRITING	LGT728	2	MACINTYRE Robert	
MFLT7140	春	TEFL METHODOLOGY	LGT711	4	吉田 研作	
MFLT7150	春	CLASSROOM DISCOURSE	LGT712	2	FAIRBROTHER Lisa	隔年開講
MFLT7160	春	BILINGUAL EDUCATION	LGT713	4	吉田 研作	隔年開講
MFLT7190	春	SOCIOLINGUISTICS	LGT716	4	BRITTO Francis	隔年開講
MFLT7230	春	QUALITATIVE RESEARCH METHODS	LGT720	2	坂本 光代	
MFLT7010	秋	TEACHING PRONUNCIATION	LGT701	2	佐藤 敬典	
MFLT7070	秋	CURRICULUM AND SYLLABUS DESIGN	LGT707	2	渡部 良典	
MFLT7100	秋	APPLIED LINGUISTICS (FOCUS ON FORM)	LGT708	4	和泉 伸一	
MFLT7130	秋	ACTION RESEARCH	LGT710	4	渡部 良典	
MFLT7170	秋	INTERCULTURAL INTERACTION	LGT714	2	FAIRBROTHER Lisa	
MFLT7200	秋	SOCIOCULTURAL THEORY & SLA	LGT717	2	坂本 光代	
MFLT7260	秋	PRINCIPLES AND PRACTICE OF CLIL	LGT723	2	(他)池田 真	隔年開講
MFLT7330	秋	THEORIES OF TEACHING ENGLISH TO YOUNG CHILDREN	LGT725	2	藤田 保	
MFLT7340	秋・前半	PRACTICUM IN TEACHING ENGLISH TO CHILDREN 1	LGT726	2	*狩野 晶子	注1
MFLT7350	秋・後半	PRACTICUM IN TEACHING ENGLISH TO CHILDREN 2	LGT727	2	*狩野 晶子	注1
MFLT7030	休講	READING AND WRITING	LGT703	2		
MFLT7120	休講	ANALYZING SPOKEN DATA	LGT709	2		隔年開講
MFLT7180	休講	PSYCHOLINGUISTICS	LGT715	4		隔年開講
MFLT7210	休講	FUNCTIONAL GRAMMAR 1	LGT718	2		前期課程対象
MFLT7220	休講	FUNCTIONAL GRAMMAR 2	LGT719	2		前期課程対象
MFLT7240	休講	LANGUAGE AND POWER	LGT721	2		隔年開講
MFLT7250	休講	MATERIALS DEVELOPMENT	LGT722	2		隔年開講
MFLT7270	休講	WORLD ENGLISHES	LGT724	4		隔年開講

※注1 : 履修に際しては、P. 224の「3. 履修上の注意」の5)を参照すること。

※修士論文についてはp. 213~214参照。

※研究指導一覧表についてはp. 215参照。

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶ 選択必修科目 (必修)	8		
└ 日本語教育文法 I	2		
└ 第二言語習得 I	2		
└ 言語・文化・社会	2		
└ 日本語教授法概論	2		
▶ (B) 選択必修科目群	16		(B) 選択必修科目群から16単位を超えて履修をした場合, その単位は選択科目として取り扱う
▶ 選択科目	6		
└ 自専攻自コース科目			
└ 自専攻他コース科目			
研究指導 (必修)		2	単位なし, 2年次以降に毎学期登録される 2科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶ 選択必修科目 (必修)	8		
└ 日本語教育文法 I	2		
└ 第二言語習得 I	2		
└ 言語・文化・社会	2		
└ 日本語教授法概論	2		
▶ (B) 選択必修科目群	16		(B) 選択必修科目群から16単位を超えて履修をした場合, その単位は選択科目として取り扱う
▶ 選択科目	6		
└ 自専攻自コース科目			
└ 自専攻他コース科目			
研究指導 (必修)			単位なし, 2年次以降に毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

【修士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が言語研究に寄与し, 独創性を有すること。
- 2) 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
- 3) 先行研究を踏まえ, 十分な論証がなされていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。



## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt; (A) 必修科目群 &gt;</b>			
日本語教育文法 I		2	
第二言語習得 I		2	
言語・文化・社会		2	
日本語教授法概論		2	
<b>&lt; (B) 選択必修科目群 &gt;</b>			
日本語教育文法 II			2
第二言語習得 II			2
日本語教育文法演習			2
日本語教授法特講			2
第二言語習得演習			2
中間言語用論概論			2
中間言語用論演習			2
談話分析			2
日本語評価法			2
日本語教授法 (初級)			2
日本語教授法 (中上級)			2
日本語音声学			2
日本語教材・教具論			2
日本語社会言語学			2
バイリンガル教育と多文化共生			2
研究法入門			2
異文化コミュニケーション			2
日本語研究 I			2
日本語研究 II			2
社会言語学特講			2
日本語教授法演習			2
応用心理言語学			2
<b>&lt; (C) 選択科目群 &gt;</b>			
Introduction to Linguistics ※注2			2
Introduction to TEFL in Japan ※注2			2
Second Language Acquisition (English) ※注2			4
Teaching Pronunciation ※注2			2
Listening and Speaking ※注2			2
Reading and Writing ※注2			2
Classroom Research ※注2			2

※注1：言語学専攻開講科目。

※注2：英語教授法コース (TESOL) 開講科目。

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
Affective Factors in TESOL ※注2			2
Curriculum and Syllabus Design ※注2			2
Materials Development ※注2			2
Principles and Practice of CLIL ※注2			2
Thesis Writing ※注2			2
Applied Linguistics (Focus on Form) ※注2			4
Action Research ※注2			4
TEFL Methodology ※注2			4
Classroom Discourse ※注2			2
Bilingual Education ※注2			4
Intercultural Interaction ※注2			2
Analyzing Spoken Data ※注2			2
Psycholinguistics ※注2			4
Sociolinguistics ※注2			4
Sociocultural Theory & SLA ※注2			2
Qualitative Research Methods ※注2			2
Language and Power ※注2			2
Theories of Teaching English to Young Children ※注2			2
Practicum in Teaching English to Children 1 ※注2			2
Practicum in Teaching English to Children 2 ※注2			2
Functional Grammar 1 ※注2			2
Functional Grammar 2 ※注2			2
World Englishes ※注2			4
統辞論基礎 ※注1			4
意味論基礎 ※注1			4
音声学・音韻論基礎 ※注1			4
実験統計法 1 ※注1			2
実験統計法 2 ※注1			2
言語テストイング 1 ※注1			2
言語テストイング 2 ※注1			2

### 3. 履修上の注意

1) 30 単位以上を履修すること。

なお、上記 30 単位の中には、(A)履修群の 8 単位、(B)履修群の 16 単位以上が含まれていなければいけない。

また、学部での日本語教育の知識が不十分な学生については、必要に応じて学部の日本語教育関連コースの科目の履修を義務付ける場合がある。

2) 1 年次終了までに指導教員を決め、履修計画及び、修士論文の作成に対する指導を受けること。

3) 「研究指導」を 2 年次以降に毎学期受けること。なお、2017 年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。

4) 2 年次春学期に「修士論文計画書」を提出し、論文審査委員（主査 1 名、副査 2 名以上）による面接を受けること。

その結果を受けて、論文の作成にかかり、所定の期限内に提出後、学位論文審査を受けること。

#### ■学部開講関連科目一覧（参考）

授 業 科 目 名	担 当 者	開講学科等
日本語教育入門1	清 水 崇 文	外国語学部
日本語教育入門2	清 水 崇 文	外国語学部
休 日本語教育学A（文法）1	村 田 水 恵	外国語学部
日本語教育学A（文法）2	村 田 水 恵	外国語学部
日本語教育学B（言語習得）1	小 柳 かおる	外国語学部
日本語教育学B（言語習得）2	小 柳 かおる	外国語学部
日本語教育学C（社会言語学）1	清 水 崇 文	外国語学部
日本語教育学C（社会言語学）2	清 水 崇 文	外国語学部
日本語教授法A（初級）1	峯 布 由 紀	外国語学部
日本語教授法A（初級）2	峯 布 由 紀	外国語学部
日本語教授法B（中上級）1	峯 布 由 紀	外国語学部
日本語教授法B（中上級）2	峯 布 由 紀	外国語学部
日本語教授法C（技能別）1	小 柳 かおる	外国語学部
日本語教授法C（技能別）2	小 柳 かおる	外国語学部

※科目の詳細（開講期、曜日、時限等）については、学部のLoyolaの「時間割表」および「履修要覧」で確認すること。

※上記の科目は、履修することは可能だが、修了要件に算入することは出来ない。

## 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MFLJ6010	春	日本語教育文法Ⅰ	LGJ501	2	峯 布由紀	
MFLJ6020	春	第二言語習得Ⅰ	LGJ502	2	小 柳 かおる	
MFLJ6030	春	言語・文化・社会	LGJ503	2	清 水 崇 文	
MFLJ6040	春	日本語教授法概論	LGJ504	2	峯 布由紀	
MFLJ7060	春	中間言語語用論概論	LGJ706	2	清 水 崇 文	
MFLJ7090	春	日本語評価法	LGJ709	2	小 柳 かおる	隔年開講
MFLJ7100	春	日本語教授法（初級）	LGJ710	2	*ペレラ 柴田 奈津子	
MFLJ7150	春	バイリンガル教育と多文化共生	LGJ715	2	坂 本 光 代	隔年開講
MFLJ7160	春	研究法入門	LGJ716	2	*向 山 陽 子	
MFLJ7220	春	社会言語学特講	LGJ720	2	清 水 崇 文	
MFLJ7200	春	日本語教授法演習	LGJ721	2	小 柳 かおる	隔年開講
MFLJ7010	秋	日本語教育文法Ⅱ	LGJ701	2	峯 布由紀	
MFLJ7020	秋	第二言語習得Ⅱ	LGJ702	2	小 柳 かおる	
MFLJ7030	秋	日本語教育文法演習	LGJ703	2	峯 布 由 紀	隔年開講
MFLJ7050	秋	第二言語習得演習	LGJ705	2	小 柳 かおる	
MFLJ7070	秋	中間言語語用論演習	LGJ707	2	清 水 崇 文	
MFLJ7080	秋	談話分析	LGJ708	2	清 水 崇 文	
MFLJ7110	秋	日本語教授法（中上級）	LGJ711	2	*ペレラ 柴田 奈津子	
MFLJ7120	秋	日本語音声学	LGJ712	2	坂 本 惠 美	
MFLJ7130	秋	日本語教材・教具論	LGJ713	2	*ペレラ 柴田 奈津子	
MFLJ7140	秋	日本語社会言語学	LGJ714	2	*齋 藤 純 子	
MFLJ7190	秋	日本語研究Ⅱ	LGJ719	2	峯 布 由 紀	隔年開講
MFLJ7040	休講	日本語教授法特講	LGJ704	2		隔年開講
MFLJ7170	休講	異文化コミュニケーション	LGJ717	2		
MFLJ7180	休講	日本語研究Ⅰ	LGJ718	2		隔年開講
MFLJ7210	休講	応用心理言語学	LGJ722	2		隔年開講

※修士論文についてはp. 213～214参照。

※研究指導一覧表についてはp. 215参照。

## 言語学専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

#### 【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
・選択科目			
研究指導（必修）			単位なし, 11年次生以降は在学中毎学期登録される 10年次生以前は3年次までに計2回, 履修すること ※10年度までは「論文指導（単位なし）」
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に 合格すること

#### 【博士論文審査基準】

- 1) 研究の内容が言語研究に寄与し, 独創性を有すること。
- 2) 研究テーマが十分に練り込まれた明確なものであること。
- 3) 国内外の先行研究を踏まえ, 十分な論証がなされていること。
- 4) 論文の構成が組織立っており, 論理が明晰で, 論旨が一貫していること。
- 5) 自立した研究者として研究活動を遂行するに足る能力と学識が示されたものであること。

### 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
コミュニケーション障害特殊講義			2
コミュニケーション障害分析法（治療診断学）			2

### 3. 履修上の注意

- 1) 修了に必要な履修単位数の条件はない。
- 2) 1年次に指導教員を決め、研究上の指導を受けること。  
2年次に博士論文資格試験を受験すること。詳細は言語学専攻事務室に問い合わせること。
- 3) 「研究指導」について
  - ・10年次生以前については必ず同一教員の「研究指導」を春学期、秋学期の1回ずつ計2回、3年次までに履修すること。
  - ・11年次生以降については「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 4) 博士論文提出前に、合計2編以上の論文をしかるべき学術雑誌（査読付き）に発表すること。そのうち少なくとも1編は単著であること。
- 5) 博士論文（課程博士）の作成、提出について
  - (a) 指導教員の指導の下で作成準備にかかり、適当な時期に、論文審査委員会（主査1名、副査2名以上）を構成する。
  - (b) 在学中に論文を提出し、審査を受け、最終試験（公開試問）を受ける。  
なお、2001～2013年度の入学者については、満期退学後3年以内に論文を提出した場合には、課程博士として学位論文審査および最終試験を受けることができる特例の適用を受けることができる。本特例の適用を受けようとする者は、「満期退学願」提出時に「課程博士学位論文提出申請書」を提出すること。  
本特例の詳細については、学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせのこと。  
また、「論文博士」の提出手続きについても学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせのこと。
- 6) 本修了要件（上記1）～5）は、2003年度入学者から施行する。
- 7) 2009年度以降に入学し、課程博士の取得を希望する者は専攻事務室で手順書を入手すること。

言語聴覚障害学を専攻する者は以下を参照すること。

- 1) 修了に必要な履修単位数の条件はない。
- 2) 1年次に指導教員を決め、研究上の指導を受けること。  
2年次に博士論文資格試験を受験すること。詳細は言語学専攻事務室に問い合わせること。
- 3) 「研究指導」について
  - ・10年次生以前については必ず同一教員の「研究指導」を春学期、秋学期の1回ずつ計2回、3年次までに履修すること。
  - ・11年次生以降については「研究指導」を在学中毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 4) 博士論文の提出前に、合計2編以上の論文（査読付き。そのうち1編以上は英語で書かれたもの）をしかるべき学術雑誌に発表すること。また、そのうち少なくとも1編は単著であること。
- 5) 博士論文（課程博士）の作成・提出について
  - (a) 指導教員の指導の下で作成準備にかかり、適当な時期に、論文審査委員会（主査1名、副査2名以上）を構成する。
  - (b) 在学中に論文を提出し、2回の論文審査に合格した後、最終試験（公開試問）を受ける。  
なお、2001～2013年度の入学者については、満期退学後3年以内に論文を提出した場合には、博士課程として学位論文審査および最終試験を受けることができる特例の適用を受けることができる。本特例の適用を受けようとする者は、「満期退学願」提出時に「課程博士学位論文提出申請書」を提出すること。  
本特例の詳細については、学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせのこと。  
また、「論文博士」の提出手続きについても学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせのこと。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	備考
DFLG7010	春	コミュニケーション障害特殊講義	LGC901	2	吉 畑 博 代	後期課程の学生で、言語聴覚障害学を専攻する者のみ履修可
DFLG7020	秋	コミュニケーション障害分析法 (治療診断学)	LGC902	2	吉 畑 博 代	後期課程の学生で、言語聴覚障害学を専攻する者のみ履修可

#### 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LNG988	吉 田 研 作	
	高 橋 由美子	
	BRITTO Francis	
	RUIZ TINOCO Antonio	
	福 井 直 樹	
	渡 部 良 典	
	井 上 幸 義	
	市之瀬 敦	
	原 田 早 苗	
	和 泉 伸 一	
	小 柳 かおる	
	本 橋 辰 至	
	NEVES Mauro	
	西 村 君 代	
	坂 本 光 代	
	清 水 崇 文	
	TOIDA Helena	
	村 田 真 一	
	COUCHOT Hervé	
	FAIRBROTHER Lisa	
	TUCHAIS Simon	
	LIPSKY Angela	
	原 惠 子	
	原 求 作	
福 崎 裕 子		
高 橋 亮 介		
吉 畑 博 代		
加 藤 孝 臣		
峯 布由紀		
秋 山 真 一		
北 原 真 冬		

※「研究指導」の履修年次は後期課程の1～3年次である。

# グローバル・スタディーズ研究科

- \* グローバル社会専攻のカリキュラムについては、  
English-taught Graduate Programs 「BULLETIN OF INFORMATION 2017-2018」を参照

国際関係論専攻

地域研究専攻

グローバル社会専攻

## 1. グローバル・スタディーズ研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

国際関係の諸側面とそれらをめぐる諸問題を多角的に研究する国際関係論，アジア・中東・ラテンアメリカ地域等の内在的な理解を重視する地域研究，グローバル・イシューに多面的にアプローチするグローバル社会専攻のそれぞれの方法論を活かし，相互に関連してグローバル化する現代世界を総合的に理解することのできる専門研究者及び高度専門職業人を育成する。

## 2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 国際関係論専攻

#### 【博士前期課程】

本課程では，2つの履修群から，一定の単位を修得し，国際関係論を体系的かつ広く研究することを目指します。A群では，国際関係論，国際政治学，国際経済学，平和研究，安全保障研究など国際関係論の基礎的科目，B群では比較政治，比較社会，開発経済等，地域比較の研究をおこないます。

#### 【博士後期課程】

本課程では，学生は，指導教員のもとで独自の研究カリキュラムを作成し，学術上の研究成果をあげることが期待されています。

### 地域研究専攻

#### 【博士前期課程】

本課程では「地域研究方法論」「地域調査方法論」「生態人類学」の3科目計6単位を必修としており，これらは地域研究の基礎と多様で総合的な方法と地域立脚型の視点を学ぶことを目的としています。指導教員が担当する科目を含め，地域研究専門科目から12単位以上，地域間比較科目から6単位以上の修得を義務づけることによって，研究対象とする地域と主として用いる方法論の相対化を促し，また比較の視野を培うことによって個別研究の学術的貢献について客観的に把握する訓練をおこないます。履修者の必要性に応じて，本専攻開講以外の開講科目の履修も認めています。

#### 【博士後期課程】

本課程は，指導教員の論文指導がカリキュラムの中心ですが，指導教員が担当する演習への積極的な参加を奨励し，他分野，他地域の学生と幅広く議論することによって，個別研究の独創性と学術的貢献についての考察を深めることを目指します。博士前期・後期課程ともに，対象地域におけるフィールド・ワークを奨励し，実証性の高い地域研究の発展を目指していますが，その準備過程として語学能力の研鑽と調査方法の確立が求められます。

### グローバル社会専攻

#### 【博士前期課程】

「地域立脚型グローバル社会研究」「国際経営開発学研究」「比較日本研究」の3コースの中の1つを専攻し，広く深く学べる体系的かつ柔軟な履修システムを用意しています。すべての授業および指導は英語で行われ，最終的には担当教員との綿密な相談を経て，修了プロジェクトまたは修士論文を提出します。



### 【博士後期課程】

「地域立脚型グローバル社会研究」コースに限定し、博士論文（英語）執筆を目指す学生に、担当教員を中心に段階的かつ綿密な指導をおこないます。論文プロポーザルや執筆資格試験を経て論文完成へと至るまで、一貫したサポートをおこないます。学術誌への投稿や学会発表あるいは出版に向けての助言も積極的におこないます。

## 3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

### 国際関係論専攻

#### 【博士前期課程】

本課程は、学位請求論文を提出し、審査試験に合格することを学位授与の条件としています。2年間の課程において、現代の国際関係の事象またはグローバルな 이슈を鋭利な問題意識と批判的精神で分析した研究に修士（国際関係論）の学位を授与します。

#### 【博士後期課程】

本課程においては、先行研究を踏まえた、かつ学術的な進歩に貢献しうる独自性のある研究に博士（国際関係論）の学位を授与します。

### 地域研究専攻

#### 【博士前期課程】

本課程では、指導教員による研究指導を4学期履修し、かつ本専攻が定める履修群・科目から修了に要する30単位を修得し、かつ定められた手続きにより修士論文を提出し、口述試験に合格した学生に修士（地域研究）の学位が授与されます。

#### 【博士後期課程】

本課程では、指導教員による研究指導を6学期履修し、博士前期課程で修得した単位を含む30単位以上を修得します。そのうえで、博士論文提出資格試験に合格し、博士論文計画セミナーを実施し、博士論文計画書が受理されたのち、博士論文が受理され、審査および試験に合格した学生に博士（地域研究）の学位が授与されます。

### グローバル社会専攻

#### 【博士前期課程】

必修単位をすべて取得し、修了プロジェクトまたは修士論文の審査に合格した学生に修士（比較日本研究、国際経営開発学またはグローバル社会研究）の学位が授与されます。英語力は勿論のこと、グローバル化する知のネットワークの中で即座に活躍できる専門知識、批判的考察力を身につけた人材を送り出します。

#### 【博士後期課程】

外部審査委員も交えた厳正な論文審査を経て合格した学生に博士（グローバル社会研究）の学位が授与されます。国際的な研究ネットワークの一線で独創的貢献ができる人材を送りだします。

## 国際関係論専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶選択必修科目	30		
└自専攻科目	18		国際政治・比較政治系から12単位・国際社会・国際協力系から6単位, 国際社会・国際協力系から12単位・国際政治・比較政治系から6単位, いずれかの組み合わせで履修すること
└国際政治・比較政治系	12または6		
└国際社会・国際協力系	6または12		
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			2単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導 (必修)		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

#### 【16年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	30		
▶選択必修科目	30		
└自専攻科目	20		A群から12単位・B群から8単位, B群から12単位・A群から8単位, いずれかの組み合わせで履修すること
└A群	12または8		
└B群	8または12		
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			2単位まで修了に必要な単位として認める
研究指導 (必修)			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること)

#### 【修士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で, テーマ設定が適切であり, 国際関係論およびその関連領域の知識の向上に寄与していること。
- 2) 先行研究が十分に検討・吟味されており, 出典記載や引用が適切になされていること。
- 3) 論文構成が的確で, 論理展開に整合性と一貫性があること。
- 4) 論文の言語表現が的確で, 目次・註・付録 (図表・資料・参考文献表など) に関する体裁が整っていること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt; (A/国際政治・比較政治系) 履修群 &gt;</b>			
平和研究の課題		2	
グローバル・スタディーズの新課題		2	
国際関係論研究1 (理論)		2	
国際関係論研究2 (思想と行動)		2	
国際政治学研究1		2	
国際政治学研究演習1		2	
国際政治学研究2		2	
国際政治学研究演習2		2	
国際関係論特殊講義		2	
国際関係論演習		2	
国際経済学研究1 (理論) ※注1		2	
国際経済学研究2 (ケース・スタディ) ※注1		2	
国際政治経済論研究1 (理論) ※注1		2	
国際政治経済論研究2 (ケース・スタディ) ※注1		2	
国際政治史研究1 (基礎)		2	
国際政治史研究2 (応用)		2	
日本外交研究1		2	
日本外交研究2		2	
グローバル市民社会論研究1 (基礎)		2	
グローバル市民社会論研究2 (応用)		2	
中国政治外交研究1		2	
中国政治外交演習1		2	
中国政治外交研究2		2	
中国政治外交演習2		2	
国際協力研究1		2	
国際協力研究演習1		2	
国際協力研究2		2	
国際協力研究演習2		2	
アメリカ政治外交研究1		2	
アメリカ政治外交演習1		2	
アメリカ政治外交研究2		2	
アメリカ政治外交演習2		2	
国際制度論研究1		2	
国際制度論演習1		2	
国際制度論研究2		2	
国際制度論演習2		2	
国連の役割と機能(国連集中研修プログラム)		2	
(他) ナショナリズムとグローバル化Ⅰ ※注2		2	
(他) ナショナリズムとグローバル化Ⅱ ※注2		2	
(他) 政治学研究Ⅰ (グローバル化の政治経済1) ※注3		2	
(他) 政治学研究Ⅱ (グローバル化の政治経済2) ※注3		2	
<b>&lt; (B/国際社会・国際協力系) 履修群 &gt;</b>			
対外政策研究1		2	
対外政策論文演習1		2	
対外政策研究2		2	
対外政策論文演習2		2	

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
発展途上国政治経済研究1		2	
発展途上国政治経済研究2		2	
開発経済論研究1		2	
開発経済論研究2		2	
政治社会論研究1		2	
政治社会論研究2		2	
比較政治学研究1		2	
比較政治学研究2		2	
比較社会学研究1 (基礎)		2	
比較社会学研究2 (応用)		2	
統計学と国際社会研究1 (基礎)		2	
統計学と国際社会研究2 (応用)		2	
国際社会学研究1 (基礎)		2	
国際社会学研究2 (応用)		2	
国際人口移動研究1 (基礎)		2	
国際人口移動研究2 (応用)		2	
現代ロシア政治研究1		2	
現代ロシア政治研究2		2	
ロシア政治史研究1		2	
ロシア政治史研究2		2	
ヨーロッパ政治社会論研究1		2	
ヨーロッパ政治社会論研究2		2	
ヨーロッパ比較政治研究1		2	
ヨーロッパ比較政治研究2		2	
現代ロシア経済研究1		2	
現代ロシア経済研究2		2	
体制移行経済研究1		2	
体制移行経済研究2		2	
言語社会学研究1		2	
言語社会学研究演習1		2	
言語社会学研究2		2	
言語社会学研究演習2		2	
国際教育開発論研究1(理論と方法)		2	
国際教育開発論研究演習1		2	
国際教育開発論研究2(実践と評価)		2	
国際教育開発論研究演習2		2	
国際経済学研究1 (理論) ※注1		2	
国際経済学研究2 (ケース・スタディ) ※注1		2	
国際政治経済論研究1 (理論) ※注1		2	
国際政治経済論研究2 (ケース・スタディ) ※注1		2	
アジア太平洋日本人移民史研究 1		2	
アジア太平洋日本人移民史研究 2		2	
環太平洋移民史研究 1		2	
環太平洋移民史研究 2		2	

※注1：17年次生は国際社会・国際協力系科目とし、16年次生以前はA群科目とする。

※注2：社会学専攻開講科目

※注3：法学専攻開講科目

上記注1, 2, 3科目の詳細については各専攻の履修要綱を確認すること。

### 3. 履修上の注意

博士前期課程修了要件は、17年次生と16年次生以前とで異なる。

**17年次生:**在学中30単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査に合格することである。この必要単位のうち、(国際政治・比較政治系)履修群および(国際社会・国際協力系)履修群のいずれかから12単位以上、もう一方から6単位以上を修得しなければならない。なお、同一科目を二回以上履修した場合、修了単位に含まれるのは一回分に限られる。(国際政治・比較政治系)履修群、(国際社会・国際協力系)履修群の分類については「2. 授業科目の編成・単位」を参照。また、「研究指導」を毎学期履修し、必要な科目数を合格すること。必要な合格科目数は1。修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照。

**16年次生以前:**在学中30単位以上を修得し、かつ、修士論文の審査に合格することである。この必要単位のうち、(A)履修群および(B)履修群のいずれかから12単位以上、もう一方から8単位以上を修得しなければならない。なお、同一科目を二回以上履修した場合、修了単位に含まれるのは一回分に限られる。(A)履修群、(B)履修群の分類については「2. 授業科目の編成・単位」を参照。また、「研究指導」を毎学期履修すること。

※「国際経済学研究1・2」と「国際政治経済論研究1・2」は、17年次生は国際社会・国際協力系科目とし、16年次生以前はA群科目とする。

大学院学則の規定に従い、本専攻入学以前に国内外の大学院で既に修得した単位を、本専攻修了に必要な単位への認定を申請することができる(入学前既修得単位認定)。また本専攻在学中に留学先大学院等で修得した単位を、本専攻修了に必要な単位への換算を申請することができる(単位換算)。いずれの場合も、申請が提出された時点で本専攻にて審議し認定の可否を判断する。

単位数は、本学の基準により計算する。認定・換算できる総単位数は10単位を上限とする。

在籍するすべての博士前期課程の学生は、専攻事務室に「指導教員」の届出をしなければならない。

「統計学と国際社会研究1・2」は、4月から5月に「1」の授業を行い、6月から7月に「2」の授業を行うが、履修する学生は4月に両方の科目を履修登録すること。「1」の講義の終了後、単位修得の可否を担当教員に確認し、修得できれば「2」に進み、修得できなかった場合は速やかに学事センターへ行き、「2」の科目を削除する手続きをすること。なお、「1」を履修中止する場合、「春学期前半科目履修中止期間」にLoyolaにて手続を行うこと。

「国連の役割と機能(国連集中研修プログラム)」は秋学期後半にニューヨーク国連本部で集中的に行われる。本科目の評価には、P(合格)・X(不合格)を使用する。単位認定が翌年度に行われるため、2018年3月修了予定者はプログラムには参加可能だが、単位は認められない。

#### 4. 開講科目一覧表

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MFIR6010	休講	平和研究の課題	IRS701	2		隔年開講，授業はすべて英語で行う
MFIR6020	休講	グローバル・スタディーズの新課題	IRS702	2		隔年開講，授業はすべて英語で行う
MFIR6030	春	国際関係論研究1（理論）	IRS703	2	WESSELS David	隔年開講，授業はすべて英語で行う
MFIR6040	秋	国際関係論研究2（思想と行動）	IRS704	2	WESSELS David	隔年開講，授業はすべて英語で行う
MFIR6050	休講	国際政治学研究1	IRS705	2		隔年開講
MFIR6060	休講	国際政治学研究2	IRS706	2		隔年開講
MFIR6160	春	国際政治学研究演習1	IRS716	2	納 家 政 嗣	隔年開講
MFIR6170	秋	国際政治学研究演習2	IRS717	2	納 家 政 嗣	隔年開講
MFIR6450	秋	国際関係論特殊講義	IRS745	2	*藤 重 博 美	「国際関係論演習」と合併，M1対象
MFIR6460	秋	国際関係論演習	IRS746	2	*藤 重 博 美	「国際関係論特殊講義」と合併，M2対象
MFIR6120	休講	国際経済学研究1（理論）	IRS712	2		隔年開講
MFIR6130	休講	国際経済学研究2（ケース・スタディ）	IRS713	2		隔年開講
MFIR6140	春	国際政治経済論研究1（理論）	IRS714	2	下 川 雅 嗣	隔年開講
MFIR6150	秋	国際政治経済論研究2 （ケース・スタディ）	IRS715	2	下 川 雅 嗣	隔年開講
MFIR6141	春	国際政治史研究1（基礎）	IRS778	2	宮 城 大 蔵	隔年開講
MFIR6142	秋	国際政治史研究2（応用）	IRS779	2	宮 城 大 蔵	隔年開講
MFIR6143	休講	日本外交研究1	IRS780	2		隔年開講，旧「日本外交史研究1」
MFIR6144	休講	日本外交研究2	IRS781	2		隔年開講，旧「日本外交史研究2」
MFIR6180	休講	グローバル市民社会論研究1（基礎）	IRS718	2		隔年開講
MFIR6190	休講	グローバル市民社会論研究2（応用）	IRS719	2		隔年開講
MFIR6320	春	比較社会学研究1（基礎）	IRS732	2	稲 葉 奈々子	隔年開講
MFIR6330	秋	比較社会学研究2（応用）	IRS733	2	稲 葉 奈々子	隔年開講
MFIR6580	休講	中国政治外交研究1	IRS758	2		隔年開講
MFIR6590	休講	中国政治外交研究2	IRS759	2		隔年開講
MFIR6680	春	中国政治外交演習1	IRS768	2	渡 辺 紫 乃	隔年開講
MFIR6690	秋	中国政治外交演習2	IRS769	2	渡 辺 紫 乃	隔年開講
MFIR6600	休講	国際協力研究1	IRS760	2		隔年開講
MFIR6610	休講	国際協力研究2	IRS761	2		隔年開講
MFIR6700	春	国際協力研究演習1	IRS770	2	田 中 雅 子	隔年開講
MFIR6710	秋	国際協力研究演習2	IRS771	2	田 中 雅 子	隔年開講
MFIR6740	春	アメリカ政治外交研究1	IRS774	2	前 嶋 和 弘	隔年開講
MFIR6750	秋	アメリカ政治外交研究2	IRS775	2	前 嶋 和 弘	隔年開講
MFIR6640	休講	アメリカ政治外交演習1	IRS764	2		隔年開講
MFIR6650	休講	アメリカ政治外交演習2	IRS765	2		隔年開講
MFIR6760	春	国際制度論研究1	IRS776	2	都 留 康 子	隔年開講
MFIR6770	秋	国際制度論研究2	IRS777	2	都 留 康 子	隔年開講
MFIR6660	休講	国際制度論演習1	IRS766	2		隔年開講
MFIR6670	休講	国際制度論演習2	IRS767	2		隔年開講
MFIR6570	秋	国連の役割と機能 （国連集中研修プログラム）	IRS757	2	植 木 安 弘	秋学期集中科目，注1
MFIR6200	春	対外政策研究1	IRS720	2	樋 渡 由 美	「対外政策論文演習1」と合併，M1対象
MFIR6210	春	対外政策論文演習1	IRS721	2	樋 渡 由 美	「対外政策研究1」と合併，M2対象
MFIR6220	秋	対外政策研究2	IRS722	2	樋 渡 由 美	「対外政策論文演習2」と合併，M1対象
MFIR6230	秋	対外政策論文演習2	IRS723	2	樋 渡 由 美	「対外政策研究2」と合併，M2対象
MFIR6260	休講	発展途上国政治経済研究1	IRS726	2		隔年開講，授業はすべて英語で行う
MFIR6270	休講	発展途上国政治経済研究2	IRS727	2		隔年開講，授業はすべて英語で行う

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員	備考
MFIR6271	春	開発経済論研究1	IRS782	2	高島 亮	隔年開講, 授業はすべて英語で行う
MFIR6272	秋	開発経済論研究2	IRS783	2	高島 亮	隔年開講, 授業はすべて英語で行う
MFIR6280	春	政治社会論研究1	IRS728	2	岸川 毅	隔年開講
MFIR6290	秋	政治社会論研究2	IRS729	2	岸川 毅	隔年開講
MFIR6300	休講	比較政治学研究1	IRS730	2		隔年開講
MFIR6310	休講	比較政治学研究2	IRS731	2		隔年開講
MFIR6350	春・前半	統計学と国際社会研究1 (基礎)	IRS735	2	*小林 誉明	注1
MFIR6360	春・後半	統計学と国際社会研究2 (応用)	IRS736	2	*小林 誉明	注1
MFIR6370	春	国際社会学研究1 (基礎)	IRS737	2	蘭 信三	隔年開講
MFIR6380	秋	国際社会学研究2 (応用)	IRS738	2	蘭 信三	隔年開講
MFIR6390	休講	国際人口移動研究1 (基礎)	IRS739	2		隔年開講
MFIR6400	休講	国際人口移動研究2 (応用)	IRS740	2		隔年開講
MFIR6410	春	現代ロシア政治研究1	IRS741	2	上野 俊彦	隔年開講
MFIR6420	秋	現代ロシア政治研究2	IRS742	2	上野 俊彦	隔年開講
MFIR6430	休講	ロシア政治史研究1	IRS743	2		隔年開講
MFIR6440	休講	ロシア政治史研究2	IRS744	2		隔年開講
MFIR6481	休講	ヨーロッパ政治社会論研究1	IRS748	2		隔年開講
MFIR6482	休講	ヨーロッパ政治社会論研究2	IRS786	2		隔年開講
MFIR6483	春	ヨーロッパ比較政治研究1	IRS787	2	河崎 健	隔年開講
MFIR6484	秋	ヨーロッパ比較政治研究2	IRS788	2	河崎 健	隔年開講
MFIR6490	休講	現代ロシア経済研究1	IRS749	2		隔年開講
MFIR6491	休講	現代ロシア経済研究2	IRS789	2		隔年開講
MFIR6500	春	体制移行経済研究1	IRS750	2	安達 祐子	隔年開講
MFIR6501	秋	体制移行経済研究2	IRS790	2	安達 祐子	隔年開講
MFIR6780	休講	言語社会学研究1	IRS751	2		隔年開講
MFIR6790	休講	言語社会学研究2	IRS753	2		隔年開講
MFIR6800	春	言語社会学研究演習1	IRS752	2	木村 護郎クリストフ	隔年開講
MFIR6810	秋	言語社会学研究演習2	IRS754	2	木村 護郎クリストフ	隔年開講
MFIR6620	休講	国際教育開発論研究1 (理論と方法)	IRS762	2		隔年開講, 授業はすべて英語で行う
MFIR6630	休講	国際教育開発論研究2 (実践と評価)	IRS763	2		隔年開講, 授業はすべて英語で行う
MFIR6720	春	国際教育開発論研究演習1	IRS772	2	廣里 恭史	隔年開講
MFIR6730	秋	国際教育開発論研究演習2	IRS773	2	廣里 恭史	隔年開講
MFIR6820	春	アジア太平洋日本人移民史研究1	IRS791	2	飯島 真里子	隔年開講
MFIR6830	秋	アジア太平洋日本人移民史研究2	IRS792	2	飯島 真里子	隔年開講
MFIR6840	休講	環太平洋移民史研究1	IRS793	2		隔年開講
MFIR6850	休講	環太平洋移民史研究2	IRS794	2		隔年開講
MFIR9011	春	修士論文	IRS899	0	国際関係論専攻各指導教員	M2対象 (9月修了対象)
MFIR9010	秋	修士論文	IRS899	0	国際関係論専攻各指導教員	M2対象

※注1：履修に際しては、p.238の「3.履修上の注意」を参照すること。

※備考欄で特に記載のない場合は前期課程の学生を対象。

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
IRS888	WESSELS David	
	納 家 政 嗣	
	下 川 雅 嗣	
	樋 渡 由 美	
	岸 川 毅	
	稲 葉 奈々子	
	上 野 俊 彦	
	蘭 信 三	
	宮 城 大 蔵	
	河 崎 健	
	高 島 亮	
	安 達 祐 子	
	木村 護郎 <small>クリストフ</small>	
	渡 辺 紫 乃	
	田 中 雅 子	
	前 嶋 和 弘	
	都 留 康 子	
	廣 里 恭 史	
飯 島 真里子		

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
▶選択科目			
研究指導 (必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
▶選択科目			
研究指導 (必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

- 1) 問題意識が明確で, テーマ設定が適切であり, 対象分野に関する新しい知見の発見, ないしは既存の知見に対する新しい解釈が提示されていること。
  - 2) 先行研究が網羅的に検討・吟味されており, 出典記載や引用が適切になされていること。
  - 3) 論文構成が的確で, 論理展開に整合性と一貫性があること。
  - 4) 論文の言語表現が的確で, 目次・註・付録 (図表・資料・参考文献表など) に関する体裁が整っていること。
  - 5) 論文の主要部分が学術雑誌などに出版されているか, あるいは掲載される水準であること。
  - 6) 当該分野における独創的かつ先端的な研究であり, 執筆者が自立的研究者として研究を遂行する能力があることを証明する研究であること。
- なお, 博士論文の提出については, 「博士の学位授与に関する国際関係論専攻内規」を参照すること。

2. 履修上の注意

博士後期課程学生の博士論文資格試験は, 国際関係論専攻発行の別紙「博士論文資格試験, 博士論文計画書および博士論文についての内規」に定められている。(専攻 HP を参照)

博士後期課程学生は, 「博士論文計画書」の審査に合格し受理され, かつ修業年限3年を満たすまでは, 指導教員の「研究指導」科目を毎学期履修しなければならない。また, 2017年次生以降の学生については, 「研究指導」科目の必要合格科目数が定められている。1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件を参照すること。

在籍するすべての博士後期課程学生は, 専攻事務室に「指導教員」の届出をしなければならない。



### 3. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
IRS988	WESSELS David	
	納 家 政 嗣	
	下 川 雅 嗣	
	樋 渡 由 美	
	岸 川 毅	
	稲 葉 奈々子	
	上 野 俊 彦	
	蘭 信 三	
	宮 城 大 蔵	
	河 崎 健	
	高 島 亮	
	安 達 祐 子	
	木村 護郎 <small>クリストフ</small>	
	渡 辺 紫 乃	
	田 中 雅 子	
	前 嶋 和 弘	
	都 留 康 子	
	廣 里 恭 史	
飯 島 真里子		

## 地域研究専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17 年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶必修科目	6		
└地域研究方法論	2		
└地域調査方法論	2		
└生態人類学	2		
▶選択科目	24		
└自専攻科目			
└ (A) 履修群：選択科目			
└ (B) 履修群：地域研究 専門科目	12		
└ (C) 履修群：地域間比 較科目	6		
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			4 単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中每学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に 合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文 登録をすること)

#### 【16 年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
▶必修科目	6		
└地域研究方法論	2		
└地域調査方法論	2		
└生態人類学	2		
▶選択科目	24		
└自専攻科目			
└ (A) 履修群：選択科目			
└ (B) 履修群：地域研究 専門科目	12		
└ (C) 履修群：地域間比 較科目	6		
└自研究科他専攻科目			
└委託聴講科目			4 単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし, 在学中每学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に 合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文 登録をすること)

## 【修士論文審査基準】

- 1) 研究対象に対して適切な方法論及び先行研究成果を踏まえていること。
- 2) グローバルな諸現象の解明に貢献する水準に達していること。
- 3) 地域に立脚した視座を有し、且つ社会的・学術的な意義が認められること。
- 4) 論文構成が的確で、論理展開に整合性と一貫性があること。
- 5) 出典記載や引用が適切になされているなど、論文の体裁が整っていること（これについての詳細は「修士論文に関する地域研究専攻内規」を参照すること）。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
<b>&lt; (A) 履修群：基礎科目 &gt;</b>			
地域研究方法論	2		
地域調査方法論	2		
生態人類学	2		
フィールドワーク1			1
フィールドワーク2			1
<b>&lt; (B) 履修群：地域研究専門科目 &gt;</b>			
東南アジア社会文化研究1			2
東南アジア社会文化研究2			2
東南アジア国際協力研究1			2
東南アジア国際協力研究2			2
東南アジア文化研究1			2
東南アジア文化研究2			2
東南アジア政治文化研究1			2
東南アジア政治文化研究2			2
東南アジア政治史研究1			2
東南アジア政治史研究2			2
南アジア文化研究1			2
南アジア文化研究2			2
中東社会史研究1			2
中東社会史研究2			2
中東政治史研究1			2
中東政治史研究2			2
中東文化研究1			2
中東文化研究2			2
中東社会開発研究1			2
中東社会開発研究2			2
中東政治社会研究1			2
中東政治社会研究2			2
ラテンアメリカ国際関係研究1			2
ラテンアメリカ国際関係研究2			2
ラテンアメリカ社会開発研究1			2
ラテンアメリカ社会開発研究2			2
ラテンアメリカ社会研究1			2
ラテンアメリカ社会研究2			2
ラテンアメリカ文化研究1			2
ラテンアメリカ文化研究2			2
ラテンアメリカ経済研究1			2
ラテンアメリカ経済研究2			2
ヨーロッパ政治研究1			2
ヨーロッパ政治研究2			2
ヨーロッパ文化研究1			2
ヨーロッパ文化研究2			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
アフリカ政治研究1			2
アフリカ政治研究2			2
アフリカ政治社会研究1			2
アフリカ政治社会研究2			2
<b>&lt; (C) 履修群：地域間比較科目 &gt;</b>			
グローバル化の諸問題：政治と経済			2
グローバル化の諸問題：歴史と文化			2
国際関係研究：中東			2
国際協力基礎研究1			2
国際協力基礎研究2			2
国際開発協力研究：東南アジア (1)			2
国際開発協力研究：東南アジア (2)			2
国際開発協力研究：中東			2
国際開発協力研究：ラテンアメリカ			2
(他) 発展途上国政治経済研究1 ※注1			2
(他) 発展途上国政治経済研究2 ※注1			2
(他) 開発経済論研究1 ※注1			2
(他) 開発経済論研究2 ※注1			2
(他) 政治社会論研究1 ※注1			2
(他) 政治社会論研究2 ※注1			2
(他) 比較政治学研究1 ※注1			2
(他) 比較政治学研究2 ※注1			2
(他) 国際経済学研究1 (理論) ※注1			2
(他) 国際経済学研究2 (ケース・スタディ) ※注1			2
(他) 国際政治経済論研究1 (理論) ※注1			2
(他) 国際政治経済論研究2 (ケース・スタディ) ※注1			2
(他) カーボンマネジメント論 ※注2			2
(他) 宗教と社会演習 ※注3			2
(他) 宗教と社会研究 ※注3			2

※注1：国際関係論専攻開講科目。

※注2：地球環境学研究科開講科目。

※注3：実践宗教学研究科開講科目。

### 3. 履修上の注意

- 1) 前期課程の必修科目は、1. 地域研究方法論、2. 地域調査方法論、3. 生態人類学の3科目で、この3科目は在学中(1, 2年次)に必ず選択し単位を修得しなければならない。できれば、入学年次に上記3科目中2科目まで履修しておくことが望ましい。
- 2) 前期課程学生は、1年次入学とともに専攻主任と相談の上、なるべく早く修士論文の指導教員(本学地域研究専攻担当専任教員)を決定し、その指導教員の地域研究専門科目を指定年次において履修し、単位を修得しなくてはならない。
- 3) 前期課程学生は、上記指導教員の地域研究専門科目を含めて、(B)履修群：地域研究専門科目(全科目重複履修可とする)から12単位以上を修得しなくてはならない。(B)履修群：地域研究専門科目は、履修する際、1年次・2年次でそれぞれ到達目標が異なるため、必ずシラバスで確認すること。
- 4) 前期課程学生は、(C)履修群：地域間比較科目から6単位以上を修得しなくてはならない。
- 5) 上記以外の科目の選択は自由だが、科目選択にあたっては指導教員、専攻主任と相談の上、決定することとする。
- 6) 前期課程学生は、「研究指導」を在学中毎学期履修しなくてはならない。また、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数が4科目と定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- 7) 前期課程修了の条件は、上記1)～6)にしたがった上で、30単位以上の科目単位を修得し、定められた手続きにより修士論文を提出して、口述試験に合格することである。前期課程学生は、第1年次に20単位以上を修得することが望ましい。
- 8) 前期課程において学生の研究上必要と認められるときは、国際連合大学サステイナビリティ高等研究所の講座を受講させ、4単位まで必要単位として認定する。
- 9) その他、不明な点は、上智大学大学院学則、上智大学学位規程を熟読し、専攻主任と相談すること。

### 4. 開講科目一覧表

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 *：非常勤教員	備考
<b>(A) 履修群：基礎科目</b>						
MFAS1010	春	地域研究方法論	ARS501	2	コ)根 本 敬	(A) 輪講
MFAS1020	秋	地域調査方法論	ARS502	2	コ)岩崎 えり奈	(A) 輪講
MFAS1030	春	生態人類学	ARS503	2	*赤 嶺 淳	(A)
MFAS7000	春	フィールドワーク1	ARS709	1	福武・赤堀・田村	
MFAS7010	秋	フィールドワーク2	ARS710	1	福武・赤堀・田村	
※注：フィールドワークは、履修年次・履修の順序を問わないが、連続する2学期において履修することが望ましい。(1と2, 2と1というように、どちらでも履修可とする)						
<b>(B) 履修群：地域研究専門科目</b>						
MFAS7040	春	東南アジア社会文化研究1	ASE701	2	丸 井 雅 子	(B)
MFAS7050	秋	東南アジア社会文化研究2	ASE702	2	丸 井 雅 子	(B)
MFAS7081	春	東南アジア国際協力研究1	ASE705	2	福 武 慎太郎	(B)
MFAS7091	秋	東南アジア国際協力研究2	ASE706	2	福 武 慎太郎	(B)
MFAS7160	春	東南アジア文化研究1	ASE709	2	寺 田 勇 文	(B)
MFAS7170	秋	東南アジア文化研究2	ASE710	2	寺 田 勇 文	(B)
MFAS7200	春	東南アジア政治文化研究1	ASE713	2	川 島 緑	(B)
MFAS7210	秋	東南アジア政治文化研究2	ASE714	2	川 島 緑	(B)
MFAS7240	春	東南アジア政治史研究1	ASE717	2	根 本 敬	(B)
MFAS7250	秋	東南アジア政治史研究2	ASE718	2	根 本 敬	(B)
MFAS7280	春	南アジア文化研究1	ASA701	2	ヴェリヤト シリル	(B) 授業は全て英語で行う
MFAS7290	秋	南アジア文化研究2	ASA702	2	ヴェリヤト シリル	(B) 授業は全て英語で行う
MFAS7320	春	中東社会史研究1	AME705	2	私 市 正 年	(B)

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 *：非常勤教員	備考
MFAS7330	秋	中東社会史研究2	AME706	2	私市正年	(B)
MFAS7360	春	中東政治史研究1	AME709	2	小牧昌平	(B)
MFAS7370	秋	中東政治史研究2	AME710	2	小牧昌平	(B)
MFAS7400	春	中東文化研究1	AME713	2	赤堀雅幸	(B)
MFAS7410	秋	中東文化研究2	AME714	2	赤堀雅幸	(B)
MFAS7120	春	中東社会開発研究1	AME701	2	岩崎えり奈	(B)
MFAS7130	秋	中東社会開発研究2	AME702	2	岩崎えり奈	(B)
MFAS7530	春	中東政治社会研究1	AME718	2	澤江史子	(B)
MFAS7540	秋	中東政治社会研究2	AME719	2	澤江史子	(B)
MFAS7490	春	ラテンアメリカ国際関係研究1	ALA705	2	子安昭子	(B)
MFAS7500	秋	ラテンアメリカ国際関係研究2	ALA706	2	子安昭子	(B)
MFAS7450	春	ラテンアメリカ社会開発研究1	ALA701	2	田村梨花	(B)
MFAS7460	秋	ラテンアメリカ社会開発研究2	ALA702	2	田村梨花	(B)
MFAS7570	春	ラテンアメリカ社会研究1	ALA709	2	幡谷則子	(B)
MFAS7580	秋	ラテンアメリカ社会研究2	ALA710	2	幡谷則子	(B)
MFAS7610	春	ラテンアメリカ文化研究1	ALA713	2	長谷川ニナ	(B) 授業は全てスペイン語で行う
MFAS7620	秋	ラテンアメリカ文化研究2	ALA714	2	長谷川ニナ	(B) 授業は全てスペイン語で行う
MFAS7650	休講	ラテンアメリカ経済研究1	ALA717	2		(B)
MFAS7660	休講	ラテンアメリカ経済研究2	ALA718	2		(B)
MFAS7900	休講	ヨーロッパ政治研究1	AEU701	2		(B)
MFAS7910	休講	ヨーロッパ政治研究2	AEU702	2		(B)
MFAS7940	春	ヨーロッパ文化研究1	AEU705	2	松原典子	(B)
MFAS7950	秋	ヨーロッパ文化研究2	AEU706	2	松原典子	(B)
MFAS7980	休講	アフリカ政治研究1	AAF701	2		(B)
MFAS7990	休講	アフリカ政治研究2	AAF702	2		(B)
MFAS7993	春	アフリカ政治社会研究1	AAF705	2	眞城百華	(B)
MFAS7994	秋	アフリカ政治社会研究2	AAF706	2	眞城百華	(B)
<b>(C) 履修群：地域間比較科目</b>						
MFAS7840	秋	グローバル化の諸問題：政治と経済	ARS707	2	コ)川島 緑	(C) 輪講
MFAS7850	春	グローバル化の諸問題：歴史と文化	ARS708	2	コ)丸井 雅子	(C) 輪講
MFAS7440	春	国際関係研究：中東	ARS713	2	*立山 良司	(C)
MFAS7710	春	国際協力基礎研究1	ARS701	2	*坪井 善明	(C)
MFAS7720	秋	国際協力基礎研究2	ARS702	2	*坪井 善明	(C)
MFAS7740	春	国際開発協力研究：東南アジア (1)	ARS703	2	福武 慎太郎	(C)
MFAS7750	秋	国際開発協力研究：東南アジア (2)	ARS704	2	*長瀬 理英	(C)
MFAS7760	秋	国際開発協力研究：中東	ARS705	2	*長澤 榮治	(C)
MFAS7770	春	国際開発協力研究：ラテンアメリカ	ARS706	2	*小池 洋一	(C)
<b>その他</b>						
MFAS9010	秋	修士論文	ARS899	0	地域研究専攻 各指導教員	
MFAS9020	春	修士論文	ARS899	0	地域研究専攻 各指導教員	

注1：備考欄の(A)(B)(C)は履修群を示す。

注2：担当教員名欄の コ) はコーディネータを示す。

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ARS888	丸 井 雅 子	
	寺 田 勇 文	
	川 島 緑	
	根 本 敬	
	福 武 慎太郎	
	ヴェリヤト シリル	
	私 市 正 年	
	小 牧 昌 平	
	赤 堀 雅 幸	
	幡 谷 則 子	
	谷 洋 之	
	長谷川 ニ ナ	
	子 安 昭 子	
	松 原 典 子	
	矢 澤 達 宏	
	岩 崎 えり奈	
	田 村 梨 花	
	澤 江 史 子	
眞 城 百 華		

## 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

### 【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
▶選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

### 【16年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数			
▶選択科目			
研究指導（必修）		6	単位なし, 在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

### 【博士論文審査基準】

- 1) 自身の方法論を確立した上で, 学術的独創性を備え且つ地域研究全体の学問分野の引き上げに貢献する水準に達していること。
- 2) 研究対象地域の言語を駆使した調査・研究に基づき, 新たな知見によって社会的・学術的な意義が認められること。
- 3) 先行研究と自身の研究課題との関係が, 学界での十分な議論を経て検討・吟味されており, 出典記載や引用が適切になされていること。
- 4) 論文構成が的確で, 論理展開に整合性と一貫性があること。
- 5) 論文の体裁が整っていること。
- 6) 地域研究に必要とされる, 研究対象及び地域に対する研究活動規範即ちコンプライアンスが遵守されていること。

## 2. 履修上の注意

- 1) 後期課程学生の修了要件は, 30単位以上の科目単位を修得し（博士前期課程において修得した単位を含む）, 博士論文提出資格試験に合格, 博士論文計画書の受理を経た上で, 定められた手続きにより博士論文を提出し, 審査および試験に合格することである。
- 2) 後期課程学生は, 在学期間中の6学期間, 指導教員担当の研究指導を履修しなくてはならない。ただし, 大学院学則第4章第21条の2の規程に基づき, 在学期間の短縮を認められた者に関しては, 短縮された在学期間中, 指導教員の研究指導を履修すればよいものとする。
- 3) 2010年次生以前は, 修了要件ではないものの, 後期課程学生が6学期を超える期間在学する場合は, できるだけ毎学期, 指導教員担当の研究指導を履修することが望ましい。
- 4) その他, 不明な点は, 上智大学大学院学則, 上智大学学位規程を熟読し, 専攻主任と相談すること。



### 3. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
ARS988	丸 井 雅 子	
	寺 田 勇 文	
	川 島 緑	
	根 本 敬	
	福 武 慎太郎	
	ヴェリヤト シリル	
	私 市 正 年	
	小 牧 昌 平	
	赤 堀 雅 幸	
	幡 谷 則 子	
	谷 洋 之	
	長谷川 ニ ナ	
	子 安 昭 子	
	松 原 典 子	
	矢 澤 達 宏	
	岩 崎 えり奈	
	田 村 梨 花	
澤 江 史 子		
眞 城 百 華		



# 理工学研究科

## 1. 理工学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

現代科学・技術の各学問領域でその進歩に寄与する専門性と、人間社会や地球環境に与える影響を総合的に捉える学際性とを併せ持つ、特色ある研究科を目指す。前期課程では学部教育との一貫性に配慮しながら、複合知と専門性を兼ね備えた知的能力を持ち、人間社会に貢献できる知的人材を育成する。後期課程では各専門分野で自立して研究を遂行できる研究者の養成を目的とする。

## 2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 理工学専攻

#### 【博士前期課程】

高度な専門教育・研究の場である大学院の特性を活かすために、伝統的学問体系に応じた「領域」というカリキュラム体制をとり、学部教育との一貫性にも配慮しながら、複合知を兼ね備えた専門能力を養成します。

#### 【博士後期課程】

各専門分野で自立して研究・開発を遂行できる人材を育てるために、指導教員による日々の研究指導に加えて、週1回以上の専門分野に関する英語の輪読・演習を設け、国際的に活躍できる高度な専門能力を養成します。

### 機械工学領域

#### 【博士前期課程】

材料力学、機械力学、熱工学、流体力学、精密工学、制御工学、材料科学など機械工学に関する高度な専門教育・研究を行い、学部教育との一貫性にも配慮しながら、複合知を兼ね備えた専門能力を養成します。

#### 【博士後期課程】

材料力学、機械力学、熱工学、流体力学、精密工学、制御工学、材料科学など各専門分野で自立して研究・開発を遂行できる人材を育てるために、指導教員による丁寧な日々の研究指導に加えて、専門分野に関する英語の輪読を設け、国際的に活躍できる高度な専門能力を養成します。

### 電気・電子工学領域

#### 【博士前期課程】

高度な専門教育・研究の場である大学院の特性を活かすために、学際的な学部教育との一貫性に配慮しながら、電気・電子工学に関する専門的知識を付与するとともに、今後の新たな展開にも柔軟に対応できる知的基盤を養うためのカリキュラム体制をとり、複合知を兼ね備えた専門能力を養成します。

#### 【博士後期課程】

電気・電子工学を中心に学際領域も含む専門分野で自立して研究・開発を遂行できる人材を育てるために、指導教員による日々の研究指導に加えて、週1回以上の専門分野に関する英語の輪読・演習を設け、国際的に活躍できる高度な専門能力を養成します。

### 応用化学領域

#### 【博士前期課程】

高度な専門教育・研究の場である大学院の特性を活かすため、有機合成化学、高分子化学、無機工業化学、工業物理化学および環境化学工学の各分野にもとづくカリキュラム体制をとり、学部教育との一貫性に配慮しながら、応用化学に関わる複合知を兼ね備えた専門能力を養成します。

**【博士後期課程】**

応用化学の専門分野（有機合成化学，高分子化学，無機工業化学，工業物理化学および環境化学工学）で自立して研究・開発を遂行できる人材を育てるため，指導教員による日々の研究指導に加えて，週1回以上の専門分野に関する英語の輪読・演習を設け，国際的に活躍できる高度な化学的専門能力を養成します。

**化学領域****【博士前期課程】**

高度な専門教育・研究の場である大学院の特性を活かすために，伝統的学問体系に応じた5分野（物理化学，無機化学，分析化学，有機化学および錯体化学）のカリキュラム体制をとり，学部教育との一貫性に配慮しながら，化学に関わる複合知を兼ね備えた専門能力を養成します。

**【博士後期課程】**

化学の専門分野（物理化学，無機化学，分析化学，有機化学および錯体化学）で自立して研究・開発を遂行できる人材を育てるため，指導教員による日々の研究指導に加えて，週1回以上の専門分野に関する英語の輪読・演習を設け，国際的に活躍できる高度な化学的専門能力を養成します。

**数学領域****【博士前期課程】**

高度に発展した現代数学を理解し，新たな真理を探究するため，専門書，論文などから体系的に専門的知識を学び，自ら思考することにより新しい数学的知見を創造させ，数学の研究とは何かということを修得します。

**【博士後期課程】**

高度に発展した現代数学を理解し，新たな真理を探究するとともに，自らの研究により得られた成果について，専門分野の研究者との交流を通じ広く世界に発表し，国際的に活躍できる高度な専門能力を修得します。

**物理学領域****【博士前期課程】**

高度な専門教育・研究の場である大学院の特性を活かすために，物理学の伝統的学問体系に応じたカリキュラム体制をとり，学部教育との一貫性にも配慮しながら，複合知を兼ね備えた物理学の専門能力を養成します。

**【博士後期課程】**

物理学分野で自立して研究・開発を遂行できる人材を育てるために，指導教員による日々の研究指導に加えて，週1回以上の物理学の専門分野に関する英語の輪読・演習を設け，国際的に活躍できる高度な専門能力を養成します。

**生物科学領域****【博士前期課程】**

生物科学領域全般にわたる幅広い学識と，高度な専門性を必要とする職業や学際的分野での活動を担うための基礎となる能力を養成します。

**【博士後期課程】**

生物科学の多様な学術的研究を背景とした先端的な専門知識を修得させ，国際的に活躍できる自立した研究者の養成に努めるとともに，各専門分野において高度な専門職業人に必要とされる能力を養成します。

## 情報学領域

### 【博士前期課程】

高度な専門教育・研究の場である大学院の特性を活かすために、情報科学を基礎としたカリキュラム体制をとり、学部教育との一貫性にも配慮しながら、人間、コミュニケーション、社会の情報分野に加え、文理の学際的視点も兼ね備えた専門能力を養成します。

### 【博士後期課程】

情報に関する分野で自立して研究・開発を遂行できる人材を育てるために、指導教員による日々の研究指導に加えて、週1回以上の専門分野に関する英語の輪読・演習を設け、国際的に活躍できる高度な専門能力を養成します。

## グリーンサイエンス・エンジニアリング領域

### 【博士前期課程】

環境と持続可能性に関連する分野で幅広い知識と高度な専門知識、複合知を兼ね備えた専門能力を養成します。教育は全て英語で行い国際的に活躍できる能力を養成します。

### 【博士後期課程】

環境と持続可能性に関連する専門分野で多様な学術的背景と先端的な専門知識を習得させ、自立して研究・開発を遂行できる専門能力を養成します。教育は全て英語で行い国際的に活躍できる高度な能力を養成します。

## 3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

### 理工学専攻

#### 【博士前期課程】

現代科学・技術の各学問領域でその進歩に寄与する専門性と、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、人間社会に貢献できる人材に修士（理学または工学）の学位を授与します。

#### 【博士後期課程】

現代科学・技術の各学問領域でその進歩に寄与する専門性と、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、各専門分野で自立して研究・開発を遂行できる人材に博士（理学または工学）の学位を授与します。

### 機械工学領域

#### 【博士前期課程】

機械工学領域でその発展や進歩に寄与する専門性と、機械工学が人間社会や地球環境に与える影響を総合的に把握する学際性を持ち、社会に貢献できる人材に修士（工学）の学位を授与します。

#### 【博士後期課程】

機械工学領域でその発展や進歩に寄与する専門性と、機械工学が人間社会や地球環境に与える影響を総合的に把握する学際性を持ち、各専門分野で自立して研究・開発を遂行し、社会に貢献できる人材に博士（工学）の学位を授与します。

## 電気・電子工学領域

### 【博士前期課程】

電気・電子工学の領域でその進歩に寄与する専門性と、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、人間社会に貢献できる人材に修士（工学）の学位を授与します。

### 【博士後期課程】

電気・電子工学の領域でその進歩に寄与する専門性と、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、電気・電子工学、または、それと関連する新たな専門分野で自立して研究・開発を遂行できる人材に博士（工学）の学位を授与します。

## 応用化学領域

### 【博士前期課程】

気体高速反応、プラズマ化学、セラミックス化学、触媒化学、有機精密合成化学、高分子合成化学、有機・無機材料化学、マイクロ波化学などの研究を通じて、その進歩に寄与する応用化学的専門性と人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、人間社会に貢献できる人材に修士（工学）の学位を授与します。

### 【博士後期課程】

気体高速反応、プラズマ化学、セラミックス化学、触媒化学、有機精密合成化学、高分子合成化学、有機・無機材料化学、マイクロ波化学などの研究を通じて、応用化学の進歩に寄与する専門性と、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、自立して研究・開発を遂行できる人材に博士（工学）の学位を授与します。

## 化学領域

### 【博士前期課程】

分子分光学、理論・計算化学、同位体化学、地球化学、天然物有機化学、有機金属化学、金属錯体化学、先端分析化学に関する研究等を通じて、化学の進歩に寄与する化学的専門性と人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、人間社会に貢献できる人材に修士（理学）の学位を授与します。

### 【博士後期課程】

分子分光学、理論・計算化学、同位体化学、地球化学、天然物有機化学、有機金属化学、金属錯体化学、先端分析化学に関する研究等を通じて、化学の進歩に寄与する化学的専門性と人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、自立して研究・開発を遂行できる人材に博士（理学）の学位を授与します。

## 数学領域

### 【博士前期課程】

現代数学の発展とその応用に寄与する専門性を持ち、社会に広くその成果を喧伝、還元し得る人材に修士（理学）の学位を授与します。

### 【博士後期課程】

現代数学の発展とその応用に寄与する専門性を持ち、社会に広くその成果を喧伝、還元し、専門分野において自立して研究を遂行できる人材に博士（理学）の学位を授与します。

## 物理学領域

### 【博士前期課程】

現代科学・技術の物理学領域でその進歩に寄与する専門性と、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、人間社会に貢献できる人材に修士（理学）の学位を授与します。

### 【博士後期課程】

現代科学・技術の物理学領域でその進歩に寄与する専門性と、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、物理学分野で自立して研究・開発を遂行できる人材に博士（理学）の学位を授与します。

## 生物科学領域

### 【博士前期課程】

多彩な生命現象を広く理解し、生物科学の進歩に寄与する専門性と、学際的分野への応用可能な知識を持ち、人間社会の発展に貢献できる人材に修士（理学）の学位を授与します。

### 【博士後期課程】

生物科学における高度な研究能力と総合的・先端的な生物科学を築く専門性を持ち、研究者として生命の尊厳を十分に理解しながら、自立して世界水準の新しい研究を遂行できる人材に博士（理学）の学位を授与します。

## 情報学領域

### 【博士前期課程】

「情報」に関する領域で科学・技術の進歩に寄与する専門性と、人間と社会を深く理解しながら総合的にとらえる学際性を持ち、人間や社会が有する知識、知恵、経験を蓄積できる人材に修士（工学）の学位を授与します。

### 【博士後期課程】

「情報」に関する領域で科学・技術の進歩に寄与する専門性と、人間と社会を深く理解しながら総合的にとらえる学際性を持ち、人間や社会が有する知識、知恵、経験を蓄積しながら自立して研究・開発を遂行できる人材に博士（工学）の学位を授与します。

## グリーンサイエンス・エンジニアリング領域

### 【博士前期課程】

現代科学・技術の環境と持続可能性に関連する領域で、その進歩に寄与する専門性と、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、人間社会に貢献できる人材に修士（理学または工学）の学位を授与します。

### 【博士後期課程】

現代科学・技術の環境と持続可能性に関連する領域で、その進歩に寄与する専門性と、人間社会や地球環境に与える影響を総合的にとらえる学際性を持ち、自立して研究・開発を遂行できる人材に博士（理学または工学）の学位を授与します。



## 理工学研究科の履修登録について

理工学研究科では学生が各分野から幅広く知識を吸収するように、各領域の科目を履修出来るようになっていました。また大学院が高度な専門教育・研究の場である事を考慮し、機械工学領域、電気・電子工学領域、応用化学領域、化学領域、数学領域、物理学領域、生物科学領域、情報学領域、グリーンサイエンス・エンジニアリング領域（英語コース・2013年秋開設）の9領域よりなる1専攻として専門性にも配慮しています。

卒業研究で行ったテーマを大学院でも引き続き研究できるようになっていますし、新しい分野を開拓したい学生は新しい指導教員のもとで研究を開始することも可能になっています。ただし、指導教員の指導のもとに履修計画を立ててから登録してください。

## 理工学研究科学生の法文系学科目の履修について

指導教員が教育研究上有益と認めた場合、他研究科の授業科目を8単位まで修得し、これを所定の単位に算入できることは、大学院学則に示されていて、この中には法文系の科目（キリスト教的世界観に関する科目を含む）も入っています。それは、最近の科学・技術の急速な発達が、人間生活の広い面で大きな影響を及ぼすことになったため、科学・技術者としても、その専門にとどまらず、広い関心と知識を持つべきであるという観点からです。

## 入学年次による授業科目の編成・単位の違いについて

入学年次により、修了に要する科目、単位数の要件が異なります。  
自分の対象の年次・項目をよく確認すること。

## 理工学専攻 博士前期課程

### 1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		※注
▶選択必修科目	2		
└大学院演習ⅠA	1		
└大学院演習ⅠB	1		
└大学院演習ⅡA	1		
└大学院演習ⅡB	1		
▶選択科目	28		
└自研究科自領域科目	18		※注
└自研究科他領域科目	4		理工基本領域を除く, 理工共通領域は含む
└自研究科全領域	6		理工基本領域と理工共通領域を含む全ての領域
└委託聴講科目			※注（領域毎に取扱が異なる）
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される 4科目以上合格すること
修士論文			必要な研究指導を受けたうえ, 修士論文の審査および試験 に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文 登録をすること)

#### 【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		※注
▶選択必修科目	2		
└大学院演習ⅠA	1		
└大学院演習ⅠB	1		
└大学院演習ⅡA	1		
└大学院演習ⅡB	1		
▶選択科目	28		
└自研究科自領域科目	18		※注
└自研究科他領域科目	4		理工基本領域を除く, 理工共通領域は含む
└自研究科全領域	6		理工基本領域と理工共通領域を含む全ての領域
└委託聴講科目			※注（領域毎に取扱が異なる）
研究指導（必修）			単位なし, 在学中毎学期登録される
修士論文			必要な研究指導を受けたうえ, 修士論文の審査および試験 に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文 登録をすること)

※注 「履修上の注意」を参照のこと。(p.267)

## 【修士論文審査基準】

- 1) 審査は、提出された論文について行い、申請者が専攻分野における研究能力を有するか否かについて考査する。
- 2) 審査に当たっては、論文の内容及び構成・表現に留意する。特に、先行研究が十分に参照され明記されているか、引用が正確になされているか、データが適切に処理されているかを考査する。
- 3) 試験は、論文を中心として広く関連した科目について口述によって行い、申請者が広い視野に立って精深な学識を修めたか否かについて考査する。
- 4) 外国語については1か国語を課し、筆記試験を課することができる。ただし、申請者が学位を受けるにふさわしい外国語の能力を備えていると認定された場合は、外国語の試験の一部又は全部を免除することができる。免除の基準は、所属する領域に確認すること。

## 2. 授業科目の編成・単位

### <理工基本領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
大学院演習ⅠA		1	
大学院演習ⅠB		1	
大学院演習ⅡA		1	
大学院演習ⅡB		1	

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
科学技術英語A 注1			2
科学技術英語B			2

※注1 2014年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2015年度以降開講科目名 ※ ( ) 内は単位数	2014年度以前開講科目名 ※ ( ) 内は単位数
科学技術英語A (2)	科学技術英語Ⅱ (1) (2)

### <理工共通領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
物理学序論			2
経済数学特論Ⅰ			2
経済数学特論Ⅱ			2
マイクロ・スマートグリッド			2
有機化学特論(先端有機化学演習)			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
(他)カーボンマネジメント論 ※注1			2
(他)環境マーケティング ※注1			2
(他)エネルギーと環境 ※注1			2

※注1 地球環境研究科開講科目だが、自研究科科目扱いとなる。詳細は p.302～を参照。

### <機械工学領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
材料力学特論			2
構造力学特論			2
固体力学特論			2
機械力学特論			2
マルチボディ・ダイナミクス			2
熱エネルギー変換工学特論			2
環境材料学			2
伝熱工学特論			2
流体力学特論A			2
流体力学特論B			2
流体エネルギー変換工学特論			2
機械工学応用			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
精密加工学特論			2
計測工学特論			2
制御工学特論A			2
制御工学特論B			2
アドバンスト制御			2
材料工学特論			2
材料強度学特論			2
機械設計法特論			2
燃焼工学特論			2
機械工学ゼミナールⅠA			2
機械工学ゼミナールⅠB			2
機械工学ゼミナールⅡA			2
機械工学ゼミナールⅡB			2

### <電気・電子工学領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
通信用光回路工学			2
光導波工学			2
量子物性工学			2
電気エネルギー管理と制御			2
超伝導工学			2
電気エネルギー工学特論			2
集積回路工学			2
光デバイス工学			2
光伝送工学			2
先端電子デバイス工学			2
医用光学工学			2
ワイヤレス通信工学			2
情報工学Ⅰ			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
情報工学Ⅱ			2
半導体デバイス工学			2
先端超伝導応用			2
電力ネットワーク工学			2
センサネットワーク特論			2
情報ネットワーク特論 ※注1			2
情報理論特論 ※注1			2
電気・電子工学ゼミナールⅠA			2
電気・電子工学ゼミナールⅠB			2
電気・電子工学ゼミナールⅡA			2
電気・電子工学ゼミナールⅡB			2

※注1 情報学領域開講科目だが、電気・電子工学領域の自領域扱いとなる。詳細は p. 285～を参照。

＜応用化学領域＞

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
有機合成化学特論（立体選択的合成）			2
高分子合成特論			2
応用化学特論			2
電離気体反応論			2
環境化学特論			2
高分子解析特論			2
無機製造工学特論 ※注2			2
工業材料化学特論			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
有機合成化学特論（機器構造解析） ※注1			2
高分子物性特論			2
有機金属化学特論			2
電磁波化学特論			2
応用化学ゼミナールⅠA			2
応用化学ゼミナールⅠB			2
応用化学ゼミナールⅡA			2
応用化学ゼミナールⅡB			2

※注1 2016年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2017年度以降開講科目名 ※（ ）内は単位数	2016年度以前開講科目名 ※（ ）内は単位数
有機合成化学特論（機器構造解析）（2）	有機合成化学特論（触媒有機合成）（2）

※注2 グリーンサイエンス・エンジニアリング領域との同内容科目（重複履修不可）

応用化学領域科目名 ※（ ）内は単位数	グリーンサイエンス・エンジニアリング領域科目名 ※（ ）内は単位数
無機製造工学特論（2）	Advanced Materials（2）

＜化学領域＞

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
物理化学特論（構造化学）			2
物理化学特論（理論化学） ※注2			2
物理化学特論（環境科学） ※注1			2
分析化学特論（電気化学分析）			2
有機化学特論（医薬品設計・合成化学）			2
無機化学特論（地球化学）			2
有機化学特論（有機化学演習）			2
分析化学特論（超分子化学）			2

※注1 2015年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
分析化学特論（先端分析化学）			2
無機化学特論（同位体・放射化学）			2
無機化学特論（錯体化学）			2
有機化学特論（天然物化学）			2
化学ゼミナールⅠA			2
化学ゼミナールⅠB			2
化学ゼミナールⅡA			2
化学ゼミナールⅡB			2

2016年度以降開講科目名 ※（ ）内は単位数	2015年度以前開講科目名 ※（ ）内は単位数
物理化学特論（環境科学）（2）	物理化学特論（環境科学A）（2）

※注2 グリーンサイエンス・エンジニアリング領域との同内容科目（重複履修不可）

化学領域科目名 ※（ ）内は単位数	グリーンサイエンス・エンジニアリング領域科目名 ※（ ）内は単位数
物理化学特論（理論化学）（2）	Theoretical Chemistry（2）
分析化学特論（超分子化学）（2）	Environmental Analytical Chemistry（2）

＜数学領域＞

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
代数学特論 I			2
代数学特論 II			2
代数学特論 III			2
代数学特論 IV			2
幾何学特論 I			2
幾何学特論 II			2
幾何学特論 III			2
幾何学特論 IV			2
解析学特論 I			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
解析学特論 II			2
解析学特論 III			2
解析学特論 IV			2
計算数学特論			2
数学ゼミナール I A			2
数学ゼミナール I B			2
数学ゼミナール II A			2
数学ゼミナール II B			2

＜物理学領域＞

科目名	単位数	
	必修	選択
光物性		2
物性物理 A		2
物性物理 B		2
物性物理 C		2
量子多体問題		2
デバイスの物理 ※注2		2
低温物性		2
実験物理特論 A		2
実験物理特論 B		2
原子・分子 A		2
原子・分子 B		2

科目名	単位数	
	必修	選択
放射光原子分子科学 ※注1		2
物理汎論 A		2
物理汎論 B		2
物理汎論 C		2
相転移の物理 ※注3		2
理論物理特論 ※注3		2
原子過程科学		2
物理学ゼミナール I A		2
物理学ゼミナール I B		2
物理学ゼミナール II A		2
物理学ゼミナール II B		2

※注1 2016年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2017年度以降開講科目名 ※ ( ) 内は単位数	2016年度以前開講科目名 ※ ( ) 内は単位数
放射光原子分子科学 (2)	放射光科学 (2)

※注2 2015年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2016年度以降開講科目名 ※ ( ) 内は単位数	2015年度以前開講科目名 ※ ( ) 内は単位数
デバイスの物理 (2)	ナノスケールの物理 (2)

※注3 2014年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2015年度以降開講科目名 ※ ( ) 内は単位数	2014年度以前開講科目名 ※ ( ) 内は単位数
相転移の物理 (2)	計算物理 (2)
理論物理特論 (2)	理論物理特論 A (2)

### <生物科学領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
分子進化学特論			2
生体運動特論			2
細胞神経科学特論			2
環境適応の生物学			2
細胞内情報伝達論			2
植物分子応答学特論			2
脳生理学特論			2
神経発生学特論			2
分子生物学特論			2
発生生物学特論			2
バイオインフォマティクス			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
ゲノム細胞生物学			2
創薬インフォマティクス			2
環境分子生物学特論			2
植物機能科学特論			2
生物物理特論			2
放射線生物学			2
微生物生態学特論			2
生物科学ゼミナール I A			2
生物科学ゼミナール I B			2
生物科学ゼミナール II A			2
生物科学ゼミナール II B			2

### <情報学領域>

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
システム工学特論			2
シミュレーション工学特論			2
数理最適化特論			2
経営情報分析特論			2
ソフトウェア特論			2
教育情報工学特論			2
音声・音響・聴覚情報処理			2
コンピュータグラフィックスとバーチャル・リアリティ			2
医用画像工学			2
センシングシステム工学			2
脳ネットワーク特論			2
人工知能特論			2
パターン認識特論			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
脳神経可塑性			2
情報メディアコミュニケーション学			2
情報理論特論			2
情報科学特論			2
情報ネットワーク特論			2
ワイヤレス通信工学 ※注1			2
センサネットワーク特論 ※注1			2
データサイエンス特論			2
情報学ゼミナール I A			2
情報学ゼミナール I B			2
情報学ゼミナール II A			2
情報学ゼミナール II B			2

※注1 電気・電子工学領域開講科目だが、情報学領域の自領域扱いとなる。詳細は p. 278～を参照。

＜グリーンサイエンス・エンジニアリング領域＞

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
Green Science and Engineering 1			2
Green Science and Engineering 2			2
Green Science and Engineering 3			2
Green Science and Engineering 4			2
Artificial Intelligence			2
Advanced Mechanical Engineering 1			2
Advanced Mechanical Engineering 2			2
Advanced Electrical and Electronics Engineering 1			2
Advanced Electrical and Electronics Engineering 2			2
Environmental Chemistry			2
Advanced Materials ※注1			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
Theoretical Chemistry ※注1			2
Environmental Analytical Chemistry ※注1			2
Differential Equations for Natural Phenomena			2
Statistical Data Analysis			2
Environmental Atomic and Molecular Physics			2
Cosmonuclear Science			2
Environmental Basic Biology			2
Environmental Life Science			2
Computer Science			2
Applied Computer Science			2

※注1 各領域との同内容科目（重複履修不可）

グリーンサイエンス・エンジニアリング領域開講科目名 ※	各領域開講科目名 ※（ ）内は単位数	備考
Advanced Materials (2)	無機製造工学特論 (2)	応用化学領域
Theoretical Chemistry (2)	物理化学特論（理論化学） (2)	化学領域
Environmental Analytical Chemistry (2)	分析化学特論（超分子化学） (2)	化学領域

注2) 2016年度以前開講の科目名変更（重複履修不可）

2017年度以降開講科目名 ※（ ）内は単位数	2016年度以前開講科目名 ※（ ）内は単位数
Artificial Intelligence (2)	Introduction To Artificial Intelligence (2)



### 3. 履修上の注意

1) 30 単位以上を修得し、修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に修士の学位を授与する。単位の  
内訳については、以下のとおりとする。

- ・選択必修 2 単位
- ・選択 28 単位

ただし、選択 28 単位については、以下のとおりとする。

①自領域の科目を 18 単位

②他領域（自領域以外の領域）および理工共通領域から 4 単位（理工基本領域は除く）

③自領域、他領域、理工基本領域、理工共通領域から 6 単位

- ・「大学院演習（選択必修）」を、2 単位を超えて修得した場合は、③の 6 単位に含めることができる。

原則として履修すること。

- ・指導教員が認める「他研究科の授業科目（上限 8 単位）」（p. 11 参照）については、①の 18 単位に含めることができる。

- ・大学院演習および各領域のゼミナールは原則として I A, I B, II A, II B の順に履修すること。

- ・指導教員の担当科目に限り、所定の手続きを経て他領域の各ゼミナールを自領域科目扱いとすることができる。

手続きの詳細は専攻事務室に問い合わせること。

④委託聴講科目の取り扱いは次のとおりとする。

領域	修了要件に 算入できる 単位数	備考
機械工学領域	10	自研究科他領域科目算入可
電気・電子工学領域	4	自研究科他領域科目算入可
応用化学領域	4	自研究科他領域科目算入可
化学領域	4	自研究科自領域科目算入可
数学領域	10	数学連絡協議会科目は 自研究科自領域科目算入可
		その他の委託聴講科目は 自研究科他領域科目算入可
物理学領域	10	自研究科他領域科目算入可
生物科学領域	10	自研究科他領域科目算入可
情報学領域	10	自研究科他領域科目算入可
グリーンサイエンス・エンジニアリング領域	10	自研究科自領域科目算入可

※なお、修了要件に算入できる単位数は、入学前単位認定（先取り履修を含む）、委託聴講による修得単位、留学による単位認定等の合計 10 単位を上限とする。

2) 「研究指導（必修）」は、在学中毎学期受けること。なお、2017 年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。

## 【各入学年次共通】

### 4. 開講科目一覧表

#### <理工基本領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	備考
MSCT3041	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	築地徹浩	機械工学	注1
MSCT3042	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3043	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3044	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3051	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	曄道佳明	機械工学	注1
MSCT3052	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3053	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3054	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3061	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	末益博志	機械工学	注1
MSCT3062	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3063	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3064	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3071	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	鈴木隆	機械工学	注1
MSCT3072	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3073	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3074	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3081	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	申鉄龍	機械工学	注1
MSCT3082	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3083	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3084	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3091	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	長嶋利夫	機械工学	注1
MSCT3092	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3093	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3094	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3101	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	坂本治久	機械工学	注1
MSCT3102	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3103	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3104	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3111	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	高井健一	機械工学	注1
MSCT3112	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3113	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3114	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3121	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	久森紀之	機械工学	注1
MSCT3122	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3123	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3124	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3131	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	鈴木啓史	機械工学	注1
MSCT3132	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3133	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3134	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3851	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	渡邊摩理子	機械工学	注1
MSCT3852	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3853	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3854	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	備考
MSCT3951	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	一柳満久	機械工学	注1
MSCT3952	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3953	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3954	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3971	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	竹原昭一郎	機械工学	注1
MSCT3972	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3973	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3974	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3361	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	DZIEMIŃSKA, Edyta	機械工学	
MSCT3362	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3363	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3364	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3011	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	田中秀岳	機械工学	
MSCT3012	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3013	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3014	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3151	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	岸野克巳	電気・電子工学	注1
MSCT3152	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3153	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3154	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3861	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	菊池昭彦	電気・電子工学	注1
MSCT3862	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3863	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3864	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3871	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	野村一郎	電気・電子工学	注1
MSCT3872	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3873	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3874	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3161	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	下村和彦	電気・電子工学	
MSCT3162	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3163	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3164	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3171	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	高尾・中村	電気・電子工学	注1
MSCT3172	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3173	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3174	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3891	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	坂本織江	電気・電子工学	注1
MSCT3892	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3893	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3894	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3181	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	宮武昌史	電気・電子工学	注1
MSCT3182	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3183	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3184	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	備考
MSCT3191	春	大学院演習 I A	SCT501	1	谷 貝 剛	電気・電子工学	注1
MSCT3192	秋	大学院演習 I B	SCT502	1			注1
MSCT3193	春	大学院演習 II A	SCT601	1			注1
MSCT3194	秋	大学院演習 II B	SCT602	1			注1
MSCT3201	春	大学院演習 I A	SCT501	1	中 岡 俊 裕	電気・電子工学	注1
MSCT3202	秋	大学院演習 I B	SCT502	1			
MSCT3203	春	大学院演習 II A	SCT601	1			注1
MSCT3204	秋	大学院演習 II B	SCT602	1			
MSCT3701	春	大学院演習 I A	SCT501	1	藤 井 麻美子	電気・電子工学	
MSCT3702	秋	大学院演習 I B	SCT502	1			
MSCT3703	休講	大学院演習 II A	SCT601	1			
MSCT3704	休講	大学院演習 II B	SCT602	1			
MSCT3821	春	大学院演習 I A	SCT501	1	小 川 将 克	電気・電子工学	注1
MSCT3822	秋	大学院演習 I B	SCT502	1			注1
MSCT3823	春	大学院演習 II A	SCT601	1			注1
MSCT3824	秋	大学院演習 II B	SCT602	1			注1
MSCT3881	春	大学院演習 I A	SCT501	1	林 等	電気・電子工学	注1
MSCT3882	秋	大学院演習 I B	SCT502	1			注1
MSCT3883	春	大学院演習 II A	SCT601	1			注1
MSCT3884	秋	大学院演習 II B	SCT602	1			注1
MSCT3981	春	大学院演習 I A	SCT501	1	高 橋 浩	電気・電子工学	注1
MSCT3982	秋	大学院演習 I B	SCT502	1			注1
MSCT3983	春	大学院演習 II A	SCT601	1			注1
MSCT3984	秋	大学院演習 II B	SCT602	1			注1
MSCT3211	春	大学院演習 I A	SCT501	1	有機合成化学グループ ( 鈴木 ( 教 ) )	応用化学	注1
MSCT3212	秋	大学院演習 I B	SCT502	1			注1
MSCT3213	春	大学院演習 II A	SCT601	1			注1
MSCT3214	秋	大学院演習 II B	SCT602	1			注1
MSCT3221	春	大学院演習 I A	SCT501	1	高分子化学グループ ( 陸川・竹岡・藤田 )	応用化学	注1
MSCT3222	秋	大学院演習 I B	SCT502	1			注1
MSCT3223	春	大学院演習 II A	SCT601	1			注1
MSCT3224	秋	大学院演習 II B	SCT602	1			注1
MSCT3231	春	大学院演習 I A	SCT501	1	無機工業化学グループ ( 板谷・内田 )	応用化学	注1
MSCT3232	秋	大学院演習 I B	SCT502	1			注1
MSCT3233	春	大学院演習 II A	SCT601	1			注1
MSCT3234	秋	大学院演習 II B	SCT602	1			注1
MSCT3241	春	大学院演習 I A	SCT501	1	工業物理化学グループ ( 高橋・田中 ( 邦 ) )	応用化学	注1
MSCT3242	秋	大学院演習 I B	SCT502	1			注1
MSCT3243	春	大学院演習 II A	SCT601	1			注1
MSCT3244	秋	大学院演習 II B	SCT602	1			注1
MSCT3901	春	大学院演習 I A	SCT501	1	環境化学工学グループ ( 堀 越 )	応用化学	注1
MSCT3902	秋	大学院演習 I B	SCT502	1			注1
MSCT3903	春	大学院演習 II A	SCT601	1			注1
MSCT3904	秋	大学院演習 II B	SCT602	1			注1
MSCT3251	春	大学院演習 I A	SCT501	1	無機化学グループ ( 木 川 田 )	化学	注1
MSCT3252	秋	大学院演習 I B	SCT502	1			注1
MSCT3253	春	大学院演習 II A	SCT601	1			注1
MSCT3254	秋	大学院演習 II B	SCT602	1			注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	備考
MSCT3261	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	理論分子設計・ 物理化学グループ (南部・久世・ DANIELACHE)	化学	注1
MSCT3262	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3263	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3264	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3271	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	錯体化学グループ (長尾)	化学	注1
MSCT3272	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3273	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3274	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3281	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	分析化学グループ (早下・遠藤・橋本)	化学	注1
MSCT3282	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3283	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3284	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3301	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	有機化学グループ (白杵)	化学	注1
MSCT3302	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3303	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3304	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3911	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	有機化学グループ (鈴木(由))	化学	注1
MSCT3912	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3913	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3914	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3921	休講	大学院演習ⅠA	SCT501	1	大城佳奈子	数学	
MSCT3922	休講	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3923	休講	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3924	休講	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3321	休講	大学院演習ⅠA	SCT501	1	辻元	数学	
MSCT3322	休講	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3323	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3324	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3331	休講	大学院演習ⅠA	SCT501	1	中島俊樹	数学	
MSCT3332	休講	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3333	休講	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3334	休講	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3931	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	中筋麻貴	数学	
MSCT3932	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3933	休講	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3934	休講	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3831	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	加藤剛	数学	注1
MSCT3832	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3833	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3834	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3371	休講	大学院演習ⅠA	SCT501	1	角皆宏	数学	
MSCT3372	休講	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3373	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3374	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3381	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	都築正男	数学	注1
MSCT3382	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3383	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3384	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	備考
MSCT3391	休講	大学院演習ⅠA	SCT501	1	平田均	数学	
MSCT3392	休講	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3393	休講	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3394	休講	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3401	休講	大学院演習ⅠA	SCT501	1	五味靖	数学	
MSCT3402	休講	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3403	休講	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3404	休講	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3411	休講	大学院演習ⅠA	SCT501	1	後藤聡史	数学	
MSCT3412	休講	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3413	休講	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3414	休講	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3431	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	化学物理グループ (東)	物理学	注1
MSCT3432	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3433	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3434	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3441	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	電子物性グループ (星野)	物理学	注1
MSCT3442	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3443	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3444	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3451	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	固体物理グループ (黒江)	物理学	注1
MSCT3452	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3453	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3454	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3461	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	凝縮系物理グループ (高柳(和))	物理学	注1
MSCT3462	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3463	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3464	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3471	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	光物理グループ (江馬・樺田)	物理学	注1
MSCT3472	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3473	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3474	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3481	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	物性理論グループ (大槻)	物理学	
MSCT3482	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3483	休講	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3484	休講	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3491	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	薄膜グループ (坂間)	物理学	注1
MSCT3492	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3493	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3494	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3501	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	低温物理グループ (後藤(貴))	物理学	注1
MSCT3502	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3503	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3504	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3511	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	物質科学グループ (桑原)	物理学	
MSCT3512	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3513	休講	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3514	休講	大学院演習ⅡB	SCT602	1			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	備考
MSCT3521	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	原子物理グループ (岡田(邦))	物理学	
MSCT3522	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3523	休講	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3524	休講	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3531	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	ハドロン物理学グループ (平野)	物理学	注1
MSCT3532	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3533	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3534	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3841	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	原子分子分光グループ (小田切)	物理学	注1
MSCT3842	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3843	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3844	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3941	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	低温・超伝導物性グループ (足立)	物理学	
MSCT3942	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3943	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3944	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3541	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	笹川展幸	生物科学	注1
MSCT3542	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3543	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3544	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3551	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	林謙介	生物科学	注1
MSCT3552	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3553	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3554	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3561	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	安増茂樹	生物科学	注1
MSCT3562	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3563	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3564	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3581	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	千葉篤彦	生物科学	注1
MSCT3582	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3583	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3584	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3591	休講	大学院演習ⅠA	SCT501	1	小林健一郎	生物科学	
MSCT3592	休講	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3593	休講	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3594	休講	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT4001	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	鈴木伸洋	生物科学	注1
MSCT4002	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT4003	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT4004	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3611	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	神澤信行	生物科学	注1
MSCT3612	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3613	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3614	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3621	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	齊藤玉緒	生物科学	注1
MSCT3622	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3623	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3624	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	備考
MSCT3631	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	藤原 誠	生物科学	
MSCT3632	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3633	休講	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3634	休講	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3811	休講	大学院演習ⅠA	SCT501	1	新倉 貴子	生物科学	
MSCT3812	休講	大学院演習ⅠB	SCT502	1			
MSCT3813	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			
MSCT3814	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			
MSCT3641	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	近藤 次郎	生物科学	注1
MSCT3642	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3643	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3644	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3801	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	川口 眞理	生物科学	注1
MSCT3802	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3803	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3804	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3651	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	荒井 隆行	情報学	注1
MSCT3652	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3653	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3654	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3661	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	川端 亮	情報学	注1
MSCT3662	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3663	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3664	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3711	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	伊呂原 隆	情報学	注1
MSCT3712	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3713	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3714	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3671	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	川中 彰	情報学	注1
MSCT3672	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3673	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3674	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3681	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	田中 昌司	情報学	注1
MSCT3682	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3683	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3684	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3761	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	澁谷 智治	情報学	注1
MSCT3762	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3763	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3764	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3721	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	炭 親良	情報学	注1
MSCT3722	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3723	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3724	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3771	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	高岡 詠子	情報学	注1
MSCT3772	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3773	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3774	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1



登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	領域	備考
MSCT3731	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	田村 恭久	情報学	注1
MSCT3732	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3733	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3734	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3961	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	ゴンサルベス タッド	情報学	注1
MSCT3962	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3963	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3964	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3781	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	萬代 雅希	情報学	注1
MSCT3782	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3783	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3784	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3791	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	宮本 裕一郎	情報学	注1
MSCT3792	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3793	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3794	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3751	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	矢入 郁子	情報学	注1
MSCT3752	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3753	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3754	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT3741	春	大学院演習ⅠA	SCT501	1	山中 高夫	情報学	注1
MSCT3742	秋	大学院演習ⅠB	SCT502	1			注1
MSCT3743	春	大学院演習ⅡA	SCT601	1			注1
MSCT3744	秋	大学院演習ⅡB	SCT602	1			注1
MSCT7025	春	科学技術英語A	SCT702	2	DZIEMINSKA, Edyta	注2	
MSCT7045	秋	科学技術英語B	SCT704	2	TRIHAN, Fabien		
MSCT9000	秋	修士論文	SCT899	0	理工学専攻各指導教員		

注1) 同教員の「大学院演習ⅠA」と「大学院演習ⅡA」は合併。

同教員の「大学院演習ⅠB」と「大学院演習ⅡB」は合併。

注2) 2014年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2015年度以降開講科目名 ※ ( ) 内は単位数	2014年度以前開講科目名 ※ ( ) 内は単位数
科学技術英語A (2)	科学技術英語Ⅱ (1) (2)

<理工共通領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 * : 非常勤教員	備考
MSCT7130	春	経済数学特論 I	MTH741	2	*坂本純一	
MSCT7270	春	マイクロ・スマートグリッド	EEE730	2	MUSTI, Sasty	注1
MSCT7140	秋	経済数学特論 II	MTH742	2	*坂本純一	
MSCT7100	秋	物理学序論	PHY722	2	物理学領域教員	輪講
MSCT7260	春	有機化学特論 (先端有機化学演習)	CHN714	2	SHING, Tony	注1

注1) 海外招聘客員教員担当科目 (講義は全て英語で行う)

<機械工学領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSME1461	春	機械工学ゼミナール I A	MEC511	2	渡邊摩理子	注1
MSME1472	秋	機械工学ゼミナール I B	MEC512	2		注1
MSME2463	春	機械工学ゼミナール II A	MEC611	2		注1
MSME2474	秋	機械工学ゼミナール II B	MEC612	2		注1
MSME1441	春	機械工学ゼミナール I A	MEC511	2	一柳満久	注1
MSME1452	秋	機械工学ゼミナール I B	MEC512	2		注1
MSME2443	春	機械工学ゼミナール II A	MEC611	2		注1
MSME2454	秋	機械工学ゼミナール II B	MEC612	2		注1
MSME1201	春	機械工学ゼミナール I A	MEC511	2	鈴木啓史	注1
MSME1212	秋	機械工学ゼミナール I B	MEC512	2		注1
MSME2203	春	機械工学ゼミナール II A	MEC611	2		注1
MSME2214	秋	機械工学ゼミナール II B	MEC612	2		注1
MSME1261	春	機械工学ゼミナール I A	MEC511	2	築地徹浩	注1
MSME1272	秋	機械工学ゼミナール I B	MEC512	2		注1
MSME2263	春	機械工学ゼミナール II A	MEC611	2		注1
MSME2274	秋	機械工学ゼミナール II B	MEC612	2		注1
MSME1281	春	機械工学ゼミナール I A	MEC511	2	曄道佳明	注1
MSME1292	秋	機械工学ゼミナール I B	MEC512	2		注1
MSME2283	春	機械工学ゼミナール II A	MEC611	2		注1
MSME2294	秋	機械工学ゼミナール II B	MEC612	2		注1
MSME1301	春	機械工学ゼミナール I A	MEC511	2	末益博志	注1
MSME1312	秋	機械工学ゼミナール I B	MEC512	2		注1
MSME2303	春	機械工学ゼミナール II A	MEC611	2		注1
MSME2314	秋	機械工学ゼミナール II B	MEC612	2		注1
MSME1321	春	機械工学ゼミナール I A	MEC511	2	鈴木隆	注1
MSME1332	秋	機械工学ゼミナール I B	MEC512	2		注1
MSME2323	春	機械工学ゼミナール II A	MEC611	2		注1
MSME2334	秋	機械工学ゼミナール II B	MEC612	2		注1
MSME1341	春	機械工学ゼミナール I A	MEC511	2	申鉄龍	注1
MSME1352	秋	機械工学ゼミナール I B	MEC512	2		注1
MSME2343	春	機械工学ゼミナール II A	MEC611	2		注1
MSME2354	秋	機械工学ゼミナール II B	MEC612	2		注1
MSME1361	春	機械工学ゼミナール I A	MEC511	2	長嶋利夫	注1
MSME1372	秋	機械工学ゼミナール I B	MEC512	2		注1
MSME2363	春	機械工学ゼミナール II A	MEC611	2		注1
MSME2374	秋	機械工学ゼミナール II B	MEC612	2		注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSME1381	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC511	2	坂本 治久	注1
MSME1392	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC512	2		注1
MSME2383	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC611	2		注1
MSME2394	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC612	2		注1
MSME1401	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC511	2	高井 健一	注1
MSME1412	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC512	2		注1
MSME2403	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC611	2		注1
MSME2414	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC612	2		注1
MSME1421	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC511	2	久森 紀之	注1
MSME1432	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC512	2		注1
MSME2423	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC611	2		注1
MSME2434	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC612	2		注1
MSME1481	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC511	2	竹原 昭一郎	注1
MSME1492	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC512	2		注1
MSME2483	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC611	2		注1
MSME2494	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC612	2		注1
MSME1501	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC511	2	DZIEMIŃSKA, Edyta	
MSME1512	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC512	2		
MSME2503	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC611	2		
MSME2514	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC612	2		
MSME1521	春	機械工学ゼミナールⅠA	MEC511	2	田中 秀岳	
MSME1532	秋	機械工学ゼミナールⅠB	MEC512	2		
MSME2523	春	機械工学ゼミナールⅡA	MEC611	2		
MSME2534	秋	機械工学ゼミナールⅡB	MEC612	2		
MSME7020	春	構造力学特論	MEC702	2	* 青木 隆平	
MSME7040	春	機械力学特論	MEC704	2	竹原 昭一郎	
MSME7080	秋	伝熱工学特論	MEC708	2	一柳 満久	
MSME7100	春	流体工学特論A	MEC710	2	築地 徹浩	
MSME7170	春	制御工学特論B	MEC717	2	申 鉄龍	
MSME7190	春	材料工学特論	MEC719	2	高井 健一	
MSME7200	春	材料強度学特論	MEC720	2	鈴木 啓史	
MSME7210	春	機械設計法特論	MEC721	2	* 飯野 謙次	
MSME7010	春	材料力学特論	MEC701	2	末益 博志	
MSME7030	春	固体力学特論	MEC703	2	長嶋 利夫	
MSME7050	秋	マルチボディ・ダイナミクス	MEC705	2	竹原 昭一郎	
MSME7070	秋	熱エネルギー変換工学特論	MEC707	2	鈴木 隆	
MSME7140	春	精密加工学特論	MEC714	2	坂本 治久	
MSME7150	秋	計測工学特論	MEC715	2	田中 秀岳	
MSME7180	秋	アドバンスト制御	MEC718	2	申 鉄龍	
MSME7110	秋	流体工学特論B	MEC711	2	築地 徹浩	
MSME7160	秋	制御工学特論A	MEC716	2	武藤 康彦	
MSME7220	秋	環境材料学	MEC722	2	久森 紀之	
MSME7120	秋	流体エネルギー変換工学特論	MEC712	2	渡邊 摩理子	
MSME7090	春	燃焼工学特論	MEC709	2	鈴木 隆	
MSME7230	春	機械工学応用	MEC723	2	DZIEMIŃSKA, Edyta	※夏期集中(海外短期研修)

注1) 同教員の「機械工学ゼミナールⅠA」と「機械工学ゼミナールⅡA」は合併。

同教員の「機械工学ゼミナールⅠB」と「機械工学ゼミナールⅡB」は合併。

※ この科目は海外短期研修プログラムである。日程・内容・手続き等詳細は機械工学領域主任に確認すること。

なお、Loyolaでの履修登録はできない。

＜電気・電子工学領域＞

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSEE1051	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE511	2	岸野克巳	注1
MSEE1062	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE512	2		注1
MSEE2053	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE611	2		注1
MSEE2064	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE612	2		注1
MSEE1211	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE511	2	菊池昭彦	注1
MSEE1222	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE512	2		注1
MSEE2213	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE611	2		注1
MSEE2224	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE612	2		注1
MSEE1231	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE511	2	野村一郎	注1
MSEE1242	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE512	2		注1
MSEE2233	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE611	2		注1
MSEE2244	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE612	2		注1
MSEE1071	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE511	2	下村和彦	注1
MSEE1082	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE512	2		注1
MSEE2073	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE611	2		注1
MSEE2084	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE612	2		注1
MSEE1091	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE511	2	高尾・中村	注1
MSEE1102	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE512	2		注1
MSEE2093	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE611	2		注1
MSEE2104	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE612	2		注1
MSEE1271	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE511	2	坂本織江	注1
MSEE1282	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE512	2		注1
MSEE2273	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE611	2		注1
MSEE2284	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE612	2		注1
MSEE1111	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE511	2	宮武昌史	注1
MSEE1122	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE512	2		注1
MSEE2113	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE611	2		注1
MSEE2124	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE612	2		注1
MSEE1131	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE511	2	谷貝剛	注1
MSEE1142	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE512	2		注1
MSEE2133	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE611	2		注1
MSEE2144	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE612	2		注1
MSEE1151	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE511	2	中岡俊裕	注1
MSEE1162	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE512	2		注1
MSEE2153	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE611	2		注1
MSEE2164	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE612	2		注1
MSEE1171	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE511	2	藤井麻美子	注1
MSEE1182	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE512	2		注1
MSEE2173	休講	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE611	2		注1
MSEE2184	休講	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE612	2		注1
MSEE1191	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE511	2	小川将克	注1
MSEE1202	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE512	2		注1
MSEE2193	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE611	2		注1
MSEE2204	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE612	2		注1
MSEE1251	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE511	2	林等	注1
MSEE1262	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE512	2		注1
MSEE2253	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE611	2		注1
MSEE2264	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE612	2		注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSEE1291	春	電気・電子工学ゼミナールⅠA	EEE511	2	高橋 浩	注1
MSEE1302	秋	電気・電子工学ゼミナールⅠB	EEE512	2		注1
MSEE2293	春	電気・電子工学ゼミナールⅡA	EEE611	2		注1
MSEE2304	秋	電気・電子工学ゼミナールⅡB	EEE612	2		注1
MSEE7230	春	電気エネルギー管理と制御	EEE723	2	宮 武 昌 史	
MSEE7080	春	光デバイス工学	EEE708	2	菊池 昭彦	
MSEE7090	秋	光伝送工学	EEE709	2	岸野 克巳	
MSEE7100	春	医用光工学	EEE710	2	藤井 麻美子	
MSEE7200	春	ワイヤレス通信工学	EEE720	2	小川 将克	
MSEE7211	秋	電力ネットワーク工学	EEE721	2	坂本 織江	
MSEE7120	春	情報工学Ⅰ	EEE712	2	*中山 泰一	
MSEE7140	春	半導体デバイス工学	EEE714	2	*伊藤 敏洋	
MSEE7150	春	先端電子デバイス工学	EEE715	2	中岡 俊裕	
MSEE7170	春	超伝導工学	EEE717	2	高尾 智明	
MSEE7020	秋	光導波工学	EEE702	2	下村 和彦	
MSEE7240	秋	通信用光回路工学	EEE724	2	高橋 浩	
MSEE7030	秋	量子物性工学	EEE703	2	野村 一郎	
MSEE7060	秋	電気エネルギー工学特論	EEE706	2	中村 一也	
MSEE7070	秋	集積回路工学	EEE707	2	和保 孝夫	
MSEE7130	秋	情報工学Ⅱ	EEE713	2	*松浦 幹太	
MSEE7180	秋	先端超伝導応用	EEE718	2	谷 貝 剛	
MSEE7220	春	センサネットワーク特論	EEE722	2	林 等	

注1) 同教員の「電気・電子工学ゼミナールⅠA」と「電気・電子工学ゼミナールⅡA」は合併。

同教員の「電気・電子工学ゼミナールⅠB」と「電気・電子工学ゼミナールⅡB」は合併。

### <応用化学領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSAC1031	春	応用化学ゼミナールⅠA	ACH511	2	有機合成化学グループ (鈴木(教))	注1
MSAC1042	秋	応用化学ゼミナールⅠB	ACH512	2		注1
MSAC2033	春	応用化学ゼミナールⅡA	ACH611	2		注1
MSAC2044	秋	応用化学ゼミナールⅡB	ACH612	2		注1
MSAC1051	春	応用化学ゼミナールⅠA	ACH511	2	高分子化学グループ (陸川・竹岡・藤田)	注1
MSAC1062	秋	応用化学ゼミナールⅠB	ACH512	2		注1
MSAC2053	春	応用化学ゼミナールⅡA	ACH611	2		注1
MSAC2064	秋	応用化学ゼミナールⅡB	ACH612	2		注1
MSAC1071	春	応用化学ゼミナールⅠA	ACH511	2	無機工業化学グループ (板谷・内田)	注1
MSAC1082	秋	応用化学ゼミナールⅠB	ACH512	2		注1
MSAC2073	春	応用化学ゼミナールⅡA	ACH611	2		注1
MSAC2084	秋	応用化学ゼミナールⅡB	ACH612	2		注1
MSAC1091	春	応用化学ゼミナールⅠA	ACH511	2	工業物理化学グループ (高橋・田中(邦))	注1
MSAC1102	秋	応用化学ゼミナールⅠB	ACH512	2		注1
MSAC2093	春	応用化学ゼミナールⅡA	ACH611	2		注1
MSAC2104	秋	応用化学ゼミナールⅡB	ACH612	2		注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSAC1111	春	応用化学ゼミナール I A	ACH511	2	環境化学工学グループ (堀越)	注1
MSAC1122	秋	応用化学ゼミナール I B	ACH512	2		注1
MSAC2113	春	応用化学ゼミナール II A	ACH611	2		注1
MSAC2124	秋	応用化学ゼミナール II B	ACH612	2		注1
MSAC7130	春	有機合成化学特論 (立体選択的合成)	ACH713	2	増山芳郎	
MSAC7140	春	環境化学特論	ACH714	2	高橋和夫	隔年開講
MSAC7070	春	無機製造工学特論	ACH707	2	板谷清司	注3, 隔年開講
MSAC7080	春	工業材料化学特論	ACH708	2	内田寛	
MSAC7100	休講	高分子物性特論	ACH710	2		
MSAC7160	秋	有機金属化学特論	ACH716	2	鈴木教之	
MSAC7020	秋	高分子合成特論	ACH702	2	竹岡裕子	
MSAC7170	休講	応用化学特論	ACH717	2		隔年開講
MSAC7040	秋	電離気体反応論	ACH704	2	田中邦翁	
MSAC7060	春	高分子解析特論	ACH706	2	藤田正博	夏期集中講義
MSAC7180	春	有機合成化学特論 (機器構造解析)	ACH715	2	陸川・鈴木 (教)	注2
MSAC7120	休講	電磁波化学特論	ACH712	2		隔年開講

注1) 同教員の「応用化学ゼミナール I A」と「応用化学ゼミナール II A」は合併。

同教員の「応用化学ゼミナール I B」と「応用化学ゼミナール II B」は合併。

注2) 2016年以前開講科目名変更 (重複履修不可)

2017年度以降開講科目名 ※ ( ) 内は単位数	2016年度以前開講科目名 ※ ( ) 内は単位数
有機合成化学特論 (機器構造解析) (2)	有機合成化学特論 (触媒的有機合成) (2)

注3) グリーンサイエンス・エンジニアリング領域との同内容科目 (重複履修不可)

応用化学領域科目名 ※ ( ) 内は単位数	グリーンサイエンス・エンジニアリング領域科目名 ※ ( ) 内は単位数
無機製造工学特論 (2)	Advanced Materials (2)

## <化学領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSCH1031	春	化学ゼミナール I A	CHM511	2	理論分子設計・ 物理化学グループ (南部・久世・DANIELACHE)	注1
MSCH1042	秋	化学ゼミナール I B	CHM512	2		注1
MSCH2033	春	化学ゼミナール II A	CHM611	2		注1
MSCH2044	秋	化学ゼミナール II B	CHM612	2		注1
MSCH1051	春	化学ゼミナール I A	CHM511	2	無機化学グループ (木川田)	注1
MSCH1062	秋	化学ゼミナール I B	CHM512	2		注1
MSCH2053	春	化学ゼミナール II A	CHM611	2		注1
MSCH2064	秋	化学ゼミナール II B	CHM612	2		注1
MSCH1071	春	化学ゼミナール I A	CHM511	2	錯体化学グループ (長尾)	注1
MSCH1082	秋	化学ゼミナール I B	CHM512	2		注1
MSCH2073	春	化学ゼミナール II A	CHM611	2		注1
MSCH2084	秋	化学ゼミナール II B	CHM612	2		注1
MSCH1091	春	化学ゼミナール I A	CHM511	2	分析化学グループ (早下・遠藤・橋本)	注1
MSCH1102	秋	化学ゼミナール I B	CHM512	2		注1
MSCH2093	春	化学ゼミナール II A	CHM611	2		注1
MSCH2104	秋	化学ゼミナール II B	CHM612	2		注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSCH1131	春	化学ゼミナール I A	CHM511	2	有機化学グループ (白杵)	注1
MSCH1142	秋	化学ゼミナール I B	CHM512	2		注1
MSCH2133	春	化学ゼミナール II A	CHM611	2		注1
MSCH2144	秋	化学ゼミナール II B	CHM612	2		注1
MSCH1151	春	化学ゼミナール I A	CHM511	2	有機化学グループ (鈴木(由))	注1
MSCH1162	秋	化学ゼミナール I B	CHM512	2		注1
MSCH2153	春	化学ゼミナール II A	CHM611	2		注1
MSCH2164	秋	化学ゼミナール II B	CHM612	2		注1
MSCH7010	春	物理化学特論 (構造化学)	CHM701	2	久 世 信 彦	
MSCH7021	秋	分析化学特論 (電気化学分析)	CHM702	2	遠 藤 明	
MSCH7031	春	有機化学特論 (医薬品設計・合成化学)	CHM703	2	鈴 木 由 美 子	
MSCH7040	春	無機化学特論 (地球化学)	CHM704	2	木 川 田 喜 一	
MSCH7055	休講	有機化学特論 (有機化学演習)	CHM705	2		
MSCH7061	春	分析化学特論 (超分子化学)	CHM706	2	早 下 隆 士	注3 隔年開講
MSCH7070	秋	分析化学特論 (先端分析化学)	CHM707	2	橋 本 剛	
MSCH7080	秋	無機化学特論 (同位体・放射化学)	CHM708	2	大 井 隆 夫	
MSCH7090	秋	無機化学特論 (錯体化学)	CHM709	2	長 尾 宏 隆	
MSCH7101	秋	有機化学特論 (天然物化学)	CHM710	2	白 杵 豊 展	
MSCH7110	休講	物理化学特論 (理論化学)	CHM711	2		注3 隔年開講
MSCH7120	秋	物理化学特論 (環境科学)	CHM712	2	DANIELACHE, Sebastian	注2

注1) 同教員の「化学ゼミナール I A」と「化学ゼミナール II A」は合併。

同教員の「化学ゼミナール I B」と「化学ゼミナール II B」は合併。

注2) 2015年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2016年度以降開講科目名 ※ ( ) 内は単位数	2015年度以前開講科目名 ※ ( ) 内は単位数
物理化学特論 (環境科学) (2)	物理化学特論 (環境科学A) (2)

注3) グリーンサイエンス・エンジニアリング領域との同内容科目 (重複履修不可)

化学領域科目名 ※ ( ) 内は単位数	グリーンサイエンス・エンジニアリング領域科目名 ※ ( ) 内は単位数
物理化学特論 (理論化学) (2)	Theoretical Chemistry (2)
分析化学特論 (超分子化学) (2)	Environmental Analytical Chemistry (2)

### <数学領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSMT1291	休講	数学ゼミナール I A	MTH511	2	大 城 佳 奈 子	
MSMT1302	休講	数学ゼミナール I B	MTH512	2		
MSMT2293	休講	数学ゼミナール II A	MTH611	2		
MSMT2304	休講	数学ゼミナール II B	MTH612	2		
MSMT1071	休講	数学ゼミナール I A	MTH511	2	辻 元	
MSMT1082	休講	数学ゼミナール I B	MTH512	2		
MSMT2073	春	数学ゼミナール II A	MTH611	2		
MSMT2084	秋	数学ゼミナール II B	MTH612	2		
MSMT1311	春	数学ゼミナール I A	MTH511	2	中 筋 麻 貴	
MSMT1322	秋	数学ゼミナール I B	MTH512	2		
MSMT2313	休講	数学ゼミナール II A	MTH611	2		
MSMT2324	休講	数学ゼミナール II B	MTH612	2		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSMT1111	休講	数学ゼミナール I A	MTH511	2	中 島 俊 樹	
MSMT1122	休講	数学ゼミナール I B	MTH512	2		
MSMT2113	休講	数学ゼミナール II A	MTH611	2		
MSMT2124	休講	数学ゼミナール II B	MTH612	2		
MSMT1131	休講	数学ゼミナール I A	MTH511	2	角 皆 宏	
MSMT1142	休講	数学ゼミナール I B	MTH512	2		
MSMT2133	春	数学ゼミナール II A	MTH611	2		
MSMT2144	秋	数学ゼミナール II B	MTH612	2		
MSMT1151	春	数学ゼミナール I A	MTH511	2	都 築 正 男	注1
MSMT1162	秋	数学ゼミナール I B	MTH512	2		注1
MSMT2153	春	数学ゼミナール II A	MTH611	2		注1
MSMT2164	秋	数学ゼミナール II B	MTH612	2		注1
MSMT1191	休講	数学ゼミナール I A	MTH511	2	平 田 均	
MSMT1202	休講	数学ゼミナール I B	MTH512	2		
MSMT2193	休講	数学ゼミナール II A	MTH611	2		
MSMT2204	休講	数学ゼミナール II B	MTH612	2		
MSMT1211	休講	数学ゼミナール I A	MTH511	2	五 味 靖	
MSMT1222	休講	数学ゼミナール I B	MTH512	2		
MSMT2213	休講	数学ゼミナール II A	MTH611	2		
MSMT2224	休講	数学ゼミナール II B	MTH612	2		
MSMT1231	休講	数学ゼミナール I A	MTH511	2	後 藤 聡 史	
MSMT1242	休講	数学ゼミナール I B	MTH512	2		
MSMT2233	休講	数学ゼミナール II A	MTH611	2		
MSMT2244	休講	数学ゼミナール II B	MTH612	2		
MSMT1271	春	数学ゼミナール I A	MTH511	2	加 藤 剛	注1
MSMT1282	秋	数学ゼミナール I B	MTH512	2		注1
MSMT2273	春	数学ゼミナール II A	MTH611	2		注1
MSMT2284	秋	数学ゼミナール II B	MTH612	2		注1
MSMT7010	休講	代数学特論 I	MTH711	2		
MSMT7030	春	代数学特論 III	MTH713	2	角 皆 宏	
MSMT7050	休講	幾何学特論 I	MTH721	2		
MSMT7070	春	幾何学特論 III	MTH723	2	辻 元	
MSMT7090	休講	解析学特論 I	MTH731	2		
MSMT7110	春	解析学特論 III	MTH733	2	後 藤 聡 史	
MSMT7160	休講	計算数学特論	MTH791	2		夏期集中, 隔年開講
MSMT7020	休講	代数学特論 II	MTH712	2		
MSMT7040	秋	代数学特論 IV	MTH714	2	都 築 正 男	
MSMT7060	休講	幾何学特論 II	MTH722	2		
MSMT7080	休講	幾何学特論 IV	MTH724	2		
MSMT7100	秋	解析学特論 II	MTH732	2	加 藤 剛	
MSMT7120	休講	解析学特論 IV	MTH734	2		

注1) 同教員の「数学ゼミナール I A」と「数学ゼミナール II A」は合併。  
同教員の「数学ゼミナール I B」と「数学ゼミナール II B」は合併。



<物理学領域>

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSPY1031	春	物理学ゼミナールⅠA	PHY511	2		注1
MSPY1042	秋	物理学ゼミナールⅠB	PHY512	2	化学物理グループ	注1
MSPY2033	春	物理学ゼミナールⅡA	PHY611	2	( 東 )	注1
MSPY2044	秋	物理学ゼミナールⅡB	PHY612	2		注1
MSPY1051	春	物理学ゼミナールⅠA	PHY511	2		注1
MSPY1062	秋	物理学ゼミナールⅠB	PHY512	2	電子物性グループ	注1
MSPY2053	春	物理学ゼミナールⅡA	PHY611	2	( 星 野 )	注1
MSPY2064	秋	物理学ゼミナールⅡB	PHY612	2		注1
MSPY1071	春	物理学ゼミナールⅠA	PHY511	2		
MSPY1082	秋	物理学ゼミナールⅠB	PHY512	2	原子物理グループ	
MSPY2073	休講	物理学ゼミナールⅡA	PHY611	2	( 岡 田 ( 邦 ) )	
MSPY2084	休講	物理学ゼミナールⅡB	PHY612	2		
MSPY1091	春	物理学ゼミナールⅠA	PHY511	2		注1
MSPY1102	秋	物理学ゼミナールⅠB	PHY512	2	固体物理グループ	注1
MSPY2093	春	物理学ゼミナールⅡA	PHY611	2	( 黒 江 )	注1
MSPY2104	秋	物理学ゼミナールⅡB	PHY612	2		注1
MSPY1111	春	物理学ゼミナールⅠA	PHY511	2		注1
MSPY1122	秋	物理学ゼミナールⅠB	PHY512	2	凝縮系物理グループ	注1
MSPY2113	春	物理学ゼミナールⅡA	PHY611	2	( 高 柳 ( 和 ) )	注1
MSPY2124	秋	物理学ゼミナールⅡB	PHY612	2		注1
MSPY1131	春	物理学ゼミナールⅠA	PHY511	2		注1
MSPY1142	秋	物理学ゼミナールⅠB	PHY512	2	光物理グループ	注1
MSPY2133	春	物理学ゼミナールⅡA	PHY611	2	( 江 馬 ・ 樺 田 )	注1
MSPY2144	秋	物理学ゼミナールⅡB	PHY612	2		注1
MSPY1151	春	物理学ゼミナールⅠA	PHY511	2		
MSPY1162	秋	物理学ゼミナールⅠB	PHY512	2	物性理論グループ	
MSPY2153	休講	物理学ゼミナールⅡA	PHY611	2	( 大 槻 )	
MSPY2164	休講	物理学ゼミナールⅡB	PHY612	2		
MSPY1171	春	物理学ゼミナールⅠA	PHY511	2		注1
MSPY1182	秋	物理学ゼミナールⅠB	PHY512	2	薄膜グループ	注1
MSPY2173	春	物理学ゼミナールⅡA	PHY611	2	( 坂 間 )	注1
MSPY2184	秋	物理学ゼミナールⅡB	PHY612	2		注1
MSPY1191	春	物理学ゼミナールⅠA	PHY511	2		注1
MSPY1202	秋	物理学ゼミナールⅠB	PHY512	2	低温物理グループ	注1
MSPY2193	春	物理学ゼミナールⅡA	PHY611	2	( 後 藤 ( 貴 ) )	注1
MSPY2204	秋	物理学ゼミナールⅡB	PHY612	2		注1
MSPY1211	春	物理学ゼミナールⅠA	PHY511	2		
MSPY1222	秋	物理学ゼミナールⅠB	PHY512	2	物質科学グループ	
MSPY2213	休講	物理学ゼミナールⅡA	PHY611	2	( 桑 原 )	
MSPY2224	休講	物理学ゼミナールⅡB	PHY612	2		
MSPY1231	春	物理学ゼミナールⅠA	PHY511	2		注1
MSPY1242	秋	物理学ゼミナールⅠB	PHY512	2	ハドロン物理学グループ	注1
MSPY2233	春	物理学ゼミナールⅡA	PHY611	2	( 平 野 )	注1
MSPY2244	秋	物理学ゼミナールⅡB	PHY612	2		注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSPY1251	春	物理学ゼミナール I A	PHY511	2	原子分子分光グループ ( 小 田 切 )	注1
MSPY1262	秋	物理学ゼミナール I B	PHY512	2		注1
MSPY2253	春	物理学ゼミナール II A	PHY611	2		注1
MSPY2264	秋	物理学ゼミナール II B	PHY612	2		注1
MSPY1271	春	物理学ゼミナール I A	PHY511	2	低温・超伝導物性グループ ( 足 立 )	
MSPY1282	秋	物理学ゼミナール I B	PHY512	2		
MSPY2273	春	物理学ゼミナール II A	PHY611	2		
MSPY2284	秋	物理学ゼミナール II B	PHY612	2		
MSPY7010	春	光物性	PHY701	2	櫻 田 英 之	
MSPY7055	秋	デバイスの物理	PHY705	2	坂 間 弘	注3
MSPY7060	春	低温物性	PHY706	2	後 藤 貴 行	
MSPY7110	春	実験物理特論 B	PHY711	2	櫻 田 英 之	
MSPY7130	春	原子・分子 B	PHY713	2	星 野 正 光	
MSPY7180	春	物理汎論 C	PHY718	2	* 近 藤 高 志	※夏期集中, 隔年開講
MSPY7020	春	物性物理 A	PHY702	2	足 立 匡	
MSPY7030	秋	物性物理 B	PHY703	2	桑 原 英 樹	
MSPY7035	春	物性物理 C	PHY719	2	黒 江 晴 彦	
MSPY7040	春	量子多体問題	PHY704	2	高 柳 和 雄	
MSPY7100	秋	実験物理特論 A	PHY710	2	岡 田 邦 宏	
MSPY7120	秋	原子・分子 A	PHY712	2	小 田 切 丈	
MSPY7140	休講	物理汎論 A	PHY714	2		※夏期集中, 隔年開講
MSPY7150	春	物理汎論 B	PHY715	2	* 小 野 義 正	※春学期集中
MSPY7165	秋	相転移の物理	PHY716	2	大 槻 東 巳	注4
MSPY7085	秋	理論物理特論	PHY708	2	平 野 哲 文	注4
MSPY7190	春	原子過程科学	PHY720	2	* 小 池 文 博	
MSPY7175	春	放射光原子分子科学	PHY721	2	東 善 郎	注2

注 1) 同教員の物理学ゼミナール I A・物理学ゼミナール II Aは合併。

同教員の物理学ゼミナール I B・物理学ゼミナール II Bは合併。

注 2) 2016 年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2017年度以降開講科目名 ※ ( ) 内は単位数	2016年度以前開講科目名 ※ ( ) 内は単位数
放射光原子分子科学 (2)	放射光科学 (2)

注 3) 2015 年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2016年度以降開講科目名 ※ ( ) 内は単位数	2015年度以前開講科目名 ※ ( ) 内は単位数
デバイスの物理 (2)	ナノスケールの物理 (2)

注 4) 2014 年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2015年度以降開講科目名 ※ ( ) 内は単位数	2014年度以前開講科目名 ※ ( ) 内は単位数
相転移の物理 (2)	計算物理 (2)
理論物理特論 (2)	理論物理特論 A (2)

※ 集中講義については、別途掲示で日時および教室を必ず確認すること。

## ＜生物科学領域＞

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSBS1031	春	生物科学ゼミナールⅠA	BI0511	2	生命科学グループ (安増)	注1
MSBS1042	秋	生物科学ゼミナールⅠB	BI0512	2		注1
MSBS2033	春	生物科学ゼミナールⅡA	BI0611	2		注1
MSBS2044	秋	生物科学ゼミナールⅡB	BI0612	2		注1
MSBS1071	春	生物科学ゼミナールⅠA	BI0511	2	神澤信行	注1
MSBS1082	秋	生物科学ゼミナールⅠB	BI0512	2		注1
MSBS2073	春	生物科学ゼミナールⅡA	BI0611	2		注1
MSBS2084	秋	生物科学ゼミナールⅡB	BI0612	2		注1
MSBS7190	春	分子進化学特論	BI0719	2	川口真理	
MSBS7200	秋	細胞神経科学特論	BI0720	2	新倉貴子	
MSBS7040	春	環境適応の生物学	BI0704	2	小林健一郎	
MSBS7050	春	細胞内情報伝達論	BI0705	2	笹川展幸	
MSBS7240	秋	植物分子応答学特論	BI0724	2	鈴木伸洋	
MSBS7070	春	脳生理学特論	BI0707	2	千葉篤彦	
MSBS7100	休講	分子生物学特論	BI0710	2		
MSBS7120	春	バイオインフォマティクス	BI0712	2	* 池尾一穂	※春学期集中
MSBS7210	春	創薬インフォマティクス	BI0721	2	* 広川貴次	※春学期集中
MSBS7620	春	植物機能科学特論	BI0717	2	藤原誠	
MSBS7630	春	生物物理特論	BI0718	2	近藤次郎	
MSBS7020	秋	生体運動特論	BI0702	2	神澤信行	
MSBS7090	秋	神経発生学特論	BI0709	2	林謙介	
MSBS7110	秋	発生生物学特論	BI0711	2	安増茂樹	
MSBS7130	休講	ゲノム細胞生物学	BI0713	2		※春学期集中, 隔年開講
MSBS7160	秋	環境分子生物学特論	BI0716	2	齊藤玉緒	
MSBS7230	秋	放射線生物学	BI0723	2	* 石川裕二	
MSBS7225	春	微生物生態学特論	BI0722	2	* 鎌形洋一	※春学期集中, 隔年開講

注1) 同教員の「生物科学ゼミナールⅠA」と「生物科学ゼミナールⅡA」は合併。

同教員の「生物科学ゼミナールⅠB」と「生物科学ゼミナールⅡB」は合併。

※ 集中講義については、別途掲示で日時および教室を必ず確認すること。

## ＜情報学領域＞

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSIS1031	春	情報学ゼミナールⅠA	INF511	2	荒井隆行	注1
MSIS1042	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF512	2		注1
MSIS2033	春	情報学ゼミナールⅡA	INF611	2		注1
MSIS2044	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF612	2		注1
MSIS1051	春	情報学ゼミナールⅠA	INF511	2	川端亮	注1
MSIS1062	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF512	2		注1
MSIS2053	春	情報学ゼミナールⅡA	INF611	2		注1
MSIS2064	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF612	2		注1

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバ リング	単 位 数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSIS1151	春	情報学ゼミナール I A	INF511	2	伊 呂 原 隆	注1
MSIS1162	秋	情報学ゼミナール I B	INF512	2		注1
MSIS2153	春	情報学ゼミナール II A	INF611	2		注1
MSIS2164	秋	情報学ゼミナール II B	INF612	2		注1
MSIS1071	春	情報学ゼミナール I A	INF511	2	川 中 彰	注1
MSIS1082	秋	情報学ゼミナール I B	INF512	2		注1
MSIS2073	春	情報学ゼミナール II A	INF611	2		注1
MSIS2084	秋	情報学ゼミナール II B	INF612	2		注1
MSIS1091	春	情報学ゼミナール I A	INF511	2	田 中 昌 司	注1
MSIS1102	秋	情報学ゼミナール I B	INF512	2		注1
MSIS2093	春	情報学ゼミナール II A	INF611	2		注1
MSIS2104	秋	情報学ゼミナール II B	INF612	2		注1
MSIS1251	春	情報学ゼミナール I A	INF511	2	澁 谷 智 治	注1
MSIS1262	秋	情報学ゼミナール I B	INF512	2		注1
MSIS2253	春	情報学ゼミナール II A	INF611	2		注1
MSIS2264	秋	情報学ゼミナール II B	INF612	2		注1
MSIS1171	春	情報学ゼミナール I A	INF511	2	炭 親 良	注1
MSIS1182	秋	情報学ゼミナール I B	INF512	2		注1
MSIS2173	春	情報学ゼミナール II A	INF611	2		注1
MSIS2184	秋	情報学ゼミナール II B	INF612	2		注1
MSIS1271	春	情報学ゼミナール I A	INF511	2	高 岡 詠 子	注1
MSIS1282	秋	情報学ゼミナール I B	INF512	2		注1
MSIS2273	春	情報学ゼミナール II A	INF611	2		注1
MSIS2284	秋	情報学ゼミナール II B	INF612	2		注1
MSIS1191	春	情報学ゼミナール I A	INF511	2	田 村 恭 久	注1
MSIS1202	秋	情報学ゼミナール I B	INF512	2		注1
MSIS2193	春	情報学ゼミナール II A	INF611	2		注1
MSIS2204	秋	情報学ゼミナール II B	INF612	2		注1
MSIS1331	春	情報学ゼミナール I A	INF511	2	ゴンサルベス タッド	注1
MSIS1342	秋	情報学ゼミナール I B	INF512	2		注1
MSIS2333	春	情報学ゼミナール II A	INF611	2		注1
MSIS2344	秋	情報学ゼミナール II B	INF612	2		注1
MSIS1311	春	情報学ゼミナール I A	INF511	2	萬 代 雅 希	注1
MSIS1322	秋	情報学ゼミナール I B	INF512	2		注1
MSIS2313	春	情報学ゼミナール II A	INF611	2		注1
MSIS2324	秋	情報学ゼミナール II B	INF612	2		注1
MSIS1291	春	情報学ゼミナール I A	INF511	2	宮 本 裕 一 郎	注1
MSIS1302	秋	情報学ゼミナール I B	INF512	2		注1
MSIS2293	春	情報学ゼミナール II A	INF611	2		注1
MSIS2304	秋	情報学ゼミナール II B	INF612	2		注1

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSIS1231	春	情報学ゼミナールⅠA	INF511	2	矢 入 郁 子	注1
MSIS1242	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF512	2		注1
MSIS2233	春	情報学ゼミナールⅡA	INF611	2		注1
MSIS2244	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF612	2		注1
MSIS1211	春	情報学ゼミナールⅠA	INF511	2	山 中 高 夫	注1
MSIS1222	秋	情報学ゼミナールⅠB	INF512	2		注1
MSIS2213	春	情報学ゼミナールⅡA	INF611	2		注1
MSIS2224	秋	情報学ゼミナールⅡB	INF612	2		注1
MSIS7010	春	システム工学特論	INF701	2	伊 呂 原 隆	
MSIS7020	休講	シミュレーション工学特論	INF702	2		
MSIS7270	春	経営情報分析特論	INF704	2	山 下 遥	
MSIS7050	春	ソフトウェア特論	INF705	2	川 端 亮	
MSIS7080	春	音声・音響・聴覚情報処理	INF708	2	荒 井 隆 行	
MSIS7140	春	パターン認識特論	INF714	2	川 中 彰	
MSIS7170	秋	データサイエンス特論	INF717	2	田村・山中・加藤(剛)	
MSIS7250	春	脳ネットワーク特論	INF725	2	田 中 昌 司	
MSIS7900	春	情報メディアコミュニケーション学	INF790	2	矢 入 郁 子	※夏期集中
MSIS7060	秋	教育情報工学特論	INF706	2	田 村 恭 久	
MSIS7230	春	コンピュータグラフィックスとバーチャルリアリティ	INF723	2	* 牧 野 光 則	
MSIS7110	秋	医用画像工学	INF711	2	炭 親 良	
MSIS7120	秋	センシングシステム工学	INF712	2	山 中 高 夫	
MSIS7970	秋	情報科学特論	INF797	2	高 岡 詠 子	
MSIS7910	秋	情報理論特論	INF791	2	澁 谷 智 治	
MSIS7210	秋	数理最適化特論	INF721	2	宮 本 裕 一 郎	
MSIS7220	秋	情報ネットワーク特論	INF722	2	萬 代 雅 希	
MSIS7180	休講	脳神経可塑性	INF718	2		
MSIS7260	秋	人工知能特論	INF707	2	ゴンサルベス タッド	

注1) 同教員の「情報学ゼミナールⅠA」と「情報学ゼミナールⅡA」は合併。

同教員の「情報学ゼミナールⅠB」と「情報学ゼミナールⅡB」は合併。

※ 集中講義については、別途掲示で日時および教室を必ず確認すること。

＜グリーンサイエンス・エンジニアリング領域＞ \*講義はすべて英語で行われる。

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※ * : 非常勤教員	備考
MSGR7010	秋	Green Science and Engineering 1	GRS701	2	末 益 , 桑 原	隔年開講
MSGR7020	休講	Green Science and Engineering 2	GRS702	2		隔年開講
MSGR7030	休講	Green Science and Engineering 3	GRS703	2		隔年開講
MSGR7040	春	Green Science and Engineering 4	GRS704	2	片 山 , 中 島	隔年開講
MSGR7046	休講	Artificial Intelligence	GRS721	2		隔年開講, 注2
MSGR7050	秋	Advanced Mechanical Engineering 1	GRS705	2	長 嶋 , 他	隔年開講
MSGR7060	休講	Advanced Mechanical Engineering 2	GRS706	2		隔年開講
MSGR7070	秋	Advanced Electrical and Electronics Engineering 1	GRS707	2	片 山 弘 造	隔年開講
MSGR7080	休講	Advanced Electrical and Electronics Engineering 2	GRS708	2		隔年開講
MSGR7090	秋	Environmental Chemistry	GRS709	2	堀 越 智	隔年開講
MSGR7100	休講	Advanced Materials	GRS710	2		隔年開講, 注1
MSGR7110	秋	Theoretical Chemistry	GRS711	2	南 部 伸 孝	隔年開講, 注1
MSGR7120	休講	Environmental Analytical Chemistry	GRS712	2		隔年開講, 注1
MSGR7130	秋	Differential Equations for Natural Phenomena	GRS713	2	中 筋 麻 貴	隔年開講
MSGR7140	休講	Statistical Data Analysis	GRS714	2		隔年開講
MSGR7150	春	Environmental Atomic and Molecular Physics	GRS715	2	東 善 郎	隔年開講
MSGR7165	秋	Cosmonuclear Science	GRS722	2	和 南 城 伸 也	隔年開講
MSGR7170	休講	Environmental Basic Biology	GRS717	2		隔年開講
MSGR7180	春	Environmental Life Science	GRS718	2	笹 川 , 他	隔年開講
MSGR7190	休講	Computer Science	GRS719	2		隔年開講
MSGR7200	春	Applied Computer Science	GRS720	2	田 村 , 他	隔年開講

注1) 各領域との同内容科目 (重複履修不可)

グリーンサイエンス・エンジニアリング領域開講科目名 ※	各領域開講科目名 ※ ( ) 内は単位数	備考
Advanced Materials (2)	無機製造工学特論 (2)	応用化学領域
Theoretical Chemistry (2)	物理化学特論 (理論化学) (2)	化学領域
Environmental Analytical Chemistry (2)	分析化学特論 (超分子化学) (2)	化学領域

注2) 2016年度以前開講の科目名変更(重複履修不可)

2017年度以降開講科目名 ※ ( ) 内は単位数	2016年度以前開講科目名 ※ ( ) 内は単位数
Artificial Intelligence (2)	Introduction To Artificial Intelligence (2)

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	領域	備考
SCT888	築地・DZIEMIŃSKA	機械工学	
	曄 道 佳 明	機械工学	
	末 益 博 志	機械工学	
	鈴 木 隆	機械工学	
	申 鉄 龍	機械工学	
	長 嶋 利 夫	機械工学	
	坂 本 治 久	機械工学	
	高 井 健 一	機械工学	
	久 森 紀 之	機械工学	
	鈴 木 啓 史	機械工学	
	渡 邊 摩 理 子	機械工学	
	竹 原 昭 一 郎	機械工学	
	一 柳 満 久	機械工学	
	田 中 秀 岳	機械工学	
	岸 野 克 巳	電気・電子工学	
	菊 池 昭 彦	電気・電子工学	
	野 村 一 郎	電気・電子工学	
	下 村 和 彦	電気・電子工学	
	高 尾 ・ 中 村	電気・電子工学	
	宮 武 昌 史	電気・電子工学	
	谷 貝 剛	電気・電子工学	
	中 岡 俊 裕	電気・電子工学	
	藤 井 麻 美 子	電気・電子工学	
	小 川 将 克	電気・電子工学	
	林 等	電気・電子工学	
	高 橋 浩	電気・電子工学	
	坂 本 織 江	電気・電子工学	
	有機合成化学グループ ( 鈴 木 ( 教 ) )	応用化学	
	高分子化学グループ ( 陸 川 ・ 竹 岡 ・ 藤 田 )	応用化学	
	無機工業化学グループ ( 板 谷 ・ 内 田 )	応用化学	
	工業物理化学グループ ( 高 橋 ・ 田 中 ( 邦 ) )	応用化学	
	環境化学工学グループ ( 堀 越 )	応用化学	
	無機化学グループ ( 木 川 田 )	化学	
理論分子設計・ 物理化学グループ ( 南 部 ・ 久 世 ・ DANIELACHE )	化学		
錯体化学グループ ( 長 尾 )	化学		
分析化学グループ ( 早 下 ・ 遠 藤 ・ 橋 本 )	化学		
有機化学グループ ( 白 杵 )	化学		

ナンバリング	担当教員名	領域	備考
SCT888	有機化学グループ (鈴木(由))	化学	
	辻 元	数学	
	中島俊樹	数学	休講(春・秋)
	中筋麻貴	数学	
	加藤剛	数学	
	角皆宏	数学	
	都築正男	数学	
	五味靖	数学	休講(春・秋)
	化学物理グループ (東)	物理学	
	電子物性グループ (星野)	物理学	
	固体物理グループ (黒江)	物理学	
	凝縮系物理グループ (高柳(和))	物理学	
	光物理グループ (江馬)	物理学	
	光物理グループ (樺田)	物理学	
	物性理論グループ (大槻)	物理学	
	薄膜グループ (坂間)	物理学	
	低温物理グループ (後藤(貴))	物理学	
	物質科学グループ (桑原)	物理学	
	原子物理グループ (岡田(邦))	物理学	
	ハドロン物理学グループ (平野)	物理学	
	原子分子分光グループ (小田切)	物理学	
	低温・超伝導物性グループ (足立)	物理学	
	笹川展幸	生物科学	
	近藤次郎	生物科学	
	林謙介	生物科学	
	安増茂樹	生物科学	
	千葉篤彦	生物科学	
	神澤・鈴木(伸)	生物科学	
	齊藤玉緒	生物科学	
	藤原誠	生物科学	
	新倉貴子	生物科学	
	川口真理	生物科学	
	荒井隆行	情報学	
伊呂原隆	情報学		
川中彰	情報学		



ナンバリング	担当教員名	領域	備考
SCT888	田 中 昌 司	情報学	
	澁 谷 智 治	情報学	
	炭 親 良	情報学	
	高 岡 詠 子	情報学	
	田 村 恭 久	情報学	
	萬 代 雅 希	情報学	
	宮 本 裕 一 郎	情報学	
	矢 入 郁 子	情報学	
	山 中 高 夫	情報学	
	川 端 亮	情報学	
	ゴンサルベス タッド	情報学	

## 理工学専攻 博士後期課程

### 1. 修了に要する科目，単位数，科目数などの要件

#### 【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	2		
▶選択必修科目	2		
└大学院演習ⅢA	1		
└大学院演習ⅢB	1		
└大学院演習ⅣA	1		
└大学院演習ⅣB	1		
└大学院演習ⅤA	1		
└大学院演習ⅤB	1		
研究指導（必修）		6	単位なし，在学中毎学期登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

#### 【14～16年次生】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	2		
▶選択必修科目	2		
└大学院演習ⅢA	1		
└大学院演習ⅢB	1		
└大学院演習ⅣA	1		
└大学院演習ⅣB	1		
└大学院演習ⅤA	1		
└大学院演習ⅤB	1		
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

#### 【13年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	6		
▶必修科目	6		
└大学院演習ⅢA	1		
└大学院演習ⅢB	1		
└大学院演習ⅣA	1		
└大学院演習ⅣB	1		
└大学院演習ⅤA	1		
└大学院演習ⅤB	1		
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上，博士論文の審査および試験に合格すること

## 【博士論文審査基準】

- 1) 審査は、提出された論文について行い、申請者が専攻分野について自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な研究能力を有するか否かについて考査する。
- 2) 審査に当たっては、次の点に留意する。
  - ①論文の内容（独創性、知見の新規性、有用性等の十分な学術的な価値を有するか否か）
  - ②論文の体裁（構成および表現が適切であるか否か）
- 3) 試験は、論文を中心として広く関連した科目について口述によって行い、申請者が専攻分野について自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力の基礎となる豊かな学識を有するか否かについて考査する。
- 4) 外国語については1か国語を課し、筆記試験を課することができる。ただし、申請者が学位を受けるにふさわしい外国語の能力を備えていると認定された場合は、外国語の試験の一部又は全部を免除することができる。免除の基準は、所属する領域に確認すること。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
大学院演習ⅢA ※1	(1)	1	
大学院演習ⅢB ※1	(1)	1	
大学院演習ⅣA ※1	(1)	1	
大学院演習ⅣB ※1	(1)	1	
大学院演習ⅤA ※1	(1)	1	
大学院演習ⅤB ※1	(1)	1	

※13年次生以前の履修度については（）内を参照のこと。

## 3. 履修上の注意

### 【17年次生以降】

2単位を修得し、指導教員の研究指導を受け、博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。在学期間中は指導教員担当の「研究指導（必修）」は毎学期受け、6科目以上合格すること。

### 【14～16年次生】

2単位を修得し、指導教員の研究指導を受け、博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。在学期間中は指導教員担当の「研究指導（必修）」は、毎学期受けること。

### 【13年次生以前】

6単位を修得し、指導教員の研究指導を受け、博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。在学期間中は指導教員担当の「研究指導（必修）」は、毎学期受けること。

#### 4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	備考
DSCT1370	春	大学院演習ⅢA	SCT901	1	曄道佳明	注1
DSCT1380	秋	大学院演習ⅢB	SCT902	1		注1
DSCT1390	春	大学院演習ⅣA	SCT903	1		注1
DSCT1400	秋	大学院演習ⅣB	SCT904	1		注1
DSCT1410	春	大学院演習ⅤA	SCT905	1		注1
DSCT1420	秋	大学院演習ⅤB	SCT906	1		注1
DSCT1430	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	末益博志	
DSCT1440	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT1450	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT1460	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT1470	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT1480	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT1490	春	大学院演習ⅢA	SCT901	1	申鉄龍	注1
DSCT1500	秋	大学院演習ⅢB	SCT902	1		注1
DSCT1510	春	大学院演習ⅣA	SCT903	1		注1
DSCT1520	秋	大学院演習ⅣB	SCT904	1		注1
DSCT1530	春	大学院演習ⅤA	SCT905	1		注1
DSCT1540	秋	大学院演習ⅤB	SCT906	1		注1
DSCT1730	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	長嶋利夫	
DSCT1740	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT1750	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT1760	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT1770	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT1780	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT3050	春	大学院演習ⅢA	SCT901	1	坂本治久	注1
DSCT3060	秋	大学院演習ⅢB	SCT902	1		注1
DSCT3070	春	大学院演習ⅣA	SCT903	1		注1
DSCT3080	秋	大学院演習ⅣB	SCT904	1		注1
DSCT3090	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT3100	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT1670	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	岸野克巳	
DSCT1680	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT1690	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT1700	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT1710	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT1720	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT2810	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	下村和彦	
DSCT2820	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT2830	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT2840	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT2850	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT2860	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT1550	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	高尾智明	
DSCT1560	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT1570	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT1580	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT1590	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT1600	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	備考
DSCT1610	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	陸川政弘	
DSCT1620	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT1630	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT1640	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT1650	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT1660	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT2990	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	板谷清司	
DSCT3000	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT3010	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT3020	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT3030	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT3040	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT1081	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	堀越智	
DSCT1082	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT1083	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT1084	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT1085	春	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT1086	秋	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT2750	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	南部伸孝	
DSCT2760	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT2770	春	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT2780	秋	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT2790	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT2800	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT1021	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	長尾宏隆	
DSCT1022	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT1023	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT1024	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT1025	春	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT1026	秋	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT2870	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	中島俊樹	
DSCT2880	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT2890	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT2900	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT2910	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT2920	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT1910	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	辻元	
DSCT1920	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT1930	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT1940	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT1950	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT1960	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT1970	春	大学院演習ⅢA	SCT901	1	東善郎	
DSCT1980	秋	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT1990	春	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT2000	秋	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT2010	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT2020	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	備考
DSCT2030	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	桑原英樹	
DSCT2040	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT2050	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT2060	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT2070	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT2080	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT2090	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	大槻東巳	
DSCT2100	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT2110	春	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT2120	秋	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT2130	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT2140	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT2150	春	大学院演習ⅢA	SCT901	1	江馬一弘	注1
DSCT2160	秋	大学院演習ⅢB	SCT902	1		注1
DSCT2170	春	大学院演習ⅣA	SCT903	1		注1
DSCT2180	秋	大学院演習ⅣB	SCT904	1		注1
DSCT2190	春	大学院演習ⅤA	SCT905	1		注1
DSCT2200	秋	大学院演習ⅤB	SCT906	1		注1
DSCT2930	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	高柳和雄	
DSCT2940	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT2950	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT2960	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT2970	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT2980	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT2630	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	坂間弘	
DSCT2640	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT2650	春	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT2660	秋	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT2670	春	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT2680	秋	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT1041	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	後藤貴行	
DSCT1042	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT1043	春	大学院演習ⅣA	SCT903	1		注1
DSCT1044	秋	大学院演習ⅣB	SCT904	1		注1
DSCT1045	春	大学院演習ⅤA	SCT905	1		注1
DSCT1046	秋	大学院演習ⅤB	SCT906	1		注1
DSCT1071	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	岡田邦宏	
DSCT1072	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT1073	春	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT1074	秋	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT1075	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT1076	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT2210	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	安増茂樹	
DSCT2220	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT2230	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT2240	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT2250	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT2260	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名	備考
DSCT2570	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	齊藤玉緒	
DSCT2580	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT2590	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT2600	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT2610	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT2620	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT1031	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	千葉篤彦	
DSCT1032	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT1033	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT1034	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT1035	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT1036	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT1061	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	笹川展幸	
DSCT1062	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT1063	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT1064	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT1065	春	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT1066	秋	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT2330	春	大学院演習ⅢA	SCT901	1	荒井隆行	注1
DSCT2340	秋	大学院演習ⅢB	SCT902	1		注1
DSCT2350	春	大学院演習ⅣA	SCT903	1		注1
DSCT2360	秋	大学院演習ⅣB	SCT904	1		注1
DSCT2370	春	大学院演習ⅤA	SCT905	1		注1
DSCT2380	秋	大学院演習ⅤB	SCT906	1		注1
DSCT2510	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	伊呂原隆	
DSCT2520	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT2530	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT2540	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT2550	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT2560	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT2450	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	川中彰	
DSCT2460	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT2470	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT2480	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT2490	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT2500	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		
DSCT1051	休講	大学院演習ⅢA	SCT901	1	澁谷智治	
DSCT1052	休講	大学院演習ⅢB	SCT902	1		
DSCT1053	休講	大学院演習ⅣA	SCT903	1		
DSCT1054	休講	大学院演習ⅣB	SCT904	1		
DSCT1055	休講	大学院演習ⅤA	SCT905	1		
DSCT1056	休講	大学院演習ⅤB	SCT906	1		

注1) 同教員の「大学院演習ⅢA」「大学院演習ⅣA」「大学院演習ⅤA」は合併科目。  
同教員の「大学院演習ⅢB」「大学院演習ⅣB」「大学院演習ⅤB」は合併科目。

## 5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
SCT988	曄 道 佳 明	
	末 益 博 志	休講 (春・秋)
	申 鉄 龍	
	長 嶋 利 夫	休講 (春・秋)
	坂 本 治 久	
	岸 野 克 巳	休講 (春・秋)
	下 村 和 彦	休講 (春・秋)
	高 尾 智 明	
	陸 川 政 弘	
	板 谷 清 司	休講 (春・秋)
	堀 越 智	
	大 井 隆 夫	
	南 部 伸 孝	
	長 尾 宏 隆	
	中 島 俊 樹	休講 (春・秋)
	辻 元	休講 (春・秋)
	東 善 郎	
	桑 原 英 樹	休講 (春・秋)
	大 槻 東 巳	
	江 馬 一 弘	
	高 柳 和 雄	休講 (春・秋)
	坂 間 弘	
	後 藤 貴 行	
	岡 田 邦 宏	
	安 増 茂 樹	休講 (春・秋)
	千 葉 篤 彦	休講 (春・秋)
	笹 川 展 幸	
	齊 藤 玉 緒	休講 (春・秋)
	荒 井 隆 行	
	伊呂原 隆	
川 中 彰		
澁 谷 智 治		



# 地球環境学研究科

- \* 国際環境コースのカリキュラムについては,  
English-taught Graduate Programs 「BULLETIN OF INFORMATION 2017-2018」を参照

## 1. 地球環境学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

地球環境問題の解決にむけ、高い使命感をもち、社会科学と自然科学の知識を総合し、理論と実践を結び付ける優れた知力・学力を有する人材の育成を目指す。前期課程においては、高度専門的な職業を担う人材と知的素養に優れた人材を、後期課程においては、国際的な水準の地球環境学の教育・研究を目指す人材を養成する。

## 2. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

### 地球環境学専攻

#### 【博士前期課程】

本専攻のカリキュラムは、次のような視点を重視し構成されています。

1. 環境問題が提起する課題が常に自然科学的側面と人文・社会科学的側面をもっていることをふまえた文理融合型のカリキュラム。
2. 問題を適切に認識するための知的枠組み（ディシプリン）の修得と同時に、問題を解決するための実践的あるいは実務的知識をバランスよく身に付けること。
3. 環境問題が広範な領域の知識を求めているという事実のもとでも、その細部に関わるカリキュラムにまで広げるのではなく、洗練されたコンパクトなカリキュラム構成にすることによって、必要な科目が学生から見てわかりやすく、結果として学びやすく見通しの良いカリキュラムであること。
4. 社会人が学びやすいように、夜間、土曜日に講義科目を配置し、働きながら必要な単位を履修できるように配慮すること。
5. グローバル化する環境問題と解決のための国際協力の必要性が高まる中で、国際的に活躍する人材を育成するために、英語コースにおける英語による充実した講義と指導。
6. 本学の教育の特色である、小人数教育による教員と学生の多彩なコミュニケーションによる教育。

#### 【博士後期課程】

本課程では、指導教員による研究指導を中心に博士論文提出を目指すとともに、地球環境学に関する高い研究能力の養成、また、環境問題の解決に資する高度な専門職人材としての能力を養成します

## 3. 各専攻のディプロマ・ポリシー

### 地球環境学専攻

#### 【博士前期課程】

本課程に必要な期間在学し、今日の環境問題の解決のために有為な人材がもつべき、不可欠の一般的知識を身につけるために設けられている講義科目を、必要な理解度をともない履修し、また、指導教員の指導のもとに、次のような基準を満たす修士論文を提出し、合格した学生に対して修士（環境学）の学位を授与します。

1. 今日の環境問題を解決するために解明すべきテーマが適切に設定されていること。
2. テーマに対する現在までの学術研究の到達点が適切にふまえられていること。
3. 問題にアプローチするための前提としてのオリジナルな仮説が適切に設定されていること。
4. 仮説を検証するための事実および分析手法が適切に選択されていること。
5. 仮説を検証するための矛盾のない論理手続きが取られていること。
6. 自己の分析を総合的に記述することに成功していること。
7. 必要な外国語の知識が身につけられていること。

### 【博士後期課程】

本課程に必要な期間在学し，指導教員の指導を受け，上に示したような論文の基準をより高い水準で満たし，自立した研究者としての能力を有することを証明する博士論文を提出し，合格したものに博士（環境学）の学位を授与します。

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生】

＜修士論文トラック＞

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	30		
・選択必修科目 └演習／SEMINAR A, B, C, D	8		12単位まで修了単位として修了要件に算入可能
・選択科目 └自専攻科目	22		
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。4科目以上合格すること。 ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される
修士論文			修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文」を履修登録すること。必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること。

＜修士プロジェクトトラック＞

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考（上限, その他）
総単位数	34		
・選択必修科目 └演習／SEMINAR A, B, C, D	4		8単位までは修了単位として修了要件に算入可能
・選択科目 └自専攻科目	30		
└委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）		4	単位なし, 在学中毎学期登録される。4科目以上合格すること。 ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される
修士プロジェクト			最終学期の履修登録期間に「修士プロジェクト」を必ず履修登録すること。必要な研究指導を受けた上, 最終学期にリサーチペーパーを提出し合格すること。

## 【16年次生】

### ＜修士論文トラック＞

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
・選択必修科目 └─ 演習 A, B, C, D	8		12単位まで修了単位として修了要件に算入可能
・選択科目 └─ 自専攻科目	22		
└─ 委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文」を履修登録すること。必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。

### ＜修士プロジェクトトラック＞

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
・選択必修科目 └─ 演習 A, B, C, D	4		8単位までは修了単位として修了要件に算入可能
・選択科目 └─ 自専攻科目	30		
└─ 委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士プロジェクト			最終学期の履修登録期間に「修士プロジェクト」を必ず履修登録すること。必要な研究指導を受けた上，最終学期にリサーチペーパーを提出し合格すること。

## 【14・15年次生】

### ＜修士論文トラック＞

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
・必修科目 └─ 演習 A, B, C, D	8		12単位まで修了単位として修了要件に算入可能
・選択科目 └─ 自専攻科目	22		
└─ 委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文」を履修登録すること。必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。

## <修士プロジェクトトラック>

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	34		
・必修科目 └─ 演習 A, B, C, D	4		8単位までは修了単位として修了要件に算入可能
・選択科目	30		
└─ 自専攻科目			
└─ 委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士プロジェクト			最終学期の履修登録期間に「修士プロジェクト」を必ず履修登録すること。必要な研究指導を受けた上，最終学期にリサーチペーパーを提出し合格すること。

## 【13年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考（上限，その他）
総単位数	30		
・必修科目	8		
└─ 演習 I	4		12単位まで修了単位として修了要件に算入可能
└─ 演習 II	4		
・選択科目	22		
└─ 自専攻科目			
└─ 委託聴講科目			10単位まで修了に必要な単位として認められる
研究指導（必修）			単位なし，在学中毎学期登録される
修士論文			修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず「修士論文」を履修登録すること。必要な研究指導を受けた上，修士論文の審査および試験に合格すること。

## 【修士論文審査基準】

1. 問題設定：問題意識が明確で，今日の環境問題を解決するために解明すべきテーマを適切に設定できる。
2. 先行研究の理解：テーマに対する現在までの先行業績，学術研究の到達点を適切に把握している。
3. 独創性：問題にアプローチするための前提としてのオリジナルな仮説を適切に設定することができること，あるいは，独創的な，新しい，ユニークな着想や発想をすることができる。
4. 研究方法：仮説を検証するために独自に収集したデータ，新しい資料の発掘など論証方法に工夫をこらすことができる。またアプローチの仕方として，社会科学や自然科学の複数の領域にまたがる知識の総合化や理論と実践のフィードバックなどの手法を駆使することができる。
5. 論文構成：論文の構成，章立て，立証方法などをわかりやすく構成され整理され，説得力のある論理展開ができ，問題提起，途中の推論，結論を整合させ，自己の分析を総合的に記述することができる。
6. 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し，研究対象に対する適切な倫理的配慮を行うとともに，各種学会，大学等が定める倫理基準を満たすことができる。
7. 形式面：関連する多くの資料を網羅し，出展を明示し，正確な引用ができる。また，優れた文章表現ができ，指定するフォーマットの成果物を得る。
8. 語学力：必要な外国語の知識が身についている。

## 【リサーチ・ペーパー審査基準】

1. 問題設定：問題意識が明確で、今日の環境問題を解決するために解明すべきテーマを適切に設定できる。
2. 先行研究の理解：テーマに対する現在までの先行業績、学術研究の到達点を適切に把握している。
3. 研究方法：仮説を検証するために独自に収集したデータ、新しい資料の発掘など論証方法に工夫をこらすことができる。またアプローチの仕方として、社会科学や自然科学の複数の領域にまたがる知識の総合化や理論と実践のフィードバックなどの手法を駆使することができる。
4. 論文構成：論文の構成、章立て、立証方法などをわかりやすく構成され整理され、説得力のある論理展開ができ、問題提起、途中の推論、結論を整合させ、自己の分析を総合的に記述することに成功する。
5. 倫理的配慮：研究方法の適切性に留意し、研究対象に対する適切な倫理的配慮を行うとともに、各種学会、大学等が定める倫理基準を満たすことができる。
6. 形式面：関連する多くの資料を網羅し、出展を明示し、正確な引用ができる。また、優れた文章表現ができ、指定するフォーマットの成果物を得る。
7. 語学力：必要な外国語の知識が身につけている。

## 2. 授業科目の編成・単位 【各入学年次共通】

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
演習／SEMINAR A ※注1	(2)	2	
演習／SEMINAR B ※注1	(2)	2	
演習／SEMINAR C ※注1	(2)	2	
演習／SEMINAR D ※注1	(2)	2	
日本の環境法			2
環境リスクマネジメント			2
環境経済学Ⅰ			2
環境経済学Ⅱ			2
森林環境政策			2
環境政策論			2
環境工学			2
環境汚染の生態リスク			2
環境生態学			2
環境金融論			2
環境マーケティング			2
国際環境法			2
循環型社会形成・廃棄物対策論			2
環境経営学			2
環境と経済制度			2
地球温暖化対策論			2
CSR経営			2
地球環境工学論			2
環境研究のための統計学			2
ジェンダーと環境			2
アジア環境研修			4
環境社会学			2
途上国の環境と開発			2
エネルギーと環境			2

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
環境行政論			2
環境と消費			2
カーボンマネジメント論			2
環境倫理			2
環境教育			2
環境史			2
環境研究のフロンティア			2
環境計画・リスクマネジメント論			2
インターンシップⅠ			2
インターンシップⅡ			2
(他) 環境法政策 ※注2			2
(他) 比較環境法 ※注2			2
(他) 環境会計論特講 ※注3			2

注1：2015年次生以前は必修科目

注2：法科大学院開講科目

注3：経営学専攻開講科目

科目名	科目名（日本語）	単位数		
		必修	選必	選択
ENVIRONMENTAL ECONOMICS	環境経済学			2
STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	戦略的環境マネジメント			2
ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES	環境と開発			2
CLIMATE CHANGE POLICY	地球温暖化対策論			2
ENVIRONMENTAL ADMINISTRATION	環境行政論			2
ENVIRONMENTAL POLICY: ANALYSIS AND PRACTICE	環境政策：分析と実践			2
FRONTIER OF ENVIRONMENTAL STUDIES	環境研究のフロンティア			2
ENVIRONMENTAL HISTORY	環境歴史学			2
JAPANESE ENVIRONMENTAL LAW	日本の環境法			2
BASIC OCEANOGRAPHY AND GLOBAL ENVIRONMENTAL SCIENCE	海洋学基礎と地球環境科学			2
ENVIRONMENT AND SUSTAINABLE LIFESTYLES	環境と持続のためのライフスタイル			2
ENVIRONMENTAL ECOLOGY	環境生態学			2
ECOLOGICAL RISK ASSESSMENT OF POLLUTANTS	環境汚染の生態リスク			2
ENVIRONMENTAL ASSESSMENT	環境アセスメント論			2
ENVIRONMENTAL PLANNING	環境計画論			2
GLOBAL ENVIRONMENT OUTLOOK	地球環境概論			2
JAPANESE EXPERIENCES IN ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	日本の環境管理			2
CLIMATE, OCEAN AND ENVIRONMENT	気候、海洋と環境			2
MARINE ENVIRONMENTAL POLICY	海洋環境政策			2
BUSINESS STRATEGIES FOR SUSTAINABILITY	サステナビリティのビジネス戦略			2
ENVIRONMENTAL RESOURCE MANAGEMENT POLICY	環境資源管理政策			2
GLOBAL FOREST CONSERVATION POLICY	世界の森林保全政策			2
INTRODUCTION TO ENVIRONMENTAL ACCOUNTING	環境会計入門			2
GREEN MARKETING	環境マーケティング			2
ENVIRONMENT AND SUPPLY CHAIN MANAGEMENT	環境とサプライチェーンマネジメント			2
WASTE MANAGEMENT IN ASIA	アジアの廃棄物管理			2
ENERGY AND ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY	環境・エネルギー技術論			2
ENERGY AND ENVIRONMENT: SCIENCE AND POLICY LINKAGES	エネルギーと環境: 科学と政策をつなぐ			2
演習／SEMINAR A *1	演習／SEMINAR A *1	(2)	2	
演習／SEMINAR B *1	演習／SEMINAR B *1	(2)	2	
演習／SEMINAR C *1	演習／SEMINAR C *1	(2)	2	
演習／SEMINAR D *1	演習／SEMINAR D *1	(2)	2	
CORPORATE FINANCE *2	(他) 金融論特講*2			4
ENGLISH FOR SCIENCE / ENGINEERING A*3	(他) 科学技術英語A*3			2
ENGLISH FOR SCIENCE / ENGINEERING B*3	(他) 科学技術英語B*3			2
ENVIRONMENTAL CHEMISTRY *3	(他) 環境科学*3			2
ENVIRONMENTAL LIFE SCIENCE *3	(他) 環境生命科学*3			2
ENVIRONMENTAL BASIC BIOLOGY *3	(他) 環境基礎生物学*3			2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 1 *3	(他) グリーンサイエンス・エンジニアリング1*3			2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 2 *3	(他) グリーンサイエンス・エンジニアリング2*3			2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 3 *3	(他) グリーンサイエンス・エンジニアリング3*3			2
GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 4 *3	(他) グリーンサイエンス・エンジニアリング4*3			2

\*1：2015年次生以前は必修科目

\*2：経済学専攻開講科目

\*3：理工学専攻開講科目



### 3. 履修上の注意

#### 【17 年次生】

##### 1) 修了要件

入学当初は修士論文トラックに登録されている。修士プロジェクトトラックへの変更を希望する場合は所定の期間に所定の書式で希望する指導教員に申し出ること。

##### A. 修士論文トラック

- ① 「演習／SEMINAR」を計 8 単位修得すること（選択必修）。履修の順番は問わないが、最低 4 単位は指導教員の「演習／SEMINAR」を履修すること。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合、12 単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし、4 単位までを選択科目の単位に充当する。なお、同一担当者の同一科目の重複履修分については、特別な事情が認められない限り、修了要件への算入不可とする。
- ② 選択科目 22 単位を修得すること。
- ③ 「研究指導」（必修）を在学中毎学期受けること。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- ④ 最終学期に「修士論文」を履修登録し、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査および試験に合格すること。

##### B. 修士プロジェクトトラック

- ① 指導教員の「演習／SEMINAR」を計 4 単位履修すること（選択必修）。履修の順番は問わない。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合、8 単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし、4 単位までを選択科目の単位に充当する。なお、同一担当者の同一科目の重複履修分については、特別な事情が認められない限り、修了要件への算入を不可とする。
- ② 選択科目 30 単位を修得すること。
- ③ 「研究指導」（必修）を在学中毎学期受けること。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- ④ 最終学期に修士プロジェクトを履修登録し、リサーチペーパーを提出すること。

#### 【16 年次生】

##### 1) 修了要件

入学当初は修士論文トラックに登録されている。修士プロジェクトトラックへの変更を希望する場合は所定の期間に所定の書式で希望する指導教員に申し出ること。

##### A. 修士論文トラック

- ① 「演習」もしくは Seminar を計 8 単位修得すること（選択必修）\*。履修の順番は問わないが、最低 4 単位は指導教員の演習もしくは Seminar を履修すること。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合、12 単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし、4 単位までを選択科目の単位に充当する。なお、同一担当者の同一科目の重複履修分については、特別な事情が認められない限り、修了要件への算入不可とする。  
※2017 年度より「演習」および Seminar は「演習／SEMINAR」に名称変更している。履修方法は 2) 履修にあたっての注意を参照すること。
- ② 選択科目 22 単位を修得すること。
- ③ 研究指導（必修）を在学中毎学期受けること。
- ④ 最終学期に「修士論文」を履修登録し、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査および試験に合格すること。

## B.修士プロジェクトトラック

- ① 指導教員の「演習」もしくは Seminar を計4単位履修すること（選択必修）\*。履修の順番は問わない。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合、8単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし、4単位までを選択科目の単位に充当する。なお、同一担当者の同一科目の重複履修分については、特別な事情が認められない限り、修了要件への算入を不可とする。

※2017年度より「演習」および Seminar は「演習／SEMINAR」に名称変更している。履修方法は2)履修にあたっての注意を参照すること。

- ② 選択科目30単位を修得すること。
- ③ 研究指導（必修）を在学中毎学期受けること。
- ④ 最終学期に修士プロジェクトを履修登録し、リサーチペーパーを提出すること。

## 【14年次生・15年次生】

### 1) 修了要件

入学当初は修士論文トラックに登録されている。修士プロジェクトトラックへの変更を希望する場合は所定の期間に所定の書式で希望する指導教員に申し出ること。

## A.修士論文トラック

- ① 「演習」もしくは Seminar を計8単位修得すること（必修）\*。履修の順番は問わないが、最低4単位は指導教員の演習もしくは Seminar を履修すること。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合、12単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし、4単位までを選択科目の単位に充当する。なお、同一担当者の同一科目の重複履修分については、特別な事情が認められない限り、修了要件への算入不可とする。

※2017年度より「演習」および Seminar は「演習／SEMINAR」に名称変更している。履修方法は2)履修にあたっての注意を参照すること。

- ② 選択科目22単位を修得すること。
- ③ 研究指導（必修）を在学中毎学期受けること。
- ④ 最終学期に「修士論文」を履修登録し、必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査および試験に合格すること。

## B.修士プロジェクトトラック

- ① 指導教員の「演習」もしくは Seminar を計4単位履修すること（必修）\*。履修の順番は問わない。担当者が異なる同一科目を複数履修してもよい。その場合、8単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし、4単位までを選択科目の単位に充当する。なお、同一担当者の同一科目の重複履修分については、特別な事情が認められない限り、修了要件への算入を不可とする。

※2017年度より「演習」および Seminar は「演習／SEMINAR」に名称変更している。履修方法は2)履修にあたっての注意を参照すること。

- ② 選択科目30単位を修得すること。
- ③ 研究指導（必修）を在学中毎学期受けること。
- ④ 最終学期に修士プロジェクトを履修登録し、リサーチペーパーを提出すること。

## 【13年次生以前】

下記に従って合計30単位以上を修得し、指導教員の指導のもとで修士論文を作成し、審査に合格することが必要である。

- ① 1年次に必修科目の「演習Ⅰ」および「演習Ⅱ」を計8単位修得すること。  
履修の順番は問わない。ただし、特別な事情が認められた場合、担当者が異なる同一科目の重複履修による8単位でもよい。その場合は、履修登録前に専攻主任に相談すること。12単位までは修了単位として修了要件に算入可能とし、4単位までを選択科目の単位に充当する。

- ② 選択科目 22 単位を修得すること。
- ③ 研究指導（必修）を在学中毎学期受けること。

## 2) 履修にあたっての注意

- ① 2017 年度より「演習」および Seminar は「演習／SEMINAR」に名称変更している。
- ② 2014 年度～2016 年度の入学者は「演習 A, B, C, D」, 「SEMINAR I, II, III, IV」を未履修の場合、代わりに「演習／SEMINAR A, B, C, D」を履修する。ただし、同一担当者の同一科目の重複履修分については修了要件への算入不可とする。
- ③ 2013 年度以前の入学者は、「演習 I」, 「演習 II」を未履修の場合、「演習 I」の代わりに「演習／SEMINAR A」, 「演習／SEMINAR B」, 「演習 II」の代わりに「演習／SEMINAR C」, 「演習／SEMINAR D」を履修すること。
- ④ 同じ名称の科目は担当者が異なる場合でも、再度履修することはできない。
- ⑤ 下記の科目は名称変更を行ったが、内容は同じであるので、再度履修することはできない。

2014 年度科目名	2013 年度科目名
アジア環境研修	アジア環境研修 I
	アジア環境研修 II
2015 年度科目名	2014 年度科目名
環境政策形成論	環境政策論
English for Science / Engineering A	English for Science / Engineering II (1)
2017 年度科目名	2016 年度科目名
Waste Management in Asia	Recycling Systems in Asia
Environmental Ecology	Ecology and the Environment
Ecological Risk Assessment of Pollutants	Chemical Substances and the Environment
Climate, Ocean and Environment	Ocean and Environment
環境生態学	生物と環境
環境汚染の生態リスク	化学物質と環境

- ⑥ 「アジア環境研修」は、履修登録期間中に登録するが、受講希望者が定員を上回った場合には担当者による選抜を行なう。選に漏れた学生は履修中止期間に履修中止すること。なお、本研修は修士課程の第 2 学期と第 3 学期の在籍生を対象とし、評価は P 又は X とする。
- ⑦ 「インターンシップ I」及び「同 II」を履修する場合、必ず履修登録期間中に登録を行う。希望者は、まず担当教員に事前に相談すること。また、専攻が別途指定する期日までに実習を修了し、報告書を提出すること。それができないことが明らかになった場合、速やかに学事センターにて登録削除の手続きを行うこと。尚、評価は P 又は X とする。
- ⑧ 2015 年度以前の入学者は演習が「必修科目」のため、原則履修中止は認められない。ただし、演習／SEMINAR を「選択科目」として履修している場合のみ、履修中止することが可能。履修中止を希望する場合は、履修中止期間中に、申請をすること。

#### 4. 開講科目一覧表 【各入学年次共通】

※ [E] : 授業はすべて英語で行う

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	備考
MGGE8061	春	演習/SEMINAR A	GES501	2	織 朱 實	
MGGE8062	春	演習/SEMINAR B	GES502	2	織 朱 實	[E]
MGGE8101	春	演習/SEMINAR A	GES501	2	鷺 田 豊 明	
MGGE8102	春	演習/SEMINAR B	GES502	2	鷺 田 豊 明	[E]
MGGE8071	春	演習/SEMINAR A	GES501	2	田 中 嘉 成	
MGGE8072	春	演習/SEMINAR B	GES502	2	田 中 嘉 成	[E]
MGGE8001	春	演習/SEMINAR A	GES501	2	FRANK Bjoern	
MGGE8002	春	演習/SEMINAR B	GES502	2	FRANK Bjoern	
MGGE8051	春	演習/SEMINAR A	GES501	2	柴 田 晋 吾	[E]
MGGE8052	春	演習/SEMINAR B	GES502	2	柴 田 晋 吾	
MGGE8081	春	演習/SEMINAR A	GES501	2	平 尾 桂 子	
MGGE8082	春	演習/SEMINAR B	GES502	2	平 尾 桂 子	
MGGE8041	春	演習/SEMINAR A	GES501	2	岡 崎 雄 太	
MGGE8042	春	演習/SEMINAR B	GES502	2	岡 崎 雄 太	[E]
MGGE8012	春	演習/SEMINAR B	GES501	2	プテンカラム ジョンジョセフ	
MGGE8021	春	演習/SEMINAR A	GES501	2	McDONALD Anne	[E]
MGGE8022	春	演習/SEMINAR B	GES502	2	McDONALD Anne	[E]
MGGE8011	春	演習/SEMINAR A	GES501	2	PUTHENKALAM John Joseph	[E]
MGGE8031	春	演習/SEMINAR A	GES501	2	HUANG Guangwei	[E]
MGGE8032	春	演習/SEMINAR B	GES502	2	HUANG Guangwei	[E]
MGGE8091	春	演習/SEMINAR A	GES501	2	SUZUKI Masachika	[E]
MGGE8092	春	演習/SEMINAR B	GES502	2	SUZUKI Masachika	[E]
MGGE6001	春	循環型社会形成・廃棄物対策論	GES782	2	*柳 下 正 治	
MGGE6000	春	日本の環境法	GES701	2	織 朱 實	隔週開講
MGGE6005	春	環境マーケティング	GES702	2	フランク ビョーン	
MGGE6030	春	環境経済学 I	GES705	2	鷺 田 豊 明	
MGGE6045	春	環境政策論	GES708	2	柴 田 晋 吾	
MGGE6060	春	環境工学	GES710	2	*大 坪 國 順	隔年開講
MGGE6080	春	環境経営学	GES712	2	鈴 木 政 史	隔週開講
MGGE6002	春	環境行政論	GES783	2	岡 崎 雄 太	
MGGE7070	春	環境と経済制度	GES715	2	鷺 田 豊 明	
MGGE7240	春	環境と消費	GES721	2	*中 原 秀 樹	
MGGE7270	春	環境倫理	GES722	2	*鬼 頭 秀 一	
MGGE7290	春	環境教育	GES723	2	(他)吉川 まみ	
MGGE7370	休講	地球環境工学論	GES725	2		隔年開講
MGGE7390	春	環境研究のための統計学	GES727	2	平 尾 桂 子	隔年開講
MGGE7430	春	アジア環境研修	GES730	4	黄 光 偉	春学期集中 ※
MGGE7440	春	カーボンマネジメント論	GES731	2	*糸 原 茂 人	
MGGE7570	春	環境生態学	GES733	2	田 中 嘉 成	
MGGE7550	春	環境金融論	GES734	2	*藤 井 良 広	

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	備考
MGGE7610	春	インターンシップ I	GES735	2	織 朱 實	春学期集中 ※
MGGE7630	春	環境計画・リスクマネジメント論	GES737	2	黄 光 偉	
MGGE9010	春	修士論文	GES899	0	地球環境学専攻 各指導教員	
MGGE9550	春	修士プロジェクト	GES898	0	地球環境学専攻 各指導教員	
MGGE806A	秋	演習/SEMINAR C	GES503	2	織 朱 實	
MGGE806B	秋	演習/SEMINAR D	GES504	2	織 朱 實	[E]
MGGE810A	秋	演習/SEMINAR C	GES503	2	鷺 田 豊 明	
MGGE810B	秋	演習/SEMINAR D	GES504	2	鷺 田 豊 明	[E]
MGGE807A	秋	演習/SEMINAR C	GES503	2	田 中 嘉 成	
MGGE807B	秋	演習/SEMINAR D	GES504	2	田 中 嘉 成	[E]
MGGE800A	秋	演習/SEMINAR C	GES503	2	FRANK Bjoern	
MGGE800B	秋	演習/SEMINAR D	GES504	2	FRANK Bjoern	
MGGE805A	秋	演習/SEMINAR C	GES503	2	柴 田 晋 吾	[E]
MGGE805B	秋	演習/SEMINAR D	GES504	2	柴 田 晋 吾	
MGGE801B	秋	演習/SEMINAR D	GES503	2	プテンカラム ジョンジョセフ	
MGGE808A	秋	演習/SEMINAR C	GES503	2	平 尾 桂 子	
MGGE808B	秋	演習/SEMINAR D	GES504	2	平 尾 桂 子	
MGGE804A	秋	演習/SEMINAR C	GES503	2	岡 崎 雄 太	
MGGE804B	秋	演習/SEMINAR D	GES504	2	岡 崎 雄 太	[E]
MGGE802A	秋	演習/SEMINAR C	GES503	2	McDONALD Anne	[E]
MGGE802B	秋	演習/SEMINAR D	GES504	2	McDONALD Anne	[E]
MGGE803A	秋	演習/SEMINAR C	GES503	2	HUANG Guangwei	[E]
MGGE803B	秋	演習/SEMINAR D	GES504	2	HUANG Guangwei	[E]
MGGE809A	秋	演習/SEMINAR C	GES503	2	SUZUKI Masachika	[E]
MGGE809B	秋	演習/SEMINAR D	GES504	2	SUZUKI Masachika	[E]
MGGE801A	秋	演習/SEMINAR C	GES503	2	PUTHENKALAM John Joseph	[E]
MGGE6015	秋	C S R経営	GES703	2	FRANK Bjoern	
MGGE6025	秋	環境リスクマネジメント	GES704	2	織 朱 實	
MGGE6035	秋	国際環境法	GES706	2	*磯 崎 博 司	隔週開講
MGGE6040	秋	環境経済学II	GES707	2	鷺 田 豊 明	
MGGE6070	秋	森林環境政策	GES711	2	柴 田 晋 吾	
MGGE7120	秋	地球温暖化対策論	GES716	2	岡 崎 雄 太	
MGGE7180	秋	環境社会学	GES718	2	平 尾 桂 子	
MGGE7200	秋	途上国の環境と開発	GES719	2	プテンカラム ジョンジョセフ	隔年開講
MGGE7210	秋	エネルギーと環境	GES720	2	*柳下正治, 他	輪講
MGGE7300	休講	環境研究のフロンティア	GES724	2		輪講, 隔年開講
MGGE7410	休講	ジェンダーと環境	GES728	2		
MGGE7420	秋	環境史	GES729	2	まくどなるど・あん	
MGGE7560	秋	環境汚染の生態リスク	GES732	2	田 中 嘉 成	隔週開講
MGGE7620	秋	インターンシップ II	GES736	2	織 朱 實	秋学期集中 ※

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	備考
MGGE9020	秋	修士論文	GES899	0	地球環境学専攻 各指導教員	
MGGE9560	秋	修士プロジェクト	GES898	0	地球環境学専攻 各指導教員	
LWS54100	秋	環境法政策	ENL702	2	北村喜宣	(他)法科大学院
LWS54600	秋	比較環境法	ENL707	2	*及川敬貴	(他)法科大学院
MEMG7060	秋	環境会計論特講	MAC512	2	上妻義直	(他)経営学専攻科目

※集中講義については、別途掲示で日時・教室を必ず確認すること。

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員 Co): coordinator	備考
MGGE7645	SPR	GREEN MARKETING	GES752	2	FRANK Bjoern	[E]
MGGE7641	SPR	ENVIRONMENTAL ADMINISTRATION	GES779	2	OKAZAKI Yuta	[E]
MGGE7690	SPR	INTRODUCTION TO ENVIRONMENTAL ACCOUNTING	GES760	2	*MURAI Hideki	[E]
MGGE7810	SPR	ENVIRONMENTAL HISTORY	GES772	2	McDONALD Anne	[E]
MGGE7730	Not offered	ENVIRONMENT AND DEVELOPMENT IN DEVELOPING COUNTRIES	GES764	2		
MGGE7655	SPR	JAPANESE ENVIRONMENTAL LAW	GES754	2	ORI Akemi	[E]
MGGE7770	SPR	ENVIRONMENTAL ASSESSMENT	GES767	2	HUANG Guangwei	[E]
MGGE7860	SPR	BASIC OCEANOGRAPHY AND GLOBAL ENVIRONMENTAL SCIENCE	GES785	2	Co) SHIBATA Shingo	[E] Team-taught course
MGGE7890	SPR	CLIMATE, OCEAN AND ENVIRONMENT	GES769	2	*BEHERA Swadhin	[E]
MGGE7795	SPR	MARINE ENVIRONMENTAL POLICY	GES770	2	McDONALD Anne	[E]
MGGE8061	SPR	演習/SEMINAR A	GES501	2	織 朱 實	
MGGE8062	SPR	演習/SEMINAR B	GES502	2	織 朱 實	[E]
MGGE8101	SPR	演習/SEMINAR A	GES501	2	鷲 田 豊 明	
MGGE8102	SPR	演習/SEMINAR B	GES502	2	鷲 田 豊 明	[E]
MGGE8071	SPR	演習/SEMINAR A	GES501	2	田 中 嘉 成	
MGGE8072	SPR	演習/SEMINAR B	GES502	2	田 中 嘉 成	[E]
MGGE8001	SPR	演習/SEMINAR A	GES501	2	FRANK Bjoern	
MGGE8002	SPR	演習/SEMINAR B	GES502	2	FRANK Bjoern	
MGGE8051	SPR	演習/SEMINAR A	GES501	2	柴 田 晋 吾	[E]
MGGE8052	SPR	演習/SEMINAR B	GES502	2	柴 田 晋 吾	
MGGE8081	SPR	演習/SEMINAR A	GES501	2	平 尾 桂 子	
MGGE8082	SPR	演習/SEMINAR B	GES502	2	平 尾 桂 子	
MGGE8041	SPR	演習/SEMINAR A	GES501	2	岡 崎 雄 太	
MGGE8042	SPR	演習/SEMINAR B	GES502	2	岡 崎 雄 太	[E]
MGGE8012	SPR	演習/SEMINAR B	GES501	2	プテンカラム ジョンジョセフ	
MGGE8021	SPR	演習/SEMINAR A	GES501	2	McDONALD Anne	[E]
MGGE8022	SPR	演習/SEMINAR B	GES502	2	McDONALD Anne	[E]
MGGE8011	SPR	演習/SEMINAR A	GES501	2	PUTHENKALAM John Joseph	[E]
MGGE8031	SPR	演習/SEMINAR A	GES501	2	HUANG Guangwei	[E]
MGGE8032	SPR	演習/SEMINAR B	GES502	2	HUANG Guangwei	[E]
MGGE8091	SPR	演習/SEMINAR A	GES501	2	SUZUKI Masachika	[E]
MGGE8092	SPR	演習/SEMINAR B	GES502	2	SUZUKI Masachika	[E]
MGGE7980	SPR	BUSINESS STRATEGIES FOR SUSTAINABILITY	GES775	2	SUZUKI Masachika	[E]
MGGE7990	SPR	ENVIRONMENTAL RESOURCE MANAGEMENT POLICY	GES776	2	SHIBATA Shingo	[E]

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他)：他専攻教員 *：非常勤教員 Co)：coordinator	備考
MGGE7820	SPR	ENVIRONMENTAL ECOLOGY	GES780	2	TANAKA Yoshinari	[E]
MGGE9510	SPR	MASTER'S THESIS	GES899	0	Academic supervisors	[E]
MGGE9530	SPR	GRADUATION PROJECT	GES898	0	Academic supervisors	[E]
MSCT7025	SPR	ENGLISH FOR SCIENCE / ENGINEERING A	SCT702	2	DZIEMINSKA Edyta	[E] (other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7170	Not offered	ENVIRONMENTAL BASIC BIOLOGY	GRS717	2		[E] (other) Grad. Program in Science and Technology Team-taught course
MSGR7180	SPR	ENVIRONMENTAL LIFE SCIENCE	GRS718	2	SASAKAWA Nobuyuki	[E] (other) Grad. Program in Science and Technology Team-taught course
MSGR7020	Not offered	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 2	GRS702	2		[E] (other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7040	SPR	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 4	GRS704	2	STAFF	[E] (other) Grad. Program in Science and Technology
MGGE7710	AUT	JAPANESE EXPERIENCES IN ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	GES762	2	*ASAEDA Takashi	[E]
MGGE7650	Not offered	GLOBAL ENVIRONMENT OUTLOOK	GES753	2		
MGGE7665	AUT	ENVIRONMENT AND SUPPLY CHAIN MANAGEMENT	GES755	2	FRANK Bjoern	[E]
MGGE7840	AUT	ENVIRONMENTAL POLICY : ANALYSIS AND PRACTICEY	GES784	2	McDONALD Anne	[E]
MGGE7850	AUT	WASTE MANAGEMENT IN ASIA	GES757	2	ORI Akemi	[E]
MGGE7680	AUT	ENVIRONMENT AND SUSTAINABLE LIFESTYLES	GES758	2	HIRAO Keiko	[E]
MGGE7685	AUT	ENERGY AND ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY	GES759	2	SUZUKI Masachika	[E]
MGGE7830	AUT	ECOLOGICAL RISK ASSESSMENT OF POLLUTANTS	GES781	2	TANAKA Yoshinari	[E]
MGGE7720	AUT	ENVIRONMENTAL ECONOMICS	GES763	2	WASHIDA Toyoaki	[E]
MGGE7750	AUT	ENVIRONMENTAL PLANNING	GES766	2	HUANG Guangwei	[E]
MGGE7800	AUT	GLOBAL FOREST CONSERVATION POLICY	GES771	2	SHIBATA Shingo	[E]
MGGE7880	AUT	ENERGY AND ENVIRONMENT: SCIENCE AND POLICY LINKAGES	GES787	2	*YAMAGATA Yoshiki	[E] 隔週
MGGE806A	AUT	演習/SEMINAR C	GES503	2	織 朱 實	
MGGE806B	AUT	演習/SEMINAR D	GES504	2	織 朱 實	[E]
MGGE810A	AUT	演習/SEMINAR C	GES503	2	鷲 田 豊 明	
MGGE810B	AUT	演習/SEMINAR D	GES504	2	鷲 田 豊 明	[E]
MGGE807A	AUT	演習/SEMINAR C	GES503	2	田 中 嘉 成	
MGGE807B	AUT	演習/SEMINAR D	GES504	2	田 中 嘉 成	[E]
MGGE800A	AUT	演習/SEMINAR C	GES503	2	FRANK Bjoern	
MGGE800B	AUT	演習/SEMINAR D	GES504	2	FRANK Bjoern	
MGGE805A	AUT	演習/SEMINAR C	GES503	2	柴 田 晋 吾	[E]
MGGE805B	AUT	演習/SEMINAR D	GES504	2	柴 田 晋 吾	



登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員 Co): coordinator	備考
MGGE801B	AUT	演習/SEMINAR D	GES503	2	プテンカラム ジョンジョセフ	
MGGE808A	AUT	演習/SEMINAR C	GES503	2	平尾桂子	
MGGE808B	AUT	演習/SEMINAR D	GES504	2	平尾桂子	
MGGE804A	AUT	演習/SEMINAR C	GES503	2	岡崎雄太	
MGGE804B	AUT	演習/SEMINAR D	GES504	2	岡崎雄太	[E]
MGGE802A	AUT	演習/SEMINAR C	GES503	2	McDONALD Anne	[E]
MGGE802B	AUT	演習/SEMINAR D	GES504	2	McDONALD Anne	[E]
MGGE803A	AUT	演習/SEMINAR C	GES503	2	HUANG Guangwei	[E]
MGGE803B	AUT	演習/SEMINAR D	GES504	2	HUANG Guangwei	[E]
MGGE809A	AUT	演習/SEMINAR C	GES503	2	SUZUKI Masachika	[E]
MGGE809B	AUT	演習/SEMINAR D	GES504	2	SUZUKI Masachika	[E]
MGGE801A	AUT	演習/SEMINAR C	GES503	2	PUTHENKALAM John Joseph	[E]
MGGE7960	AUT	STRATEGIC ENVIRONMENTAL MANAGEMENT	GES774	2	SUZUKI Masachika	[E]
MGGE7940	AUT	CLIMATE CHANGE POLICY	GES773	2	OKAZAKI Yuta	[E]
MEEC7190	AUT	CORPORATE FINANCE	ECN716	4	KAWANISHI Satoshi	[E] (other) Grad. Program in Economics
MSGR7090	AUT	ENVIRONMENTAL CHEMISTRY	GRS709	2	HORIKOSHI Satoshi	[E] (other) Grad. Program in Science and Technology
MSCT7045	AUT	ENGLISH FOR SCIENCE / ENGINEERING B	SCT704	2	TRIHAN Fabien	[E] (other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7010	AUT	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 1	GRS701	2	SAKAMOTO Haruhisa	[E] (other) Grad. Program in Science and Technology
MSGR7030	Not offered	GREEN SCIENCE AND ENGINEERING 3	GRS703	2		[E] (other) Grad. Program in Science and Technology
MGGE7870	AUT	Frontier of Environmental Studies	GES786	2	Co)TANAKA Yoshinari	[E]

\*For Intensive Courses, you must check the schedule and classroom on Loyola Bulletin Board (Academic Service).

## 5. 研究指導一覧表 【各入学年次共通】

ナンバリング	担当教員名	備考
GES888	織 朱 實	
	鷺 田 豊 明	
	田 中 嘉 成	
	FRANK Bjoern	
	柴 田 晋 吾	
	平 尾 桂 子	
	まくどなると・あん	
	黄 光 偉	
	ブテンカラム ジョンジョセフ	
	鈴木政史	
	岡崎雄太	

## 6. 早期修了制度

- 1) 早期修了制度は修士論文トラックにのみ適用される。
- 2) 早期修了希望時期の遅くとも1年前に研究科委員長に申し出て、早期修了希望者として登録すること。
- 3) 修了に必要な単位をすべて修得することとし、かつGPAが3.8以上あること。
- 4) 修士論文の評価がAであること。

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導 (必修)		6	単位なし, 在学中毎学期登録される。6科目以上合格すること。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【16年次生以前】

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考 (上限, その他)
総単位数			
・必修科目			
・選択科目			
研究指導 (必修)			単位なし, 在学中毎学期登録される。
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【博士論文審査基準】

自立した研究者として研究を継続行し, 当該分野・領域の研究において, 将来にわたり独自の貢献を行うことができる能力を有することが認められ, 以下の基準を高い水準で満たしていること。

1. 問題設定: 問題意識が明確で, 今日の環境問題を解決するために解明すべきテーマを適切に設定できる。
2. 先行研究の理解: テーマに対する現在までの先行業績, 学術研究の到達点を適切に把握している。
3. 独創性: 問題にアプローチするための前提としてのオリジナルな仮説を適切に設定することができること, あるいは, 独創的な, 新しい, ユニークな着想や発想をすることができる。
4. 研究方法: 仮説を検証するために独自に収集したデータ, 新しい資料の発掘など論証方法に工夫をこらすことができる。またアプローチの仕方として, 社会科学や自然科学の複数の領域にまたがる知識の総合化や理論と実践のフィードバックなどの手法を駆使することができる。
5. 論文構成: 論文の構成, 章立て, 立証方法などをわかりやすく構成され整理され, 説得力のある論理展開ができ, 問題提起, 途中の推論, 結論を整合させ, 自己の分析を総合的に記述することに成功する。
6. 倫理的配慮: 研究方法の適切性に留意し, 研究対象に対する適切な倫理的配慮を行うとともに, 各種学会, 大学等が定める倫理基準を満たすことができる。
7. 形式面: 関連する多くの資料を網羅し, 出展を明示し, 正確な引用ができる。また, 優れた文章表現ができ, 指定するフォーマットの成果物を得る。
8. 語学力: 必要な外国語の知識が身についている。

## 2. 授業科目の編成・単位

科目名	単位数		
	必修	選必	選択
研究指導 ※	0		

## 3. 履修上の注意

- ①在学期間中は指導教員担当の「研究指導（必修）」を毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件を参照すること。
- ②博士論文提出資格論文の審査に合格した上で、定められた手続きにより博士論文を提出し、審査および試験に合格しなければならない。

## 4. 研究指導一覧表 【各入学年次共通】

ナンバリング	担当教員名	備考
GES988	織 朱 實	
	鷺 田 豊 明	
	田 中 嘉 成	
	フランク ビョーン	
	柴 田 晋 吾	
	平 尾 桂 子	
	岡 崎 雄 太	
	まくどなると・あん	
	プテンカラム ジョンジョセフ	
	黄 光 偉	
	鈴木 政 史	